



始



14.2
3534

昭和十五年三月

昭和十三年度業務概要

長野縣立農事試驗場
長野縣立農會技術員養成所

1424
3534



目 次

種 藝 部

1. 水 稻 1

 1. 水稻耕種梗概 1

 2. 豐凶考照試驗 2

 3. 品種比較豫備試驗 4

 4. 品種比較試驗 4

 5. 有望品種特性檢定試驗 7

 6. 新品種育成 8

 7. 保存品種 11

 8. 水陸苗比較試驗 11

 9. 播種期、移植對株數關係試驗 12

 10. 採種地ニ依ル變異試驗 13

 11. 小麥作跡地ニ於ケル施肥量試驗 14

 委託試驗 15

 1. 水稻品種地方適否試驗 15

 2. 冷害地委託試驗 18

2. 麥 24

 1. 耕種梗概 24

 2. 豐凶考照試驗 25

 3. 大麥(稈麥ヲ含ム)品種比較試驗 26

 4. 小麥獎勵品種決定試驗 26

 5. 新品種育成 30

 6. 保存品種 32

 7. 水田裏作小麥品種比較試驗 32

 8. 水田裏作小麥整地法試驗 33

 9. 水田裏作小麥播種期、播種量、施肥量試驗 33

 10. 品種對畦巾、播巾關係試驗 35

 委託試驗 37

 1. 麥品種地方適否試驗 37

 2. 麥雪腐菌核病抵抗性品種育成試驗 39

3. 原 種 圃 42

 1. 水 稻 42

 2. 陸 稻 43

 3. 大 麥 43



14.24
3534

4. 小 麥	44
5. 大 豆	44
4. 冷害地柏原水稻試験地	44
1. 耕 種 梗 概	44
2. 品種比較試験	46
3. 播種期ト挿秧期トノ關係試験	49
4. 肥料適量試験	50
5. 苗代種類比較試験	51
5. 冷害地原村試験地	52
水 稻	52
1. 耕 種 梗 概	52
2. 品種比較試験	58
3. 有望系統性能檢定試験	54
4. 冷水灌溉栽培ニ對スル品種ノ特性調査	55
5. 晚播晚植ニヨル特性檢定試験	56
6. 品種選抜豫備試験	58
7. 温床苗代及委託苗代試験	59
農 具	
1. 試験ニ關スル事項	60
1. 動力糶摺選別機ニ關スル試験	60
2. 動力糶摺選別機ノゴムロール磨耗量ニ關スル試験	62
3. 整型精麥機ニ關スル試験	65
4. 胚芽米用精米機ニ關スル試験	68
5. 米ノ搗精程度試験	70
6. 品種別胚芽米搗精試験	72
7. 糶ノ等級別糶摺歩止リ並ニ精米歩止リニ關スル試験	74
8. 玄米ノ等級別精米歩止リニ關スル試験	76
9. 大麥ノ等級別精麥歩止リニ關スル試験	77
10. 小麥ノ等級ガ製粉歩合鉄質含量ニ及ボス影響試験	78
11. 蕎麥ノ等級別製粉歩止リニ關スル試験	79
2. 其ノ他ニ關スル事項	80
園 藝 部	
果 樹	81
1. 苹果有機質無機質肥料比較試験	81
2. 苹果經濟調査(十二年目)反當	82

3. 苹果デリシヤス系品種試験	87
4. 苹果果實發育調査	87
5. 苹果摘果法試験	89
6. 苹果熟期ニ於ケル糖分及酸ノ變化	90
7. 苹果新梢伸長調査	91
8. 葡萄品種試験	93
9. 李品種試験	93
10. 硝子室葡萄品種試験	93
11. 硝子室葡萄肥料試験	93
12. 苹果品種見本園	93
13. 桃品種見本園	94
14. 梨品種見本園	94
15. 西洋梨整枝法試験	94
16. 雜果類試作	94
17. 杏品種試験	96
18. 支那梨整枝法試験	96
19. 葡萄強耐砒木品種見本園	97
20. 果樹接穂配付	97
21. 果樹苗木配付	97
蔬 菜	98
1. 胡瓜品種比較試験	98
2. 胡瓜新品種育成試験	98
3. 茄子栽培法試験	99
4. トマト新品種育成試験	99
5. 草莓新品種育成試験	101
6. 馬鈴薯品種比較試験	102
7. 馬鈴薯種薯產地別試験	102
8. 秋播葱品種比較試験	103
9. 秋播葱栽植密度試験	103
10. 秋播葱苗選別試験	104
11. 秋播葱植方試験	104
12. 秋播葱苗大小試験	104
13. 大根品種比較試験	104
14. 葱頭三要素施用量試験	105
15. 甘藷品種比較試験	105
16. 甘藷植付時期試験	106
17. 甘藷蔓返試験	106
18. 甘藷栽培密度試験	106

19. 甘藷肥施量試験	107
20. 早出結球白菜試験	107
21. 温室作物適否試験	107
22. 種苗配付	108

花卉採種 109

1. 花卉採種適否試験	109
2. アスター品種比較試験	109
3. アスター栽植密度試験	110
4. ジニア品種比較試験	110
5. ジニア摘花試験	111
6. 春蒔花卉播種期試験	111
7. 採種花卉施肥用量試験	112
8. 花卉採種試作	112
9. 花卉採種適否試験	112

農産加工 114

1. アスパラガス罐詰湯通試験	114
2. アスパラガス注入液試験	114
3. アスパラガス罐詰殺菌試験	115
4. 杏シラップ漬罐詰砂糖用量試験	116
5. 杏シラップ漬罐詰殺菌試験	116
6. 桃シラップ漬罐詰砂糖用量試験	116
7. 桃シラップ漬罐詰脱氣試験	117
8. 桃シラップ漬罐詰殺菌試験	117
9. 洋梨シラップ漬罐詰砂糖用量試験	118
10. 洋梨シラップ漬罐詰殺菌試験	118
11. 洋梨罐詰剥皮後處理試験	118
12. 兎肉罐詰脱氣試験	119
13. 兎肉罐詰殺菌試験	119
14. 兎肉罐詰製造法試験	120
15. 新漬澤庵食鹽對米糠用量試験	120
16. 新漬澤庵荒漬食鹽用量試験	121

菌 蟲 部

1. 稻熱病防除應用試験	112
2. 薯蕷種薯腐敗病防除試験	122
3. 紫雲英萎縮病預防試験	124
4. 山葵墨入病防除試験	126
5. 二化螟發生豫察ニ關スル調査	129

6. 稻泥負蟲防除試験	130
7. 稻苞蟲防除試験	132
8. 白菜病害蟲綜合防除試験	133
9. 蘭ノ病害蟲綜合防除試験	137
10. 忽布病害蟲綜合防除試験	137
11. 果樹類椿象防除試験	139
12. 苹果綿蟲寄生蜂ノ配付成績	140
13. 販賣藥劑效力査定試験	141
14. 水田ニ於ケル噴霧器ノ利用ニ關スル試験	145

農 藝 化 學 部

1. 水 稻 148

圃 場 試 驗

1. 堆肥ト硫酸トノ合理的施用法試験	148
2. 磷酸加里施用法試験	149
3. 縣獎勵配合肥料試験	151
4. 石灰窒素施用試験	152

框 試 驗

1. 三要素試験	153
2. 窒素適量試験	153
3. 磷酸適量試験	154
4. 加里適量試験	155
5. 石灰窒素施用期試験	155

植 木 鉢 試 驗

1. 堆肥ノ磷酸加里肥效試験	156
2. 油粕類肥效試験	157
3. トーマス磷肥肥効試験	157
4. 土性ト施肥量試験	158
5. 腐植土ノ堆肥效果試験	158
6. 窒素分施試験	159

2. 麥 161

圃 場 試 驗

1. 窒素質肥料施用法試験	161
2. 石灰窒素施用法試験	162
3. 磷酸加里施用法試験	163
4. 縣獎勵配合肥料試験	165
5. 石灰窒素施用法試験	165

框 試 驗

1. 三要素試験跡地均一栽培	166
2. 窒素適量試験跡地均一栽培	167
3. 磷酸適量試験跡地均一栽培	168
4. 加里適量試験跡地均一栽培	169
5. 石灰窒素施用時期試験	169
植木鉢試験	
1. トーマス燐肥肥効試験	170
2. 腐植土ノ堆肥効果試験	171
3. 窒素肥料分施試験	171
4. 麥獎勵品種ニ對スル磷酸效果試験	172
3. 綠 肥	173
4. 大 豆	174
1. 大豆肥料試験	174
5. 肥料適量査定試験	177
6. 肥料施用方法改善試験	179
7. 綠肥根瘤菌培養配付成績	179
8. 豆類根瘤菌培養配付成績	180
9. 分析件數	180

農林省指定加工蔬菜試験

第一部 品種ニ關スル試験	181
1. 蕃茄品種選抜豫備試験	181
2. 蕃茄品種選抜試験	184
3. 蕃茄一代雜種利用試験	187
4. 蕃茄新品種育成試験	189
5. 草莓品種選抜豫備試験	192
6. 草莓品種選抜試験	193
7. 草莓新品種育成試験	196
8. アスパラガス品種選抜試験	196
9. スキート・コーン品種選抜豫備試験	198
10. スキート・コーン品種選抜試験	199
第二部	202
1. アスパラガス雌雄別試験	202
2. アスパラガス栽植密度試験	202
3. アスパラガス適地試験	203

4. スキート・コーン栽培條件組合試験	204
5. スキート・コーン除葉影響試験	207
6. スキート・コーン肥料試験	208
第三部	210
1. 葱頭雨除試験	210
2. 病害蟲防除試験	211
3. 葱頭母球定植時期試験	214
4. 葱頭母球大小試験	215
5. スリツプス燻蒸試験	216

農林省指定飼料作物試験

1. 玉蜀黍耕種梗概	219
2. 玉蜀黍品種特性調査	219
3. 玉蜀黍品種特性豫備調査	220
4. 品種間交配ニヨル雜種第一代利用試験	220
5. 採種栽培	221

畑作指導所

蔬 菜	222
1. 甘 藍	222
1. 耕種梗概	222
2. 甘藍品種比較試験	222
3. 甘藍種子取寄先別試験	223
4. 三要素施用量試験	224
5. 病害蟲綜合防除試験	225
2. 蘿 蔔	225
1. 耕種梗概	225
2. 播種期試験	226
3. 種子取寄先別試験	227
4. 三要素施用量試験	228
5. 種子新古試験	229
6. 栽植密度試験	229
7. 黃條蚤蟲防除試験	231
8. 秋播大根品種比較試験	233
3. 結球白菜	232
1. 耕種梗概	232
2. 播種期試験	233

4. 胡蘿蔔品種比較試驗	233
5. 蕃茄品種比較試驗	234
6. 玉萵苣播種期試驗	235
果 樹	236
1. 果樹園概況	236
2. 葡萄晚腐病豫防試驗	236
普通作物	238
1. 玉 蜀 黍	238
1. 耕種梗概	238
2. 播種期試驗	238
3. 肥料三要素試驗	238
4. 肥料三要素適量試驗	239
5. 栽植密度試驗	239
2. 陸 稻	239
1. 耕種梗概	239
2. 品種比較試驗	240
3. 品種選拔豫備試驗	241

庶務部

下伊那分場ノ部

種藝部

水 稻	247
耕種梗概	247
1. 豊凶考照試驗	249
2. 品種改良ニ關スル試驗	250
3. 耕種ニ關スル試驗	259
4. 委託試驗	262
陸 稻	264
耕種梗概	264
1. 試驗成績	265
2. 播種期試驗	270
3. 溝播試驗	271
4. 肥料ニ關スル試驗	271

5. 施肥料試驗	272
6. 食鹽使用量試驗	274
7. 委託試驗成績	275

麥	280
1. 耕種梗概	280
2. 各種試驗成績	281

園藝部

果 樹	287
1. 梨品種比較試驗	287
2. 梨整枝剪定法試驗	287
3. 支那梨品種試驗	288
4. 梨肥料對品質關係試驗	288
5. 梨品種對立木仕立關係試驗	289
6. 梨發育枝ノ角度對花芽着成試驗	289
7. 蘋果品種試驗	290
8. 葡萄品種比較試驗	290
9. 葡萄 <small>フイロキセラ</small> 免疫性砧木對品種關係試驗	291
10. 果樹品種見本栽培	292
11. 果樹苗木養成配付	293

蔬 菜	293
1. 胡瓜抑制栽培播種期試驗	293
2. 抑制胡瓜品種比較試驗	293
3. 馬鈴薯一化性薯對一化性薯比較試驗	294
4. 甘藷苗貯藏日數試驗	295
5. 海老芋施肥方法試驗	295
6. 葱植換時期試驗	296
7. 葱頭植付時期試驗	296
8. 結球白菜追肥時期並同數試驗	297
9. 松島白菜種子產地別試驗	298
10. 美濃早生大根種子產地別試驗	298
11. 各種蔬菜品種見本栽培	298

菌蟲部

1. 稻熱病防除ニ關スル試驗並ニ調査	300
2. 二化螟蟲防除ニ關スル試驗並ニ調査	301
3. 陸稻大螟蟲藥劑防除試驗	304

4. 稻苞蟲越冬調査(室内飼育).....	305
5. 小麦腥黑穗病豫防試験.....	306
6. 麥立枯病豫防試験.....	307
7. 胡瓜露菌病對新殺菌劑試驗.....	308
8. 梨病害對新殺菌劑試驗.....	309
9. 梨害蟲對毒劑種類試驗.....	309
10. 桑白紋羽病對被害地休閑試驗.....	310

庶務部

長野縣立農會技術員養成所



1. 水稻耕種梗概

苗代

種子 生育良好ニシテ品種固有ノ特性ヲ具備セルモノヲ適期ニ刈取り約一週間架乾ヲナシ
 拔落セル後篩選及唐箕選ヲ行ヒ貯藏ス

選種 前項ノ如クニシテ貯藏セル穀ヲ四月頃晴天ノ日

左記ノ比重ニテ鹽水選ヲ行フ

梗 (有芒種)	1.08 — 1.10
同 (無芒種)	1.13
糯	1.05 — 1.08

浸種 種子ハ五日間桶中ニ浸種シ其ノ間毎日換水シ播種前日水ヲ切りテ播種ス

整地 前年來ノ苗代ヲ供用シ秋末荒起シヲ行ヒ冬期間充分風化作用ヲ受ケシメ 3月中旬又
 ハ下旬ノ切返シ更ニ床推ヘ前深サ約 3寸ニ切返シテ土塊ヲ碎キ代播ヲ行ヒ床幅3尺5寸踏切
 1尺ノ揚床ヲ作り一品種毎ニ鋸板ヲ以テ區劃シ種子ノ混淆ヲ防グ

肥料 (坪當)

肥料名	基肥	追肥	成分			施肥法
			窒素	磷酸	加里	
硫酸アンモニア	60	5	13.3	—	—	硫酸ハ床推後、床上ニ水ニ溶解セルモノヲ吐露ニテ撒布ス 播種二、三日ノ整地ノ際ニ施ス 同上
過磷酸石灰	35	—	—	6.8	—	
鹽化加里	16	—	—	—	9.6	
計			13.3	6.8	9.6	

播種期 5月15日 — 5月17日

播種法 播種板(7分平方ニ區劃アリテ坪二合播ト同一割合)ヲ用ヒ正條播ヲナシ撥込ヲ行フ

播種量 1坪當2合

灌排水 播種後雨天又ハ寒冷ノ日ヲ除ク外ハ晝間床面ヲ現ハシ踏切ニノミ水ヲ湛ヘテ夕方ヨリ灌水ス

病蟲鳥害防除法

六月中旬又ハ下旬 5日毎ニ螟蟲ノ採卵ヲ行フ、播種後ハ直チニ苗代床上ニ赤色ノガス細絲ヲ

密=張り雀害ノ豫防=努ム

本 田

整 地 一毛作地ハ收穫後隨時ニ二毛作地ハ前作物收穫後直チニ犁又ハ備中鍬ニテ約四寸ノ深サニ耕起シテ土塊ヲ碎キ灌水シテ二回代掻ヲ行フ
肥 料 (反當)

肥 料 名	基肥	追肥	三 成 分			施 用 法
			窒 素	機 酸	加 里	
堆 肥	200		0.900	0.520	0.900	第一回代掻前=施ス
硫酸アンモニア	8		1.640	—	—	第一回代掻後=施ス
過磷酸石灰	7		—	1.865	—	同
鹽化加里	1.6		—	—	0.960	同
計			2.540	1.885	1.860	

插 秧 期 六月下旬乃至七月上旬

插 秧 法 1坪 72株 株間 1尺=5寸
1株 3本植

除 草 一番除草ハ插秧後2週間ニ爾後10日間毎ニ3回行フ

灌 排 水 插秧當時ハ稍々深水トシ一番除草以後ハ努メテ淺水トシ穂孕期ヨリ穂揃期迄ハ充分灌水シ傾穗期ニ至リテ灌水ヲ止ム

病蟲鳥害驅除豫防法 七月上旬螟蟲ノ採卵ヲ行ヒ七月中旬螟蟲被害莖切取リヲ行フ

8月下旬ヨリ9月上、中旬ニ螟蟲被害ニ依ル葉鞘變色莖ヲ1週間置ニ2回切取リヲ行フ

稻熱病發生ノ徴アレバ穂揃後カゼイン石灰加用 6斗式石灰ボルドー液ヲ反當 8斗位ノ割合ニ撒布ス、出穂期ヨリ成熟期ニ掛ケテ威銃ヲ以テ雀害ノ豫防ニ努ム

稻苞蟲發生ノ徴アレバ8月上旬砒酸鉛加用4斗式石灰ボルドー液ヲ反當 8斗位ノ割合ニ撒布ス

收 穫 黄熟期ニ刈取リ小把トシ架乾ヲナシ調製ス

2. 豊凶考照試験

目 的

毎年同一地區ニ同一耕種法ニ依リ水稻、早、中、晚各三品種宛栽培シ所定ノ時期(大暑、二百十日、秋分、大雪)ニ其ノ生育狀況及收量等ヲ調査シ以テ其ノ年ノ豊凶ヲ窺知セントスルニアリ

設計概要 一區面積ヲ5坪トシ左記品種ヲ供用シ其他ハ一般耕種梗概ニヨル

供試品種

早 稻 朽木早生 澁浚 女澁
中 稻 珍光 關取 畿内早生 68號
晚 稻 中稿坊主 陸羽愛國 20號
 畿内早生 22號

右試験ノ所定時ニ於ケル調査成績次ノ如シ

大暑當日ニ於ケル成績

區 名	昭和 13 年 度		平 年		比 較 増 減	
	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數
早 稻 三 種 平 均	尺 2.08	本 9.7	尺 1.90	本 9.1	尺 0.18	本 0.6
中 稻 三 種 平 均	1.71	11.5	1.65	12.1	0.06	△ 0.6
晚 稻 三 種 平 均	1.77	10.8	1.65	10.2	0.12	0.7

苗代期中ノ氣候ハ播種後6月上旬迄概シテ適順ナリシモ其ノ後ハ不順且ツ插秧後モ引續キ7月15日迄降雨曇天勝ニシテ日照時少ナカリシヲ以テ生育軟弱ニシテ作況 平年ニ比シ稍々不良ナリ、而シテ本年ハ螟蟲ノ發生甚ダ多カリシモ發生期例年ニ比シ約 1週間早カリシ爲メ苗代ニ發生セシヲ以テ驅除ニ容易ナリシ爲メ本田ニ於ケル被害ハ比較的輕微ナリ

附 記

縣下一般ノ作況ハ 6月中旬以後ノ霖雨ニテ天候不良ナリシ爲メ麥二毛作地帯ノ苗代並ニ移植後ニ於テハ縣下各所ニ稻熱病發生セル爲メ作柄稍々不良ナルモノノ如シ

二百十日ニ於ケル成績

區 名	昭和 13 年 度		平 年		比 較 増 減	
	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數
早 稻 三 種 平 均	尺 4.07	本 10.9	尺 4.08	本 10.8	尺 0.01	本 0.1
中 稻 三 種 平 均	3.57	15.6	3.60	15.8	尺 0.03	△ 0.2
晚 稻 三 種 平 均	3.75	12.5	3.69	12.2	0.06	0.3

大暑以後概シテ低溫寡照ニテ一時憂慮セルモ8月5日頃ヨリ天候回復シ引續キ適順ナリシヲ以テ出穂期ニ於テ早生種ハ一兩日遅レタルモ中生種ハ平年並晩生種ハ稍々促進サレ作況平年ニ比シ大差ナシ

附 記

縣下一般ノ作柄ハ發生多カリシ稻熱病モ懸命ノ防除ニ依リ病勢衰ヘソノ他ノ病蟲害ノ發生ハ少ク天候回復ノ爲メ生育漸次回復シ平年作ニ近ヅキタルモノノ如シ

秋分ニ於ケル作況

二百十日以後モ氣候概シテ適順ナリシヲ以テ生育稍々促進シ登熟良好ニシテ作況平年ニ比シ稍々良好ナリ

附 記

縣下一般ノ作柄ハ類稻熱病ノ發生比較的少ク一部山間部ニ不良ノモノアルモ全體ヲ通ズレバ平年作ト大差ナキモノノ如シ

收 量 調 査

區 名	昭和 13 年 度		平 年		比 較 増 減	
	收 量	1 升重量	收 量	1 升重量	收 量	1 升重量
早 稻 三 種 平 均	石 2.853	匁 395	石 2.442	匁 396	石 0.411	匁 1
中 稻 三 種 平 均	3.221	401	2.854	400	0.367	1
晚 稻 三 種 平 均	3.287	408	2.948	387	0.339	6

稻作期間ノ氣候ハ播種後 6月上旬迄概シテ適順ナリシヲ以テ苗代前期ノ生育良好ナリシモ其

ノ後 7月中旬迄気温ハ平年ト大差無キモ降雨曇天持續シ日照時少ナカリシ爲メ苗代後半期及移植後ノ生育稍々軟弱ニシテ且ツ本年ハ螟蛾ノ發生甚ダシク生育ノ前途一時憂慮セラレタルモ發生期例年ニ比シ約 1週間早ク苗代期中ナリシヲ以テ驅除容易ナリシ爲メ本田ニ於ケル被害ハ輕微ナリキ、其ノ後モ概シテ低温、寡照ニシテ生育稍々不良ナテシモ 8月上旬ヨリ天候恢復シ10月上旬迄適順ナリシヲ以テ生育漸次恢復ニ向ヒ出穂期ニ於テハ早生種ハ一兩日遅レタルモ中生種ハ平年並、晩生種ハ稍々促進サレ其ノ後生育順調ニ經過シ成熟期ハ數日促進シ分蘖多カラザルモ稔實良好ニシテ 1升重量多ク層米、糞等少ナク作柄平年ニ比シ早稻ハ1割5分8厘、中稻ハ1割2分9厘、晩稻ハ1割1分5厘ヲ增收セリ

附 記

縣下一般ノ作柄ハ當場附近ハ右ト大差ナキモ東信及南信ノ一部ニハ頸稻熱病發生ノ爲メ減收甚シキ地方アリテ縣下ヲ通ズレバ平年作ト大差ナキモノノ如シ

3. 品種比較豫備試験

目 的

縣ノ内外ヨリ汎ク優良ト認ムル品種及ビ水稻育種指定試験地ヨリ配付ヲ受ケタル品種並ニ系統ニ付キ其ノ性状、收量等ヲ比較研究シ體テ良品種ヲ選出セントス

設計概要

區 制 2 區制
 耕 種 法 一般耕種梗概ニヨル
 供設品種 36品種 他ニ標準トシテ陸羽132號 畿内早生22號 信濃糯 1號ノ3品種ヲ挿入ス

4. 品種比較試験

目 的 品種比較豫備試験ノ結果優良ト認ムルモノ及從來ノ試験成績優良ナルモノニツキ更ニ本試験ニ於テ其ノ特性及收量等ヲ比較精査シテ以テ本縣ニ最適ナル優良品種ヲ選定セントス

設 計 本試験ノ糯品種比較試験ハ普通肥料區ノミトシ粳品種比較試験ハ普通肥料區及多肥料區ノ 2區ニ依リ試験ス

耕 種 法 多肥料區ハ普通肥料區ノ5割増肥ニシテ耕鋤ヲ約6寸トスル外ハ一般耕種梗概ニ同ジ

(1) 普通肥料區

區 制 2 區制
 1 區面積 5 坪

供試品種 57 品 種 (粳 33 品 種
 糯 24 品 種)

耕 種 法 一般耕種梗概ニ依ル

(2) 多肥料區

本區ハ耐肥性品種ヲ選出セントスルモノニシテ施肥量ヲ 5割増トスル他ハ普通肥料區ニ同ジ

普通肥料 (粳)

品 種 名	出穂期	成熟期	草丈	穗長	穗數	粳(反當)		1升重	玄米(反當)		1升重	反當重量	品質	玄米平均
						重量	容量		重量	容量				
栃木早生	8.12	9.28	4.42	7.4	8.8	152.2	5.20	286	125.6	3.18	394	152	下	3.06
信濃交配118號	8.15	10.24	4.02	6.8	9.8	173.8	5.80	287	154.8	3.86	400	158	中	3.48
農 林 1號	8.17	10.4	3.86	6.0	17.7	184.7	6.18	297	168.0	4.23	397	226	上	3.71
標準 陸 羽132號	8.19	10.6	3.92	6.6	11.9	191.7	6.39	296	164.2	4.08	403	210	中	3.71
奧 羽167號	8.16	10.6	4.07	7.5	12.6	182.7	6.14	295	145.2	3.63	399	198	下	3.35
信濃交配125號	8.17	10.4	3.60	6.8	12.3	186.8	6.32	292	147.5	3.69	399	181	中	3.66
信濃交配121號	8.18	10.6	3.80	6.8	9.4	179.7	6.09	297	155.9	3.89	401	178	中	3.72
陸 羽132號	8.20	10.18	3.82	6.7	12.6	181.7	6.08	300	151.9	3.78	402	164	中	3.51
信濃交配108號	8.23	10.14	3.45	6.5	10.8	191.8	6.36	301	159.8	4.00	399	190	中	3.84
信濃交配 46號	8.22	10.14	3.48	6.1	12.9	188.0	5.45	304	137.6	3.46	398	189	中	3.49
標準 畿内早生 22號	8.26	10.20	3.80	6.7	12.8	181.5	6.02	301	150.8	3.75	401	182	上	3.52
農 林 4號	8.22	10.12	3.43	6.5	13.3	168.6	5.68	297	138.7	3.43	403	198	上	3.40
附 和 2號	8.23	10.13	3.71	6.7	12.3	193.0	6.27	308	159.6	3.97	402	236	中	3.49
奧 羽191號	8.22	10.16	3.70	6.9	11.8	203.8	6.84	298	168.1	4.21	399	173	中	3.34
信濃交配 68號	8.24	10.16	4.05	6.9	11.0	192.8	6.45	299	161.7	4.03	401	178	中	3.71
信濃交配114號	8.25	10.15	3.43	6.8	13.3	193.5	6.31	306	160.0	3.96	404	187	上	3.72
昭 和 早 生	8.24	10.15	3.60	6.1	11.9	188.7	6.16	306	156.2	3.93	398	234	上	3.65
標準 畿内早生 22號	8.25	10.20	3.83	6.8	11.7	193.5	6.45	300	159.4	3.95	403	192	上	3.56
信濃交配131號	8.24	10.19	3.77	6.0	11.4	179.9	5.89	305	150.9	3.76	401	223	上	3.76
中生無芒愛國	8.23	10.17	3.80	6.7	11.0	182.5	5.94	307	152.4	3.74	408	184	下	3.73
陸羽愛國 20號	8.24	10.20	3.84	6.4	13.3	191.5	6.39	299	162.4	4.03	403	175	下	3.53
信濃交配102號	8.26	10.21	3.69	6.5	13.8	197.8	6.52	303	165.5	4.10	403	193	下	3.67
關 取	8.27	10.20	3.80	6.1	13.8	176.8	5.75	307	148.7	3.70	402	207	下	3.56
標準 畿内早生 22號	8.26	10.23	3.84	6.9	12.1	182.4	6.04	302	151.3	3.76	402	185	上	3.49
信濃交配107號	8.24	10.21	3.67	6.8	13.0	196.5	6.57	299	166.4	4.15	401	183	中	3.84
無芒愛國 75號	8.25	10.22	3.91	6.2	12.8	187.9	6.18	304	158.0	3.86	410	203	中	3.86
信濃交配 85號	8.25	10.21	3.89	6.9	11.9	184.9	6.14	301	154.0	3.83	402	178	中	3.59
信濃交配110號	8.28	10.22	3.47	5.3	12.0	183.6	6.05	295	173.7	4.33	401	226	中	3.85
信濃交配113號	8.31	10.25	3.87	6.1	12.1	168.6	5.54	299	170.9	4.25	402	252	中	3.49
信濃交配 52號	8.29	10.25	3.87	6.2	15.5	170.8	5.61	300	159.9	4.00	400	227	上	3.39
標準 畿内早生 22號	8.26	10.23	3.86	6.6	11.9	189.4	6.33	292	144.7	3.62	399	187	上	3.53
畿内早生157號	8.28	10.25	3.60	6.6	13.8	193.7	6.48	292	161.7	4.03	396	214	上	3.55
無 芒 愛 國	8.28	10.25	3.91	7.0	10.5	170.6	5.61	296	158.1	3.95	400	217	下	3.49

備 考 累年平均ハ最近三ケ年ノ平均ニシテ同欄ノ括弧内ノ數字ハ平均年數ヲ示ス

本年ノ成績ニ依レバ早稻(最初ノ栃木早生ヨリ信濃交配121號迄ノ7品種)ニ於テハ農林1號、信濃交配121號 同119號等收量多ク、中晩稻(陸羽132號ヨリ無芒愛國迄ノ 22品種)ニ於テハ信濃交配110號最多收ニシテ信濃交配113號、奧羽191號、信濃交配107號等之ニ亞グ、累年平均ニ依レバ早稻ニ於テハ農林1號收量多ク、中晩稻ニ於テハ信濃交配85號、關取、畿内早生

157號等收量多シ

多肥料(梗)

品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	粗(反當)		玄米(反當)		1 升 反當 重量	品質	玄米 年 平均 收量
						重量	容量	重量	容量			
栃木早生	8.13	9.28	4.10	7.4	9.0	152.1	5.83	285	125.6	3.18	152	3.15
信濃交配119號	8.15	10.2	4.00	7.2	10.2	181.7	6.84	286	154.8	3.86	400	3.58
農 林 1號	8.17	10.4	3.40	6.1	17.9	202.0	6.80	297	167.9	4.23	397	3.73
標準 陸 羽132號	8.20	10.7	4.88	6.8	13.9	196.0	6.61	286	164.2	4.75	408	3.65
奧 羽167號	8.16	10.6	4.10	7.9	12.4	176.8	5.99	295	145.2	3.63	399	3.57
信濃交配125號	8.17	10.6	3.67	6.8	12.8	178.9	6.13	292	147.5	3.69	399	3.43
信濃交配121號	8.18	10.7	4.10	6.7	10.0	185.7	6.25	297	156.0	3.89	401	3.89
陸 羽132號	8.22	10.1	5.14	6.7	12.8	178.5	6.16	289	149.8	3.72	402	3.49
信濃交配108號	8.24	10.1	3.85	6.5	15.6	184.9	6.29	294	156.2	3.92	398	3.75
信濃交配 46號	8.23	10.1	3.75	6.4	14.2	182.4	6.14	297	151.1	3.80	398	3.57
標準 畿内早生 22號	8.28	10.2	5.14	6.9	15.3	177.6	6.02	295	147.4	3.68	400	3.87
農 林 4號	8.23	10.1	3.65	6.8	14.7	175.5	5.70	294	145.7	3.63	401	3.45
昭 和 2號	8.23	10.2	4.00	6.5	14.5	198.3	6.61	300	165.0	4.09	408	3.44
奧 羽191號	8.23	10.2	3.84	7.4	12.7	201.5	6.94	290	166.7	4.19	398	3.73
信濃交配 68號	8.26	10.2	4.01	7.0	13.2	200.0	6.83	293	167.6	4.18	400	3.79
信濃交配114號	8.26	10.2	3.70	6.6	15.3	204.8	6.78	302	170.4	4.22	404	3.90
昭 和 早 生	8.25	10.2	3.85	6.0	16.7	208.2	6.90	302	175.7	4.34	405	3.90
標準 畿内早生 22號	8.27	10.2	4.14	7.2	16.6	184.4	6.25	295	153.7	3.83	401	3.46
信濃交配131號	8.27	10.2	4.00	6.5	13.9	190.6	6.42	297	160.6	3.98	403	3.98
中生無芒愛國	8.25	10.2	3.99	7.0	15.1	199.4	6.60	302	168.5	4.18	403	4.18
陸羽愛國 20號	8.26	10.2	4.02	6.9	14.2	193.3	6.52	296	163.4	4.04	405	3.55
信濃交配102號	8.26	10.2	3.95	6.7	13.3	202.6	6.74	300	170.2	4.21	404	3.81
關 取	8.28	10.2	4.31	6.2	18.3	184.2	6.08	309	153.9	3.84	401	3.51
標準 畿内早生 22號	8.27	10.2	5.12	7.1	15.2	176.1	5.98	295	146.6	3.67	400	3.87
信濃交配107號	8.24	10.2	3.81	7.0	14.1	183.4	6.32	290	154.3	3.86	399	3.56
無芒愛國 75號	8.25	10.2	4.07	6.6	11.8	179.9	6.04	298	151.7	3.75	404	3.75
信濃交配 85號	8.27	10.2	5.16	7.0	17.2	181.0	6.11	293	151.4	3.89	447	3.43
信濃交配110號	8.28	10.2	3.47	5.3	12.0	205.6	6.96	295	173.7	4.33	401	4.33
信濃交配113號	8.31	10.2	3.87	6.1	12.1	203.8	6.82	299	170.9	4.25	402	4.25
信濃交配 52號	8.29	10.2	3.87	6.2	15.5	193.4	6.43	300	159.9	3.99	400	3.67
標準 畿内早生 22號	8.26	10.2	3.86	6.6	11.9	174.6	5.97	292	144.7	3.62	399	3.44
畿内早生157號	8.28	10.2	3.60	6.6	13.8	195.5	6.69	292	161.7	4.08	396	3.51
無 芒 愛 國	8.28	10.2	3.91	7.0	10.5	147.9	6.34	296	158.1	3.95	400	3.57

備 考 累年平均ハ最近三ヶ年平均ニシテ同欄ノ括弧内ノ數字ハ平均年數ヲ示ス
 本年ノ成績ニ依レバ早稻(最初ノ栃木早生ヨリ信濃交配121號迄ノ7品種)ニ於テハ農林1號
 信濃交配121號等收量多ク、中晚稻(陸羽132號ヨリ無芒愛國迄ノ22品種)ニ於テハ昭和早生、
 信濃交配110號、同113號等多收ナリ、累年成績ニ依レバ早稻ニ於テハ農林1號最多收ニシテ、
 中晚稻ニ於テハ奥羽191號、信濃交配52號等多收ナリ

普通肥料(糯)

品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	粗(反當)		玄米(反當)		1 升 反當 重量	品質	玄米 年 平均 收量
						重量	容量	重量	容量			
信濃交配糯36號	8.16	10.5	3.78	7.2	11.9	169.3	5.98	283	138.5	3.47	399	3.04
清水糯	8.16	10.7	4.39	8.7	10.6	155.4	5.76	269	125.2	3.21	390	2.99
信濃交配糯34號	8.19	10.8	3.58	6.8	12.7	173.5	6.24	278	139.3	3.50	398	3.20
標準 信濃糯 1號	8.24	10.1	3.69	7.2	13.2	170.3	6.85	268	168.5	3.74	392	2.97
福 島 糯	8.18	10.1	4.08	8.2	9.7	172.9	6.24	277	139.1	3.58	388	3.23
秋 田 糯 7號	8.20	10.1	4.09	7.4	13.2	188.1	6.85	274	155.0	3.88	400	3.36
信濃交配糯27號	8.22	10.1	3.86	7.1	11.9	177.7	6.44	276	145.9	3.68	397	3.39
信濃糯 2號	8.24	10.2	4.08	7.6	11.8	160.9	5.81	277	129.6	3.30	394	3.02
信濃交配糯38號	8.25	10.2	3.87	6.4	11.0	184.0	6.57	280	152.4	3.83	397	3.83
信濃交配糯40號	8.27	10.2	3.89	6.6	13.9	181.8	6.70	271	148.3	3.72	398	3.72
標準 信濃糯 1號	8.23	10.1	3.63	7.1	11.7	176.7	6.54	270	143.2	3.65	392	3.24
信濃交配糯41號	8.26	10.2	3.37	6.2	12.3	192.1	6.85	280	139.2	3.99	399	3.99
埼 玉 糯	8.27	10.2	3.49	6.5	15.3	189.9	6.79	279	155.1	3.86	402	3.38
昭 和 糯	8.27	10.2	5.03	7.1	12.0	179.5	6.55	274	147.7	3.68	401	3.25

備 考 累年平均ハ最近三ヶ年平均ニシテ同欄ノ括弧内ノ數字ハ平均年數ヲ示ス
 本年ノ成績ニ依レバ埼玉糯、秋田糯7號、信濃交配糯38號等多收ナリ、累年平均ニ於テハ信
 濃交配糯27號、埼玉糯、秋田糯7號等收量多シ

5. 有望品種特性検定試験

目 的 品種比較試験ノ結果優良ト認メラルルモノニ付施肥量及播種期、移植期ヲ異ニシテ
 ノ優劣ヲ比較精査セントス

設 計

本試験ハ減肥(金肥各肥料ニ付5割減)區、標準肥區、増肥(金肥各肥料ニ付5割増)區、晩播
 (5月25日)晩植(7月10日)區ノ4區ニ分ツ

耕 種 法 施肥量及播種期、移植期ヲ除クノ外ハ一般耕種梗概ニヨル

區 制 2 區 制

1區面積 5 坪

供試品種 2 東北25號、信交52號

試験成績次ノ如シ

減 肥 區

品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	粗(反當)		玄米(重量)		1 升 反當 重量	品質	
						重量	容量	重量	容量			
陸 羽 132號	8.19	10.5	3.61	6.6	11.1	159.0	5.32	299	131.7	3.28	403	166
東 北 25號	8.20	10.9	3.52	7.3	10.6	154.7	5.05	306	128.0	3.19	402	199
陸 羽 愛 國 20號	8.23	10.1	3.48	7.0	10.2	171.2	5.60	306	141.5	3.49	405	137
畿 内 早 生 22號	8.24	10.1	3.61	7.0	11.2	168.2	5.55	303	138.5	3.43	404	156
信 交 52號	8.26	10.1	3.13	6.3	12.0	151.9	4.94	308	125.6	3.10	405	164
畿 内 早 生 157號	8.27	10.1	3.37	6.8	14.0	164.7	5.41	305	137.5	3.42	403	145

標準肥區

品 種 名	出穗期	成熟期	草丈			穗長		稔數		粗(反當)		1升	玄米(反當)		1升	品質
			尺	寸	本	貫	石	匁	貫	石	匁	重量	重量	容量	重量	
陸羽 132號	8.19	10.12	3.77	6.4	13.8	175.9	5.88	299	147.2	3.66	402	198	上			
東 北 25號	8.20	10.15	3.58	6.8	11.5	172.1	5.62	307	142.9	3.56	402	215	上下			
陸羽 愛國 20號	8.23	10.18	3.58	6.6	11.5	181.9	6.00	303	153.4	3.80	404	150	下			
畿内 早生 22號	8.25	10.20	3.79	6.8	13.2	183.4	6.01	305	151.8	3.78	402	167	下			
信交 52號	8.27	10.25	3.22	6.5	13.2	168.6	5.52	306	139.1	3.45	403	185	上			
畿内 早生 157號	8.27	10.25	3.54	6.8	14.3	186.7	6.18	302	153.9	3.82	403	168	上			

增肥區

品 種 名	出穗期	成熟期	草丈			穗長		稔數		粗(反當)		1升	玄米(反當)		1升	品質
			尺	寸	本	貫	石	匁	貫	石	匁	重量	重量	容量	重量	
陸羽 132號	8.21	10.18	4.00	6.8	13.3	192.3	6.61	291	160.9	4.00	403	170	上			
東 北 25號	8.22	10.21	3.93	6.7	14.4	203.5	6.83	298	170.9	4.25	403	182	上下			
陸羽 愛國 20號	8.25	10.23	3.90	7.0	15.2	197.3	6.62	298	167.0	4.14	404	186	下			
畿内 早生 22號	8.26	10.25	4.09	6.4	14.1	189.7	6.43	295	160.1	3.99	402	197	上			
信交 52號	8.28	10.28	3.55	6.8	19.4	200.3	6.70	299	165.9	4.17	398	223	上			
畿内 早生 157號	8.29	10.28	3.68	6.7	17.5	163.9	5.54	296	136.7	3.41	402	159	上			

晚播晚植區

品 種 名	出穗期	成熟期	草丈			穗長		稔數		粗(反當)		1升	玄米(反當)		1升	品質
			尺	寸	本	貫	石	匁	貫	石	匁	重量	重量	容量	重量	
陸羽 132號	8.26	10.20	3.81	6.6	14.1	183.6	6.14	299	154.1	3.83	403	154	上			
東 北 25號	8.27	10.21	3.59	6.9	15.7	187.0	6.22	301	154.9	3.86	402	173	上			
陸羽 愛國 20號	8.28	10.25	3.71	6.8	14.7	186.7	6.25	299	158.1	3.91	404	161	下			
畿内 早生 22號	9. 1	10.23	3.70	6.8	13.9	180.0	6.06	297	149.1	3.72	401	181	上			
信交 52號	8.31	11. 23	2.27	6.9	16.1	177.3	5.91	300	146.8	3.65	403	166	上			
畿内 早生 157號	9. 3	11. 23	2.47	6.8	16.1	173.3	6.03	288	142.3	3.59	396	188	上			

6. 新品種育成

目的 人工交配ニ依リ優良ナル新品種ヲ育成セントス

本年度ニ於ケル雜種各代ニ於ケル組合セ及系統數次ノ如シ

雜種第一代 組合數 15

奥羽 189號×北陸 12號

陸羽 132號×農林 4號

栃木 早生×万太郎米

農林 1號×万太郎米

栃木 早生×奥羽 166號

農林 4號×信濃交配 57號

農林 1號×信濃交配 57號

信濃交配 57號×栃木 早生

坊主 玉川×農林 4號

農林 4號×福島 糯

農林 4號×鶴ノ糯

無芒明神糯×福島 糯

福島 糯×陸羽 132號

畿内 早生 67號×農林 1號

福島 糯×鶴ノ糯

雜種第二代 組合數 13

昭和 2號×奥羽 47號

農林 1號×昭和 2號

關 取×昭和 2號

奥羽 189號×昭和 2號

農林 4號×昭和 2號

北陸 12號×陸羽 132號

奥羽 191號×農林 4號

九 重×陸羽 132號

昭和 糯×埼玉 糯

埼玉 糯×福島 糯

埼玉 糯×農林 4號

福島 糯×陸羽 132號

福島 糯×昭和 2號

雜種第三代 組合數 9

信濃交配 52號×初 光

龜 治×信濃交配 46號

信濃交配 52號×農林 1號

信濃交配 51號×陸羽 132號

福島 糯×農林 1號

信濃糯 1號×信濃糯 2號

信濃交配 糯 11號×昭和 糯

武 藏×農林 1號

雜種第四代 組合數 9

陸羽 132號×武 藏

畿内 早生 69號×農林 1號

農林 1號×無芒 愛國

關 取×銀坊主 中生

武 藏×昭和 糯

信濃糯 1號×武 藏

信濃糯1號×農林1號
 信濃糯2號×農林1號
 農林1號×昭和糯
 雜種第5代 組合數9

畿内早生67號×畿内早生22號
 信濃早生×畿内早生69號
 龜治×畿内早生22號
 龜治×畿内早生69號
 管島×珍光
 大正糯×畿内早生69號
 昭和糯×珍光
 大正糯×信濃早生
 昭和糯×畿内早生69號

雜種第6代 組合數14

陸羽132號×秋田1號
 農林1號×秋田1號
 陸羽愛國20號×農林1號
 畿内早生69號×奥羽2號
 穀良都×信濃交配52號
 坊主玉川×農林1號
 東京糯×信濃糯1號
 東京糯×畿内早生157號
 東京糯×大正糯
 昭和糯×信濃糯1號
 珍光×小針糯
 大正糯×信濃糯1號
 大正糯×昭和糯
 信濃糯1號×小針糯

雜種第7代 組合數3

關取×陸羽132號
 奥羽1號×關取
 信濃2號×關取

新育成品種(信濃交配)比較試験

目的 當場=於テ育成セル優良系統ニ付テ其ノ性狀、收量等ニツキ比較研究シ總テ品種比較試験ニ編入スベキ本縣ニ適スル優良系統ヲ選出セントス
 設計

耕種法 當場標準耕種法

苗代1區坪數 3.5尺×6.3尺

本田1區坪數 5坪(6尺×5間)

區制 2地制
 供試品種 8系統
 標準 畿内早生22號
 供試系統

番號	品 種 名	摘 要
1	信濃交配117號	道後早生×畿内早生157號
2	同 128號	珍光×陸羽132號
3	同 129號	關取×武藏36號
4	同 132號	同
標準	畿内早生 22號	
5	信濃交配132號	畿内早生67號×關取25號
6	同 134號	關取×信濃交配14號
7	同 135號	信濃2號×畿内早生68號
8	同 136號	信濃2號×中稿坊主14號

試験成績次ノ如シ

品 種 名	出穂期	成熟期	草丈	穗長	穗數	粳(反當)		玄米(反當)		反當重量	品質		
						重量	容量	重量	容量				
信濃 117號	8.26	10.23	8.64	6.4	13.4	180.0	5.93	303	149.9	3.72	402	188	中
同 128號	8.19	10.13	2.62	6.4	14.4	183.6	6.27	301	155.7	3.90	399	200	中
同 129號	8.29	10.16	3.70	6.4	13.9	183.1	6.06	302	151.0	3.75	403	223	中
同 132號	8.25	10.20	3.68	6.3	14.0	181.4	6.02	301	152.7	3.80	402	194	中
標準 畿内早生 22號	8.26	10.22	3.82	6.7	12.9	186.3	6.22	299	153.9	3.82	402	178	上
信濃交配 132號	8.23	10.22	3.73	6.4	15.4	188.5	6.22	303	156.6	3.91	400	183	中
同 134號	8.24	10.20	3.51	6.5	14.7	193.4	6.61	303	165.8	4.10	404	171	上
同 135號	8.19	10.15	3.47	6.5	14.8	184.4	6.15	300	152.9	3.80	402	208	上
同 136號	8.20	10.16	3.66	6.4	11.4	181.7	6.06	300	151.5	3.77	401	220	中

備考 本年ノ成績ニ依レバ信濃交配134號最多收ニシテ同132號同128號等相亞ケリ

7. 保 存 品 種

水稻品種ヲ保存シ品種改良ノ資ニ供セントスルモノニシテ本年度栽培セル品種數次ノ如シ

粳 213

糯 48

畸型稻 32

8. 水陸苗比較試験

目的 水苗代及陸苗代ニ於テ養成セル苗ノ生育狀況ニ於ケル差異並ニ收量品質等ニ及ボス影響ヲ知ラントス

設 計

試驗區別

水 苗 代 當場普通水苗代ニテ養成ス

陸 苗 代 一般陸苗養成法ニ準ジテ養成ス

供試品種 關 取

播種量 坪當 2合

播種期 水苗代 5月15日

陸苗代 4月25日

區 制 2 區 制

耕種法 一般耕種概ニヨル

試驗成績次ノ如シ

區 名	出穂期	成熟期	草丈	穂長	穂數	粃 (反當)			玄米 (反當)			藁重量
						重量	容量	1升重量	重量	容量	1升重量	
水 苗	8.24	10.12	4.02	6.6	16.0	172.8	5.57	310	143.8	3.57	408	230
陸 苗	8.23	10.12	3.95	6.5	15.2	172.0	5.55	310	142.3	3.59	397	232

9. 播種期、移植期對株數關係試驗

目 的

播種期、移植期ヲ異ニスル場合植付株數ノ如何ガ生育收量ニ及ボス影響ヲ明カニシ以テ之等ノ最良ノ組合セヲ知ラントス

試驗區別

區名	株 數	播 種 期	移 植 期
1	4 5 株	5月10日	6月25日
2	6 0 株	同	同
3	7 2 株	同	同
4	8 0 株	同	同
5	100 株	同	同
6	4 5 株	5月15日	6月30日
7	6 0 株	同	同
8	7 2 株	同	同
9	8 0 株	同	同
10	100 株	同	同
11	4 5 株	5月20日	7月 4日
12	6 0 株	同	同
13	7 2 株	同	同
14	8 0 株	同	同
15	100 株	同	同

本田 1 區面積 五坪

區 制 1 區 制

供試品種 畿内早生22號

耕種法 一般耕種法ニヨル

試驗成績次ノ如シ

區 名	出穂期	成熟期	草 丈	穂 長	穂 數	玄 米 (反當)			藁重量
						重 量	容 量	1升重量	
1	8.23	10.18	3.90	6.7	12.8	143.4	3.58	401	191
2	8.22	10.17	3.92	6.7	13.1	154.8	3.90	397	213
3	8.22	10.16	3.89	6.6	14.2	166.3	4.18	398	212
4	8.22	10.16	3.88	6.6	15.3	156.6	3.90	402	213
5	8.22	10.15	3.89	6.5	14.8	156.5	3.90	401	205
6	8.24	10.18	3.92	6.7	13.1	144.4	3.60	401	191
7	8.24	10.17	3.89	6.6	13.0	155.2	3.87	401	226
8	8.23	10.17	3.92	6.6	14.1	155.2	3.90	398	231
9	8.22	10.17	3.80	6.5	14.0	159.8	3.99	401	216
10	8.22	10.16	3.82	6.5	15.0	156.6	3.92	399	211
11	8.26	10.20	3.78	6.6	13.5	144.1	3.62	398	183
12	8.25	10.20	3.77	6.6	14.2	142.5	3.59	397	193
13	8.25	10.19	3.82	6.6	15.0	134.2	3.87	398	194
14	8.24	10.19	3.85	6.6	13.8	139.7	3.48	402	191
15	8.23	10.18	3.78	6.5	13.2	127.6	3.18	401	182

備考 本年ノ成績ニ依レバ第三區五月一〇日播、六月二五日植、七二株區最多收ニシテ第九區五月一五日播、六月三〇日植、八〇株區之レニ次グ

10. 採種地ニ依ル變異試驗

目 的 採種地(平坦部採種及高寒冷地採種)ヲ異ニスル場合其ノ生育、收量ニ及ボス影響ヲ知ラントス

試驗區別

區名 採種地

1 諏訪郡原村冷害試驗地

2 上水内郡柏原冷害試驗地

3 當 場

4 下水内郡柳原村字關谷

5 上水内郡戸隠村字寶光社

本田 1 區面積 一〇坪

區 制 2 區 制

供試品種 陸羽132號

耕種法 一般耕種法ニヨル

試験成績次ノ如シ

區名	出穂期 月日	成熟期 月日	草丈 尺	穂長 寸	穂數 本	玄米(反當)			藁重量 貫
						重量 貫	容量 石	1升重量 匁	
1	8.21	10.10	3.79	7.1	10.4	158.6	3.94	403	153
2	8.20	10.10	3.84	6.9	11.9	162.7	4.06	401	157
3	8.22	10.13	3.81	7.0	12.5	159.9	3.97	403	153
4	8.21	10.10	3.98	6.9	12.7	163.2	4.04	404	154
5	8.21	10.10	3.95	6.7	12.4	158.4	3.95	401	148

備考 本年ノ成績ニ依レバ第4區下水内郡柳原村産最多收ニシテ第2區上水内郡柏原冷害試験地産之ニ次グ

11. 小麥作跡地ニ於ケル施肥量試験

目的 麥作跡地ニ於ケル施肥量ノ如何ガ生育、收量ニ及ボス影響ヲ知ラントス

試験區別

一、倍量區

二、五割増肥區

三、標準施肥區

四、五割減肥區

本田一區面積 一〇坪

區制 一區制

借試品種 關取

前作小麥 伊賀筑後オレゴン

其ノ他 一般耕種法ニ依ル

試験成績次ノ如シ

區名	出穂期 月日	成熟期 月日	草丈 尺	穂長 寸	穂數 本	玄米(反當)			藁重量 貫
						重量 貫	容量 石	1升重量 匁	
1.倍量區	8.24	10.10	4.20	6.6	15.7	180.7	4.49	403	277
2.五割増肥區	8.24	10.10	4.12	6.6	16.2	184.6	4.60	401	242
3.標準施肥區	8.23	10.8	3.98	6.5	12.8	170.5	4.24	402	216
4.五割減施肥區	8.22	10.7	3.90	6.4	11.2	130.4	3.25	401	169

備考 本年ノ成績ニ依レバ五割増肥區最多收ニシテ倍量區之ニ次グ

委託試験

1. 水稻品種地方適否試験

目的 當場育成ニ係ル優良新品種並ニ從來試験ノ結果優良ト認ムル品種ニツキ原種決定前之ガ査定ノ意味ニ於テ地方ニ於ケル適否ヲ試験シ以テ原種決定ノ參考ニ供シ併セテ配付原種ノ地方ニ依ル適否並ニ之ガ地方的變異ヲモ研究シ原種配付ノ參考ニ資セシ爲メ縣下ニ左記六ヶ所ヲ決定シテ委託試験ヲ行ヘリ

南佐久郡野澤町

北佐久郡春日村

小縣郡和田村

上伊那郡伊北農商學校

東筑摩郡島立村

下高井郡下高井農學校

試験地ニ於ケル成績次ノ如シ

南佐久郡野澤町

品種名	出穂期	成熟期	草丈	穂長	穂數	重量	容量	1升重量	層米重	糝重	品質
1 奥羽 191 號	—	—	—	—	—	143.6	3.68	390	275	1.850	上
2 東北 25 號	—	—	—	—	—	162.1	4.09	397	163	.500	上
3 昭和 2 號	—	—	—	—	—	153.8	3.90	394	175	1.150	上
標準1 畿内早生22號	—	—	—	—	—	148.9	3.84	398	138	.350	上
4 中生無芒愛國	—	—	—	—	—	141.2	3.53	399	075	.450	中
5 陸羽愛國 20 號	—	—	—	—	—	127.4	3.24	394	100	1.350	下
6 關取	—	—	—	—	—	141.0	3.60	392	150	1.350	上
7 信交 52 號	—	—	—	—	—	148.4	3.80	391	138	.450	上
標準2 畿内早生22號	—	—	—	—	—	146.1	3.71	394	225	1.200	上
8 信交 85 號	—	—	—	—	—	141.7	3.63	391	138	.205	中
9 同 102 號	—	—	—	—	—	147.1	3.74	393	214	.750	上
10 同 107 號	—	—	—	—	—	140.4	3.58	392	105	1.650	上
11 信交糯 27 號	—	—	—	—	—	134.0	3.48	385	225	1.650	中
12 信濃糯 2 號	—	—	—	—	—	103.4	2.71	382	350	1.200	中

備考 本年ノ成績ニ依レバ東北二五號最モ多收ニシテ昭和二號信交五二號等順次相亞ゲリ

北佐久郡春日村

區	名	出穗期	成熟期	草丈	穂長	穂數	重量	容量	一升重	屑米重	品質
		月日	月日	尺	寸	本	實 石	石	匁	匁	
1	農林 1 號	8.8	10.7	3.46	5.9	18.0	133.6	3.38	395	5.045	上
2	陸羽 132 號	8.9	10.8	3.91	5.9	17.0	136.1	3.43	397	3.429	中
3	奥羽 191 號	8.13	10.18	3.69	7.0	17.0	152.5	3.89	392	5.800	中
	標準1 陸羽愛國20號	8.14	10.15	3.68	6.1	14.5	139.2	3.51	397	5.211	下
4	農林 4 號	8.10	10.10	3.52	6.4	13.2	127.5	3.20	398	11.164	上
5	東北 25 號	8.11	10.8	3.86	6.4	14.7	168.7	4.23	399	8.458	上
6	昭和 早生	8.17	10.12	3.87	6.3	15.5	140.1	3.50	400	7.002	上
7	昭和 2 號	8.16	10.14	3.83	6.0	16.0	132.5	3.32	399	6.642	上
	標準2 陸羽愛國20號	8.14	10.15	3.89	6.0	15.6	136.1	3.43	397	5.144	下
8	中生無芒愛國	8.15	10.13	3.84	6.1	14.1	147.2	3.70	398	3.699	下
9	關 取	8.17	10.18	4.10	6.7	14.8	136.8	3.42	400	11.820	上
10	畿内 早生22號	8.14	10.13	3.84	6.5	13.9	125.4	3.21	391	8.020	上
11	信交 糯 27 號	8.13	10.14	4.09	5.9	14.5	121.4	3.10	392	7.730	中
12	信濃 糯 1 號	8.11	10.12	4.23	7.0	15.4	126.2	3.26	386	5.193	中

備考 本年ノ成績ニ依レバ東北二五號最モ多收ニシテ奥羽191號中生無芒愛國等順次相亞グリ

小縣郡和田村

品	種	名	出穗期	成熟期	草丈	穂長	穂數	重量	容量	一升重	屑米重	品質	
			月日	月日	尺	寸	本	實 石	石	匁	匁		
1	栃木	早生	8.9	10.1	3.96	6.8	13	128.3	3.26	394	488	2.040	下
2	信交	119 號	8.10	9.29	3.44	5.8	14	114.3	2.90	394	464	1.890	中
3	農林	1 號	8.16	10.3	3.10	5.8	26	149.3	3.78	395	756	2.450	上
	標準1	陸羽132號	8.17	10.8	3.50	5.8	18	115.0	2.86	402	300	990	上
4	農林	4 號	8.18	10.6	3.00	6.5	22	94.2	2.39	394	239	2.470	上
5	奥羽	167 號	8.14	10.13	3.50	6.5	17	117.5	2.98	395	238	1.930	中
6	奥羽	191 號	8.18	10.10	3.28	6.5	17	131.0	3.39	386	1.018	2.170	上
	標準2	陸羽132號	8.17	10.9	3.47	5.7	20	118.5	3.01	394	600	3.040	上
7	東北	25 號	8.18	10.8	3.36	6.5	19	163.6	4.13	376	826	1.340	上
8	中生無芒愛國		8.22	10.10	3.72	6.5	19	142.4	3.64	393	424	2.390	中
9	陸羽愛國	20 號	8.25	10.11	3.53	6.6	21	139.7	3.59	389	1.078	10.120	下
10	信交	糯 36 號	8.12	9.30	3.40	6.0	17	80.5	2.05	392	308	6.90	上
11	福島	糯	8.15	10.2	3.40	6.0	17	83.5	2.15	389	322	1.420	中

備考 本年ノ成績ニ依レバ東北25號最モ多收ニシテ農林1號中生無芒愛國等順次相亞グリ

上伊那郡伊北農高學校

品	種	名	出穗期	成熟期	草丈	穂長	穂數	重量	容量	一升重	屑米重	品質	
			月日	月日	尺	寸	本	實 石	石	匁	匁		
1	奥羽	191 號	8.10	10.5	3.30	6.7	15.0	121.9	3.05	399	458	1.950	中
2	東北	25 號	8.9	10.5	3.41	6.5	16.2	102.4	2.58	397	129	870	上
3	昭和	2 號	8.11	10.5	3.54	5.7	17.9	137.7	3.40	405	340	450	上
	標準1	畿内早生22號	8.12	10.5	3.62	6.9	17.6	138.1	3.44	402	1.374	1.150	上
4	中生無芒愛國		8.17	10.10	3.68	6.0	18.3	141.4	3.51	403	175	1.080	下
5	陸羽愛國	20 號	8.15	10.10	3.25	6.0	16.8	153.5	3.78	406	662	1.280	下
6	關 取		8.14	10.5	3.59	6.1	24.5	172.2	4.29	401	644	1.340	上
7	信交	52 號	8.17	10.5	3.20	5.9	19.5	97.5	2.43	401	122	740	上
	標準2	畿内早生22號	8.13	10.5	3.57	6.6	17.5	121.7	3.02	402	757	1.000	上
8	信交	85 號	8.15	10.5	3.35	6.7	17.5	152.6	3.80	401	285	1.250	中
9	信交	102 號	8.15	10.5	3.26	5.7	15.0	162.2	4.05	401	405	.810	中
10	信交	107 號	8.12	10.5	3.76	7.3	17.0	143.4	3.58	401	179	1.180	中
11	信交	糯 27 號	8.9	10.1	3.50	6.9	16.9	140.6	3.54	397	443	2.190	中
12	信濃	糯 2 號	8.9	10.1	3.65	6.8	17.2	115.1	2.92	394	511	2.850	中

備考 本年ノ成績ニ依レバ關取最モ多收ニシテ信交102號信交85號等順次相亞グリ

東筑摩郡島立村

品	種	名	出穗期	成熟期	草丈	穂長	穂數	重量	容量	一升重	屑米重	品質	
			月日	月日	尺	寸	本	實 石	石	匁	匁		
1	奥羽	191 號	8.22	—	3.63	6.9	17.5	103.6	2.66	389	599	2.500	中
2	東北	25 號	8.22	—	3.58	6.5	20.6	147.1	3.71	397	740	657	中
3	昭和	2 號	8.20	—	3.69	6.2	16.7	122.6	3.08	398	462	1.971	中
	標準1	畿内早生22號	8.21	—	3.79	6.4	18.7	114.6	2.92	392	1.753	3.638	上
4	中生無芒愛國		8.20	—	3.89	6.5	17.8	131.4	3.34	394	500	3.760	下
5	陸羽愛國	20 號	8.23	—	3.76	6.7	19.7	120.8	3.06	395	626	2.886	下
6	關 取		8.21	—	3.71	6.2	18.5	126.9	3.20	397	319	.103	上
7	信濃	交配 52 號	8.24	—	3.53	6.6	19.4	146.6	3.66	401	457	77	上
	標準2	畿内早生22號	8.21	—	3.79	6.4	18.7	—	—	—	—	—	—
8	信濃	交配 85 號	8.19	—	3.62	6.9	19.2	123.7	3.34	385	1.337	1.832	中
9	信濃	交配 102 號	8.20	—	3.84	6.4	18.4	133.5	3.36	397	1.513	120	中
10	信濃	交配 107 號	8.20	—	3.52	6.3	16.5	101.0	2.55	396	1.531	5.423	中
11	信濃	交配糯 27 號	8.19	—	3.61	6.7	17.6	104.1	2.65	393	1.987	2.548	中
12	信濃	糯 2 號	8.23	—	3.93	7.1	16.1	101.0	2.60	388	.911	2.057	中

備考 本年ノ成績ニ依レバ東北25號最モ多收ニシテ信濃交配52號中生無芒愛國等順次相亞グリ

下高井郡下高井農學校

品 種 名	出 穗 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	重 量	玄 米		1 升 重	屑 米 重	糶 重	品 質
							容 量	容 量				
1 奥 羽 191 號	8.23	10.21	3.80	6.7	18.3	116.9	2.91	402	218	3.060	中	
2 東 北 25 號	8.24	10.18	3.89	7.1	18.0	102.7	2.53	406	126	1.780	上	
3 昭 和 2 號	8.24	10.17	3.66	6.2	18.6	119.1	2.93	406	293	2.060	上	
標準1 畿内早生22號	8.22	10.15	3.56	6.4	16.5	104.7	2.60	403	909	3.600	上	
4 中 生 無 芒 愛 國	8.27	10.29	3.40	6.3	15.2	99.5	2.44	408	487	1.700	下	
5 陸 羽 愛 國 20 號	8.25	10.18	3.67	6.4	15.3	99.5	2.26	405	113	1.570	下	
6 關 取	8.24	10.22	3.68	6.2	17.3	94.3	2.35	406	117	1.650	上	
7 信 濃 交 配 52 號	8.26	10.26	3.28	6.2	18.2	116.7	2.86	408	143	1.055	上	
標準2 畿内早生22號	8.21	10.18	3.13	6.6	16.4	95.4	2.33	409	116	1.640	上	
8 信 濃 交 配 85 號	8.24	10.27	3.66	7.2	18.7	110.1	2.73	403	342	.585	上	
9 信 交 102 號	8.26	10.23	3.22	6.4	14.1	113.2	2.80	404	280	1.950	上	
10 信 交 107 號	8.27	10.22	3.25	6.2	17.6	115.2	2.33	407	283	1.872	中	
11 信 交 糯 27 號	8.27	10.20	3.47	6.5	11.6	53.6	1.36	393	477	1.172	上	
12 信 濃 糯 2 號	8.26	10.20	3.34	6.7	15.7	54.4	1.36	399	102	1.009	中	

備考 本年ノ成績ニ依レバ昭和2號最モ多收ニシテ奥羽191號信濃交配52號等順次相亞グリ

2. 冷害地委託試験

目 的 冷害地ニ於ケル原種次定ノ参考ニ供シ併セテ配付原種ノ地方ニ依ル適否並ニ之等地方ニ於ケル栽培法ノ改良ニ資セン爲メ之等ニ關スル試験ヲモ併セ行フ

試験地名

- 南佐久郡北牧村
 - 北佐久郡小沼村
 - 下伊那郡且開村
 - 西筑摩郡開田村
 - 北安曇郡神城村
 - 更級郡大岡村
 - 下水内郡柳原村
- 試験成績次ノ如シ

南佐久郡北牧村

品 種 名	出 穗 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	重 量	玄 米		1 升 重	屑 米 重	糶 重	品 質
							容 量	容 量				
1 栃 木 早 生	8.17	—	3.88	7.0	9.3	90.3	2.26	399	1.226	1.450	下	
2 信 交 119 號	8.16	—	3.46	6.0	12.0	121.0	3.01	402	376	2.050	中	
標準1 陸羽132號	8.20	—	3.05	5.0	14.5	141.5	3.56	398	1.067	2.550	中	
3 農 林 1 號	8.19	—	2.77	5.0	20.5	143.0	3.60	397	180	1.100	上	
4 奥 羽 167 號	8.17	—	3.56	6.5	13.4	132.4	3.33	398	449	2.200	中	
標準2 陸羽132號	8.22	—	3.35	6.0	17.7	145.9	3.66	399	457	2.400	中	
5 農 林 4 號	8.19	—	2.95	6.2	14.8	118.5	3.00	395	900	3.150	中	
6 信 交 糯 36 號	8.15	—	3.45	6.1	14.8	139.7	3.48	402	348	1.200	中	
7 福 島 糯	8.17	—	3.80	7.0	12.8	129.4	3.27	396	164	2.300	中	

備考 本年ノ成績ニ依レバ陸羽132號最モ多收ニシテ農林1號奥羽167號等順次相亞グリ

栽培法試験

苗代播種量試験

區 名	出 穗 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	玄 米		1 升 重	屑 米 重	糶 重
						重 量	容 量			
1. 2 合 播	8.19	—	3.19	5.5	15.2	132.7	3.34	396	334	2.300
2. 3 合 播	8.19	—	3.02	5.5	13.8	136.4	3.43	398	171	2.300
3. 4 合 播	8.19	—	3.28	6.3	16.0	125.0	3.13	400	1.094	2.200
4. 5 合 播	8.21	—	3.15	6.0	14.8	120.5	3.03	398	1.060	2.100

備考 本年ノ成績ニ依レバ三合播區最モ多收ニシテ2合播區之ニ亞グ

坪當株數試験

區 名	出 穗 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	玄 米		1 升 重	屑 米 重	糶 重
						重 量	容 量			
1 72 株	8.18	—	3.26	6.0	16.2	136.9	3.45	397	431	2.400
2 80 株	8.19	—	3.15	5.6	17.8	131.8	3.32	397	664	2.300
3 90 株	8.21	—	3.03	5.8	13.1	132.3	3.34	396	501	2.300
4 100 株	8.25	—	2.86	5.4	13.4	130.2	3.30	395	495	2.300

備考 本年ノ成績ニ依レバ72株區最モ多收ニシテ90株區之ニ亞グ

施肥量試験

區 名	出 穗 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	玄 米		1 升 重	屑 米 重	糶 重
						重 量	容 量			
1 堆肥200貫 7號肥料10貫區	8.19	—	2.93	5.4	13.2	120.8	3.03	399	303	2.100
2 堆肥200貫 7號肥料15貫區	8.21	—	2.99	6.1	14.0	122.3	3.08	397	308	2.100
3 在 來 區	8.25	—	3.48	6.0	15.8	141.9	3.60	394	1.441	3.900

備考 本年ノ成績ニ依レバ在來法區最モ多收ニシテ堆肥200貫7號肥料15貫區之ニ亞グ

北佐久郡小沼村

品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	玄 米		1 升 重	屑 米 重	糶 重	品 質
						重 量	容 量				
1 栃 木 早 生	8.15	9.5	3.30	5.8	12	90.0	2.80	392	192	1.600	上
2 信濃交配119號	8.20	9.15	2.82	5.9	14	117.4	2.98	395	1.000	1.000	中
標準1 栃 木 早 生	8.15	9.5	3.38	6.1	11	105.5	2.69	392	680	400	下
3 農 林 1 號	8.22	9.24	2.46	5.8	19	126.2	3.20	395	272	2.200	上
4 同 4 號	8.23	9.28	2.36	5.7	17	94.9	2.40	396	413	1.700	中
標準2 栃 木 早 生	8.15	9.5	3.55	5.8	12	105.1	2.68	392	678	.400	下
5 奥 羽 167 號	8.18	9.10	3.14	5.9	14	102.1	2.58	396	219	1.800	上
6 陸 羽 132 號	8.27	9.28	2.86	5.6	18	112.6	2.85	395	243	2.000	中
7 信濃交配糯36號	8.18	9.10	2.99	5.8	17	108.7	2.73	398	477	2.000	上
8 福 島 糯	8.19	9.10	3.04	6.1	13	103.7	1.80	391	161	.700	下

備考 本年ノ成績=依レバ農林1號最モ多收=シテ信濃交配119號陸羽132號等順次相亞グリ
苗代播種量試験

區 名	出 穂 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	玄 米		1 升 重	屑 米 重	糶 重
						重 量	容 量			
1 2 合 播	8.15	9.5	3.70	6.0	12	98.2	2.51	391	420	3.400
2 3 //	8.15	9.5	3.73	6.2	13	111.1	2.84	394	237	3.800
3 4 //	8.15	9.5	3.60	6.2	12	111.1	2.82	394	473	3.800
4 5 //	8.15	9.5	3.47	6.0	13	102.4	2.61	393	436	1.800
5 在 來 區 8 合 播	8.16	9.7	3.53	6.1	14	104.6	2.63	398	443	1.800

備考 本年ノ成績=依レバ三合播區最モ多收=シテ四合播區之=亞グリ
坪當植付株數試験

區 名	出 穂 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	玄 米		1 升 重	屑 米 重	糶 重
						重 量	容 量			
1 72 株	8.15	9.5	3.83	6.5	12	106.9	2.71	394	449	1.000
2 80 株	8.15	9.5	3.89	6.5	13	106.9	2.74	390	1.020	3.800
3 90 株	8.15	9.5	3.93	5.9	11	113.3	2.88	394	.239	2.000
4 100 株	8.15	9.5	3.83	5.8	11	126.9	3.23	393	.271	4.400

備考 本年ノ成績=依レバ100株區最モ多收=シテ90株區之=亞グリ
施肥量試験

區 名	出 穂 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	玄 米		1 升 重	屑 米 重	糶 重
						重 量	容 量			
1 堆肥200貫 7號肥料10貫區	8.15	9.5	3.80	6.7	14	112.5	2.85	393	840	3.800
2 堆肥200貫 7號肥料15貫區	8.15	9.5	3.81	6.0	13	116.0	2.96	392	296	3.000
3 在 來 區	8.15	9.5	3.82	6.4	14	116.5	2.96	394	370	2.000

備考 本年ノ成績=依レバ在來區最モ多收=シテ堆肥200貫7號肥料15貫區之=亞グリ

下伊那郡且開村

品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	玄 米		
						重 量	容 量	1 升 重
1 早 生 銀坊主	8.11	10.5	3.35	6.0	16	70.7	1.82	388
2 奥 羽 167 號	8.6	10.1	3.20	7.0	9	82.4	2.11	399
3 奥 羽 191 號	8.13	10.5	3.80	6.0	17	82.3	2.08	396
4 中 稻 新愛國	8.12	10.5	3.30	6.5	17	65.4	1.68	398
5 秋 田 糯	8.12	10.5	3.38	7.0	16	65.3	1.68	388
6 福 島 糯	8.9	10.5	3.35	6.3	12	70.3	1.61	398
7 陸 羽 132 號	8.11	10.1	3.08	5.8	14	85.9	2.21	398
8 愛 龜 尾	8.14	10.8	3.10	6.0	16	63.6	1.63	390
9 龜 尾 都	8.11	9.28	3.55	6.0	16	75.6	1.90	397
10 龜 尾 都	8.15	10.1	3.21	6.2	20	66.5	1.70	392
11 陸羽愛國20號	8.12	10.5	3.25	6.0	17	58.8	1.41	382
12 畿内早生22號	8.15	10.3	3.12	6.5	19	73.6	1.87	394
13 昭 和 2 號	8.17	10.3	3.08	6.2	18	49.0	1.26	388
14 昭 和 早 生	8.14	10.5	3.09	6.3	14	75.4	1.91	394
15 關 取	8.15	10.5	3.28	6.0	23	70.2	1.81	394
16 管 島	8.21	10.10	3.78	7.5	9	88.3	2.21	400
17 伊 那 穗 1 號	8.26	10.15	2.98	7.2	14	78.0	1.97	395

備考 本年成績=依レバ管島最モ多收=シテ陸羽132號奥羽167號等順次相亞グリ

苗代播種量試験

區 名	出 穂 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	玄 米		
						重 量	容 量	一 升 量
1 坪1合5勺時	8.10	10.1	3.10	5.5	15.0	74.6	1.87	393
2 // 2合5勺//	8.13	10.1	3.00	6.0	14.0	87.2	2.22	393
3 // 3合5勺//	8.14	10.1	3.08	6.0	13.0	94.1	2.36	399
4 // 4合5勺//	8.16	10.1	2.88	5.0	12.0	79.3	1.98	401

備考 本年ノ成績=依レバ三合五勺播區最モ多收=シテ二合五勺播區之=亞グリ

播 秧 期 試 験

區 名	出 穂 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	玄 米		
						重 量	容 量	一 升 量
1 6 月 6 日 植	8.11	10.1	3.25	5.0	21.0	77.9	1.98	394
2 6 月 10 日 //	8.11	10.2	3.05	5.2	15.0	54.7	1.32	392
3 6 月 15 日 //	8.10	10.1	3.00	5.8	16.0	28.2	.71	396
4 6 月 20 日 //	8.10	10.1	3.12	6.0	15.0	14.0	.36	393

備考 本年ノ成績=依レバ6月6日植區最モ多收=シテ6月10日植區之=亞グリ

株數對植付本數試験

區 名	出 穂 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	玄 米			
						重 量	容 量	一 升 量	
50株 {	1 本 植	8.14	10.2	3.30	6.5	17.0	76.6	1.90	403
	3 //	8.13	10.1	3.00	6.5	19.0	86.4	2.15	402
	5 //	8.13	10.1	3.30	6.8	23.0	93.0	2.33	399
60株 {	1 //	8.12	10.3	3.05	6.5	11.0	77.3	1.93	399
	3 //	8.12	10.1	3.10	6.5	15.0	99.5	2.48	401
	5 //	8.10	10.1	3.00	5.0	25.0	95.7	2.39	400

區名	出穗期	成熟期	草丈	穗長	穗數	玄米			
						重量	容量	一升量	
80株	1本植	8.12	10.3	3.20	6.2	10.0	88.2	2.20	401
	3〃〃	8.11	10.1	3.10	6.3	18.0	80.1	2.01	398
	6〃〃	8.12	10.1	3.22	6.0	23.0	102.8	2.55	403
100株	1〃〃	8.13	10.2	3.10	6.2	18.0	87.3	2.19	399
	3〃〃	8.10	10.1	3.15	6.0	18.0	106.5	2.65	402
	5〃〃	8.11	9.30	3.15	6.5	19.0	93.3	2.87	402

備考 本年ノ成績=依レバ100株3本植區最モ多收=シテ80株5本植區之=亞グ

肥料三要素適量試験

區名	出穗期	成熟期	草丈	穗長	穗數	玄米		
						重量	容量	一升量
N 1.5 P 1.0 K 1.0 堆肥 1貫	8.13	10.5	3.13	5.5	15.0	88.8	2.21	402
2 2.0 1.0 1.0	8.11	10.5	3.15	7.0	16.1	90.1	2.25	401
3 1.5 1.0 1.0 200	8.11	10.3	3.10	6.0	15.0	93.3	2.32	402
4 2.0 1.0 1.0 200	8.12	10.3	3.20	6.2	17.0	87.7	2.19	401
5 2.5 1.0 1.0 200	8.11	10.3	3.08	5.5	15.0	86.8	2.15	403
6 1.5 1.5 1.0	8.13	10.3	3.00	6.5	14.0	81.2	2.02	402
7 1.5 1.0 0.5	8.13	10.2	3.28	7.0	15.0	89.0	2.21	402
8 1.5 0.5 1.0 200	8.11	10.5	2.70	5.0	10.0	86.5	2.17	398
9 1.5 1.0 0.5 200	8.12	10.5	2.65	5.0	11.0	80.6	2.02	399
10 1.5 1.0	8.13	10.1	3.20	6.2	15.0	79.6	2.01	396
11 1.5 1.0	8.14	10.1	3.00	5.5	14.0	81.0	2.11	402
12 1.5 1.0 200	8.12	9.30	2.85	5.5	14.0	78.0	2.95	399
13 1.5 1.0 200	8.12	9.28	3.00	5.5	16.0	80.1	2.12	396
14 2.5 1.0 1.0	8.13	10.5	3.15	6.3	16.1	83.6	2.08	402

備考 本年ノ成績=依レバ窒素1貫500匁、磷酸1貫加里1貫堆肥200貫區最モ多收=シテ窒素2貫磷酸1貫加里1貫區之=亞グ

西筑摩郡開田村

品名	出穗期	成熟期	草丈	穗長	穗數	玄米			批重	層米重	品質
						重量	容量	一升量			
1 萬太郎米	8.8	9.23	2.80	6.0	6.7	85.9	2.14	401	1.340	42	中
2 小田代5號	8.10	9.25	3.25	5.8	7.6	73.7	1.86	397	1.450	99	中
標準1 栃木早生	8.15	9.28	3.50	6.2	5.0	85.8	2.16	397	1.490	324	下
3 金松澁渡	8.16	9.30	2.72	5.5	11.1	83.8	2.09	401	1.460	522	中
4 加賀坊主	8.16	9.30	2.68	5.4	9.6	89.2	2.23	401	1.800	334	中
標準2 栃木早生	8.15	9.28	3.45	6.5	5.8	87.5	2.20	397	1.600	440	下
5 信交119號	8.18	10.3	2.75	5.5	6.8	98.5	2.46	401	2.000	490	上
6 信濃糯36號	8.17	10.1	2.55	5.6	9.0	86.6	2.13	406	1.460	320	上
7 清水糯	8.15	9.28	3.23	6.6	6.2	81.7	2.06	396	4.380	412	中
髮澤白穗	8.17	9.28	3.48	6.0	6.0	85.0	2.13	399	1.480	426	下
忠工門白穗	8.10	9.25	3.60	6.8	6.2	83.0	2.11	394	1.430	210	下

備考 本年ノ成績=依レバ信交119號最モ多收=シテ加賀坊主栃木早生等順次相亞グ

苗代播種量試験

區名	出穗期	成熟期	草丈	穗長	穗數	玄米			批重	層米重
						重量	容量	一升量		
1 坪二合	8.14	9.28	3.45	6.3	5.0	91.2	2.29	402	1.580	571
2 〃三合	8.15	9.28	3.38	6.5	6.2	91.5	2.29	399	1.600	688
3 〃四合	8.16	9.28	3.30	6.5	6.4	92.7	2.32	399	1.600	464
4 〃五合	8.16	9.28	3.40	6.0	6.0	90.8	2.28	399	1.570	454

備考 本年ノ成績=依レバ四合播區最モ多收=シテ三合播區之=亞グ

坪當植付株數試験 (栃木早生)

區名	出穗期	成熟期	草丈	穗長	穗數	玄米			批重	層米重
						重量	容量	一升量		
1 90株	8.15	9.28	3.53	6.5	6.7	89.1	2.22	393	1.530	665
2 100株	8.16	9.28	3.50	6.5	6.3	93.9	2.38	395	1.620	357
3 120株	8.16	9.28	3.35	6.3	5.5	94.0	2.38	396	1.630	474
4 150株	8.16	9.28	3.28	5.7	4.6	86.9	2.21	394	1.500	331

備考 本年ノ成績=依レバ120株區最モ多收=シテ100株區之=亞グ

施肥量試験 (栃木早生)

區名	出穗期	成熟期	草丈	穗長	穗數	玄米			批重	層米重
						重量	容量	一升量		
堆肥七號肥料 1 200貫 10貫區	8.16	9.28	3.50	6.5	7.0	92.0	2.34	393	1.600	468
2 200貫 15貫區	8.16	9.28	3.53	6.8	6.0	87.9	2.21	398	1.520	221
3 在來區	8.15	9.28	3.50	6.2	5.6	81.9	2.06	397	1.430	206

備考 本年ノ成績=依レバ堆肥200貫7號肥料10貫區最モ多收=シテ堆肥200貫7號肥料15貫區之=亞グ

(2) 麥

1. 耕種梗概

選種 唐箕選、篩選及鹽水選ヲ行フ、比重ハ次ノ如シ

大麥 1.10
小麥 1.17
稞麥 1.17

麥奴預防 冷水溫湯浸法ヲ行フ

斑葉病預防 木灰汁浸シヲ行フ、木灰汁ハ水一斗ニ對シ木灰五百匁ヲ入レ之ニ三十六時間浸漬ス

整地及播種法 前年來ノ麥作地ヲ約四寸ノ深サニ耕起シ土塊ヲ碎キ地均ヲナシ二尺ノ距離ニ幅約六寸ノ播溝ヲ作り條播トス

肥料

肥料名	基肥	追肥	三成分			施用方法
			窒素	磷酸	加里	
堆肥	300	—	1.350	0.780	1.350	硫酸アンモニア、過磷酸石灰、鹽化加里ノ三肥料ハ配合セルモノヲ播溝ニ施シ、堆肥及石灰ハ整地ノ際ニ一面ニ撒布ス 追肥ハ翌春融雪後施ス
硫酸アンモニア	6	3	1.845	—	—	
過磷酸石灰	7	—	—	1.365	—	
鹽化加里	1.6	—	—	—	0.960	
石灰	15	—	—	—	—	
計			8.195	2.145	2.310	

播種期 10月下旬

播種量 反當大麥五升、小麥及稞麥四升

鎮壓 12月中旬、2月下旬、3月中旬ノ3回行フ

中耕 3月中旬、4月上旬、4月下旬ノ3回行フ

土入 3月中旬、4月上旬、4月下旬ノ3回行フ

除草 中耕前其ノ他隨時行フ

管理 11月下旬發芽不良ノ個所アレハ同一畦内ノ密生セル個所ヲ間引キ補植ヲ行フ

收納

收穫 成熟セバ遅延ナク地際ヨリ刈取り稻藁ニテ結束ス

乾燥 麥架ニ懸ケテ十分ニ乾燥ス

調製 回轉脱穀機ニテ脱穀シ脱芒機ニテ脱稃シ唐箕ヲ以テ選別ス

燻蒸 クロールピクリンニテ燻蒸ス

2. 豐凶考照試驗

目的 本試驗ハ每一地區ニ同一ノ耕種法ニヨリ大麥、小麥、稞麥、各早、中、晚三品種宛栽培シ所定ノ時期ニ其ノ生育狀況及收量等ヲ調査シ以テ其ノ年ノ豐凶ヲ窺知セントス

方法

區制 1區制

作付面積 五坪

耕種法 一般耕種法ニ據ル

供試品種

大麥 大六角 備前早生 五畝四石

稞麥 米稞 豐年 上州白稞

小麥 伊賀筑後オレゴン 澁不知 鬼稗

試驗ノ所定時ニ於ケル調査成績次ノ如シ

春分當日ニ於ケル成績

品種	昭和十二年度		平年		比較増減	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數
大麥三種平均	0.52	150.3	0.56	126.6	△ 0.04	23.7
稞麥三種平均	0.42	122.7	0.51	105.8	△ 0.09	16.9
小麥三種平均	0.52	137.7	0.55	108.0	△ 0.03	29.7

播種後ノ氣候ハ10月30日ヨリ11月10日迄ノ12日間連日降雨アリタル爲メ發芽後ノ生育不良ナリシト共ニ12月2日稀有ノ早期大降雪アリ且ツ冬期間寒冷ナリシヲ以テ3月上旬以降溫暖トナリ稍々生育回復セルモ平年ニ比シ生育稍々不良ナリ

立夏當日ニ於ケル成績

春分以後ノ氣候ハ概シテ適順ナリシヲ以テ生育促進シ出穂期ハ3、4日早ク伸長、株數共ニ良好ニシテ作況平年ニ比シ稍々良好ナリ

附記

附近ノ一般作況ハ早期ノ大降雪及冬期間低温ナリシ爲メ播種期ノ遅延セシモノハ特ニ寒害甚大ニシテ一般ヲ通ジ作況稍々不良ナルモノノ如シ

收量成績

品種名	昭和十二年度		平年		比較増減	
	收量	一升重量	收量	一升重量	收量	一升重量
大麥三種平均	4.708	306	4.112	313	0.596	△ 7
稞麥三種平均	3.397	370	2.491	376	0.906	△ 6
小麥三種平均	2.555	353	2.478	360	0.077	△ 7

麥作期間ノ氣候ハ播種後10月30日ヨリ11月10日迄ノ12日間連日降雨アリタル爲メ發芽後ノ生育不良ナリシト加フルニ12月2日稀有ノ早期大降雪アリ且ツ冬期間寒冷ナリシヲ以テ初期ノ生育稍々不良ナリシモ3月上旬以後溫暖トナリ生育漸次恢復ニ向ヒ引續キ6月上旬迄概シテ適順ナリシヲ以テ生育促進シ出穂期ハ4.5日早ク生育良好ニシテ成熟期モ亦數日早ク作況平年ニ比

シ大麥1割4分5厘、稈麥3割6分4厘、小麥3分1厘ノ增收ナリ、然レドモ6月中旬以後降雨多カリシヲ以テ大麥、稈麥、小麥共ニ一升重量輕ク品質稍々不良ナリ

附 記

附近ノ一般作況ハ播種期ニ於テ降雨連續セシ爲メ播種期遅レ初期ノ生育不良トナリ加フルニ早期ニ大降雪アリ且ツ冬期間寒冷ナリシ爲メ凍害甚ク作柄不良ナリ、然シテ縣下一般ノ作柄モ亦同ジ

3. 大麥(裸麥ヲ含ム)品種比較試験

目 的 縣ノ内外ヨリ有望ト認ムル品種ヲ蒐集シテ其ノ性狀收量等ヲ比較精査シ以テ本縣ニ最モ適スル優良品種ヲ選定セントス

設計概要

區 制 二區制

一區面積 五 坪

耕種法 當場一般耕種梗概ニ據ル

供試品種 17

品 種 名	出 穗 期	成 熟 期	草 丈	稈 強 弱	穗 長	50穗 間數	反 當		
							重 量	容 量	一升重量
1 大麥新1號	4.29	5.30	3.11	弱	2.9	108	143.6	4.90	293
2 魁	5.1	6.4	3.18	強	2.0	116	162.5	5.33	305
標準1 大六角	5.3	6.6	3.75	中	1.9	92	156.0	5.18	300
3 大正麥	5.1	6.4	3.37	中	2.5	98	153.1	5.73	268
4 京都坊主1號	5.4	6.5	3.76	強	1.9	95	161.3	5.11	316
5 坊×獨×大17號	5.3	6.3	3.53	中	2.9	91	163.1	6.04	270
6 大黒×大六角1號	5.3	6.5	3.80	中	2.0	85	167.3	5.65	296
7 關 取	5.4	6.7	2.91	中	1.4	94	178.7	5.74	312
8 虎ノ尾×備前早生27號	5.5	6.9	3.53	中	2.1	80	190.3	6.20	307
9 愛知横綱	5.6	6.10	3.38	中	2.0	94	184.1	6.10	302
10 備前早生	5.5	6.8	4.17	弱	1.7	88	160.7	5.29	304
標準2 大六角	5.3	6.5	3.84	強	2.0	94	176.2	5.87	300
11 倍取105號	5.5	6.9	3.15	中	1.5	83	165.2	5.28	313
12 虎ノ尾	5.9	6.12	3.62	中	1.7	86	179.0	5.83	307
13 豐 年	5.10	6.12	3.58	中	1.8	88	158.9	5.04	316
14 雷電28號	5.10	6.13	4.20	弱	1.8	76	151.5	4.94	307
15 白 麥	5.12	6.13	3.97	中	1.8	78	155.0	5.26	295
16 白 珍 子	5.5	6.10	2.50	中	1.4	87	161.3	4.34	372
17 白 朋	5.6	6.9	3.42	弱	2.0	63	152.5	4.16	367

備考 本年ノ成績ニ依レバ虎ノ尾×備前早生27號最多收ニシテ愛知横綱、虎ノ尾、關取等相亞グ

4. 小麥獎勵品種決定試験

本試験ハ生産力檢定試験及同豫備試験ノニツニ分ツ

(1) 生産力檢定豫備試験

目 的 農林省小麥地方育種試験地ヨリ配付ヲ受ケタル新優良育成種又ハ系統ノ本縣ニ於ケル適否ヲ研究スルト共ニ當場ニ於ケル新優良育成種並ニ從來ノ品種比較試験ノ結果優良ト認ムル品種ヲモ右試験ニ加ヘ其ノ優劣ヲ比較研究シ鑿テ本試験ニ編入スベキ優良種ヲ選出セントス

設 計

耕種法 當場一般耕種法ニ據ル

1 區面積 5 坪

區 制 2 區制

供試品種 品種 6 系統・22

標準品種 伊賀筑後オレゴン

試験成績

品 種 名	出 穗 期	成 熟 期	草 丈	稈 強 弱	穗 長	50穗 間數	子 實			稈 重 量	品 質
							重 量	容 量	一升重量		
1 北 關 東 17 號	5.12	6.23	2.69	強	2.5	190	176.9	4.82	367	192	中
2 〃 〃 〃 18 號	5.12	6.21	2.86	〃	2.9	152	180.9	4.97	364	166	上
標準1 伊賀筑後オレゴン	5.10	6.20	3.74	弱	3.5	156	178.7	5.02	356	224	中
3 北 關 東 19 號	5.11	6.19	3.08	強	2.6	151	173.2	4.72	367	286	上
4 關 東 21 號	5.9	6.21	3.21	〃	3.4	162	181.6	4.87	373	296	上
5 〃 〃 〃 22 號	5.8	6.22	3.20	〃	3.4	173	165.0	4.40	375	176	上
6 〃 〃 〃 32 號	5.6	6.20	3.31	稍々強	3.1	168	167.7	4.63	362	169	中
標準2 伊賀筑後オレゴン	5.11	6.22	4.16	弱	3.7	151	165.2	4.68	353	206	中
7 關 東 33 號	5.8	6.22	2.81	強	3.2	169	159.7	4.40	363	155	中
8 關 東 海 25 號	5.2	6.20	2.52	〃	2.6	192	135.0	3.79	356	107	中
9 〃 〃 〃 26 號	5.4	6.20	2.30	〃	2.4	151	124.8	3.50	357	104	中
10 〃 〃 〃 28 號	5.6	6.23	2.63	〃	2.7	176	166.3	4.71	354	164	中
標準3 伊賀筑後オレゴン	5.10	6.22	3.61	弱	3.2	156	163.0	4.66	351	212	中
11 北 陸 4 號	5.15	6.28	3.41	中	4.0	205	149.7	4.19	357	208	中
12 〃 〃 〃 6 號	5.12	6.25	3.43	弱	3.3	190	155.2	4.47	349	254	中
13 〃 〃 〃 10 號	5.12	6.24	3.57	稍々強	3.2	177	168.8	4.50	375	191	上
標準4 伊賀筑後オレゴン	5.11	6.21	3.73	弱	3.7	170	170.9	4.84	353	195	中
14 北 陸 14 號	5.18	6.28	3.91	中	2.7	179	149.4	4.02	372	246	上
15 〃 〃 〃 19 號	5.16	6.28	3.51	弱	3.6	200	148.5	4.11	361	210	上
16 〃 〃 〃 20 號	5.11	6.28	2.92	強	3.5	180	183.1	5.10	359	177	中
17 〃 〃 〃 21 號	5.11	6.27	2.80	〃	3.4	189	151.5	4.26	356	167	中
標準5 伊賀筑後オレゴン	5.10	6.22	3.50	弱	3.5	151	173.7	4.95	351	216	中
18 北 陸 22 號	5.12	6.24	2.82	強	3.3	169	161.6	4.75	340	164	下
19 〃 〃 〃 23 號	5.5	6.27	2.64	〃	3.1	164	155.9	4.31	362	181	中
20 埼 玉 27 號	5.11	6.22	3.29	〃	3.5	150	168.7	4.65	363	167	中
標準6 伊賀筑後オレゴン	5.11	6.19	3.62	弱	3.6	148	172.6	4.89	353	237	中
21 農 林 1 號	5.14	6.24	2.22	強	2.8	169	162.9	4.45	366	192	中
22 信 交 2 號	5.18	6.26	3.82	中	3.4	170	126.4	3.52	359	236	中
23 信 交 4 號	5.18	7.1	3.48	稍々強	4.2	166	150.1	4.48	395	193	下
24 信 交 5 號	5.17	6.25	3.26	強	3.4	165	129.4	3.72	348	282	中
標準7 伊賀筑後オレゴン	5.11	6.21	3.59	弱	3.7	170	157.2	4.48	351	223	中
25 信 交 6 號	5.11	6.24	3.37	稍々強	3.1	165	147.2	4.12	357	191	中
26 信濃 澁 不知一號	5.18	6.28	4.16	弱	3.2	177	136.7	4.01	341	238	上
27 プレドリー	5.26	7.6	4.65	〃	3.5	189	106.8	3.23	362	330	下
標準8 伊賀筑後オレゴン	5.11	6.21	3.63	〃	3.5	155	173.6	4.89	355	206	中

品	種	名	出穂期	成熟期	草丈	稈強弱	穂長	50穂間數	子實			稈重量	品質
									重量	容量	一升重量		
28	農林	5號	5.6	6.21	2.94	強	2.9	150	156.2	4.45	351	154	中下
29	早生	1號	5.6	6.22	2.88	〃	2.7	171	160.9	4.52	356	158	中
30	早生	2號	5.7	6.20	3.54	〃	2.7	145	160.3	4.57	351	184	中
31	近畿	14號	5.6	6.20	2.94	〃	2.6	125	142.3	3.87	368	201	中
標準9	伊賀筑後	オレゴン	5.11	6.21	3.77	弱	3.4	161	165.4	4.66	355	900	中
32	近畿	13號	5.9	6.20	2.96	強	2.8	163	154.3	4.29	860	119	中

備考 本年ノ成績=依レバ北陸20號最多收ニシテ北關東21號、同18號、同17號等相亞グ

(2) 生産力檢定試験

目的 從來ノ試験ノ結果優良ト思ハレル品種ニツキ播種期及施肥量ヲ異ニシテ栽培シテノ優劣ヲ比較研究セントス

設計

耕種法 播種期、施肥料ヲ除クノ外(1)生産力檢定豫備試験ニ同ジ

一區面積 五坪

區制 二區制

早播(10月15日)増肥(金肥各肥料ニ付五割増)區、標準播(10月25日)標準肥區、標準播減

肥(金肥各肥料ニ付五割減)區、晩播(11月5日)減肥區ノ四區ニ分ツ

供試品種 品種 4 系統 7

標準品種 伊賀筑後オレゴン

試験成績

(10月15日播) 五割増肥

品	種	名	出穂期	成熟期	草丈	稈強弱	穂長	50穂間數	子實			稈重量	品質
									重量	容量	一升重量		
1	農林	16號	5.6	6.21	2.76	強	3.2	162	180.5	4.91	368	308	中
2	北關東	13號	5.6	6.18	2.98	〃	3.6	153	157.4	4.42	356	174	上
3	北關東	16號	5.7	6.21	3.14	〃	3.4	159	158.7	4.42	359	158	中
標準1	伊賀筑後	オレゴン	5.10	6.20	3.51	中	3.6	146	154.7	4.42	350	182	中
4	關東	3號	5.15	6.26	3.04	強	2.9	166	148.3	4.16	357	169	中
5	關東	26號	5.5	6.18	2.39	〃	2.7	158	150.0	3.85	351	119	中
6	關東	30號	5.9	6.20	2.80	〃	3.7	168	152.8	2.51	339	256	下
7	東海	27號	5.3	6.19	3.49	〃	2.5	165	141.2	3.98	355	128	中
8	鴻系A	565號	5.6	6.20	3.39	〃	2.6	156	140.8	3.98	354	164	中
9	農林	1號	5.12	6.24	3.17	〃	3.0	157	155.1	4.24	366	209	中
標準2	伊賀筑後	オレゴン	5.11	6.21	3.76	中	3.6	157	151.6	4.37	347	197	中
10	信交	1號	5.12	6.26	3.90	強	3.1	155	145.6	4.20	347	268	下
11	農林	15號	5.17	6.26	3.95	稍々強	3.1	156	118.1	3.37	351	198	中
12	信濃澁不知	1號	5.18	6.28	4.30	中	3.2	145	142.4	4.15	343	264	中

備考 本年ノ成績=依レバ農林16號最多收ニシテ北關東16號、同13號等相亞グ

(10月25日播) 標準肥

品	種	名	出穂期	成熟期	草丈	稈強弱	穂長	50穂間數	子實			稈重量	品質
									重量	容量	一升重量		
1	農林	16號	5.10	6.24	2.98	強	2.9	160	168.4	4.59	367	273	上
2	北關東	13號	5.12	6.20	2.98	〃	3.0	143	142.3	4.02	354	184	中
3	〃	16號	5.12	6.24	3.05	〃	3.1	173	171.5	4.78	359	199	中
標準1	伊賀筑後	オレゴン	5.13	6.22	3.72	稍々強	3.3	139	168.4	4.73	356	164	中
4	關東	3號	5.18	6.28	3.10	〃	2.9	168	148.1	4.07	364	175	中
5	〃	26號	5.7	6.21	2.35	強	2.3	160	125.6	3.55	354	157	中
6	〃	30號	5.13	6.23	2.58	〃	3.0	150	147.7	4.26	347	162	中
7	東海	27號	5.7	6.21	2.53	〃	2.8	162	126.8	3.63	349	146	下
8	鴻系A	565號	5.10	6.21	3.48	〃	3.5	155	147.4	4.09	366	145	中
9	農林	1號	5.15	6.25	3.07	〃	2.9	157	151.5	4.19	362	222	中
標準2	伊賀筑後	オレゴン	5.13	6.22	3.73	中	3.3	140	167.9	4.60	365	221	中
10	信交	1號	5.16	6.27	3.55	〃	3.0	142	144.0	4.19	344	185	下
11	農林	15號	5.18	6.27	3.86	〃	3.2	145	128.7	3.50	368	268	上
12	信濃澁不知	1號	5.19	6.30	4.26	強	3.1	155	116.4	3.50	333	201	下

備考 本年ノ成績=依レバ北關東16號最多收ニシテ農林16號、同1號等相亞グ

(10月25日播) 5割減肥

品	種	名	出穂期	成熟期	草丈	稈強弱	穂長	50穂間數	子實			稈重量	品質
									重量	容量	一升重量		
1	農林	16號	5.10	6.23	3.01	強	2.8	174	166.6	4.53	368	272	上
2	北關東	13號	5.11	6.19	3.03	〃	2.8	163	141.7	3.89	364	166	中
3	〃	16號	5.12	6.21	2.98	〃	3.0	185	147.3	4.02	360	231	上
標準1	伊賀筑後	オレゴン	5.11	6.20	3.82	中	3.2	140	149.7	4.23	354	196	中
4	關東	3號	5.17	6.27	3.20	強	2.8	163	143.2	3.93	364	192	中
5	〃	26號	5.7	6.19	2.56	〃	2.6	179	129.1	3.64	355	126	中
6	〃	30號	5.12	6.20	2.64	〃	3.0	155	136.3	3.98	344	239	中
7	東海	27號	5.6	6.20	2.51	〃	2.7	173	139.1	3.89	358	125	中
8	鴻系A	565號	5.10	6.20	3.55	〃	3.0	165	119.3	3.33	358	167	中
9	農林	1號	5.14	6.23	3.06	〃	2.6	158	150.1	4.06	370	308	中
標準2	伊賀筑後	オレゴン	5.12	6.19	3.68	中	3.3	141	150.7	4.27	353	164	中
10	信交	1號	5.15	6.27	3.91	強	2.5	151	154.5	4.44	348	224	中
11	農林	15號	5.18	6.27	3.72	稍々弱	3.2	155	112.2	3.16	355	215	中
12	信濃澁不知	1號	5.19	6.28	4.29	強	3.2	169	122.3	3.54	345	232	中

備考 本年ノ成績=依レバ農林16號最多收ニシテ信交1號、北關東16號等相亞グ

(11月5日播) 5割減肥

品	種	名	出穂期	成熟期	草丈	稈強弱	穂長	50穂間數	子實			稈重量	品質
									重量	容量	一升重量		
1	農林	16號	5.15	6.27	2.75	強	2.5	145	131.6	3.57	367	187	上
2	北關東	13號	5.16	6.25	2.77	〃	2.7	137	116.6	3.30	352	189	中
3	〃	16號	5.14	6.24	2.74	〃	2.6	159	114.3	3.20	357	152	上
標準1	伊賀筑後	オレゴン	5.15	6.25	3.45	中	3.2	143	130.3	3.68	354	164	中
4	關東	3號	5.21	6.30	2.97	強	2.5	134	117.9	3.35	352	107	中
5	〃	26號	5.12	6.25	2.14	〃	2.1	136	89.4	2.54	352	109	中

品名	出穂期	成熟期	草丈	稈強弱	穂長	50穂間數	子實			稈重量	品質
							重量	容量	一升重		
6 〃 海 30 號	5.15	6.26	2.89	〃	2.5	136	112.2	3.53	346	189	下中
7 東海 27 號	5.14	6.27	2.80	〃	2.2	133	98.8	2.78	355	92	中中
8 鴻系 A 565 號	5.14	6.25	3.04	〃	2.8	137	103.6	2.80	358	104	中中
9 農林 1 號	5.17	6.26	2.88	〃	2.3	132	119.7	3.23	370	138	上
標準2伊賀筑後オレゴン	5.16	6.24	3.61	中	3.0	134	133.5	3.76	355	144	中中
10 信交 1 號	5.20	6.30	3.48	〃	2.3	110	97.2	2.86	340	181	中中
11 農林 15 號	5.24	6.29	3.61	〃	2.5	120	71.1	2.37	344	107	中中
12 信濃 澁不知 1 號	5.25	7.2	4.02	稍々強	2.6	110	86.6	2.59	334	136	中中

備考 本年ノ成績ニ依レバ農林16號最多收ニシテ農林1號、關東3號等相亞グ

5. 新品種育成

目的 人工交配ニヨリ新優良品種ヲ育成セントス

雜種各代ノ組合セ及系統數次ノ如シ

雜種第1代 組合數小麥 26

小麥

カ ナ ダ	×	北關東 14 號
同	×	濠州 8 號
濠州 8 號	×	伊賀筑後オレゴン
同	×	新中長
同	×	信濃 1 號
カ ナ ダ	×	トルコ
同	×	赤銹不知 1 號
同	×	赤皮赤
同	×	農林 15 號
赤皮赤	×	同
同	×	白莢
同	×	伊賀筑後オレゴン
赤銹不知 1 號	×	農林 15 號
同	×	白莢
同	×	伊賀筑後オレゴン
同	×	埼玉 27 號
同	×	農林 16 號
同	×	關東 22 號
赤銹不知 1 號	×	信濃 1 號
カ ナ ダ	×	白莢
同	×	伊賀筑後オレゴン
同	×	埼玉 27 號
同	×	農林 16 號

同	×	關東 22 號
同	×	新中長
同	×	信濃 1 號
雜種第2代 組合數 大麥 2 小麥 4		
大麥 白	×	(虎ノ尾×備前早生27號)
雷電 28 號	×	(虎ノ尾×備前早生27號)
小麥 信濃 1 號	×	農林 16 號
關東 3 號	×	鴻系 7119 號
鴻系 7119 號	×	關東 3 號
東北 37 號	×	伊賀筑後オレゴン

雜種第3代 組合數 大麥 5 小麥 8

大麥 雷電 28 號	×	關取
關取	×	氣高 6 角
虎ノ尾	×	白麥
豊年	×	三德
大正麥	×	(虎ノ尾×備前早生27號)
小麥 關東 22 號	×	信濃 1 號
埼玉 27 號	×	關東 22 號
同	×	伊賀筑後オレゴン
東北 30 號	×	同
伊賀筑後オレゴン	×	農林 15 號
鬼稈 79 號	×	北關東 1 號
信濃 1 號	×	鴻系 5218 號

雜種第4代 組合數 大麥 4 小麥 6

大麥 5 畝 4 石	×	關取
關取	×	豊年
大 6 角	×	同
豊年	×	虎ノ尾
小麥 信濃 1 號	×	農林 7 號
關東 22 號	×	伊賀筑後オレゴン
信濃澁不知 1 號	×	東北 2 號
東北 30 號	×	信濃澁不知 1 號
信濃澁不知 1 號	×	關東 22 號
農林 1 號	×	農林 2 號

雜種第5代 組合數 大麥 1 小麥 1

大麥 改良雷電	×	三德
小麥 マーチンスアンバー	×	白莢

雜種第6代 組合數 大麥 2 小麥 1

大麥 大六角	×	ゴールデンメロン
--------	---	----------

シバリー × 大六角
 小麥赤皮赤 × 農林 1 號
 雜種第7代 組合數 大麥 2 小麥 1
 大麥鎌倉 × 谷風
 マンスフィールド1號 × 鎌倉
 小麥伊賀筑後オレゴン × 農林 1 號

6. 保存品種

目的 麥ノ品種ヲ保存シ品種改良ノ材料ニ資セントス
 品種數 大麥 72 小麥 188 稈麥 24

7. 水田裏作小麥品種比較試験

目的 水田裏作小麥ノ優良品種ヲ見出サントス

設計概要

區制 2區制

1 區面積 5 坪

耕種法 一般耕種梗概ニ依ル

供試品種 13

試験成績次ノ如シ

品 種 名	出穂期	成熟期	草丈	稈強弱	穂長	50穂間數	子 實			稈重量	品質
							重量	容量	一升量		
1 北關東 14 號 A	5.7	6.18	3.22	強	2.7	130	91.8	2.39	384	124	上
2 同 B	5.7	6.17	3.27	〃	2.6	123	87.2	2.28	382	115	上
3 同 13 號	5.8	6.18	2.85	〃	2.9	137	108.2	3.00	361	124	上
標準1伊賀筑後オレゴン	5.10	6.18	3.48	〃	3.4	119	105.4	3.93	360	105	上
4 鴻系 A 565 號	5.8	6.17	3.30	〃	3.4	113	111.6	3.08	362	101	上
5 鴻系 3315 號	5.8	6.20	3.09	〃	3.5	114	107.7	2.94	366	105	上
6 農林 16 號	5.8	6.20	2.62	〃	3.0	165	117.6	3.12	377	120	上
7 宇系 2 號	5.6	6.16	2.40	〃	2.9	132	106.9	2.91	367	116	中
8 北關東 16 號	5.8	6.20	2.62	〃	3.2	146	135.7	3.69	368	119	上
9 同 10 號	5.7	6.19	3.14	〃	3.3	136	127.1	3.31	384	158	上
10 伊賀筑後 2 號	5.9	6.19	3.41	〃	2.5	104	109.6	3.04	360	129	中
11 關取	5.9	6.19	3.28	〃	2.6	155	112.8	3.03	372	95	中
標準2伊賀筑後オレゴン	5.9	6.18	3.43	〃	3.7	139	121.3	3.89	359	113	上
12 三原	5.9	6.19	3.33	〃	2.4	122	111.3	3.13	356	136	中
13 信交 1 號	5.12	6.25	3.79	〃	2.7	122	120.4	3.49	345	136	中

備考 本年ノ成績ニ依レバ北關東16號最多收ニシテ北關東10號、信濃1號等之ニ次グ

8. 水田裏作小麥整地法試験

目的 種々異ナル整地法ニヨリ播種セルモノノ生育、收量ニ及ボス影響ヲ知ラントス

設計概要

試験區別

- 1 不整地ノ1 在來法(地獄播) 畦巾2尺 播巾2寸
- 2 同 2 平床播 畦巾2尺 播巾4寸
- 3 同 3 同 同 播巾6寸
- 4 同 4 同 同 播巾8寸
- 5 同 5 2條地獄播 畦巾3尺
- 6 同 6 2條平床播 畦巾3尺
- 7 簡易整地ノ1 播種溝ノ部分ノミ耕起、碎土シ整地ス 畦巾3尺 播巾8寸
- 8 同ノ2 全面ヲ耕起シ播種溝ノ部分ノミ整地ス 播巾3尺 播巾8寸
- 9 同ノ3 8ト同一ナルモ 畦巾2尺5寸 播巾6寸
- 10 整地播ノ1 畦巾3尺 播巾8寸
- 11 同ノ2 畦巾2尺5寸 播巾6寸

供試品種 伊賀筑後オレゴン

1 區面積 7 坪

區制 1 區制

耕種法 一般耕種梗概ニ依ル

試験成績次ノ如シ

區 名	出穂期	成熟期	草丈	稈ノ強弱	穂長	50穂間數	子 實			稈重量
							重量	容量	一升量	
1 不整地ノ1 (在來法)	5.10	6.18	3.47	強	3.8	107	99.5	2.81	354	99
2 同 2 (4寸平床)	5.10	6.18	3.42	〃	3.6	106	103.6	2.86	362	100
3 同 3 (6寸平床)	5.10	6.19	3.48	〃	3.8	106	111.8	3.15	355	117
4 同 4 (6寸平床)	5.10	6.18	3.13	〃	3.7	126	87.7	2.44	359	82
5 同 5 (2條地獄播)	5.10	6.19	3.49	〃	3.7	133	93.8	2.62	358	92
6 同 6 (2條地獄播)	5.12	6.19	3.47	〃	4.1	139	95.8	2.68	358	90
7 簡易整地ノ1	5.10	6.19	3.47	〃	3.6	113	88.9	2.48	359	115
8 同 2	5.10	6.19	3.36	〃	3.4	122	94.6	2.62	361	90
9 同 3	5.10	6.19	3.38	〃	3.6	119	82.1	2.27	362	76
10 整地播ノ1	5.10	6.19	3.44	〃	3.7	124	93.6	2.62	357	80
11 同 2	5.10	6.19	3.42	〃	3.8	110	103.4	2.90	357	101

備考 本年ノ成績ニ依レバ不整地平床6寸播最多收ナリ

9. 水田裏作小麥播種期、播種量、施肥量試験

目的 播種期、播種量及施肥量ノ相違ガ生育、收量ニ及ボス影響ヲ驗シ以テ適當ナル組合

セヲ見出サントス

設計概要

試験區別

區番號	播種期	品 種 名	播種量	施肥量	區番號	播種期	品 種 名	播種量	施肥量
1	10月20日	伊賀筑後オレゴン	4升	標準肥	13	10月20日	伊賀筑後オレゴン	4升	5割増肥
2	"	"	5升	"	14	"	"	5升	"
3	"	農林16號	4升	"	15	"	農林16號	4升	"
4	"	"	5升	"	16	"	"	5升	"
5	10月30日	伊賀筑後オレゴン	4升	"	17	10月30日	伊賀筑後オレゴン	4升	"
6	"	"	5升	"	18	"	"	5升	"
7	"	農林16號	4升	"	19	"	農林16號	4升	"
8	"	"	5升	"	20	"	"	5升	"
9	11月10日	伊賀筑後オレゴン	5升	"	21	11月10日	伊賀筑後オレゴン	5升	"
10	"	"	6升	"	22	"	"	6升	"
11	"	農林16號	5升	"	23	"	農林16號	5升	"
12	"	"	6升	"	24	"	"	6升	"

1 區面積 7 坪

區 制 1 區制

耕 種 法 一般耕種梗概ニ依ル

試験成績次ノ如シ

品 種 名	出穂期	成熟期	草 丈	稈ノ強弱	穂長	50粒間穂數	子 實			稈重量
							重量	容量	1升重量	
1 10.20 伊オ 4升標準肥	5.9	6.17	3.36	強	3.5	115	111.2	3.11	357	128
2 " " 5升"	5.9	6.17	3.35	"	3.5	131	108.6	3.05	356	131
3 " 農林164升"	5.8	6.19	2.58	"	2.9	129	120.8	3.21	376	128
4 " " 5升"	5.8	6.19	2.78	"	2.8	149	117.9	3.14	376	138
5 10.30 伊オ 4升"	5.12	6.20	3.43	"	3.3	102	105.0	2.95	356	99
6 " " 5升"	5.12	6.20	3.44	"	3.6	113	107.3	2.93	360	104
7 " 農林164升"	5.10	6.21	2.58	"	3.0	106	118.1	3.20	369	102
8 " " 5升"	5.10	6.21	2.77	"	2.9	130	108.6	2.99	364	99
9 11.10 伊オ 5升"	5.16	6.23	3.42	"	3.6	99	93.9	2.62	359	78
10 " " 6升"	5.16	6.23	3.27	"	3.5	135	93.0	2.61	356	80
11 " 農林165升"	5.14	6.25	2.79	"	2.8	120	91.7	2.50	366	83
12 " " 6升"	5.12	6.25	2.37	"	2.8	100	92.0	2.50	367	84
13 10.20 伊オ 4升5割増肥	5.9	6.18	3.56	"	3.3	118	138.3	3.85	359	144
14 " " 5升"	5.9	6.18	3.55	"	3.6	122	135.3	3.77	359	144
15 " 農林164升"	5.8	6.21	2.84	"	3.1	142	145.5	3.92	371	143
16 " " 5升"	5.7	6.21	2.78	"	3.0	150	140.0	3.82	366	150
17 10.30 伊オ 4升"	5.13	6.20	3.46	"	3.7	114	134.1	3.71	361	128
18 " " 5升"	5.12	6.20	3.43	"	3.5	107	133.7	3.71	360	128
19 " 農林164升"	5.9	6.22	2.71	"	3.1	137	138.8	3.75	370	120
20 " " 5升"	5.6	6.22	2.71	"	3.0	156	155.9	4.21	370	125
21 11.10 伊オ 5升"	5.16	6.25	3.39	"	3.7	100	110.7	3.11	356	98
22 " " 6升"	5.16	6.25	3.36	"	3.6	110	112.4	3.10	362	90
23 " 農林165升"	5.12	6.28	2.04	"	2.9	114	101.3	2.74	369	83
24 " " 6升"	5.12	6.28	2.40	"	2.8	125	90.0	2.43	370	78

備考 本年ノ成績ニ依レバ標準肥區、伊賀筑後オレゴンニ於テハ10月20日播四升區、農林16號ニ於テハ10月20日播四升區、5割増肥區伊賀筑後オレゴンニ於テハ10月20日四升區、農林16號ニ於テハ10月30日五升區ソレゾレ最多收ナリ

10. 品種對畦巾、播巾關係試験

目 的 品種ニ依リ畦巾、播巾ノ如何ガ生育、收量ニ及ボス影響ヲ驗シ以テ之レガ適當ナル組合セヲ見出サントス

設計概要

試験區別

1 畦巾 2 尺	播巾 4 寸
2 同	同 6 寸
3 畦巾 2尺4寸	同 6 寸
4 同	同 8 寸
5 畦巾 1尺8寸	同 4 寸
6 同	同 6 寸
7 5割増肥畦巾2尺	播巾 4 寸
8 同	同 6 寸
9 同	同 6 寸 (密播5升)

供試品種

伊賀筑後オレゴン

農林16號

農林1號

1 區面積 7 坪

區 制 1 區制

耕 種 法 一般耕種梗概ニ依ル

試験成績次ノ如シ

品 種 名	出穂期	成熟期	草 丈	稈ノ強弱	穂長	50粒間穂數	子 實			稈重量
							重量	容量	1升重量	
伊賀筑後オレゴン	月日	月日	尺		寸	本	實	石	匁	實
1 2.0 x 4	5.11	6.23	3.38	強	3.4	107	152.0	4.26	357	123
2 2.0 x 6	5.11	6.23	3.45	"	3.9	112	141.0	3.97	355	108
3 2.4 x 6	5.11	6.24	3.19	"	4.0	124	118.1	3.36	351	90
4 2.4 x 8	5.12	6.24	3.22	"	4.1	111	124.1	3.52	353	96
5 1.8 x 4	5.15	6.25	3.18	"	3.6	107	137.9	3.86	357	108
6 1.8 x 6	5.15	6.25	3.29	"	3.5	103	142.1	3.97	358	108
7 多肥2.0 x 4	5.15	6.25	3.35	"	3.6	99	128.7	3.62	356	102
8 " 2.0 x 6	5.15	6.25	3.15	"	3.7	92	122.4	3.42	358	105
9 " 2.0 x 6密播	5.13	6.25	3.21	"	3.5	111	126.6	3.57	355	107

品 種 名	出穂期	成熟期	草丈	稈ノ 強弱	穂長	50糎間 穂 數	子 實			稈重量
							重量	容 量	一升 重量	
	月日	月日	尺		寸	本	貫	石	匁	斤
農 林 16 號										
1 2.0 × 4	5. 9	6. 24	2.70	強	3.1	140	165.0	4.46	370	168
2 2.0 × 6	5. 9	6. 24	2.65	〃	3.1	130	174.2	4.71	370	201
3 2.4 × 6	5. 9	6. 24	2.92	〃	3.3	157	156.9	4.23	371	137
4 2.4 × 8	5. 9	6. 24	2.75	〃	3.3	155	153.9	4.15	371	150
5 1.8 × 6	5.13	6. 27	2.73	〃	3.0	128	134.3	3.61	372	102
6 1.8 × 6	5.13	6. 27	2.38	〃	2.8	148	118.5	3.18	373	98
7 多肥2.0 × 4	5.13	6. 27	2.77	〃	2.5	143	140.4	3.83	367	102
8 〃 2.0 × 6	5.12	6. 27	2.69	〃	2.9	129	134.7	3.59	375	96
9 〃 2.0 × 6密播	5.12	6. 27	2.56	〃	2.9	130	138.5	3.71	373	104
農 林 1 號										
1 2.0 × 6	5.13	6. 25	3.07	強	2.9	172	152.1	4.11	370	129
2 2.0 × 6	5.13	6. 25	3.04	〃	3.0	187	159.6	4.35	367	138
3 2.4 × 6	5.13	6. 25	2.93	〃	3.1	134	152.1	4.15	367	129
4 2.4 × 8	5.13	6. 25	2.85	〃	3.9	139	161.0	4.36	369	137
5 1.8 × 4	5.16	6. 28	2.89	〃	2.5	121	106.2	4.86	372	104
6 1.8 × 6	5.16	6. 28	2.87	〃	2.6	137	128.6	3.45	393	100
7 多肥2.0 × 4	5.16	6. 28	2.89	〃	2.7	130	136.4	3.71	368	108
8 〃 2.0 × 6	5.16	6. 28	2.91	〃	2.6	137	122.1	3.26	374	98
9 〃 2.0 × 6密播	5.16	6. 28	2.67	〃	2.3	147	143.1	3.83	374	116

備考 本年ノ成績ニ依レバ伊賀筑後オレゴンニ於テハ2尺×6寸、農林16號ニ於テハ2尺×6寸、
農林1號ニ於テハ2尺4寸×8寸ガソレゾレ最多收ナリ

委 託 試 験

1. 麥品種地方適否試験

目 的 有望品種並ニ當場育成ニ係ル大小麥優良新品種ニ就キ原種決定前之ガ査定ノ意味ニ
於テ地方ニ於ケル適否ヲ試験シ以テ原種決定ノ參考ニ供シ併セテ配布原種ノ地方ニ依ル適否
並ニ地方的變異ヲモ研究シ原種配附ノ參考ニ資センガ爲メ縣下左記五ヶ所ヲ選定シ委託試験ヲ
行ヘリ

設計試験地所在地

南佐久郡中込町
北佐久郡小沼村
小 縣 郡神川村
東筑摩郡中川村
南安曇郡豊科町

南佐久郡中込町

小 麥 ノ 部

品 種 名	出穂期	成熟期	草丈	穂長	穂 數 2尺間	子 實 (反 當)		
						重 量	容 量	1升重量
	月日	月日	尺	尺	本	貫	石	匁
1 北 關 東 13 號	5.13	6.20	2.74	0.24	92	65.1	1.86	350
2 小 麥 農 林 16 號	5.13	6.25	2.82	0.24	124	52.5	1.52	345
3 伊賀筑後オレゴン	5.15	6.24	2.64	0.30	130	57.5	1.62	356
4 伊賀筑後2號	5.19	6.24	2.93	0.17	207	48.0	1.37	351
5 鴻 系 A 565 號	5.13	6.22	2.51	0.23	133	56.5	1.54	366
6 宇 系 2 號	5.10	6.20	2.22	0.20	145	48.5	1.44	336
7 關 取	5.11	6.19	2.49	0.19	165	45.0	1.35	330
8 近 茂 14 號	5.13	6.19	2.55	0.21	147	41.9	1.23	340

備考 本年ノ成績ニ依ルト北關東13號最モ多收ニシテ伊賀筑後オレゴン鴻系A 565 號等相亞
グ

大 麥 ノ 部

品 種 名	出穂期	成熟期	草丈	穂長	穂 數 2尺間	子 實 (反 當)		
						重 量	容 量	1升重量
	月日	月日	尺	尺	本	貫	石	匁
1 大 六 角	5.11	6.15	3.01	0.19	185	95.5	3.60	265
2 備 前 早 生	5. 9	6.10	3.53	0.17	163	48.6	1.86	261
3 關 取	5.11	6.12	2.43	0.11	156	53.5	2.06	260
4 大 正 麥	5. 9	6.13	2.13	0.13	140	73.5	2.94	250
5 虎之尾×備前早生27號	5.10	6.11	3.00	0.17	119	98.5	3.79	260
6 大 麥 新 1 號	5. 2	6.16	2.28	0.18	149	68.5	2.90	236
7 魁	5. 6	6.14	2.01	0.13	223	53.5	2.27	236
8 京 都 坊 主 1 號	5. 8	6.13	2.95	0.16	186	88.6	3.33	266

備考 本年ノ成績ニ依ルト虎之尾×備前早生27號最モ多收ニシテ大六角京都坊主1號等相亞
グ

北佐久郡小沼村

品 種 名	出穂期	成熟期	草丈	穂長	穂 數	子 實 (反 當)		
						重 量	容 量	1 升 重
1 北 關 東 16 號	5.18	7.3				68.5	1.78	384
2 農 林 16 號	5.18	7.3				55.5	1.46	380
3 〃 15 號	5.26	7.9				57.0	1.63	350
4 關 東 3 號	5.20	7.8				57.5	1.60	360
5 北 陸 6 號	5.19	7.5				61.0	1.79	340
6 〃 4 號	5.23	7.6				79.0	2.19	360
7 〃 10 號	5.22	7.6				73.5	1.99	370
8 〃 14 號	5.28	7.7				64.0	1.68	380
9 伊賀筑後オレゴン	5.25	7.7				63.5	1.76	360
10 關 東 22 號	5.20	7.7				69.2	1.85	374
11 信 交 1 號	5.26	7.10				62.5	1.84	340
特 質 小 麥								
東 北 55 號 甲	5.24	7.5				64.0	1.73	370
〃 乙	5.27	7.8				58.0	1.61	360
標 準 農 林 1 號 甲	5.21	7.4				66.0	1.83	360
〃 乙	5.25	7.7				61.5	1.76	350

備考 本年ノ成績=依レバ北陸4號最モ多收ニシテ北陸10號關東2號等相亞グ

小 縣 郡 神 川 村

品 種 名	出穂期	成熟期	草丈	穂長	穂 數	子 實 (反 當)		
						重 量	容 量	1 升 重
特 質 小 麥								
1 北 關 東 14 號 A	5.4	6.9	3.22	0.32	70	82.5	2.12	390
標 準 1 伊賀筑後オレゴン	5.7	6.14	3.55	0.40	73	91.7	2.50	366
2 北 關 東 14 號 B	5.4	6.9	2.84	4.29	72	79.1	2.06	348
1 北 關 東 15 號	5.7	6.9	2.82	0.32	71	101.3	2.79	363
2 〃 16 號	5.7	6.11	3.15	0.35	73	108.0	2.86	378
3 農 林 16 號	5.6	6.12	3.20	0.30	81	99.0	2.63	377
4 伊賀筑後 2 號	5.7	6.20	3.85	0.35	71	99.0	2.74	364
5 關 取	5.8	6.18	2.75	0.30	139	101.4	2.65	382
6 鴻 系 A 565 號	5.5	6.12	2.99	0.39	77	102.5	2.75	373
7 宇 系 2 號	5.6	6.12	2.74	0.34	79	97.5	2.59	376
8 近 畿 13 號	5.8	6.14	5.11	0.31	67	108.3	2.92	372
9 〃 14 號	5.8	6.15	2.82	0.32	61	84.5	2.20	385

備考 本年ノ成績=依ルト近畿13號最モ多收ニシテ北關東16號鴻系A 565 號等相亞グ

東 筑 摩 郡 中 川 村

品 種 名	出穂期	成熟期	草丈	穂長	穂 數	子 實 (反 當)		
						重 量	容 量	1 升 重
1 小 麥 農 林 16 號	5.18	6.26	3.27	0.30	260	105.0	2.85	368
2 北 關 東 16 號	5.18	6.26	3.43	0.30	252	108.0	3.00	360
3 關 東 3 號	5.20	6.28	3.43	0.30	248	117.0	3.30	355
4 小 麥 農 林 1 號	5.19	6.27	3.40	0.26	260	120.0	3.45	348
5 信 交 1 號	5.21	6.29	3.76	0.30	190	123.0	3.60	342
6 關 東 22 號	5.16	6.24	3.40	0.20	260	121.5	3.60	338
7 小 麥 農 林 15 號	5.19	6.27	3.76	0.23	270	120.0	3.45	348
8 信濃産不知 1 號	5.22	6.30	3.86	0.23	254	114.0	3.00	345
9 信 交 2 號	5.22	6.30	3.63	0.33	244	117.0	3.45	339
10 標 準 伊賀筑後オレゴン	5.18	6.27	3.63	0.33	224	117.0	3.30	354

備考 本年ノ成績=依ルト信交1號最モ多收ニシテ關東22號小麥農林1號同15號等相亞グ

南 安 曇 郡 豊 科 町

小 麥 ノ 部

品 種 名	出穂期	成熟期	草丈	穂長	穂 數	子 實 (反 當)		
						重 量	容 量	1 升 重
1 北 關 東 13 號	5.14	6.20	2.51	0.29	75	78.9		
2 同 16 號	5.14	6.20	2.48	0.28	77	86.1		
3 農 林 16 號	5.15	6.23	2.50	0.20	87	87.6		
4 伊賀筑後オレゴン	5.15	6.23	3.00	0.30	66	85.6		
5 關 取	5.15	6.23	2.62	0.19	115	82.5		
6 鴻 系 A 565 號	5.16	6.25	2.60	0.25	84	67.0		
7 宇 系 2 號	5.17	6.26	2.68	0.28	88	67.0		

備考 本年ノ成績=依ルト農林16號最モ多收ニシテ北關東16號伊賀筑後オレゴン等相亞グ

大 麥 ノ 部

品 種 名	出穂期	成熟期	草丈	穂長	穂 數	子 實 (反 當)		
						重 量	容 量	1 升 重
1 大 六 角	5.3	6.5	2.91	0.16	82	99.4		
2 備 前 早 生	5.4	6.7	3.30	0.15	82	91.5		
3 關 取	5.4	6.7	2.54	0.12	115	92.0		
4 大 正 麥	5.1	6.2	2.67	0.17	70	90.0		
5 大 麥 新 1 號	4.28	5.30	2.70	0.20	102	74.6		
6 魁	5.2	6.3	2.34	0.14	127	85.8		

備考 本年ノ成績=依ルト大六角最モ多收ニシテ關取備前早生等相亞グ

2. 麥 雪 腐 菌 核 病 抵 抗 性 品 種 育 成 試 験

目 的 従来ノ試験ノ結果雪腐菌核病=強キ品種ハ實用ノ形質劣悪ニシテ栽培價值乏シキヲ以テ之ガ改良ヲ圖ランガ爲メ右品種ヲ母本トシ之ニ種々ノ品種ヲ交配シテ雪腐菌核病=強ク而モ收量多ク實用ノ價值高キ所謂積雪地=適スル優良品種ヲ育成スルヲ主要ナル目的トシ之ニ加フルニ耐病性強キト認ムル品種並ニ系統ヲ各地ヨリ蒐集又ハ配付ヲ受ケ其ノ抵抗力ノ強弱ヲモ併セ試験シ且積雪地=適スル栽培法ノ研究ヲ行ハントス

試験設計 本試験ハソノ目的ニ依リ次ノ三ツニ分ツ

- イ 抵抗力品種比較試験
- ロ 抵抗力品種育成試験
- ハ 栽培法試験

試験成績

イ 抵抗力品種比較試験

品名	生存株歩合	成熟期	草丈	穂長	穂數 六尺間	子實(反當)			品質
						重量	容量	一升重	
大麥ノ部	%		尺	尺	本	實	石	匁	
大麥新1號	0		—	—	—	—	—	—	上
會津細麥5號	55		3.14	0.22	180	60.4	2.51	233	上
電	76		2.78	0.22	248	45.5	2.04	225	上
メンシュアーリー會津5號	79		3.18	0.25	228	52.4	2.17	241	上
細麥3號	59		3.85	0.22	240	34.7	1.55	224	上
會津13號	90		2.85	0.18	266	6.86	2.86	234	中
同會津17號	61		2.58	0.18	378	7.53	1.49	231	中
同會津稗3號	70		2.90	0.17	260	7.77	3.25	239	中

備考 本年ノ成績=依レバ會津稗3號最多收=シテ會津13號之=次グ

品名	生存株歩合	成熟期	草丈	穂長	穂數 六尺間	子實(反當)			品質
						重量	容量	一升重	
小麥ノ部	%	月日	尺	尺	本	實	石	匁	
農林15號	90	7.10	3.30	0.23	318	44.5	1.23	338	中
北陸4號	74	—	2.80	0.30	320	39.4	1.14	346	上
同農林6號	80	—	3.11	0.24	298	36.7	1.14	321	上
北陸24號	97	7.8	2.61	0.23	209	29.8	0.87	341	上
同北陸14號	76	—	3.13	0.21	242	29.1	0.85	341	上
銚不知1號	69	7.18	4.22	0.28	365	27.8	0.92	300	中
赤銚不知1號	65	7.18	4.01	0.31	324	30.8	0.77	317	中
北陸19號	85	—	2.67	0.23	294	32.0	0.66	350	中
同北陸20號	58	—	2.38	0.24	320	35.3	1.07	330	上
同北陸21號	81	—	2.33	0.25	290	26.7	0.81	330	中
同北陸22號	57	—	2.45	0.25	245	33.8	0.96	350	上

備考 本年ノ成績=依レバ農林15號最多收=シテ北陸4號之=次グ

口 栽培法試験

1 播種期、播種量試験

供試品種 農林一五號
試験成績

品名	生存株歩合	成熟期	草丈	穂長	穂數 六尺間	子實(反當)			品質
						重量	容量	一升重	
9月25日播反當4升區	78		3.35	0.22	360	45.5	1.80	350	
〃 5升區	88		3.40	0.24	329	45.8	1.32	347	
〃 6升區	76		3.49	0.21	310	43.1	1.26	346	
10月4日播4升區	94		3.32	0.25	242	35.0	1.08	330	
〃 5升區	86		3.47	0.24	234	37.5	1.10	340	
〃 6升區	74		3.32	0.23	218	24.3	1.13	340	
10月10日播4升區	76		3.23	0.25	297	28.2	0.74	328	
〃 5升區	80		3.25	0.25	249	34.4	0.83	338	
〃 6升區	53		3.24	0.25	212	38.5	1.01	340	
10月4日播7升區	63		3.30	0.25	304	35.1	1.06	330	
〃 85升區	83		3.24	0.25	370	31.2	0.92	340	
〃 10升區	74		3.20	0.24	256	20.7	0.63	330	

備考 本年ノ成績=依レバ9月25日播5升區最多收=シテ同4升區同6升區之=次グ

2. 畦立法試験

供試品種 農林一五號

試験成績

區名	生存株歩合	成熟期	草丈	穂長	穂數 六尺間	重量	容量	一升重量
平畦	74		3.35	0.25	282	38.6	1.13	343
高畦	72		3.22	0.23	278	43.4	1.24	350
比較在來蒔播法	81		3.23	0.23	256	25.3	1.08	343

備考 本年ノ成績=依レバ高畦區最多收=シテ平畦區之=次グ

3. 土入可否試験

供試品種 農林一五號

試験成績

區名	生存株歩合	成熟期	草丈	穂長	穂數 六尺間	反當子實重	反當子實容	反當子實量	一升重量
土入區秋1回春2回	62		3.01	0.28	189	41.7	1.21	344	
無土入區	81		3.23	0.23	253	36.9	1.08	343	

備考 本年ノ成績=依レバ秋期ノ土入ハ越冬株歩合ヲ低下シ不可ナルモ春期ノ土入ハ生育=好結果ヲ及ボセリ

4. 麥踏試験

供試品種 農林一五號

試験成績

區名	生存株歩合	成熟期	草丈	穂長	穂數 六尺間	反當子實重	反當子實容	反當子實量	一升重量
秋春各1回	64		3.39	0.26	269	38.9	1.11	349	
春1回	82		3.42	0.23	290	42.4	1.25	340	
麥踏セズ(標準)	90		3.30	0.23	313	41.5	1.23	338	

備考 秋期ノ麥踏ハ越冬株歩合ヲ低下シ不可ナリ

5. 畦巾試験

供試品種 農林一五號

試験成績

區名	生存株歩合	成熟期	草丈	穂長	穂數 六尺間	反當子實重	反當子實容	反當子實量	一升重量
2尺×4寸	77		3.25	0.23	312	41.9	1.21	347	
1尺8寸×4寸	63		3.14	0.25	254	35.8	1.02	351	
1尺6寸×4寸	63		3.03	0.23	350	28.7	0.83	345	
2尺×5寸(廣播)	81		3.09	0.23	280	44.1	1.26	350	
2尺5寸×8寸(同)	95		3.21	0.25	309	41.3	1.17	354	
2尺5寸×10寸(同)	90		3.13	0.22	379	52.8	1.53	345	

備考 本年ノ成績=依レバ畦巾2尺5寸播巾1尺區最多收ナリ

6. 追肥時期試験

供試品種 農林一五號

試験成績

區名	生存株歩合	成熟期	草丈	穂長	穂數六尺間	反當子實重	反當子實量容	反當子實量	一升重量
融雪直後	75		3.09	0.23	331	32.4	0.93	350	
同 10日後	78		2.98	0.22	256	29.7	0.84	752	
同 20日後	72		2.87	0.22	244	26.7	0.77	348	

備考 本年ノ成績=依レバ融雪直後追肥區最多收ナリ

7. 融雪(撒土)試験

供試品種 農林一五號

試験成績

區名	生存株歩合	成熟期	草丈	穂長	穂數六尺間	反當子實重	反當子實量容	反當子實量	一升重量
撒土區	78		3.25	0.23	325	52.4	1.51	347	
行ハズ(標準)	81		3.28	0.23	258	36.9	1.08	343	

備考 本年ノ成績=依レバ融雪ノ效果顯著ナリ

8. 施肥用量試験 (本縣麥獎勵肥料第三號)

供試品種 農林一五號

區名	生存株歩合	成熟期	草丈	穂長	穂數六尺間	反當子實重	反當子實量容	反當子實量	一升重量
元肥追肥	65		3.14	0.21	248	29.7	0.85	348	
8	65		3.23	0.22	308	34.6	1.01	344	
10	76		3.13	0.22	213	27.9	0.80	345	
6	70		3.07	0.23	264	29.7	0.85	350	
6	78		2.95	0.22	269	2.74	0.79	343	

備考 本年ノ成績=依レバ施肥量反當2 呎トシ元肥ト追肥=切半セルモノ最多ナリ

麥獎勵肥料第三號ノ1呎(10×)ノ配合割合次ノ如シ

硫酸アンモニア 4×2 過磷酸石灰 5×0 鹽化加里 0×8

3. 原種圃

水稻陸稻大麥小麥大豆ノ各原種ノ配付成績次ノ如シ

1. 水 稻

長野本場=於テ配付ノモノ

品 種 名	作付面積	生産數量	反當生産數量	配 付 數 量		
				採種圃	其ノ他	計
栃木早生	14.00	3.900	2.78	3.732	0.128	3.855
陸羽132號	79.00	28.720	3.63	27.922	0.430	28.352
陸羽愛國	46.00	16.670	3.62	16.085	0.397	16.482
陸羽愛國	55.00	18.550	3.37	18.097	0.207	18.304
陸羽早生	55.00	20.380	3.70	19.571	0.605	20.176
無芒愛國	24.00	8.430	2.84	8.246	0.069	8.315
陸羽早生	13.00	4.460	3.43	4.196	0.160	4.356
福島糯	26.00	8.130	3.12	7.742	0.086	7.828
信濃糯	11.00	3.500	3.18	3.316	0.148	3.464
信濃糯	7.00	2.260	3.22	2.115	0.105	2.220
計	330.00	115.000		111.022	2.330	113.352

下伊那分場=於テ配付ノモノ

品 種 名	作付面積	生産數量	反當生産數量	配 付 數 量		
				採種圃	其ノ他	計
銀坊主	12.00	3.120	2.60	2.047	0.032	2.079
銀龜	6.00	1.740	2.90	1.118	0.011	1.129
伊那穗	15.00	4.210	2.80	3.865	0.019	3.884
大東	8.00	1.950	2.43	0.774	0.109	0.883
正京糯	9.00	2.070	2.30	0.998	0.069	1.067
計	50.00	13.090		8.802	0.240	9.042

2. 陸 稻

下伊那分場=於テ配付ノモノ

品 種 名	作付面積	生産數量	反當生産數量	配 付 數 量		
				採種圃	其ノ他	計
胡桃早生	12.00	2.070	1.72	2.028	0.042	2.070
近成純	10.00	1.748	1.74	1.708	0.040	1.748
浦三	6.00	1.250	2.08	1.079	0.038	1.117
オイヤ	6.00	0.750	1.25	0.257	0.035	0.292
東京平山	3.00	0.510	1.70	0.188	0.034	0.222
真溫	13.00	1.400	1.07	1.319	0.077	1.396
尾張糯	3.00	0.382	1.27	0.382	-	0.382
最上糯	7.00	0.945	1.35	0.909	0.036	0.945
計	60.00	9.055		7.870	0.302	8.172

3. 大 麥

長野本場=於テ配付ノモノ

品 種 名	作付面積	生産數量	反當生産數量	配 付 數 量		
				採種圃	其ノ他	計
大前早	26.24	9.800	3.66	9.345	0.2792	9.6242
前早	30.00	10.800	3.60	10.416	0.1780	10.5940
關	12.21	4.600	3.62	4.051	0.3315	4.3825
白	18.00	6.350	3.53	6.073	0.0765	6.1495
電	12.06	3.700	3.03	3.359	0.1032	3.4622
倍	3.00	0.970	3.23	0.866	0.0797	0.9457
虎	7.09	2.500	3.42	2.271	0.0607	2.3317
計	110.00	38.720		36.381	1.1088	37.4898

下伊那分場ニ於テ配付ノモノ

品 種 名	作付面積	生産數量	反 當 生産數量	配 付 數 量		
				採 種 圃	其ノ他	計
倍 取 105號	畝歩 4.15	石 2.860	石 5.24	石 2.080	石 0.280	石 2.880
虎 之 尾	3.15	1.840	5.26	1.770	0.070	1.840
計	8.00	4.200		3.850	0.350	4.200

4. 小 麥

長野本場ニ於テ配付ノモノ

品 種 名	作付面積	生産數量	反 當 生産數量	配 付 數 量		
				採 種 圃	其ノ他	計
伊賀筑後オレゴン	畝歩 178.28	石 28.300	石 1.58	石 27.610	石 0.4576	石 28.0676
小麥農林1號	80.19	9.200	1.14	8.987	0.1165	9.0535
信濃産不知1號	27.15	8.700	1.35	8.507	0.1270	8.6340
ブレドリー	32.28	4.560	1.39	4.310	0.0986	4.4086
計	320.00	45.760		44.364	0.7997	45.1637

下伊那分場ニ於テ配付ノモノ

品 種 名	作付面積	生産數量	反 當 生産數量	配 付 數 量		
				採 種 圃	其ノ他	計
伊賀筑後オレゴン	畝歩 50.00	石 4.020	石 0.80	石 4.010	石 0.010	石 4.020

5. 大 豆 (上水内郡築村ニ委託ス)

長野本場ニ於テ配付ノモノ

品 種 名	作付面積	生産數量	反 當 生産數量	配 付 數 量		
				採 種 圃	其ノ他	計
兄	畝歩 70.00	石 6.618	石 0.94	石 6.428	石 0.042	石 6.471
赤 莢 白	120.00	14.087	4.17	13.696	0.047	13.743
銀 計	70.00	5.800	0.82	5.639	0.039	5.678
計	260.00	26.500		25.764	0.128	25.829

4. 冷害地柏原水稻試験地

位 置 上水内郡柏原村二ノ倉(信越線柏原驛西方約1.5軒)
 海 拔 682米
 地 質 洪積層
 土 性 腐植ニ富ム火山灰壤土地勢黒姫山麓ニシテ東南ニ面セル緩傾斜地

1. 耕 種 梗 概

苗 代

浸 種 種子ハ14日間水ニ浸シ其ノ間毎日一回換水ヲ行フ

種 子 當場耕種梗概ニ同ジ

選 種 同 上

整 地 早春(融雪後)荒起シ行ヒ4月上旬之ヲ切返シ更ニ床拵前深サ約6寸ニ切返シテ土塊ヲ碎キ代播ヲ行ヒ床幅4尺、踏切1尺ノ揚床ヲ作ル

肥 料 (坪當)

肥 料 名	用 量	窒 素	磷 酸	加 里	施 用 法
硫酸アンモニア	68	12.6	—	—	播種二、三日ニ施ス
過磷酸石灰	68	—	12.3	—	
鹽化加里	14	—	—	8.4	
計	—	12.6	12.3	8.4	

播 種 期 4月25日

播 種 量 坪當3合

播 種 法

(1) 品 種 試 験 撒播トシテ擦込ヲ行フ

(2) 栽培法試験 播種板ヲ用ヒテ6分平方ニ1粒ノ割合ニ播種

灌 排 水 播種後發芽揃迄ハ床上1寸位ニ灌水シ其ノ後ハ成ルベク踏切ニシテ灌水シテ風雨ノ

日及夜間ハ床面1寸位ニ灌水ス、苗1寸位ニ伸長後ハ淺ク灌水シテ發育ヲ促ス

防風設備 苗代防風設備トシテ北及東側ニ簾圍ヲナス、移植十日前ニ取外シ苗ヲ強剛ニス

病蟲鳥害驅除豫防 穀浸種前稻苗腐敗病豫防トシテ硫酸銅0.5%液ニ1晝夜浸漬ス

播種後10日目ニ稻苗腐敗病豫防トシテ4斗式ボルドウ液坪當6合撒布ス

本 田

整 地 早春深サ約3寸位ニ荒起シテ行ヒ後5月下旬乃至6月上旬再耕シテ土塊ヲ碎キ2回ノ代播ヲ行フ

肥 料 (反當)

肥 料 名	甲 量	窒 素	磷 酸	加 里	施 用 法
堆 肥	300.000	1.500	0.780	1.890	堆肥ハ第1回代播ノ際施シ其ノ他ハ第2回代播ノ際施ス
硫酸アンモニア	7.050	1.410	—	—	
過磷酸石灰	6.750	—	1.316	—	
鹽化加里	1.200	—	—	0.720	
計	—	2.910	2.096	2.610	

播 秧 期 6月14日

播 秧 法 坪當80株、1株3本植、株間6寸ニ5寸

除 草 1番除草ハ播秧後10日目ニ爾後10日毎ニ3回行フ

灌排水 挿秧當時ハ稍深水トシ1番除草後ハ努メテ淺水トシ穂孕期ヨリ穂揃期迄ハ充分灌水シテ傾穗期ニ至リテ落水ス

病蟲鳥害驅除豫防法 7月上旬泥負蟲發生セルトキハロジソープ加用四斗式砒酸鉛ボルドウ液ヲ反當約8斗撒布、稻熱病發生ノ微アレバ穂揃後ロジソープ加用6斗式石灰ボルドウ液ヲ反當約8斗撒布ス

出穂期ヨリ成熟期ニ掛ケテ蠶及雀害豫防ノ爲メ威銃ヲナス

收穫 黃熟期ニ刈取リ小把トシテ架乾ヲナシ調整ス

2. 品種比較試験

目的 縣ノ内外ヨリ況ク寒冷地ニ適スルト認ムル品種ヲ多數蒐集シテ比較シ以テ寒冷地方ニ適スル優良品種ヲ選定セントス

設計概要 本試験ハ標準栽培區及多肥栽培區、冷水灌溉栽培區、晩播晩植栽培區ノ四ツニ分ツ

(イ) 標準栽培區

區制 2區制

1區面積 6坪

供試品種 14品種

耕種様式 標準耕種梗概ニヨル

(ロ) 多肥栽培區

本區ハ耐肥性品種ヲ選出セントスルモノニシテ肥料ヲ倍量施ス外ハ標準栽培ニ同ジ

(ハ) 冷水灌溉栽培區

本區ハ冷水灌溉栽培ヲ行ヒ品種ノ冷害抵抗性ヲ調査セントス

區制 4區制

1區面積 1坪

供試品種 15品種

耕種法 冷水ヲ掛流ス外ハ標準耕種梗概ニヨル

(ニ) 晩播晩植區

本區ハ晩播晩植栽培ヲ行ヒ品種ノ冷害抵抗性ヲ調査セントス

栽培條件

試験區別	播種期	挿秧期	苗代日數
標準區	4月25日	6月14日	50日
晩植區	5月20日	7月4日	45日

1區面積 1坪

區制 1區制

供試品種 15品種

耕種法 播種期及挿秧期ヲ異ニスル外ハ標準耕種梗概ニ同ジ

試験ノ成績次ノ如シ

(イ) 標準栽培區

品種名	出穂期	成熟期	草丈	穂長	穂數	玄米(反當)			品質	玄米平均
						重量	容量	1升重量		
1 栃木早生	8.13	9.28	3.77	.66	7.7	90.5	2.29	395	下	(四)1.68
2 加賀坊主	8.14	9.28	3.28	.58	11.0	88.3	2.26	392	下	(四)2.04
標1 陸羽132號	8.21	10.10	3.14	.57	11.2	113.5	2.83	402	中ノ上	(四)2.26
3 信交119號	8.17	10.2	3.23	.60	8.9	94.6	2.36	401	下	(四)1.90
4 奥羽166號	8.16	10.2	2.90	.56	11.4	98.5	2.48	397	中ノ下	(四)2.29
5 農林1號	8.18	10.6	2.71	.53	13.5	105.3	2.63	401	上	(四)2.23
6 北陸5號	8.19	10.9	2.89	.60	11.7	107.8	2.70	400	中ノ上	(四)2.31
標2 陸羽132號	8.21	10.10	3.22	.59	11.5	116.5	2.90	402	中ノ上	(四)2.13
7 清水早生	8.19	10.8	3.30	.63	10.3	117.5	2.93	402	中	(四)2.13
8 平井1號	8.19	10.6	3.17	.62	10.1	118.0	2.92	405	中ノ下	(四)2.22
9 農林4號	8.19	10.9	2.86	.62	11.5	107.3	2.69	400	中ノ上	(四)2.10
10 東北20號	8.24	10.15	3.38	.57	12.3	121.2	3.04	399	上	(三)2.65
11 東北25號	8.24	10.15	3.11	.57	10.8	118.4	2.93	404	中ノ上	(三)2.74
標3 陸羽132號	8.22	10.10	3.25	.58	10.9	114.2	2.85	401	中ノ上	(三)2.48
12 信交糯36號	8.18	10.4	3.17	.62	10.0	107.7	2.70	400	中ノ上	(四)2.00
93 福鳥糯	8.21	10.9	3.61	.68	9.1	102.8	2.63	392	中	(四)2.13
14 信濃糯1號	8.26	10.17	3.24	.64	12.2	105.9	2.71	392	中ノ上	(四)2.13

備考 累年平均ノ括弧内ノ數字ハ最近ノ平均年數ヲ示ス

本年ノ成績ニ依レバ東北20號、東北25號、清水早生、平井1號等收量多シ

累年平均ニヨレバ東北25號最多收ニシテ東北20號、北陸5號等順次相亞ケリ

(ロ) 多肥栽培區

品種名	出穂期	成熟期	草丈	穂長	穂數	玄米(反當)			品質
						重量	容量	1升重量	
1 栃木早生	8.15	9.29	4.15	.68	8.4	92.0	2.34	394	下
2 加賀坊主	8.16	9.29	3.56	.59	11.9	75.2	1.93	390	下
標1 陸羽132號	8.22	10.12	3.45	.60	13.6	105.0	2.64	398	中ノ上
3 信交119號	8.18	10.2	3.60	.62	10.6	85.4	2.17	393	下
4 奥羽166號	8.16	10.1	3.12	.59	13.2	75.9	1.94	391	中ノ下
5 農林1號	8.19	10.6	3.18	.61	17.9	90.6	2.31	392	中
6 北陸5號	8.21	10.7	3.36	.66	16.7	121.4	3.08	395	中
標2 陸羽132號	8.22	10.12	3.60	.62	14.2	120.6	3.03	398	中
7 清水早生	8.21	10.8	3.51	.64	12.3	121.7	3.07	397	中
8 平井1號	8.20	10.7	3.42	.63	12.2	124.6	3.12	400	中ノ下
9 農林4號	8.21	10.9	3.36	.62	14.3	124.5	3.16	394	中ノ上
10 東北20號	8.26	10.16	3.67	.59	15.2	112.3	2.83	397	上
11 東北25號	8.25	10.18	3.51	.64	15.3	145.9	3.69	395	中
標3 陸羽132號	8.23	10.12	3.52	.62	15.9	115.3	2.94	392	中
12 信交糯36號	8.18	10.3	3.44	.64	12.6	101.6	2.56	397	中ノ上
13 福鳥糯	8.22	10.10	3.89	.69	10.9	95.1	2.46	387	中ノ下
14 信濃糯1號	8.27	10.20	3.57	.60	15.6	111.1	2.86	388	中ノ上

備考 稻熱病ノ發病程度ヲ見ルニ一般ニ早生種ニ發病多ク晩生種ニハ比較的少ク結局收量ニモ之ガ影響ヲ來セリ

即チ加賀坊主及奥羽166號等收量少ク之ニ反シテ東北25號、農林4號等極メテ收量多シ

(ハ) 冷水灌溉栽培區

(1) 水溫調査

月日	水入口		A 點		B 點		C 點		D 點		普通水田	
	6時	10時	6時	10時	6時	10時	6時	10時	6時	10時	6時	10時
7. 1-5	14.4	15.9	16.4	19.5	17.5	21.2	17.7	21.9	18.4	22.4	19.1	23.5
6-10	14.0	16.3	14.8	20.3	15.6	24.1	16.2	24.9	17.1	25.4	19.0	27.0
11-15	15.8	17.0	16.7	19.6	17.6	22.8	18.1	24.6	19.0	25.8	21.9	28.5
16-20	14.8	17.6	15.0	22.3	15.6	26.2	16.1	27.5	17.5	29.0	20.0	30.2
21-25	14.8	17.6	15.0	20.7	15.5	24.3	15.6	24.9	16.6	25.5	18.2	25.8
26-31	15.5	17.7	16.0	20.3	16.4	23.5	16.6	24.7	17.4	25.7	19.0	25.9
8. 1-5	16.5	18.3	17.0	20.6	17.7	22.3	17.9	23.0	18.6	23.7	19.3	23.0
6-10	16.7	20.6	17.0	25.6	17.4	27.6	17.7	28.1	18.4	28.6	20.5	28.4
11-15	16.6	19.5	17.6	22.1	16.2	25.7	17.2	25.6	18.0	26.2	20.0	26.4
16-20	17.4	20.0	17.3	22.4	18.2	23.9	18.0	24.4	18.6	25.1	19.7	24.9
21-25	16.6	19.9	16.0	21.4	16.4	23.6	16.8	24.3	17.5	24.9	18.7	24.7
26-31	17.3	19.6	16.8	21.9	17.1	23.2	17.5	23.5	18.3	23.8	18.8	24.3
平均	15.9	18.3	16.3	21.4	16.8	24.0	17.1	24.8	18.0	25.5	19.5	26.1

備考 A 點 水口ヨリノ距離10尺
 B 點 // 20尺
 C 點 // 30尺
 D 點 // 40尺
 時間ハ午前ナリ、溫度ハ攝氏

(2) 試驗成績

品 種 名	出 穂 期				稔 實 歩 合				穂 重 量 (10株)			
	A郡	B郡	C郡	D郡	A郡	B郡	C郡	D郡	A郡	B郡	C郡	D郡
1 栃 木 早 生	8.27	8.21	8.20	8.19	14.8	62.2	77.9	86.2	18.0	38.0	39.0	45.5
2 加 賀 坊 主	8.27	8.22	8.21	8.19	27.1	74.9	79.3	85.2	19.0	39.0	43.5	48.5
標1 陸 羽 132 號	9. 5	8.37	8.28	8.27	32.5	82.2	82.4	84.3	22.0	45.0	46.0	51.0
3 信 交 119 號	8.30	8.20	8.22	8.21	54.9	86.0	76.5	81.0	31.0	44.0	51.0	51.0
4 奥 羽 166 號	8.27	8.23	8.21	8.19	26.0	69.8	73.8	82.0	17.0	31.5	44.5	49.5
5 農 林 1 號	9. 6	9. 1	8.30	8.28	16.3	80.7	84.9	81.7	17.5	31.5	57.0	60.0
標2 陸 羽 132 號	9. 5	9. 1	8.29	8.27	36.4	77.7	79.0	84.8	18.0	37.5	49.0	64.0
6 北 陸 1 號	9. 2	8.30	8.28	8.28	4.6	49.8	81.2	87.7	9.5	28.0	40.0	52.0
7 北 陸 5 號	9. 4	9. 4	8.31	8.30	7.1	65.3	83.1	84.5	14.0	34.0	51.5	58.5
8 清 水 早 生	9. 4	8.29	8.24	8.23	24.2	70.6	80.7	84.1	17.0	32.0	44.5	54.0
9 平 井 1 號	9. 3	8.28	8.23	8.23	7.3	67.5	81.9	84.5	18.0	26.5	40.5	50.0
標3 陸 羽 132 號	9. 6	9. 1	8.28	8.27	42.4	79.4	84.9	89.8	19.0	37.0	48.0	58.0
10 農 林 4 號	9.10	9. 2	8.31	8.28	2.1	68.6	81.4	80.9	10.0	35.0	43.5	55.5
11 東 北 20 號	9.10	9. 3	9. 1	8.31	4.3	72.7	77.1	87.7	10.5	34.0	47.0	51.5
12 東 北 25 號	9.10	9. 2	8.31	8.30	1.6	79.2	82.6	92.5	12.0	41.5	55.5	64.5
13 信 交 糯 36 號	9. 5	8.28	8.25	8.23	0.3	50.1	77.8	83.9	7.0	23.0	38.5	45.0
標4 陸 羽 132 號	9. 6	9. 1	8.28	8.27	4.9	71.3	81.5	89.8	10.0	37.5	50.0	63.5
14 福 島 糯	9. 6	9. 9	8.28	8.28	7.5	67.4	76.0	75.5	9.0	26.0	36.0	38.0
15 信 濃 糯 1 號	9.12	9. 9	9. 6	9. 3		23.2	58.0	84.5	6.5	18.5	37.5	52.0

備考 稔實歩合ノ調査ニアタリテハ指頭ニテ壓シテ堅キモノヲ稔實粒トセリ
 A、B、C、D郡トハAハ水口ヨリ10尺、Bハ20尺、Cハ30尺、Dハ40尺毎ニ溝ヲ
 以テ區切リタル品種郡ヲ示ス

(ニ) 晩播晩植栽培區

品 種 名	草 丈		莖 數		出 穂 期		出穂 遅延 日數	稔 實 歩 合		差	穀 米 反 當 量		A = 對 スル B ノ 割 合
	A	B	A	B	A	B		A	B		A	B	
1 栃 木 早 生	3.56	3.35	7.9	8.1	8.14	8.24	10	87.3	86.2	1.1	106.2	94.2	88.7
2 加 賀 坊 主	3.26	3.12	12.1	7.5	8.14	8.24	10	93.5	86.0	7.5	104.1	99.9	96.0
標1 陸 羽 132 號	3.35	3.06	9.0	11.1	8.21	8.31	10	90.5	83.2	7.3	132.6	108.6	81.9
3 信 交 119 號	3.42	3.12	6.7	8.5	8.17	8.26	9	92.4	85.9	6.5	103.2	90.0	87.2
4 奥 羽 166 號	2.97	2.84	12.0	11.2	8.16	8.25	9	90.3	83.7	6.6	123.0	107.4	87.3
5 農 林 1 號	2.97	2.71	13.5	16.5	8.20	8.30	10	92.8	87.4	5.4	152.1	110.1	72.4
標2 陸 羽 132 號	3.33	2.99	8.5	12.9	8.22	8.13	9	95.9	84.9	11.0	150.3	105.0	69.9
6 北 陸 1 號	3.17	2.84	11.3	13.4	8.21	8.28	7	95.7	82.4	13.3	142.8	119.4	83.6
7 北 陸 5 號	3.22	2.98	9.7	13.7	8.21	9. 1	11	93.2	74.4	18.8	143.0	116.7	81.6
8 清 水 早 生	3.41	3.13	7.0	11.3	8.18	8.28	10	90.0	80.6	9.4	136.4	108.6	79.6
9 平 井 1 號	3.28	2.96	8.1	10.7	8.20	8.28	8	90.1	79.9	10.2	150.9	117.6	77.9
標3 陸 羽 132 號	3.42	3.25	8.5	11.9	8.22	8.30	8	94.9	85.1	9.8	155.7	120.0	77.1
10 農 林 4 號	3.20	3.04	10.5	10.3	8.21	8.30	9	89.4	80.7	8.7	145.8	117.9	80.9
11 東 北 20 號	3.48	3.34	13.8	14.5	8.25	9. 2	8	89.4	77.1	11.3	155.4	118.4	73.0
12 東 北 25 號	3.20	3.05	12.2	12.8	8.23	9. 2	10	95.4	80.3	15.1	154.2	115.2	74.7
13 信 交 糯 36 號	3.21	3.03	10.3	10.8	8.18	8.26	8	89.1	88.8	0.3	137.4	120.6	87.8
標4 陸 羽 132 號	3.54	3.21	9.6	13.1	8.23	8.30	7	92.4	89.7	2.7	160.2	121.5	75.8
14 福 島 糯	3.64	3.25	7.7	9.6	8.22	8.30	8	91.4	74.4	17.0	128.4	94.4	73.5
15 信 濃 糯 1 號	3.29	3.08	9.3	13.2	8.26	9. 4	9	89.0	75.6	13.4	141.6	91.8	64.8

備考 Aハ標準區ニシテBハ晩播晩植區ナリ、以上ノ成績ニミル如ク晩播晩植區ハ草丈短ク
 無効分蘗多ク出穂遅延スルヲ認ム
 概シテ(ハ)冷水灌溉栽培區ト同様早生種ハ稔實歩合高ク、從ツテ晩生種ニ比シ冷水ハ晩
 播晩植等ニ強イ、然レテ水溫ノ上昇スルニツレ亦早植スルニ隨ヒテ增收歩合ハ早生種
 ヨリ晩生種ガ著シク大ナルヲ認メル

3. 播種期ト挿秧期トノ關係試驗

目 的 播種期ト挿秧期トノ相互關係ガ稻ノ生育經過並ニ收量ニ及ボス影響ヲ明カニセント
 ス

試驗方法ノ概要

供試條件

播 種 期	5 月 30 日	6 月 4 日	6 月 9 日	6 月 14 日	6 月 19 日
4 月 20 日	①	②	④	⑦	
4 月 25 日		③	⑤	⑧ △	⑩
4 月 30 日			⑥	⑨	⑪

供試品種 陸羽132號 △ハ標準區

一區面積及區制 5坪1區制

試驗ノ成績次ノ如シ

試験番號	播種期	挿秧期	發芽期	出穂期	成熟期	草丈	穂長	穂數	玄		米
									重量	容量	一升重量
1	4.20	5.30	4.28	8.17	10.5	3.15	.60	10.2	123.6	3.11	398
2	4.20	6.4	—	8.19	10.7	3.32	.63	10.9	130.3	3.27	399
3	4.25	6.4	5.3	8.18	10.8	3.02	.56	9.3	124.5	3.13	398
4	4.20	6.9	—	8.19	10.8	3.21	.64	11.0	123.8	3.10	399
5	4.25	6.9	—	8.18	10.9	3.05	.59	10.4	135.9	3.42	397
6	4.30	6.9	5.6	8.20	10.9	3.08	.59	10.0	120.5	3.04	396
7	4.20	6.14	—	8.21	10.9	3.52	.64	12.0	123.2	3.12	395
8△	4.25	6.14	—	8.21	10.10	3.45	.63	11.3	126.9	3.21	396
9	4.30	6.14	—	8.21	10.10	3.14	.58	10.9	125.1	3.18	394
10	4.25	6.19	—	8.21	10.10	3.37	.61	10.0	122.8	3.13	392
11	4.30	6.19	—	8.22	10.10	3.16	.58	9.6	114.1	2.91	392

以上ノ成績ニ依レバ、(5) 4月25日播6月9日植區最モ收量多ク、(11) 4月30日播6月19日植區ハ最モ劣レリ。標準區ト比較スレバ前者ハ0.65割ノ増收ニシテ、後者ハ0.91割ノ減收ヲ示セリ。之ヲ要スルニ早播早植區ハ晩播晩植區ヨリモ幾多ノ不良環境ニ遭遇セルモ尙以上ノ如キ收量多キヲ見テモ、如何ニ早播早植ノ必要ナルカヲ窮ハレル

4. 肥料適量試験

目的 寒冷地帯ニ於ケル稻作上ノ肥料ノ適當ナル分量ヲ查定セントス

試験方法

耕種様式 施肥料ヲ異ニスル外ハ標準耕種梗概ニ據ル

一區面積及區制 10坪1區制

供試品種 陸羽132號

試験區別

試験番號	肥料名	分量	反當	自給肥料
1	長野縣獎勵水稻第七號肥料	5	貫	堆肥 300 貫
2	〃	10	貫	〃 〃
3△	〃	15	貫	〃 〃
4	〃	20	貫	〃 〃

備考 △印ハ標準區

試験ノ成績次ノ如シ

區名	出穂期	成熟期	草丈	穂長	穂數	玄		米		玄米容量百分比率	藥重	批重	品質
						重量	容量	一升重量	重量				
1 反當五貫區	8.20	10.8	3.26	.61	9.9	116.9	2.94	397	92.5	164	1.8	中ノ上	
2 反當10貫區	8.20	10.8	2.23	.61	10.3	117.1	3.00	391	94.3	163	2.3	同	
3 反當15貫區	8.21	10.9	3.41	.62	11.5	123.9	3.13	390	100.0	192	7.2	同	
4 反當20貫區	8.21	10.9	3.32	.62	11.2	135.2	3.41	397	107.2	184	7.0	同	

備考 外ニ堆肥300貫

左年ノ成績ニ依レバ反當肥料20貫區最モ收量多シテ肥料ヲ減ズルニ隨イテ收量最モ減少シ反當5貫區最モ劣レリ

5. 苗代種類比較試験

目的 寒冷地ニ於ケル最良ノ育苗法ヲ知ラントス

耕種様式

試験區別	設置場所	播種期	播種量	苗代日數	挿秧期	苗代肥料
溫床苗代	試驗地	4.15	5	50	6.5	苗代獎勵
委託苗代	上水内郡南陽村	4.25	3	50	6.15	肥料第
標準水苗代	試驗地	4.25	3	50	6.15	1號坪
陸苗代	試驗地	4.15	3	60	6.15	140匁

1 區面積 10 坪

區制 1 區制

供試品種 中生陸羽132號

晩生關取

試験區別

1. 溫床苗代	陸羽 132 號	5. 溫床苗代	關取
2. 委託苗代	同 上	6. 委託苗代	同 上
3. 標準水苗代	同 上	7. 標準水苗代	同 上
4. 陸苗代	同 上	8. 陸苗代	同 上

試験成績次ノ如シ

區名	出穂期	成熟期	草丈	穂長	穂數	玄		米		玄米容量百分比率	藥重	批重	品質
						重量	容量	一升重量	重量				
1 溫床陸羽132號	8.13	10.2	3.36	.60	13.0	128.1	3.21	399	184	1.85	642	無	
2 委託同	8.17	10.5	2.95	.60	10.4	117.7	2.94	400	140	1.10	294	同	
3 水苗同	8.21	10.9	3.36	.61	10.7	131.2	3.27	401	172	2.70	491	同	
4 陸苗同	8.21	10.10	3.30	.62	11.2	118.1	2.95	401	172	3.90	147	同	
5 溫床關取	8.24	10.11	3.59	.61	13.9	125.8	3.14	401	308	2.20	549	少	
6 委託同	8.25	10.12	3.29	.61	11.1	112.5	2.81	401	215	0.95	390	同	
7 水苗同	8.27	10.14	3.49	.60	12.8	107.4	2.68	401	248	2.00	268	同	
8 陸苗同	8.28	10.16	3.58	.60	13.3	104.1	2.61	399	301	4.90	211	中	

備考 本年ノ成績ニ依レバ中生種陸羽132號ニ於テハ水苗代及溫床苗代ハ收量多ク然シナガラ晩生種關取ニ於テハ溫床苗代最モ收量多ク委託苗、水苗及陸苗ノ順ニ收量減少セリ

5 冷害地原村試験地 (昭和十年度創始)

位置 諏訪郡原村(中央線茅野驛東方約8軒)
 海拔 1.010メートル
 地質 洪積層
 土地 腐植=富ム火山灰壤土
 地勢 八ヶ嶽ノ西山麓ニ位シ西北ニ面セル緩傾斜地ナリ

水 稻

1. 耕種梗概

苗 代

種子 本場耕種梗概=同ジ
 選種 同
 浸種 種子ハ14日間桶中ニ浸シ毎日一回換水ヲ行フ
 整地 早春(融雪後)荒起シヲ行ヒ4月上旬之ヲ切返シ更ニ床拵前深サ約3寸ニ切返シテ土塊ヲ碎キテ代播ヲ行ヒ床幅4尺踏切1尺ノ揚床ヲ作ル
 肥料 長野縣臨時配合肥料第8號肥坪當140匁(次表ノ通り)施用ス

肥料名	用量	窒素	磷酸	加里	施用法
硫酸アンモニア	65.8	12.1	—	—	播種2.3日前施ス
過磷酸石灰	63.0	—	12.3	—	同
鹽化加里	11.2	—	—	6.7	同
計		12.1	12.3	6.7	

播種期 4月25日
 播種量 坪當3合
 播種法 品種試験ハ撒播トシ擦込ヲ行ヒ栽培法ニ關スル試験ハ播種板ヲ用ヒテ6分平方ニ1粒宛正條播トス
 灌排水 播種後2週間ハ晴天無風ノ日中ハ床上2、3分ノ淺水トシ夜間及ビ雨天又ハ寒氣強キ日ハ常ニ床上1寸以上ノ深水トス。其ノ後ハ天候及ビ苗發育ノ模様ニヨリ灌水ヲ調節シ苗ノ強健ナル發育ヲ圖ル、用水ハ温水田ニテ温メタル後灌水ス
 防風設備 苗代防風設備トシ管圍ヲナス
 移植10日前ニ取外シ苗ヲ強剛ニス
 病蟲防除 播種後10日目ニ稻苗腐敗病預防トシテ4斗式石灰ボルドウ液坪當3合撒布、又床面

剝離シ初メタル時4斗式ボルドウ液ノ撒布ヲ行フ

本 田

整地 早春深サ約4寸位ニ荒起ヲ行ヒ後5月下旬乃至6月上旬再耕シテ土塊ヲ碎キ灌水シテ2回ノ代播ヲ行フ

肥料 長野縣臨時配合肥料第8號ヲ反當15匁(次表ノ通り)施用ス

肥料名	反當用量	窒素	磷酸	加里	施用法
堆肥	300.000	1.500	0.780	1.890	堆肥ハ第1回代播前ニ施シ其ノ他ハ第2回代播前ニ施ス
硫酸アンモニア	7.050	1.410	—	—	
過磷酸石灰	6.750	—	1.316	—	
鹽化加里	1.200	—	—	0.720	
計	—	2.910	2.096	2.610	

播種期 6月14日

播種法 坪80株、畦幅9寸、株間5寸、1株4本植

除草 第1回 6月25日

第2回 7月5日

第3回 7月15日

第4回 7月25日

灌排水 播種當時ハ稍深水トシ1番除草後ハ努メテ淺水トシ穂孕期ヨリ穂揃期迄ハ充分灌水シ傾水期ニ至リテ落水ス

病蟲害驅除預防 7月上旬泥負蟲發生セル時ハロジソープ加用砒酸石灰ボルドウ液ヲ反當約8斗撒布ス

稻熱病發生ノ徴アレバロジソープ加用6斗式石灰ボルドウ液反當約8斗撒布ス

出穂期ヨリ成熟期ニ至リ鶉及雀害預防ノ爲メ威銃ヲ行フ

收穫 黄熟期ニ刈取り小把トシテ架乾シ調製ス

2. 品種比較試験

目的 品種選抜豫備試験ノ結果有望ト認メラルル品種ニ就キ生産力其他實用的特性ヲ調査シ以テ寒冷地方ニ適スル品種ヲ選抜セントス

試験成績

品種名	出穂期	成熟期	草丈	穂長	穂數	玄米(反當)			玄米重量對標準比
						重量	容量	1升重	
栃木早生	8.13	10.1	3.79	6.8	9.1	98.7	2.64	373	77.6
加賀坊主	8.13	9.19	3.44	5.9	15.0	109.5	2.82	388	86.1
農林4號	8.21	10.15	3.06	6.3	14.9	124.2	3.19	389	97.7
農林1號	8.19	10.9	2.83	5.4	18.4	124.6	3.38	368	98.0
東北9號	8.18	10.7	2.98	5.7	17.9	108.1	2.74	394	85.0

品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	玄 米 (反當)			玄米重量對標準比
						重量	容量	1升重	
標準陸羽132號	8.21	10.16	3.18	5.8	13.6	127.2	3.28	387	100.0
真羽166號	8.17	10.7	3.00	5.6	14.2	106.7	2.74	389	83.9
平井1號	8.20	10.6	3.12	6.1	12.6	125.3	3.33	376	98.5
信濃交配119號	8.16	10.5	3.33	6.0	11.0	116.1	3.04	382	91.3
清水早生	8.19	10.10	3.37	6.7	13.6	119.2	3.04	391	93.2
東北20號	8.23	10.20	3.44	6.0	16.5	126.1	3.34	377	98.6
標準陸羽132號	8.21	10.16	3.14	6.0	13.7	127.9	3.25	393	100.0
東北25號	8.21	10.16	3.04	6.1	13.8	129.2	3.29	392	101.1
福島糯	8.18	10.4	3.37	6.7	9.9	96.2	2.65	362	75.2
信濃交配糯36號	8.16	10.3	3.06	6.3	11.2	107.0	2.83	377	83.6
信濃糯1號	8.24	10.19	3.30	7.1	13.9	100.5	2.65	378	78.6

備考 本年ノ成績ニコレバ農林1號東北20號平井1號東北25號等收量多ク有望ナリ。

3. 有望系統性能檢定試験

目 的 育成系統中有望ト認めラル、信濃交配119號ニ對シ各種ノ栽培法ヲ適用セシメテ其ノ性能ヲ檢定セントス

試験成績

試験區別	品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	玄 米 (反當)		
							重量	容量	1升重
標準栽培區	信交119號	8.16	10.5	3.23	6.0	9.0	113.1	3.07	368
	陸羽132號	8.20	10.15	3.22	6.7	15.1	135.1	3.75	360
	栃木早生	8.11	9.30	3.72	6.5	9.1	106.9	2.86	373
多肥栽培區 (5割増肥)	信交119號	8.20	10.15	3.65	6.4	12.3	135.9	3.42	397
	陸羽132號	8.26	10.25	3.62	6.2	16.7	134.3	3.45	389
	栃木早生	8.19	10.10	3.90	6.6	11.3	111.0	2.82	393
少肥栽培區 (5割減肥)	信交119號	8.15	10.3	3.11	5.6	10.4	107.8	2.74	393
	陸羽132號	8.20	10.13	2.84	5.7	13.9	114.0	3.01	378
	栃木早生	8.11	9.29	3.19	5.9	9.4	101.0	2.59	389
疎植栽培區 (坪80株3本植)	信交119號	8.16	10.5	3.24	6.1	8.7	115.3	3.06	376
	陸羽132號	8.21	10.16	3.03	6.1	10.8	123.1	3.42	360
	栃木早生	8.12	10.1	3.67	6.9	6.1	100.3	2.66	377
密植栽培區 (坪90株3本植)	信交119號	8.16	10.5	3.09	5.7	10.6	117.7	3.20	368
	陸羽132號	8.20	10.15	2.98	5.7	14.2	130.8	3.59	364
	栃木早生	8.11	9.30	3.63	6.2	7.9	103.4	2.77	373

備考 以上ノ成績ニコレバ信交119號ハ兩親タル陸羽132號ト栃木早生ノ中間ノ特性ヲ有スルコトヲ各栽培條件ニ於テ示セリ

4. 冷水灌溉栽培ニ對スル品種ノ特性調査

目 的 本縣寒冷地帯ニ比較的重量ナル品種ニ就キ冷水灌溉栽培ヲ行ヒ是等品種ノ耐冷性檢定ヲ行ハントス

試験成績

品 種 名	出入口別	稈 長	穂 長	穂 數	出穂期	出穂遅延日數	不稔歩合	不稔歩合對標準比	
								%	%
栃木早生	入	2.70	6.3	3.2	9.1	19	98.9	98.9	
	出	3.33	7.5	4.4	8.20	7	48.6	67.5	
加賀坊主	入	2.66	5.6	5.8	9.5	23	100.0	100.0	
	出	2.93	6.3	8.2	8.22	9	50.0	69.4	
農林4號	入	2.34	4.9	11.8	—	—	100.0	100.0	
	出	2.71	5.4	12.2	9.6	16	92.9	129.0	
農林1號	入	2.33	5.2	9.0	9.8	20	100.0	100.0	
	出	2.56	6.0	13.0	8.30	11	86.7	120.4	
東北9號	入	2.36	5.4	9.8	9.8	21	100.0	100.0	
	出	2.54	5.6	9.4	9.3	16	61.3	85.1	
標準陸羽132號	入	2.40	5.0	8.4	—	—	100.0	100.0	
	出	2.76	6.0	8.4	9.6	16	72.0	100.0	
真羽166號	入	2.42	5.6	6.2	9.1	15	100.0	100.0	
	出	2.47	5.9	7.8	8.23	6	29.4	40.8	
平井1號	入	2.45	5.9	6.4	9.1	12	99.7	99.7	
	出	2.62	6.2	7.0	8.27	7	56.5	78.5	
信濃交配119號	入	2.67	5.9	5.2	9.5	20	99.2	99.2	
	出	2.86	6.2	4.8	8.24	8	45.8	63.6	
清水早生	入	2.60	5.1	7.8	9.8	20	99.9	99.9	
	出	2.67	5.3	7.2	8.25	6	75.3	110.4	
万太郎米	入	2.78	6.0	5.6	8.23	12	63.1	63.1	
	出	2.75	6.2	6.2	8.19	8	31.1	45.6	
標準陸羽132號	入	2.56	5.2	8.2	9.8	18	100.0	100.0	
	出	2.83	5.9	10.6	9.2	12	68.2	100.0	
東北25號	入	2.46	5.0	8.4	9.10	20	100.0	100.0	
	出	2.74	6.1	8.8	9.6	16	99.4	145.7	
清水糯	入	3.14	6.3	3.8	8.27	12	73.0	73.0	
	出	3.09	7.0	5.3	8.25	10	26.6	39.0	
福島糯	入	2.90	6.4	7.6	9.5	18	85.5	85.5	
	出	3.02	7.0	7.0	8.29	11	39.9	58.5	
信濃交配糯36號	入	2.54	5.9	4.4	9.1	16	82.8	82.8	
	出	2.83	6.8	6.8	8.22	6	45.6	66.9	
信濃糯1號	入	2.60	5.1	7.2	—	—	100.0	100.0	
	出	3.04	6.3	8.4	9.9	26	94.9	139.1	

冷水入口及出口ノ水温調査成績

調査月日	午前 6 時		午前 10 時		午後 2 時	
	冷水口	出口	冷水口	出口	冷水口	出口
6.20-25	15.0	16.0	16.3	20.4	16.8	23.2
6.26-30	16.2	17.0	16.6	19.8	18.6	24.7
7. 1- 5	16.5	19.0	17.2	21.5	19.0	24.6
7. 6-10	16.7	19.0	18.8	26.6	18.7	31.4
7.11-15	17.8	19.2	18.8	27.4	19.6	31.1
7.16-20	18.5	19.6	21.2	28.3	22.0	33.3
7.21-25	19.1	19.6	21.3	28.8	23.2	35.5
7.26-31	19.3	20.2	21.0	26.0	22.2	28.8
8. 1- 5	19.6	20.2	20.8	23.9	20.7	24.2
8. 6-10	19.3	20.2	20.8	26.3	21.8	30.2
8.11-15	20.3	20.8	21.8	27.4	21.8	30.0
8.16-20	19.8	20.3	20.4	24.9	21.0	24.7
8.21-25	19.8	19.9	21.0	24.2	21.4	25.6
8.26-31	19.3	19.5	20.1	21.9	20.3	23.1
9. 1- 5	19.4	19.9	20.2	23.5	20.5	24.9
9.6-10	18.6	19.4	20.2	24.1	20.6	25.7

備考 冷水ノ入口ト出口トノ距離ハ五間ナリ

考察 万太郎米ノ冷水入口區ニ於ケル不稔歩合ハ63.1%ニシテ最モ少ク冷水灌溉栽培ニ對スル抵抗性強キヲ認メタリ、之ニ亞ギ清水糯信濃交配糯36號、福島糯等強キヲ認メタリ
出穂遲延日數ニ於テハ平井1號、万太郎米、清水糯等短ク又入口ト出口ニ於ケル遲延日數ノ差モ少キヲ認メタリ

5. 晩播晩植ニヨル特性檢定試験

目的 播種期挿秧期ヲ異ニシテ栽培シテ冷害現象發現ノ難易ヲ査定シ品種ノ冷害抵抗性ヲ檢定セントス

試験方法

耕種法 播種期及挿秧期ヲ次ノ如ク異ニスル外ハ標準耕種梗概ニ準ズ

試験區別	播種期	挿秧期	苗代日數
甲 區	4.25	6.15	50
乙 區	5. 5	6.24	50
丙 區	5.15	6.29	45

1區面積及區制 1區1.8坪 1區制

試験成績

品種名	區名	草丈	穂長	穂數	出穂期	出穂遲延日數	成熟期	稔歩實合
栃木早生	甲	3.68	6.7	7.5	8.15	—	10. 1	79.1
	乙	3.64	6.6	7.3	8.19	4	10. 4	70.4
	丙	3.40	6.4	8.4	9. 1	17	—	41.7
加賀坊主	甲	3.85	6.1	11.8	8.14	—	9.20	84.9
	乙	3.21	5.8	13.1	8.18	4	9.24	74.7
	丙	3.15	5.9	13.1	8.30	12	—	30.4
農林4號	甲	2.93	6.4	13.1	8.21	—	10.16	85.8
	乙	2.97	6.1	13.5	8.30	9	—	53.4
	丙	2.64	5.6	14.3	9.10	20	—	0.8
農林1號	甲	2.79	5.8	14.5	8.20	—	10.10	82.3
	乙	2.74	5.8	18.5	8.25	5	10.17	83.6
	丙	2.67	5.3	19.6	9. 4	10	—	49.8
東北9號	甲	3.13	5.9	10.7	8.18	—	10. 7	85.0
	乙	2.83	5.5	17.6	8.22	4	10.10	84.4
	丙	2.86	5.3	17.0	8.30	12	—	57.8
標準陸羽132號	甲	3.18	6.0	11.9	8.21	—	10.16	87.9
	乙	3.04	5.6	12.6	8.31	10	—	73.8
	丙	2.90	5.5	11.5	9. 3	13	—	61.4
奥羽166號	甲	2.88	5.8	10.3	8.17	—	10. 8	85.6
	乙	2.93	6.1	12.3	8.19	2	10.10	72.8
	丙	2.87	5.7	13.5	8.26	9	10.20	72.2
平井1號	甲	3.03	6.0	10.1	8.19	—	10. 6	83.0
	乙	3.15	6.2	13.2	8.20	1	10. 7	88.4
	丙	2.93	5.8	12.3	8.30	11	10.10	82.2
信交119號	甲	3.21	5.8	9.4	8.16	—	10. 6	87.4
	乙	3.26	6.1	9.0	8.19	3	10. 8	86.4
	丙	3.22	5.8	9.6	8.27	11	10.15	67.0
清水早生	甲	3.26	6.3	9.6	8.19	—	10.13	84.6
	乙	3.27	6.2	12.6	8.21	2	10.16	83.8
	丙	3.16	6.0	13.0	8.30	11	—	54.8
東北20號	甲	3.37	6.1	11.2	8.22	—	10.19	79.4
	乙	3.36	5.8	15.8	8.29	7	—	70.6
	丙	3.22	5.4	15.3	9. 4	13	—	38.5
標準陸羽132號	甲	3.12	6.1	11.8	8.20	—	10.16	92.5
	乙	3.11	5.7	11.8	8.31	11	—	82.5
	丙	3.00	5.3	11.8	9. 3	14	—	78.7
東北25號	甲	3.05	6.4	11.1	8.22	—	10.16	94.3
	乙	3.15	6.2	13.2	8.27	5	10.19	83.4
	丙	3.02	5.8	12.9	9. 4	13	—	80.6
福島糯	甲	3.48	6.4	9.5	8.18	—	10. 4	84.4
	乙	3.53	6.9	10.4	8.20	2	10. 6	88.7
	丙	3.50	6.4	10.4	8.27	9	10.10	74.7
信濃交配糯36號	甲	3.07	6.1	9.2	8.16	—	10. 2	86.0
	乙	3.28	6.7	11.2	8.19	3	10. 5	86.9
	丙	3.26	6.4	12.8	8.26	10	10. 9	79.8
信濃糯1號	甲	3.19	7.2	11.9	8.27	—	10.19	77.2
	乙	3.52	7.2	13.8	8.28	1	10.25	81.2
	丙	3.22	6.5	10.8	9. 6	10	—	52.6

考察 稔實歩合ニ於テ其ア絶対値ノ大ナルハ平井1號及福島糯ノ二品種ナリ
稔實歩合ノ晚播晚植區ニ於テ尙ホ其ノ率高キモノハ平井1號ニシテ其ノ差僅ニ0.8%ニシテ
最モ抵抗性强キヲ認メタリ、次デ保濃交配糯36號、福島糯、東北25號、陸羽132號等ノ順ニ
抵抗性大ナルヲ認メタリ

6. 品種選抜豫備試験

目的 寒冷地ニ於テ優良ト認メラル、品種ニツキ實用的特性ヲ精査シ優良品種ノ豫選ヲ行
ハントス

試験成績

品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	反 當 (玄米)			玄米重量 對 標準比
						重 量	容 量	1升重	
	月日	月日	尺	寸	本	貫	石	匁	%
東北 14 號	8.24	10.26	3.31	5.9	15.8	108.2	2.73	396	85.6
東北 23 號	8.25	10.27	3.33	6.2	15.5	103.6	2.67	388	81.9
東北 26 號	8.26	10.30	2.96	6.1	16.7	112.7	2.92	385	89.2
東北 27 號	8.24	10.29	2.96	5.5	16.5	106.1	2.66	393	83.2
小田代 5 號	8.13	9.19	3.72	6.3	11.6	108.0	2.79	387	85.4
標準陸羽132號	8.21	10.16	3.23	5.8	13.9	126.4	3.22	392	100.0
宮城 19 號	8.20	10.15	3.26	6.4	15.2	110.7	2.80	395	88.8
龜ノ尾 5 號	8.20	10.26	3.50	6.0	12.1	108.6	2.98	364	87.2
標準陸羽132號	8.21	10.16	3.13	5.9	14.4	124.7	3.20	389	100.0
奥羽 74 號	8.18	10.13	2.78	5.7	16.4	117.2	2.97	394	94.1
奥羽 172 號	8.16	10.12	2.99	5.7	16.8	114.3	3.14	364	91.7
奥羽 170 號	8.16	10.12	3.16	6.0	13.9	100.1	2.56	390	80.3
奥羽 187 號	8.21	10.17	3.45	6.3	15.4	124.7	3.19	391	95.8
標準陸羽132號	8.21	10.16	3.22	5.9	14.7	130.2	3.33	390	100.0
奥羽 191 號	8.26	10.27	3.10	6.5	13.7	119.5	3.16	378	91.8
陸羽 4 號	8.22	10.18	3.36	6.1	17.1	133.4	3.53	378	102.5
昭和 2 號	8.28	10.28	3.14	5.8	15.9	77.8	2.04	381	59.8
畿内早生22號	8.25	10.25	3.12	6.0	17.2	108.0	2.73	395	85.8
早生愛國	8.15	10.10	3.15	6.2	13.9	127.6	3.46	368	101.3
標準陸羽132號	8.21	10.16	3.30	6.1	16.6	126.0	3.23	390	100.0
昭和 早 生	8.20	10.18	3.17	5.9	13.9	123.5	3.14	393	98.1
陸×誠 21 號	8.17	10.14	3.06	5.7	14.5	128.8	3.28	392	102.2
北 陸 12 號	8.19	10.25	3.10	6.6	11.6	122.2	3.15	388	97.1
水稻農林7號	8.29	10.30	2.81	5.4	15.0	89.2	2.32	384	70.8
カラス糯	8.12	10. 1	3.48	6.5	14.0	90.0	2.53	356	73.7
一 本 糯	8.18	10.16	3.46	6.1	11.1	139.7	3.81	366	114.5
秋田糯 7 號	8.20	10.19	2.97	5.8	15.1	124.2	3.24	383	101.8
標準福島糯	8.19	10. 4	3.58	6.9	11.1	122.0	3.54	344	100.0
青森糯 5 號	8.16	10. 8	3.43	6.1	13.4	102.8	2.65	387	84.3
鶴ノ糯 2 號	8.23	10.17	3.13	6.4	15.8	104.8	2.70	387	85.9

考察 標準品種陸羽132號及福島糯ヲ凌駕スルモノ極メテ少ク僅カニ陸羽4號、早生愛國
(陸羽132號×誠造早生) 21號、一本糯、秋田糯7號ノ五品種ノミナリ

7. 温床苗代及委託苗代試験

目的 寒冷地ニ於テ普通水苗代ニヨリテ育成セル苗ト温床苗代及暖地委託苗代ニヨリテ育
成セル苗ノ生産力並ニ其ノ他ノ得失ニ就テ比較ヲ試ミントス

供試品種 陸羽132號 關取 福島糯

試験方法

試 驗 區 別	設 場 置 所	浸 日 種 數	播 種 期	播 種 量	播 秧 期	苗 日 代 數	本 植 田 方	苗 肥	
								株 本	1畝1畝肥 匁
温床苗代	場 内	3	4.15	3	6. 5	50	80.2	140	
委託苗代	上諏訪	10	4.25	3	6.15	50	80.4	140	
標準水苗代	場 内	14	4.25	3	6.15	50	80.4	140	

試験成績

區 名	出 穂 期	成 熟 期	草 丈	穂 長	穂 數	玄 米 (反當)		
						重 量	容 量	1升重
	月日	月日	尺	寸	本	貫	石	匁
温床陸羽132號	8.23	10.12	2.95	5.8	9.2	110.0	2.88	383
委託陸羽132號	8.23	10.12	2.95	5.9	10.6	112.1	2.85	394
標準陸羽132號	8.28	10.16	2.90	5.6	9.1	83.2	2.20	378
温床關 取	8.29	10.26	2.90	5.9	11.7	67.7	1.80	375
委託關 取	8.28	10.25	3.00	6.1	12.3	68.5	1.79	382
標準關 取	9. 3	10.31	2.83	5.4	10.2	40.4	1.11	364
温床福 島 糯	8.18	10. 1	3.09	6.5	6.8	85.3	2.44	350
標準福 島 糯	8.19	10. 4	3.22	6.7	9.9	85.6	2.44	351

備考 本年ノ成績ニヨレバ温床苗代及委託苗代ニヨリテ育成セルモノ良好ニシテ晩生種ニ於テ
特ニ其ノ效果大ナリ

農 具

(1) 試験ニ關スル事項

1. 動力糶摺選別機ニ關スル試験

(一) 試験ノ目的

動力糶摺選別機中ノ中型機ヲ出品セシメ、小粒ニシテ比較的不良乾燥ナル糶ヲ供用シテ各機ノ能率、調製ノ良否取扱ノ難易其他構造等ヲ調査シテ以テ本縣ニ適スル動力糶摺選別機ヲ見出サントスルニアリ

(二) 供試機械

岩田式中型自動調製機 價格 318圓
 製作所 東京市神田區龜住町5番地 合資會社岩田兄弟工場
 篠宮式3 $\frac{1}{2}$ 吋 一列型自動糶摺調製機 價格 255圓
 製作所 新潟縣中頸城郡津有村戸野目 篠宮商會

(三) 使用万石網ノ種類並ゴムロール脱稈ゴムノ成分

(1) 使用万石網ノ種類

機械名	網ノ名稱	上 網		中 網		仕 上 網		
		上	中	上	中	上	中	
岩 田		38	45	38	47	初メヨリ10分間 38—47	10分ヨリ56分間 38—41	以 後 38—43
篠 宮		6	目	6	目半	8 目		

(2) ゴムロール及脱稈ゴムノ成分

機械名	成 分	生 ゴ ム		カーボンブラツク		其 ノ 他	
		容 量	重 量	容 量	重 量	容 量	重 量
岩 田			50%		37%		13%
篠 宮			60%		30%		10%

(四) 供試糶並供試糶量

(4) 供試糶ハ本縣産ノモノニシテ調査セル結果ハ次ノ如シ

機 械 名	品 種 名	1 斗 重 量		糶ノ水分含有量	剔 割 歩 合	糶 摺 歩 合		屑米重量歩 合
		糶	玄 米			重 量	容 量	
岩 田	雜 種	10.35	15.10	15.1%	24.4%	81.7%	56.1%	0.5
篠 宮	雜 種	10.45	15.19	15.3%	26.1%	81.5%	56.1%	0.6

備 考

- (1) 1斗重量ハ1斗枡ニヨル測定値
- (2) 糶ノ水分含有量ハH.K.T.式電氣水分檢定器ヲ使用シテ測定セリ
- (3) 剔割歩合ハ500粒ヲ測定シテ決定セリ
- (4) 糶摺歩合ハ糶2斗ヲ瑞光式糶摺機(3號摺下機)ヲ使用シテ脱稈シ三德式縱線選穀器ニヨリ屑米ヲ除去シテ測定セリ

(五) 供試糶量

供試糶量ハ機械ノ調節用ニ1石、本試験用ニ20石ヲ1斗重量ニテ採リタリ

(六) 試験方法

原動機トシテハ3相交流誘導電動機5馬力ヲ使用シ中間軸ヲ經テ「ベルト」ニヨリ供試機ヲ運轉シ、中間軸ノ調車ヲ交換シテ適當ナル回轉數ヲ與ヘ機械ノ操縦ハ出品者ヲシテ行ハシメ先ヅ最初1石ノ糶ニテ機械ノ調節ヲナサシメ直チニ20石ノ糶ヲ與ヘテ本試験ヲ實施セリ。ソノ成績ハ次ノ如シ

(1) 運轉試験成績表

機械名	品 種 名	供 試 糶			無分回轉數		所 要 馬 力			仕 上 玄 米		
		容 量	重 量	1 斗 重 量	無負荷	負 荷	無負荷	平均	最大	容 量	重 量	1 斗 重 量
岩 田	雜	20.00	2070.00	10.35	810	800	0.67	1.85	2.41	11.10	1687.90	15.21
篠 宮	雜	20.00	2090.00	10.45	1047	1030	0.42	1.90	2.21	10.77	1651.41	15.34

機械名	剔割歩合	仕上玄米1升中ノ糶ノ粒數		毎時當仕上玄米量		毎時每馬力當仕上玄米量		仕上玄米歩合		屑 米			
		容 量	重 量	容 量	重 量	容 量	重 量	容 量	重 量	万 石 下		仕上唐箕先	
岩 田	28.0%	206	6.16	936.28	3.33	506.10	55.5%	81.5%	2.31	3,020	5.10	6.500	
篠 宮	28.0%	133	6.52	999.17	3.43	525.88	53.9%	79.0%	—	—	24.85	34.200	

機械名	糶口ノ糶		摺 残 リ		ゴム摩耗重量		昇 降 機 下 ノ 残 物					
	容 量	重 量	容 量	重 量	總 重	石 當	糶 用		糶玄米用		仕上米用	
	容 量	重 量	容 量	重 量	容 量	重 量	容 量	重 量	容 量	重 量	容 量	重 量
岩 田	2.13	1.70	2.11	2.955	41	3.7	0.8	0.080	11.0	0.140	1.1	0.015
篠 宮	33.28	30.02	3.88	7.200	39	3.6	4.7	0.422	41.5	0.529	32.4	0.464

備 考

- (1) 容量ハ全重量ヲ1斗重量ニテ除シテ算出セリ
- (2) 1斗重量ハ1斗枡ニヨル測定値
- (3) 剔割歩合ハ500粒ヲ測定シテ決定セリ
- (2) 仕上玄米1升中ノ「アラ」數ノ調査成績表

機名	調査回数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	平均
		岩田	225	197	118	178	81	115	74	973	984	
篠宮		204	135	138	163	85	96	88	137	148	137	133

備考

運転中10分毎ニ昇降機ヨリ出ヅル仕上玄米ヲ1升木杓ニヨリ1升宛採リテ混在粒數ヲ調査セリ。

(3) 籾殻中ノ糈重量歩合調査成績表

機名	調査回数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	平均
		岩田	% 1.06	% 1.25	% 0.61	% 1.03	
篠宮		0.94	0.52	0.24	0.76	0.66	0.62

備考

籾殻中ノ糈重量歩合ハ運転中約10分毎ニ磨箕先ニ籠ヲ數キ籾殻ヲ約1貫採リテ調査セリ

(ア) 成績概評

岩田式ハ所要馬力1.85、毎時當仕上玄米量6.16石、毎時毎馬力當仕上玄米量3.33石ニシテ胴割ノ生成モ比較ノ少カリシガ万石網ガ米ニ適合セザリシタメカ取扱不適當ナリシタメカ仕上玄米1升中ノ「アラ」數多ク又籾殻中ノ糈重量歩合比較の大ナリシハ今後大イニ研究スベキ點ナリトス

篠宮式ハ「ゴムロール」幅3 $\frac{1}{2}$ 吋ヲ有スルモノニシテ所要馬力1.90、毎時當仕上玄米量6.52石、毎時毎馬力當仕上玄米量3.43石、胴割ノ生成モ少ナケレドモ「アラ」ノ混在尙多ク籾殻中ノ糈重量歩合モ少シク大ナル感アレバ万石網ノ研究ト取扱ニ對シ一層ノ注意ヲ要ス

2. 動力籾摺選別機ノゴムロール

磨耗量ニ關スル試験

(一) 試験ノ目的

動力籾摺選別機ニヨル籾摺作業ニ於テ籾ノ乾燥ノ良否、毎時ノ能率及ゴムロールノ種類ガゴムロールノ磨耗量ニ如何ナル關係アルカヲ知ラントスルニアリ

(二) 供試機械

キセキ式自動籾摺選別機2號C型(ゴムロール幅4吋)

兄弟ホーオー動力用籾摺選別機中3號型(ゴムロール幅3 $\frac{3}{4}$ 吋)

(三) 使用万石網ノ種類及ゴムロールノ種類

(1) 使用万石網ノ種類

機械名	試験區名	網ノ種類	1寸ニ對スル目數		機械名	試験區名	網ノ種類	1寸ニ對スル目數		機械名	網ノ種類	1寸ニ對スル目數	
			横	縦				横	縦			横	縦
キ	不良乾燥區	上	6.00	7.5	キ	良乾	上	5.75	7.5	ホーオー	上	6.0	8.2
セ	乾燥區	中	6.50	7.5	セ	乾燥	中	6.50	7.5	ホーオー	中	7.0	8.2
キ	乾燥區	仕上	7.25	7.5	キ	乾燥區	仕上	7.50	7.5	ホーオー	仕上	7.5	8.2
								7.75	8.0				

(2) ゴムロールノ種類

キセキ 阪東製普通製品(ショーアニヨル硬度85度)

ホーオー 阪東製普通製品及再生ゴム入製品(ショーアニヨル硬度85度)

(四) 供試籾並供試糈量

(1) 供試籾ハ昭和12年産ノモノニシテ調査セル結果ハ次ノ如シ

供試機名	ゴムロールノ種類	乾燥ニヨル區分	供試糈			備考
			品種名	水分含有量	1斗重量	
キセキ	普通品	不良乾燥	雜種	% 15.0	10.28	籾14貫ニ對シ水約2合ヲ加ヘタルモノナリ
キセキ	普通品	良乾燥	雜種	13.9	10.46	6尺産ニ對シ約7.8升ヲ擴ゲ1日間陽乾シ籾14貫ニ對シ約300匁ヲ乾減セルモノナリ
ホーオー	普通品	—	雜種	15.8	10.70	
ホーオー	普通品	—	雜種	15.8	10.70	
ホーオー	再生ゴム入	—	雜種	15.8	10.70	

(2) 供試糈量

供試機名	ゴムロールノ種類	乾燥ニヨル區分	供試糈量	
			重量	容量
キセキ	普通品	不良乾燥	3968.44	38.60
キセキ	普通品	良乾燥	3852.41	36.83
ホーオー	普通品	—	2100.00	19.63
ホーオー	普通品	—	2100.00	19.63
ホーオー	再生ゴム入	—	2100.00	19.63

備考

キセキ式ノ供試籾ハ1斗重量10.35石ノ籾14貫俵75俵ヲ不良乾燥區ハ水分ヲ加ヘ良乾燥區ハ陽乾セルモノナリ

(五) 試験方法

原動機トシテハ3相交流誘導電動機5馬力ヲ使用シ中間軸ヲ經テベルトニヨリ供試機ヲ運轉シ中間軸ノ調車ヲ交換シテ適當ナル回轉數ヲ與ヘ、機械ハ出品者ヲシテ操縦セシメ試験ヲ實施セリ

(1) 回轉數

ハスラー型回轉計A型ニヨリ10分毎ニ測定セル平均値

(2) 所要馬力

シーメンス製積算電力計ニヨリ所要電力量ヲロンデン製秒時計ニヨリ所要時間ヲ測定シ以テ平均所要電力ヲ算出シ平均馬力ニ換算セリ

最大所要馬力ハウエストーン製多相指示電力計ニヨリ最大所要電力ヲ測定シ馬力ニ換算セリ

(3) 仕上玄米

仕上綱ヲ通過シ風選セラレテ昇降機ヨリ出デ來リタルモノヲ云ヒ、容量ハ全重量ヲ1斗重量ニテ除シテ算出セリ

(4) 1斗重量

昇降機ヨリ出デ來ル仕上玄米ヲ10分毎ニ1斗木枡ニヨリ測定セル平均値

(5) ゴムロールノ間隙

キセキ式ノ場合ハ肉限ニヨリ測定シ、ホーオー式ノ場合ハ最初ゴムロールヲ附着セシメテ置キハンドルヲ廻ハシテネヂ山ニヨリソノ間隙ヲ決定セリ

(6) 脱稈率

籾摺機ニヨリ摺リ下サレルモノヲ最初、中間、最後ノ3回採集シ、10瓦ヲ調査シテ決定セリ

(7) ゴムロール磨耗重量

ドラムニ取付ケラレタル總重量ヲ測定シ置キ試験終了後再び總重量ヲ測定シテゴム磨耗量ヲ算出セリ

ゴムロールハ回轉ノ大ナル軸ヲ主軸トシ他ヲ副軸トセリ

(8) 仕上玄米歩合

仕上玄米ガ供試籾ニ對スル百分率ヲイフ

(A) 試験成績

試験成績ハ次ノ如シ

供試機名	ゴムロールノ種類	乾燥ニヨル區別	供試籾		毎分回轉數		所要馬力		所要時間	仕上玄米			1斗重量	1升中ノアラ粒數
			重量	容量	無負荷	負荷	無負荷	平均		最大	重量	容量		
キセキ	普通品	不良乾燥	3968.44	38.60	1060	1052	0.80	3.55	3.92	112.10	3266.85	21.78	15.00	195
キセキ	普通品	良乾燥	3852.41	36.83	1085	1050	0.71	3.13	3.74	111.52	3173.70	20.95	15.15	96
ホーオー	普通品	—	2100.00	19.63	1095	1082	0.66	3.11	3.85	64.45	1711.87	11.11	15.41	43
ホーオー	普通品	—	2100.00	19.63	1115	1092	0.66	2.46	2.72	84.30	1694.61	11.08	15.30	38
ホーオー	再生ゴム入	—	2100.00	19.63	1100	1093	0.66	1.88	2.13	108.24	1703.06	11.11	15.33	21

供試機名	ゴムロールノ種類	乾燥ニヨル區別	ゴムロールノ間隙	脱稈率	ゴムロール磨耗重量			仕上玄米歩合		毎時當仕上米量		毎時馬力當仕上米量		
					主軸	副軸	合計	仕上玄米1石當リ	重量	容量	重量	容量	重量	容量
キセキ	普通品	不良乾燥	1.20	81	71	37	108	4.96	82.3	56.4	1747.50	11.65	492.25	3.28
キセキ	普通品	良乾燥	1.20	82	64	32	96	4.58	82.4	56.9	1702.22	11.24	543.84	3.59
ホーオー	普通品	—	0.94	72	32	14	46	4.14	81.5	56.6	1586.29	10.29	510.06	3.31
ホーオー	普通品	—	1.58	76	23	13	36	3.25	80.7	56.4	1203.27	7.87	489.13	3.20
ホーオー	再生ゴム入	—	1.18	63	25	13	38	3.42	81.1	56.6	942.65	6.15	501.41	3.27

仕上玄米1升中ノアラ數ハ10分毎ニ昇降機ヨリ出ヅル仕上玄米ヲ1升木枡ニヨリ1升宛採集

シ、其ノ結果ハ次ノ如シ

供試機名	ゴムロールノ種類	乾燥ニヨル區別	仕上玄米1升中ノアラ數ノ調査										平均
			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	
キセキ	普通品	不良乾燥	280	171	132	939	175	112	136	133	330	142	195
キセキ	普通品	良乾燥	143	73	77	76	50	96	81	167	137	58	96
ホーオー	普通品	—	27	37	39	33	56	58	55	44	35	41	43
ホーオー	普通品	—	41	35	52	41	48	43	35	23	32	29	38
ホーオー	再生ゴム入	—	21	20	21	36	22	24	18	18	15	16	21

備考

キセキ良乾燥區ノモノニ於テ約4分ノ1調製シタル後、仕上綱7.75目ヲ7.5目ニ交換シテ作業ヲ繼續セリ

(c) 摘要

- (1) 籾ノ水分含有量14又ハ15%位デハゴムロールノ仕上玄米1石當磨耗量ノ差ハ極メテ少ナシ
- (2) 高速回轉軸ノゴムロールハ低速ノモノノ約2倍ナリ
- (3) 脱稈率ヲ高クスレバ仕上玄米1石當ゴムロール磨耗量大ナリ
- (4) 脱稈率ハ籾ノ水分含有量14%乃至16%位ノモノニ對シテハ70%位ガ適當ナリ
- (5) 毎時ノ能率ヲアゲレハ仕上玄米1石當ゴムロール磨耗量極メテ大トナル
- (6) ゴムロール幅4吋前後ノモノハ毎時當仕上玄米量ヲ6乃至7石ニテ運轉スルガ適當ナリ
- (7) 再生ゴム入ロールハ普通品ニ比シゴムロールノ磨耗量大ナリ
- (8) 再生ゴム入ロールハ普通品ゴムロールヨリモゴムロール間隙ヲ小ニスルモ脱稈不良ナリ
- (9) 不良乾燥ノモノハ良乾燥ノモノヨリ1升中ノアラ粒數多シ
- (10) 仕上玄米1升中ノアラ粒數ハ調製作業中常ニ變化スルモノナリ

3. 堅型精麥機ニ關スル試験

(一) 試験ノ目的

堅型精麥機ヲ蒐集シテ皮大麥ヲ搗精シ以テ其ノ適否ヲ窺知セントスルニアリ

(二) 供試機械並製作所

廣瀬式堅型精麥機 3馬力用

製作所 大阪市港區九條中通1丁目 株式会社 廣瀬商會

中野式精麥機 3號機 價格 324圓(本機ノミ)

製作所 廣島市皆實町2丁目 合資會社 三陽工作所

(三) 供試玄麥並供試玄麥量

(1) 供試玄麥ハ昭和12年ニ生産シタル皮大麥ニシテ調査セル結果ハ次ノ如シ

機械名	調査項目	品 種 名	檢 査 等 級	水分含有量	1 斗 重 量
廣	瀨	雜 種	3	% 13.7	斗 11.87
中	野	雜 種	3	% 13.4	斗 11.70

(a) 供試玄麥量

供試玄麥量ハ60.00斗ナリ

(b) 試験方法

原動機トシテハ3相交流誘導電動機5馬力ヲ使用シ中間軸ヲ經テベルトニヨリ供試機ヲ運轉シ中間軸ノ調車ヲ交換シテ適當ナル回轉數ヲ與ヘ機械ノ操縦ハ出品者ヲシテ行ハシメタリ

(1) 所要馬力

シーメンス製積算電力計ニヨリ所要電力量ヲロンゲン製秒時計ニテ所要搗精時間ヲ調査シ以テ平均所要電力ヲ算出シ平均馬力ニ換算セリ

最大所調馬力ハウエストーン製多相指示電力計ニヨリ最大所要電力ヲ調査シ馬力ニ換算セリ

(2) 仕上精麥

搗立麥ヲ1寸ニ付11目ノ丸篩ニテ振ヒ篩上ニ殘レルモノナリ

(3) 仕上精麥ノ重量並容量

重量ハ守谷製100斗量秤ニテ秤量シ容量ハ1斗重量ニテ全重量ヲ除シテ算出セリ

(4) 製品ノ良否

肉眼ニヨリ上中下三階級ニ區分セリ

(5) 屑粒並碎麥重量

搗立麥ヲ1寸ニ付11目ノ丸篩ニテ振ヒ通過セルモノヲ1寸ニ付14目ノ丸篩ニテ振ヒ篩上ニ殘レルモノト麥糠ヲ1寸ニ付14目丸篩ニテ振ヒ篩上ニ殘レルモノトヲ加ヘタルモノナリ

(6) 仕上麥糠

(5)ノ方法ニヨリ搗立麥及取出直後ノ麥糠ヲ篩別シ1寸ニ付14目丸篩ヲ通過セルモノヲイフ

(7) 搗精歩合、屑粒並碎麥重量歩合、麥糠歩合

何レモ供試玄麥ノ重量及容量ニ對スル百分率ナリ

(h) 試験成績

機械名	區名	供 試 玄 麥		毎分回轉數		所 要 馬 力			ロールト 圓筒トノ 間 隙	金剛砥 ノ 粒 度	所 要 時 間
		重 量	容 量	無負荷	負 荷	無負荷	平均	最大			
廣	瀨	斗 60.00	斗 5.055	1180	1115	0.79	3.48	4.45	分 5	番 36	分 秒 52.26
廣	瀨	斗 60.00	斗 5.055	1160	1113	0.79	2.92	3.97	分 5	番 36	分 秒 65.80
廣	瀨	斗 60.00	斗 5.055	1160	1113	0.79	2.87	3.86	分 5	番 36	分 秒 62.29
中	野	斗 60.00	斗 5.128	1080	1045	0.25	2.51	2.73	分 4	番 36	分 秒 84.50
中	野	斗 60.00	斗 5.128	1075	1044	0.25	2.57	2.79	分 4	番 36	分 秒 79.35

機 械 名	區 名	仕 上 精 麥			製 品 ノ 良 否
		重 量	容 量	1 斗 重 量	
廣	瀨	斗 46.98	斗 3.296	斗 14.24	中
廣	瀨	斗 46.25	斗 3.225	斗 14.84	中
廣	瀨	斗 46.25	斗 3.234	斗 14.30	中
中	野	斗 46.16	斗 3.267	斗 14.13	中
中	野	斗 46.60	斗 3.282	斗 14.20	中

機 械 名	區 名	屑 粒 並 碎 麥 重 量	麥 糠 歩 合			搗 精 歩 合	
			重 量	容 量	一 升 重 量	重 量	容 量
廣	瀨	% 374	% 11.92	% 2.603	% 0.458	% 78.2	% 65.2
廣	瀨	% 527	% 12.46	% 2.721	% 0.458	% 77.1	% 63.8
廣	瀨	% 520	% 13.22	% 2.597	% 0.509	% 77.1	% 64.0
中	野	% 290	% 12.77	% 2.746	% 0.465	% 76.9	% 63.7
中	野	% 429	% 12.10	% 2.547	% 0.475	% 77.7	% 64.0

機 械 名	區 名	屑粒並 碎麥重 量歩合	麥 糠 歩 合		毎時當仕上 麥 量		毎時馬力當 仕上麥量		備 考
			重 量	容 量	重 量	容 量	重 量	容 量	
廣	瀨	% 6.2	% 19.9	斗 51.5	斗 53.70	斗 3.772	斗 15.43	斗 1.084	兩端ガ削減サレ タル感アリ 同 上
廣	瀨	% 8.8	% 20.8	斗 53.8	斗 42.37	斗 2.954	斗 14.51	斗 1.012	
廣	瀨	% 8.7	% 22.0	斗 51.4	斗 44.41	斗 3.105	斗 15.47	斗 1.082	
中	野	% 0.5	% 21.3	斗 53.5	斗 32.65	斗 2.311	斗 13.01	斗 0.921	
中	野	% 0.7	% 20.2	斗 49.7	斗 35.13	斗 2.474	斗 13.67	斗 0.963	

(a) 概 評

(1) 廣瀨式堅型精麥機

運轉状態ハ概シテ良好ニシテ取扱モ簡易ナリ

而シテ平均所要馬力ノ大ナルモノハ3.48馬力ニシテ最大所要馬力ハ何レモ4馬力前後ナルヲ以テ本機ハ4馬力トシテ使用スベキモノナリ

搗精程度ハ第1、第2、第3區トモ略々同一ナルモ第2、第3區ノモノハ粒ノ兩端ノ削減サレタルタメ搗精歩合少シク小ナリ

屑粒並碎麥重量ハ少シ多キ感アリ

毎時馬力當仕上麥量ハ何レモ1斗以上ニシテ中位トイフベキナリ

除糠装置ハ糠箱上ニ設ケラレタル傾斜セル網ニヨルガ主ナレドモ堅型圓筒ノ周圍ニ設ケラレタル長サ17耗幅1耗ノ間隙ヲ有スル鐵板網ニヨリテモ除糠セラレ塵埃ガ外部ニ飛散スルコト少キハ特ニ長所ト云フベキナリ

又堅軸ノローラヲ運轉スルネヂ齒車ノ製作良好ナラザルタメカ運轉中齒車室ガ稍々熱ヲ持ツ傾向アレバ製作ニハ一層注意スベキナリ。尙側部抵抗ニゴム片ヲ使用スレドモ國策上ヨリ代用品ヲ使用スベキナリ

(2) 中野式精麥機

運轉状態良好ニシテ取扱モ簡易ナリ

而シテ平均所要馬力ニ最大所要馬力モ大差ナク製品ハ中位ニシテ屑粒並碎麥重量歩合ハ極メテ小ナルガ毎時毎馬力當仕上麥量ガ稍々少キ感アリ

4. 胚芽米用精米機ニ關スル試験

(一) 試験ノ目的

清水式精米機(横軸圓筒摩擦式)ノロールノミヲ交換シテ胚芽米用精米機トナス。廣瀬式胚芽米ロールヲ清水式精米機1號機ニ取付ケタルモノ及中野式堅型胚芽白米搗精機ニテ乾燥ノ異ナル玄米ヲ搗精シ以テ胚芽米用精米機トシテノ適否ヲ窺知セントスルニ在リ

(二) 供試機械並製作所

廣瀬式胚芽米ロール装置精米機(清水式精米機1號機ニ取付ケタルモノ) 定價 110圓

製作所 大阪市港區九條中通1丁目 株式會社 廣瀬商會

中野式堅型胚芽白米搗精機3號機 價格 390圓(本機ノミ)

製作所 廣島市皆實町2丁目 合資會社 三陽工作所

(三) 供試材料並供試量

供試材料ハ昭和12年ニ生産シタル玄米ニシテ良乾燥、不良乾燥ノ2區アリテ調査セル結果ハ次ノ如シ

區	名	品	種	名	1斗重量	水分含有量	1升中アラ數
良乾燥區	關	取			15.40	14.9	164
不良乾燥區	關	取			15.16	16.1	346

供試量ハ1斗重量ニヨリ4斗ヲ供用セリ。其ノ重量次ノ如シ

區	名	品	種	名	重	量	容	量
良乾燥區	關	取			61.60			4.000
不良乾燥區	關	取			60.64			4.000

(四) 試験方法

原動機ハ芝浦製作所製3相交流誘導電動機5馬力ヲ使用シ中間軸ヲ經テ精米機ヲ運轉セリ精米機ノ回轉數ハ出品者ノ申出ニヨリ回轉數ニナシ精米機ハ出品者ヲシテ操縦セシメタリ

(1) 搗精ニヨル上昇溫度

搗立米ノ溫度ヨリ玄米ノ溫度ヲ引キタルモノナリ

(2) 所要馬力

シーメンス製積算電力計ニヨリ所要電力量ヲロンゼン製秒時計ニテ所要搗精時間ヲ調査シ

以テ平均所要電力ヲ算出シ平均馬力ニ換算セリ

最大所要馬力ハウエストン製多相指示電力計ニヨリ最大所要電力ヲ調査シ馬力ニ換算セリ

(3) 仕上胚芽米

搗立米ヲ7厘目(1寸ニ付14目)丸篩ニテ振ヒ、篩上ニ殘レルモノナリ

(4) 仕上胚芽米ノ重量並容量

重量ハ守谷製100疋量秤ニテ秤量シ、容量ハ1斗重量ニテ全重量ヲ除シテ算出セリ

(5) 仕上胚芽米ノ1升中ノアラ數

仕上胚芽米1升宛2回測定ノ平均値ナリ

(6) 碎米

搗立米ヲ7厘目(1寸ニ付14目)丸篩ニテ振ヒ通過セルモノヲ5厘目(1寸ニ付18目)丸篩ニテ振ヒ篩上ニ殘レルモノト取出直後ノ糠ヲ3厘目(1寸ニ付25目)丸篩ニテ振ヒ篩上ニ殘レルモノヲ更ニ5厘目(1寸ニ付18目)丸篩ニテ振ヒ篩上ニ殘レルモノトヲ加ヘタルモノナリ

(7) 脫落胚芽

搗立米ヲ7厘目(1寸ニ付14目)丸篩ニテ振ヒ通過セルモノヲ5厘目(1寸ニ付18目)ニテ振ヒ通過セルモノヲ更ニ3厘目(1寸ニ付25目)丸篩ニテ振ヒ篩上ニ殘レルモノト、取出直後ノ糠ヲ3厘目(1寸ニ付25目)丸篩ニテ振ヒ篩上ニ殘レルモノヲ5厘目(1寸ニ付18目)丸篩ニテ振ヒ通過セルモノトヲ加ヘ大屋式試験専用穀類精撰機ニヨリ風選セルモノナリ

(8) 仕上糠

(6)及(7)ノ方法ニヨリ搗立米及取出直後ノ糠ヲ篩別シ3厘目(1寸ニ付25目)丸篩ヲ通過セルモノヲイフ

(9) 仕上胚芽米重量及容量歩合、碎米歩合、脫落胚芽重量歩合、仕上糠重量歩合及損失重量歩合何レモ供試玄米ノ重量及容量ニ對スル百分率ナリ

(10) 仕上胚芽米アラ殘存粒數歩合

仕上胚芽米中ノアラ殘存粒數ガ供試玄米中ニ含レテ居ルアラ數ニ對スル百分率ナリ

(11) 搗精程度

石炭酸フクシン染色法ニヨリ搗精程度ヲ上・中・下ノ三階級ニ分チタリ

(12) 仕上胚芽米ノ分析中碎米歩合及附着物歩合

碎米歩合ハ仕上胚芽米100瓦中ノ碎米ヲ調査シ仕上胚芽米ニ對スル百分率ヲ決定セルモノナリ。又附着物歩合ハ仕上胚芽米100瓦ヲ採リ布ニテヨク拭キ附着物ヲ除去シテ秤量シ、ソノ減シタル重量ヲ仕上胚芽米重量ニテ除シ百分率ヲ決定セリ

(13) 胚芽殘存粒數歩合

碎米ヲ除去セル仕上胚芽米250粒ヲ調査シ百分率ヲ決定セリ

(五) 試験成績

試験成績ハ次ノ如シ

機械名	區名	精米機使用法		搗精時間	平均氣溫	搗精ニヨル上昇溫度	所要馬力			仕上胚芽米			
		毎分回轉數	抵抗變化				平均	最大	無負荷	重量	容量	1斗重量	1升中アラ數
廣瀬式	良乾燥區	1998	0.2	31.58	19.0	21.5	2.59	3.27	0.23	57.92	4.003	14.47	29
	不良乾燥區	2040	0.2-0	34.18	20.0	20.8	2.28	3.38	0.23	56.38	3.954	14.26	112
中野式	良乾燥區	680	5抵抗最大	32.13	14.0	21.5	2.69	3.70	0.19	58.36	4.011	14.55	44
	不良乾燥區	680	4抵抗最大	29.20	14.5	22.5	2.44	3.48	0.19	57.45	4.051	14.18	99

機械名	區名	碎米重量	脫落胚芽重量	仕上糠重量	損失重量	仕上胚芽米			碎米重量歩合	脫落胚芽重量歩合	仕上糠重量歩合	損失重量歩合	毎時仕上米量		毎時毎馬力當仕上米量	
						重量歩合	容量歩合	アラ殘存粒數歩合					重量	容量	重量	容量
廣瀬式	良乾燥區	87.5	117.0	3.24	150	94.0	100.0	17.7	0.14	0.19	5.2	0.24	108.71	7.516	41.97	2.900
	不良乾燥區	68.2	411.6	3.39	170	93.0	98.8	32.4	0.11	0.68	5.6	0.28	98.96	6.940	43.40	3.044
中野式	良乾燥區	38.0	85.5	2.94	160	94.7	100.3	26.8	0.06	0.14	4.8	0.26	108.69	7.470	40.41	2.777
	不良乾燥區	38.8	193.7	2.75	170	94.7	101.3	78.6	0.06	0.32	4.5	0.28	117.51	8.286	48.16	3.396

機 械 名	區 名	搗精程度	仕上胚芽米ノ分析		胚芽殘存粒數歩合	備 考
			碎米歩合	附着物歩合		
廣 瀨 式	良乾燥區	中	0.8	0.8	89.0	背部=糠層ノ條アリ
廣 瀨 式	不良乾燥區	上	1.6	1.6	66.4	
中 野 式	良乾燥區	中	0.6	0.6	96.8	屑米ガ完全ニ搗精サレズ稍々斑搗ノ感アリ
中 野 式	不良乾燥區	下	1.2	0.8	91.8	

(A) 概 評

(1) 廣瀨式胚芽米ロール装置付精米機

運轉状態ハ概シテ不可ナク取扱モ簡易ニシテ胚芽殘存粒數歩合ハ比較的高ク、搗精状態モ概ネ可良碎米モ比較の少ク毎時毎馬力仕上米量モ中位ナリ

然ルニ搗立米ニ糠ノ附着スルコト多ク從ツテ仕上米ノ附着物歩合大ナレバ除糠装置ニハ一段ノ研究ヲ望ム。尙取扱ヒ方ニヨツテハ米ノ背部ニ糠層ノ條ヲ殘スコトアリ、又毎分回轉數極メテ大ナルヲ以テロール装着ノ軸受装置並ロール「スラスト」ニ對シテハ十分ナル研究ノ必要ヲ認ム

(2) 中野式整型胚芽白米搗精機

運轉状態良好ニシテ取扱ヒ極メテ簡易ニシテ胚芽殘存粒數歩合ハ極メテ高ク搗精状態良好、碎米モ少ク毎時毎馬力仕上米量中位ナリ

然ルニ搗立米ニ糠ノ附着スルコト多ク從ツテ仕上米ノ附着物歩合大ナレバ除糠装置ハ特ニ完全ニスル要アリ。又稍々斑搗ニナル傾向アレバ取扱ニハ注意ヲ要ス

5. 米ノ搗精程度試験

(一) 試験ノ目的

無砂及胚芽搗精ニテ10分搗、7分搗、5分搗ヲ行ヒ、ソノ仕上米ノ状態、碎米等ヲ調査シ以テ搗精指導上ノ参考ニ資セントスルニアリ

(二) 供試材料

供試材料ハ昭和12年ニ生産シタル玄米ニシテ調査セル結果ハ次ノ如シ

品 種 名	關 取
檢 査 等 級	4 等
水分含有量	15.0%
胴 割 歩 合	3.6%
1升中ノ「ア」數	4 粒

供試量ハ1斗重量ニヨリ2斗ヲ供用セリ

(三) 試験方法

無砂搗精ニハ清水式無砂精米機1號機2俵張ヲ毎分356回轉シテ使用シ、胚芽米搗精ニハ佐竹式昭和號機型ハ號6斗張ヲ毎分1600回轉シテ使用シタリ

而シテ抵抗ハ何レモ適當ニ之ヲ行ヒ無砂搗精ハ12分乃至18分間、胚芽米搗精ハ16分乃至30分間搗精ヲ繼續セリ

搗精程度ハ無砂及胚芽米搗精ニ於テ何レモ糠層ガ完全ニ剝離サレタルモノヲ10分搗トシ、其ノ際出デタル搗精直後ノ糠重量ノ70%ダケ糠ガ出デタル時ハ之ヲ7分搗トシ、50%ダケ出デタル時ハ之ヲ5分搗ト定メタリ

仕上米ハ搗立米ヲ7厘目(1寸ニ付14目)丸篩ニテ振ヒ碎米及糠ヲ除去セルモノナリ

1斗重量ハ斗秤ニヨリ3回測定ノ平均値ナリ

1升重量ハ硝子秤1升重量測定器ニヨリ3回測定ノ平均値ナリ

容量ハ仕上米重量ヲ1斗重量ニテ除シテ算出セリ

胚芽殘存粒數歩合ハ仕上米完全粒250粒ヲ調査シテ算出セリ

碎米ハ大碎米ト小碎米トニ分チ搗立米ヨリ出デタルモノニ糠中ヨリ出デタルモノヲ加ヘタルモノナリ

(1) 搗立米ヨリノ碎米ハ搗立米ヲ7厘目(1寸ニ付14目)丸篩ニテ振ヒ通過セルモノヲ6厘目(1寸ニ付16目)目丸篩ニテ振ヒ篩上ニ殘レルモノヲ大碎米トシ通過セルモノハ更ニ5厘目(1寸ニ付18目)丸篩ニテ振ヒ篩上ニ殘レルモノヲ小碎米トセリ

(2) 糠中ヨリノ碎米ハ取出直後ノ糠ヲ3厘目(1寸ニ付25目)丸篩ニテ振ヒ篩上ニ殘レルモノヲ5厘目(1寸ニ付18目)丸篩ニテ振ヒ更ニコノ篩上ニ殘レルモノヲ6厘目(1寸ニ付16目)丸篩ニテ振ヒ篩上ニ殘レルモノヲ大碎米、通過セルモノヲ小碎米トセリ

脱落セル胚ハ搗立米ヲ7厘目(1寸ニ付14目)丸篩ニテ振ヒ通過セルモノヨリ大碎米、小碎米ヲ除去シタルモノヲ更ニ3厘目(1寸ニ付25目)丸篩ニテ振ヒ、篩上ニ殘レル胚ニ取出直後ノ糠ヲ3厘目(1寸ニ付25目)丸篩ニテ振ヒ、篩上ニ殘レルモノヨリ大碎米、小碎米ヲ除去セル胚ヲ加ヘ之ヲ大屋式試験専用穀類精撰機ニヨリ風選セルモノナリ

仕上糠ハ上記ノ方法ニヨリ3厘目(1寸ニ付25目)丸篩ヲ通過セルモノヲ加ヘタルモノナリ

(四) 試験成績

試験成績ハ次表ノ如シ

試 験 成 績 (其ノ1)

搗精程度	搗精ノ種類	供 試 玄 米			仕 上			米			搗精時間	
		容量	重量	1斗重量	容量	重量	1斗重量	1升重量	胚芽殘存粒數歩合	搗精歩合		
		斗	斤	斤	斗	斤	斤	斤	%	%	%	分 秒
10分搗	無 砂	2.000	3.018	15.09	1.936	27.86	14.39	1.413	8.0	96.80	92.31	17.30
10分搗	胚芽米	2.000	3.018	15.09	1.957	28.20	14.41	1.419	79.0	97.85	93.44	30.00
7分搗	無 砂	2.000	3.018	15.09	2.050	28.60	14.21	1.395	75.2	102.50	94.76	12.00
7分搗	胚芽米	2.000	3.018	15.09	2.050	28.89	14.09	1.389	84.8	102.50	95.73	23.30
5分搗	無 砂	2.000	3.018	15.09	2.105	29.05	14.06	1.380	82.0	105.25	96.26	12.00
5分搗	胚芽米	2.000	3.018	15.09	2.089	29.24	14.00	1.373	98.4	104.45	96.89	15.34

試 験 成 績 (其ノ2)

搗精程度	搗精ノ種	ノ類	碎米重量				脱落セル胚		仕上糠	
			大碎米	小碎米	合計	歩合	重量	重量歩合	重量	重量歩合
10分搗	無	砂	22.5	80.0	102.5	0.34	28.0	0.08	2.079	6.89
10分搗	胚芽米	米	3.3	8.0	11.3	0.04	142.8	0.47	1.587	5.26
7分搗	無	砂	8.0	12.5	20.5	0.07	—	—	1.548	5.13
7分搗	胚芽米	米	4.0	3.0	7.0	0.02	20.0	0.07	1.200	3.98
5分搗	無	砂	5.5	11.5	17.0	0.06	—	—	1.145	3.79
5分搗	胚芽米	米	2.5	2.5	5.0	0.02	16.5	0.05	0.868	2.88

(五) 摘要

- (1) 胚芽残存粒数歩合ハ胚芽米ノ方ガ何レモ大ナリ
 - (2) 胚芽残存粒数歩合ハ10分搗ニ於テハ胚芽米ノ方ガ無砂搗ヨリモ甚シク大ニシテ7分搗、5分搗ニテハ差ナク何レモ其ノ數ハ大ナリ
 - (3) 搗精容量歩合ハ胚芽米、無砂搗何レモ大差ナシ
 - (4) 搗精重量歩合ハ胚芽米ノ方ガ何レモ稍々大ニシテ10分搗ニ於テ最モ著シク1.13%大ナリ
 - (5) 大碎米、小碎米何レモ胚芽米ノ方ガ少シ
 - (6) 脱落セル胚ハ胚芽米即チ佐竹式ニヨルモノノ方ガ多ク糠中ニ脱落セル胚ハ殆ンド完全ニ分離シ得ラル
 - (7) 無砂搗ハ糠中ノ脱落セル胚ヲ分離スルコトガ困難ナリ
依ツテ無砂10分搗ノ脱落セル胚ノ重量ハ少シ
 - (8) 仕上糠ハ胚芽米ヨリノモノハ極ク小ナル粉狀ヲナセドモ無砂搗ハ糠ノ形扁平ニシテ大ナリ
- 註 7分搗、5分搗ニ於テハ胚芽米、無砂搗何レモ胚芽残存粒数歩合大ナルハ、使用セル清水式無砂精米機、1號機ノロールガ相當磨滅シ居リタル爲ナリ

6. 品種別胚芽米搗精試験

(一) 試験ノ目的

本縣水稻獎勵品種ヲ供用シテ胚芽米搗精ニ對スル難易ヲ窺知セントスルニアリ

(二) 供試材料

供試材料ハ本縣農事試験場圃場ニテ昭和12年ニ生産シタル本縣水稻獎勵品種ニシテ其ノ玄米ヲ調査セル結果ハ次ノ如シ

品 種 名	1升重量	水含有量	胴割歩合	挫折剛度	10粒重量	胚ノ重量百分率
榊木早生	1.416	12.4	7.6	6.0	0.237	2.7
陸羽132號	1.435	13.2	21.2	5.8	0.212	2.8
關取	1.405	14.7	2.0	5.4	0.188	3.9
談内早生22號	1.435	13.2	3.6	5.2	0.214	3.0
陸羽愛國20號	1.454	12.9	6.4	6.2	0.219	3.0
談内早生157號	1.440	13.3	4.8	5.8	0.214	3.5
無芒愛國	1.470	13.1	12.4	5.8	0.223	2.9

備考

- (1) 1升重量 硝子秤1升重量測定器ニヨル3回測定ノ平均値
- (2) 水分含有量 定温器ニヨリ測定セルモノ
- (3) 胴割歩合 250粒調査
- (4) 挫折剛度 胴割米ヲ除キタル材料20粒ニツキ田中式剛度計ニヨリ調査セル平均値
- (5) 胚ノ重量百分率 玄米10粒ノ重量ヲ守谷製感量天秤ニテ秤量シタル後針ニテ胚ヲ除去シ其ノ玄米ヲ再ビ秤量シテ初メノ重量ヨリ減ジ胚重量ヲ決定シ胚ノ重量百分率ヲ算出セリ

(三) 供試量

5升ニテ1區制(1升重量ニヨリ重量ニテ決定)

(四) 試験方法

使用精米機ハ佐竹式昭和號横型ハ號6斗張ニシテ毎分回轉數ヲ1600回トシ9分搗ニナル迄搗精ヲ繼續セリ

仕上胚芽米ハ搗立胚芽米ヲ7厘目(1寸ニ付14目)丸篩ニテ振ヒ碎米及糠ヲ除去セルモノナリ

1升重量ハ硝子秤1升重量測定器ニヨル3回測定ノ平均値ナリ

容量ハ仕上胚芽米重量ヲ1升重量ニテ除シテ算出セリ

胚芽残存粒数歩合ハ仕上胚芽米完全粒250粒ヲ調査シテ算出セリ

碎米ハ上記方法ニヨリ出デタル碎米ニ糠ヲ5厘目(1寸ニ付18目)丸篩ニテ振ヒ篩上ニ殘レル碎米ヲ加ヘタルモノナリ

糠中ノ胚ハ取出直後ノ糠ヲ3厘目(1寸ニ付25目)丸篩ニテ振ヒ篩上ニ殘レルモノヲ更ニ5厘目(1寸ニ付18目)丸篩ニテ振ヒ胚ヲ通過セシメ之ヲ大屋式試験専用穀類精撰機ニヨリ風選セルモノナリ

糠ハ上記方法ニヨリ碎米及胚ヲ除去セルモノニ胚芽米中ノ糠ヲ加ヘタルモノナリ

(五) 試験成績

品 種 名	供 試 玄 米		仕 上 胚 芽 米					
	容 量	重 量	重 量	容 量	1升重量	胚芽残存粒数歩合	歩 合	合
	升	厘	厘	升	厘	%	%	%
榊木早生	5.00	7.080	6.550	4.65	1.410	82.4	92.52	93.00
陸羽132號	5.00	7.175	6.762	4.80	1.410	97.2	94.24	96.00
關取	5.00	7.025	6.599	4.72	1.398	92.8	93.94	94.40
談内早生22號	5.00	7.175	6.763	4.80	1.410	96.8	94.26	96.00
陸羽愛國20號	5.00	7.270	6.823	4.80	1.421	98.4	93.85	96.00
談内早生157號	5.00	7.200	6.789	4.81	1.410	92.4	94.29	96.26
無芒愛國	5.00	7.350	6.884	4.84	1.422	96.4	93.66	96.80

品 種 名	糠		糠 中 ノ 胚		碎 米		損 失 量		搗 精 時 間
	重 量	歩 合	重 量	歩 合	重 量	歩 合	重 量	歩 合	
栃 木 早 生	0.410	5.79	25.0	0.35	0.2	0.00	94.8	1.34	12
陸 羽 132 號	0.349	4.87	6.5	0.09	2.0	0.03	55.5	0.77	12
關 取	0.332	4.73	18.5	0.26	3.8	0.05	71.7	1.02	13
畿内 早 生 22 號	0.314	4.38	7.5	0.10	1.0	0.01	89.5	1.25	12
陸羽 愛 國 20 號	0.375	5.16	6.2	0.08	2.6	0.04	63.2	0.87	15
畿内 早 生 157 號	0.332	4.61	12.5	0.17	0.6	0.01	65.9	0.92	10
無 芒 愛 國	0.332	5.33	11.5	0.16	1.6	0.02	60.9	0.83	16

(A) 成績概評

- (1) 厚サ薄キ栃木早生、長形ヲ有スル關取、畿内早生157號、畿内早生22號ハ胚脱落シ易シ
- (2) 胚ノ重量百分率大ナルモノハ胚脱落シ易シ

7. 粳ノ等級別糶摺歩止り並ニ精米歩止りニ關スル試験

(一) 試験ノ目的

粳ノ等級ガ糶摺歩止り並ニ精米歩止りニ如何ナル關係アルカヲ窺知シテ検査上ノ參考ニ資セントスルニアリ

(二) 供試材料

供試材料ハ昭和13年産ノ本縣農産物検査標準査定會ニ於テ決定セル標準粳ニシテ其ノ調査セル結果ハ次ノ如シ

等級	種別	粒形	品 種 名	1斗重量	不完全粒百分率	水分含有量	胴割歩合	生 産 地
1	粳	長	陸 羽 132 號	2.87	5.3	14.7	0	更級郡力石村
2	"	"	"	2.65	10.6	14.1	34.0	南安曇郡豊科町
3	"	"	"	2.51	23.3	14.2	17.0	小縣郡武石村
1	"	圓	陸羽愛國20號	3.02	2.1	14.7	8.0	更級郡鹽崎村
2	"	"	"	2.94	10.3	14.0	7.0	下高井郡上木島村
3	"	"	無 芒 愛 國	2.75	21.1	14.6	10.0	埴科郡屋代町

供試量トシテ糶摺ニハ1斗重量ニヨリ糶2斗ヲ搗精ニハ糶2斗ヨリ出デタル玄米(粳等級ヨリ1等級下ノモノ)ヲ供用セリ

(三) 試験方法

糶摺機ハ瑞光式3號摺卸機(ゴムロール式ノモノ)ヲ毎分1100回轉シテ使用シ調査用三德式万石並ニ篩ニヨリ「アラ」ヲ除キ屑米ハ日本魂縦線選穀器(平面調節末廣型)ニヨリ除キタリ精米ハ清水式精米機1號2俵張ヲ毎分360回轉シテ使用シ搗精程度ハ玄米糠層ガ完全ニ除去セララルヲ標準トシ15分乃至20分間搗精セリ

仕上精米ハ1寸ニ付14目(7厘目)ノ篩ニテ碎米ヲ除去セルモノナリ

碎米ハ精米中ヨリ上記方法ニヨリ出デタルモノニ糠ヲ1寸ニ付25目(3厘目)ノ篩ニテ振ヒ通過セサル小米ヲ加ヘタルモノナリ

容重重ハ1斗秤ニヨリ測定シ容量ハ1斗重量ニテ全重量ヲ除シテ算出セリ

重量ハ胚ニテ秤量シ質ニ換算セリ

検査等級ハ本縣農産物検査所職員之ヲ決定セリ

(四) 試験成績

(1) 粳ノ等級ト糶摺歩止り並ニ玄米等級トノ關係

粳ノ等級	品 種 名	供 試 粳		糶 摺 直 後 ノ 玄 米			摺卸シ糶摺歩止り			
		重量	容量	1斗重量	重量	容量	1斗重量	等級	重量	容量
1	陸 羽 132 號	5.74	2.000	2.87	4.79	1.168	4.10	2中	83.4	58.4
2	"	5.30	2.000	2.65	4.42	1.033	4.08	4上	83.4	54.2
3	"	5.02	2.000	2.51	4.16	1.102	4.02	外中	82.9	55.1
1	陸羽愛國 20 號	6.04	2.000	3.02	5.11	1.234	4.14	2下	84.6	61.7
2	"	5.88	2.000	2.94	4.91	1.195	4.11	4中	83.5	59.8
3	無 芒 愛 國	5.50	2.000	2.75	4.58	1.125	4.07	外中	83.3	56.3

(2) 粳ノ等級ト仕上玄米ノ糶摺歩止り並ニ仕上玄米等級トノ關係

粳ノ等級	品 種 名	仕 上 玄 米				屑 米		仕上玄米ノ糶摺歩止り		屑米歩合		摘 要
		重量	容量	1斗重量	等級	重量	容量	1斗重量	容量	重量	容量	
1	陸 羽 132 號	4.79	1.168	4.10	2中	—	—	83.4	58.4	—	—	第2回目仕上
1	"	4.77	1.166	4.07	1下	25	0.7	83.1	58.3	0.4	0.4	
2	"	4.34	1.066	4.07	3下	68	2.2	81.9	53.3	1.3	1.1	
3	"	4.07	1.018	4.00	4下	83	2.7	81.1	50.9	1.7	1.4	第2回目仕上
1	陸羽愛國20號	5.09	1.238	4.11	1下	21	0.6	84.3	61.9	0.3	0.3	
2	"	4.83	1.178	4.10	3下	77	2.5	82.1	58.9	1.3	1.3	
2	"	4.68	1.153	4.06	2下	138	3.9	79.6	57.7	2.3	2.0	第2回目仕上
3	無 芒 愛 國	4.48	1.106	4.05	4下	97	3.2	81.5	55.3	1.8	1.6	

備考 △印ハ1勺重量ヨリ換算

(2) 玄米ト仕上精米歩止り並ニ等級トノ關係

粳ノ等級	品 種 名	供試玄米		仕 上 精 米		精 米 歩 止 り		糠		糠歩合		碎 米		搗 精 ニ ヨ ル 損 失 量			
		重量	等級	重量	容量	1斗重量	等級	重量	容量	重量	容量	重量	歩止り	重量	歩合		
1	陸 羽 132 號	4.79	2中	4.39	1.137	3.86	201.6	97.3	0.331	1.99	0.166	6.9	17.0	0.026	0.50	0.36	0.8
2	"	4.34	3下	3.90	1.005	3.88	489.9	94.3	0.304	1.90	0.160	7.0	17.8	0.024	0.60	0.54	0.8
3	"	4.07	4下	3.67	0.966	3.80	490.2	94.9	0.271	1.62	0.167	6.7	15.9	0.054	1.30	0.35	0.9
1	陸羽愛國20號	5.09	1下	4.74	1.212	3.91	293.1	97.9	0.328	2.19	0.150	6.4	17.7	0.013	0.30	0.15	0.3
2	"	4.83	3下	4.44	1.133	3.92	491.9	96.2	0.350	2.27	0.154	7.2	19.3	0.024	0.50	0.47	1.0
3	無 芒 愛 國	4.48	4下	4.07	1.044	3.90	490.8	94.4	0.333	2.02	0.165	7.4	18.3	0.031	0.70	0.36	0.8

備考 △印ハ1升重量ヨリ換算セリ

(4) 粳ノ等級ト精米歩止リ並ニ等級トノ關係

粳ノ等級	品 種 名	仕上精米等級	供試玄米ニ對スル精米歩止リ		粳ニ對スル精米歩止リ		粳ニ對スル糠重量歩合	粳ニ對スル碎米重量歩合
			重 量	容 量	重 量	容 量		
1	陸羽 132 號	2	91.6	97.3	76.5	56.9	5.8	0.5
2	"	4	89.9	94.3	73.6	50.3	5.7	0.5
3	"	4	90.2	94.9	73.3	48.8	5.4	1.1
1	陸羽愛國20號	2	93.1	97.9	78.5	60.6	5.4	0.2
2	"	4	91.9	96.2	75.5	56.7	6.0	0.4
3	無芒愛國	4	90.8	94.4	74.0	52.2	6.1	0.6

8. 玄米ノ等級別精米歩止リニ關スル試驗

(一) 試驗ノ目的

玄米ノ等級ガ精米歩止リニ如何ナル關係アルカラ窺知シ以テ検査上ノ參考ニ資セントスルニアリ

(二) 供試材料

供試材料ハ昭和13年産ノ本縣農産物検査標準査定會ニ於テ決定セル標準米ニシテ其ノ調査セル結果ハ次ノ如シ

等級	種別	粒形	品 種 名	1斗重量	不完全粒百分率	水分含有量	剛度	崩歩割合	生 産 地
1	粳	長	陸羽 132 號	4.10	1.7	14.3	7.2	28.0	小縣郡泉田村
2	"	"	"	4.11	3.0	14.7	5.6	19.0	南佐久郡切原村
3	"	"	"	4.06	5.3	15.0	5.6	7.0	諏訪郡中洲村
4	"	"	"	4.09	6.3	15.2	4.8	23.0	小縣郡武石村
2	糯	"	大正糯	4.12	3.2	14.6	6.2	—	下伊那郡市田村

供試量ハ1斗重量ニヨリ2斗ヲ供用シ1區制ニテ實施セリ

(三) 試驗方法

使用精米機ハ清水式精米機1號2俵張ニシテ毎分回轉數ヲ950回トシ豫備試驗ノ結果ヨリ抵抗糠拔等ヲ適當ニシ玄米ノ糠層ガ完全ニ除去セラル、ヲ標準トシ無砂ニテ22分乃至50分間搗精セリ仕上精米ハ1寸ニ付14目篩(7厘目)ニテ碎米ヲ除去セルモノナリ

碎米ハ精米中ヨリ上記方法ニヨリ出デタル碎米ニ糠ヲ1寸ニ付25目篩(3厘目)ニテ振ヒ通過セザル小米ヲ加ヘタルモノナリ

重量ハ疋ニテ秤量シ疋ニ換算セリ

容量重ハ1斗秤ニヨリ測定シ容量ハ1斗重量ニテ全重量ヲ除シテ算出セリ

重量歩合ハ玄米重量ニ對スル百分率ヲ以テ表ハセリ

仕上精米ノ検査等級ハ本縣農産物検査所職員之ヲ決定セリ

(四) 試驗成績

等級	品 種 名	供試玄米			仕上精米				碎米重量	仕上糠		精米歩止リ		仕上糠歩合		碎米重量歩合
		重量	容量	1斗重量	重量	容量	1斗重量	水分含有量		歩合	重量	容量	重量	容量	重量	
1	陸羽 132 號	8.20	2.000	4.10	7.57	1.941	3.90	3.4	20.038	0.567	3.70	92.3	97.1	6.9	18.5	0.5
2	"	8.22	2.000	4.11	7.54	1.953	3.86	2.4	30.051	0.548	3.76	91.7	97.7	6.7	18.8	0.6
3	"	8.12	2.000	4.06	7.51	1.956	3.84	3.6	30.034	0.554	3.62	92.5	97.8	6.8	18.1	0.4
4	"	8.18	2.000	4.09	7.47	1.930	3.87	1.6	40.050	0.558	3.34	91.3	96.5	6.8	16.7	0.6
2	大正糯	8.24	2.000	4.12	7.43	1.920	3.87	2.7	30.035	0.677	4.48	90.2	96.0	8.2	22.4	0.4

9. 大麥ノ等級別精麥歩止リニ關スル試驗

(一) 試驗ノ目的

大麥ノ等級ガ精麥歩止リニ如何ナル關係アルカラ窺知シ以テ検査上ノ參考ニ資セントスルニアリ

(二) 供試材料

供試材料ハ昭和13年産ノ本縣農産物検査標準査定會ニ於テ決定セル標準大麥ニシテ其ノ調査セル結果ハ次ノ如シ

等級	品 種 名	1斗重量	1升重量	水分含有量	分歩合	10瓦中ノ粒數				生 産 地				
						完全粒	小粒	不完全粒	合計	堆科郡戸倉村	柳町 永人	堆科郡辰代町	塚田 類治	更級郡眞島村
1	豐年	3.15	314	12.5	13.9	159	86	19	264	堆科郡戸倉村	柳町 永人			
2	豐年	3.06	302	13.0	14.2	147	111	14	272	堆科郡辰代町	塚田 類治			
3	大六角	2.94	292	12.6	15.3	200	93	20	313	更級郡眞島村	中澤 貞治			
4	備前早生	2.90	285	13.2	15.9	180	93	78	351	長野市錦町	長谷川藤太郎			

供試量ハ5.33疋(20疋ヲ疋ニ換算ス)ヲ採リ1區制トナス

(三) 試驗方法

精麥ノ順序次ノ如シ

佐竹式精麥機齒車式2號機ヲ使用シ金剛砥ハ40番ロールト圓筒トノ間隙2.5分無負荷ノ毎分回轉數ヲ962回トナシ排出口ノ抵抗錘ハ之ヲ殆ンド除去シテ稈並ニ種皮ガ略々剝離セラル、ヲ標準トシ28分乃至36分間搗精ヲ行ヒタリ

仕上麥ハ1寸ニ付11目ノ手篩ニテ碎麥ヲ除去セルモノナリ

碎麥ハ精麥中ヨリ上記方法ニヨリ出デタルモノニ麥糠ヲ大屋式小型唐箕ニテ風選シ1.2番口ニ出タルモノヲ1寸ニ付14目ノ手篩ニテ振ヒ通過セザル碎麥ヲ加ヘタルモノナリ

容量重ハ1斗秤ニヨリ測定シ容量ハ1斗重量ニテ全重量ヲ除シテ算出セリ

重量ハ疋ニテ秤量シ疋ニ換算セリ

(2) 試験成績

等級	供試品名	大 麥				仕 上 精 麥			
		重量	容量	1斗重量	1升重量	重量	容量	1斗重量	1升重量
1	豊年	5.33	1.692	3.15	314	3.93	1.010	3.89	379
2	豊年	5.33	1.742	3.06	302	3.90	1.019	3.88	375
3	大六角	5.33	1.813	2.94	292	3.72	0.987	3.77	377
4	備前早生	5.33	1.838	2.90	285	3.67	0.997	3.68	368

等級	品 種 名	碎 麥			麥 糠			仕上精麥歩合		碎麥歩合		精歩合
		重量	容量	1斗重量	重量	容量	1斗重量	重量	容量	重量	容量	
1	豊年	20	0.5	4	1.200	1.02	118	73.7	59.7	0.4	0.8	22.5
2	豊年	74	1.9	4	1.191	0.99	120	73.2	58.5	1.4	1.1	22.3
3	大六角	126	3.2	4	1.280	1.10	116	69.8	54.4	2.4	1.8	24.0
4	備前早生	234	5.9	4	1.198	1.02	117	68.9	54.2	4.4	3.2	22.5

備考 △印ハ1升重量ヨリ換算

10. 小麥ノ等級ガ製粉歩合麩質含量

ニ及ボス影響試験

(一) 試験ノ目的

小麥ノ等級ガ製粉歩合、麩質含量ニ如何ナル關係アルカヲ窺知シ以テ検査上ノ参考ニ資セントスルニアリ

(二) 供試材料

供試材料ハ昭和13年産ノ本縣農産物検査標準査定會ニ於テ決定セル標準小麥ニシテ其ノ調査セル結果ハ次ノ如シ

供試品名	等級	1升重量	水分含有量	硝子率	産 地
伊賀筑後オレゴン	1	375	11.8	87.0	更級郡篠ノ井町 山岸 勝人
伊賀筑後オレゴン	2	369	11.6	79.5	埴科郡五加村 中村 直冬
伊賀筑後オレゴン	3	363	12.0	71.0	下伊那郡市田村 加藤 孝一
伊賀筑後オレゴン	4	352	12.3	75.5	上水内郡榮村 宮澤 守太

(三) 試験方法

供試量ハ1區 500瓦トシ2區制ニテ實施セリ
製粉ノ順序ハ次ノ如シ

(1) 精 穀

カンリウ式精米機1升張ヲ使用シ毎分 900回轉トナシ 5分間精穀ヲ行ヘリ
其ノ結果ハ次ノ如シ

供試品名	等級	精歩合	精材料歩合	屑歩合	備 考
伊賀筑後オレゴン	1	99.9	0.1		
伊賀筑後オレゴン	2	99.8	0.2		
伊賀筑後オレゴン	3	99.8	0.2		
伊賀筑後オレゴン	4	99.8	0.2		

(2) 加 水

添加水分量ハ所定水分含有量14.0%ニナル様加水シテ14時間乃至18時間放置セリ

(3) 製 粉

「テストミル」ヲ使用シテ製粉ヲ行ヘリ

(4) 濕麩量並ニ乾麩量

粉20瓦ヨリ麩質ヲ採リテ濕麩量ヲ求メ更ニ之ヲ乾燥シテ乾麩量ヲ求メ2回調査ノ平均値ヲ以テ決定セリ

(2) 試験成績

(1) 小麥ノ品種、等級ト製粉歩合トノ關係

供試品名	等級	製 粉 歩 合 %			備 考
		粗材料	精材料	水分加算精材料	
伊賀筑後オレゴン	1	75.2	75.3	74.1	
伊賀筑後オレゴン	2	74.8	75.0	73.7	
伊賀筑後オレゴン	3	73.5	73.6	72.9	
伊賀筑後オレゴン	4	72.3	72.4	71.3	

(2) 小麥ノ品種、等級ト麩質含量トノ關係

供試品名	等級	麩 質 含 量 %		混 麩 ト 乾 麩 ノ 比	備 考
		混 麩 量	乾 麩 量		
伊賀筑後オレゴン	1	33.0	12.0	2.8	
伊賀筑後オレゴン	2	31.5	11.7	2.7	
伊賀筑後オレゴン	3	29.8	10.7	2.8	
伊賀筑後オレゴン	4	23.8	9.0	2.7	

11. 蕎麥ノ等級別製粉歩止リニ關スル試験

(一) 試験ノ目的

蕎麥ノ等級ガ製粉歩止リニ如何ナル關係アルカヲ窺知シ以テ検査上ノ参考ニ資セントスルニアリ

(二) 供試材料

供試材料ハ昭和13年産ノ本縣農産物検査標準査定會ニ於テ決定セル標準蕎麥ニシテ其ノ調査セル結果ハ次ノ如シ

等級	1升重量	完全粒歩合		不完全粒歩合		水分含有量	生産地
		重量	粒數	重量	粒數		
1	1.180	96.0	94.0	4.0	6.0	14.5	上水内郡古間村
2	1.145	94.0	93.0	6.0	7.0	14.9	北佐久郡小沼村
3	1.106	94.0	91.0	6.0	9.0	13.9	南佐久郡北牧村

(三) 試験方法

供試量ハ1區1.000疋トシ、2區制ニテ實施セリ

製粉ノ順序ハ次ノ如シ

(1) 精 穀

カンリウ式精米機1升張ヲ毎分回轉數900回トナシ抵抗ヲ0點ニ置キ出口ヲ全開シテ8分間精穀ヲ行ヒタリ

(2) 脱 稈 (挽拔)

蕎麥ノ黒皮ヲ除去スル爲メ精穀セル原料ヲ「テストミル」ノ「ブレーキロール」ノ間隔ヲ第1回目ハ80印ニシテ通過セシメ1寸ニ付9目ノ篩ニテ振ヒ、第2回目ハソノ上物ヲ尙15印ニ締メテ通過セシメ之ヲ1寸ニ付9目ノ篩ニテ振ヒ上物ヲ稈トナス、次ニ第1、第2回目ニ9目篩ヲ通過セルモノハ更ニ之ヲ1寸ニ付11目ノ篩ニテ振ヒ上物ハ「ブレーキロール」ヲ10印ニ締メテ通過セシメ之ヲ1寸ニ付11目ノ篩ニテ振ヒテソノ上物ハ稈トナシ通過セルモノハ總ベテ「スムースロール」ニテ製粉ヲ行ヘリ

(3) 製 粉

黒皮ヲ除去セルモノヲ「テストミル」ノ「スムースロール」ニカケ之ヲ××10ノ篩絹ヲ張りタル篩ニテ振ヒソノ上物ヲ更ニ「スムースロール」ニカケ之ヲ××10ノ篩ニテ振ヒ越ガ褐色ヲ帯ビルニ至ルマデス様ナル操作ヲ繰リ返シ行ヒタリ

容量重ハ1升硝子枡ニヨリ測定シ容量ハ全重量ヲ1升重量ニテ除シテ算出セリ

(四) 試験成績

等級	供試蕎麥		精穀セルモノ		脱稈セルモノ		精 粉			稈		穀	
	重量	容量	重量	歩合	重量	歩合	重量	製粉歩合		重量	歩合	重量	歩合
								原料ニ對シ	精穀セルモノニ對シ				
1	1.000	0.847	0.996	99.6	0.844	84.4	0.788	78.8	79.1	0.151	15.1	44.6	4.7
2	1.000	0.873	0.997	99.7	0.832	83.2	0.769	76.9	77.1	0.160	16.0	57.3	5.7
3	1.000	0.904	0.996	99.6	0.810	81.0	0.743	74.3	74.6	0.180	18.0	57.5	5.8

(2) 其ノ他ニ關スル事項

- (1) 優良農具ノ購入並ニ實地指導 66件
- (2) 共同作業場ノ建設並ニ農具設備指導 23件
- (3) 優良農具ノ貸與 6件
- (4) 講習講話 19件

園 藝 部

果 樹

1. 苹果有機質無機質肥料比較試験

目 的 本試験ハ苹果ニ對シ有機質肥料ヲ用ヒタル場合ト、無機質肥料ヲ用ヒタル場合トニヨリ樹勢、品質、病虫等ニ及ボス關係ヲ知ラントスルニアリ

試験區別次ノ如シ

第一區 有機質肥料區 (魚粕、大豆粕、骨粉、木灰)

第二區 無機質肥料區 (硫酸アンモニア、過燐酸石灰、硫酸加里)

尙兩區共一樹ニ對シ堆肥十貫宛ヲ施用ス

供試品種及供試樹數

國光ニシテ一區五本宛トス

本年度ニ於ケル試験成績次ノ如シ

收 量

第一區 有機質肥料	號	一 本 當		段		當		計		上物一個平均重量		
		上 物	下 物	上 物	下 物	上 物	下 物	上 物	下 物			
		個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量			
第一區 有機質肥料	1號	279	15.120	109	6.400	4.604	249.5	1.798	105.6	6.402	355.1	54.2
	2號	201	10.140	96	4.550	3.816	167.1	1.584	75.1	4.920	242.4	50.4
	3號	89	2.260	26	1.300	643	37.2	429	21.4	1.072	58.6	57.9
	4號	182	10.180	56	3.050	3.003	167.9	924	50.3	3.927	218.3	55.9
	5號	91	5.270	37	1.800	1.501	86.9	610	29.7	2.112	116.5	57.9
	平均	158	8.594	55	3.420	2.607	141.8	907	56.4	3.514	198.2	55.2
第二區 無機質肥料	1號	929	54.520	170	7.550	15.828	834.5	2.805	124.6	18.133	959.1	58.6
	2號	198	11.820	65	3.750	3.234	195.0	1.072	61.9	4.306	256.9	60.1
	3號	860	45.940	154	7.800	14.190	758.0	2.541	128.7	16.731	886.7	67.5
	4號	248	14.470	60	3.100	4.092	238.7	990	51.1	5.082	239.9	50.2
	5號	695	40.790	128	6.950	11.467	673.3	2.112	114.6	13.579	787.7	58.6
	平均	585	33.508	115	5.840	9.602	552.8	1.897	96.3	11.550	649.1	58.1

果實分析成績

區 名	一ノ1	一ノ2	一ノ3	一ノ4	一ノ5	二ノ1	二ノ2	二ノ3	二ノ4	二ノ5
果 糖 分	13.2	12.4	13.0	13.6	14.2	12.6	13.4	12.4	13.0	12.4
果 皮 肉 } 心 } ノ 肉 } ミ 糖 分	12.8	12.4	13.0	13.4	13.8	12.8	13.4	12.6	12.8	12.0

區名	一ノ1	一ノ2	一ノ3	一ノ4	一ノ5	二ノ1	二ノ2	二ノ3	二ノ4	二ノ5
果百汁瓦	75.5	82.0	82.5	80.0	80.5	83.5	80.5	78.0	80.5	79.5
肉中粕瓦	24.5	18.0	17.5	20.0	19.5	16.5	19.5	22.0	19.5	20.0

本年度ニ於テハ、第一區、第二區共ニ、糖分ニ大差ヲ認メズ、而シテ收量ニ於テハ、隔年結果ノ傾向アルヲ以テ第二區遙ニ多シ

2 苹果經濟調査(十二年目)反當

目的 本調査ハ苹果栽培上ニ關スル收入、支出ヲ明ラカニセンガ爲メ、紅玉、國光、祝各々八畝歩ヲ供用セリ

紅玉、國光ハ共ニ樹齡二十七年ナレ共大正十年秋ノ移植ナルガ故ニ二十一年生位ノ樹形ヲナセリ

四間平方植ニシテ半圓形仕立ナリ

本年度ノ調査次ノ如シ

イ、紅 玉 (十二年目)

月日	作 業	薬 劑	價 格	人 夫	賃 金
2. 5	冬期剪定		円 履	男 2.00	1.800
2. 26	老皮剥皮			男 0.80	.720
3. 7	剪枝片付			男 1.00	.900
3. 25	施 肥			男 1.20	1.080
3. 31	硫酸ニコチン加用石灰硫黄合劑ボーマー五度液撒布	原液 1斗5升 硫酸ニコチン 1合 カゼイン石灰64匁	2.416 1.380 .117	男 0.45	.405
4. 19	除 草			女 1.00	.650
4. 28	硫酸鉛及カゼイン加用ボーマー〇・五度石灰硫黄合劑撒布	原液 1升3合 硫酸鉛 140匁 カゼイン石灰64匁	.209 .654 .117	男 .45	.405
5. 4	摘 花			男 4.00	3.600
5. 9	除 草			女 .45	.293
5. 10	硫酸鉛及カゼイン加用ボーマー〇・五度石灰硫黄合劑撒布			男 .45	.405
5. 11	摘 果			男 4.50	4.050
5. 12	小袋掛		3.673 15.970枚 (千枚ニツキ23錢)	千枚ニツキ .50	7.985
5. 18	肥料用石灰施肥中耕			男 1.68	1.512
5. 25	天牛驅除	ラットリン 2瓦	.028	男 0.50	.450
5. 25	ウドンコ病枝剪除			男 .48	.432
6. 6	硫酸ニコチン及カゼイン石灰加用ボーマー〇・五度石灰硫黄合劑撒布	原液 1升5合 硫酸ニコチン 1合2匁 カゼイン石灰72匁	.241 1.656 .132	男 .45	.405

月日	作 業	薬 劑	價 格	人 夫	賃 金
6. 8	袋 掛		7.253 17.270枚 (千枚ニツキ42錢)	千枚ニツキ .55	9.498
6. 26	見残袋掛		370枚	男 .40	.360
6. 28	除 草			女 1.00	.650
7. 6	支 柱 立			男 .75	.675
7. 12	硫酸鉛及カゼイン加用三斗式石灰ボールドー液撒布	硫酸銅 480匁 生石灰 480匁 硫酸鉛 240匁 カゼイン石灰72匁	.780 .098 .759 .132	男 .45	.405
7. 14	除 草			女 1.00	.650
7. 18	中 耕			男 1.20 女 .30	1.080 .195
7. 29	天牛驅除	ラットリン 2瓦	.028	男 .60	.540
8. 10	硫酸鉛及カゼイン石灰加用三斗式石灰ボールドー液撒布	硫酸銅 .575 生石灰 .575 硫酸鉛 .288 カゼイン石灰 86	.934 .115 .911 .157	男 .45	.405
8. 23	除 草			女 .90	.585
8. 24	支柱立直シ			男 .50	.450
9. 5	除 袋			男 2.00 女 .80	1.800 .520
9. 6	天牛驅除	ラットリン 1瓦	.014	男 .50	.450
9. 12	葉切り玉廻シ			男 3.30	2.970
9. 16	收 穫			男 2.00	1.800
9. 16	第二回除袋			男 1.60 女 .20	1.440 .130
9. 23	葉切り玉廻シ			男 1.80 女 .45	1.620 .292
9. 25	收穫 以後數回			男 2.70 女 .80	2.480 .520
10. 10	支柱片附			男 .60	.540
12. 9	落葉集メ			女 .60	.390
12. 10	施肥中耕			男 3.60	3.240
	選果及販賣人夫			男 8.00	7.200
	計		11.876 (袋代ヲ含マズ) 袋代11.081 總計	男 48.41 女 7.80	43.569 5.070 袋掛賃 ヲ含マズ 17.483 66.122

肥料代 (紅玉及國光)

肥料名	本 當			反 當		
	用 量	單 價	價 格	用 量	單 價	價 格
大豆 粕	500	4.08	20.4	9.000		3.67
蛹 粕	500	4.40	22.0	9.000		3.96
硫酸アンモニア	300	3.95	11.9	5.400		2.13
過磷酸石灰	650	1.60	10.4	11.700		1.87
硫酸加里	320	6.57	21.0	5.760		3.78
堆 肥	15.000	.20	30.0	270.000		5.40
肥料用石灰	2.777	.40	11.1	50.000		2.00
計			1.26.8			22.81

支出一覽

藥 劑 費	11.87
袋 代	11.08
肥料代	22.81
支柱代	.50
人 夫 賃	66.12
計	112.38

收入一覽

等 級	收 量	單 價	金 額
一 等	351.8	90	316.62
二 等	273.6	70	191.52
三 等	156.3	50	78.15
四 等	86.7	25	21.67
計	868.4		607.96

差 引 495.58

口、國 光

詳細ハ紅玉ニ準ズルヲ以テ省略ス

支出一覽

藥 劑 費	11.00
肥料代	22.81
袋 代	8.34
支柱代	.50
人 夫 賃	54.02
計	96.67

收入一覽

(84)

等 級	收 量	單 價	金 額
一 等	318.4	1.00	318.40
二 等	191.0	.80	152.80
三 等	127.3	.60	76.38
四 等	119.9	.30	35.97
計	756.6		583.55

差 引 486.88

ハ、祝 11年生 (反當)

支 出

月 日	作 業	劑 價 格	人 夫	賃 金
2. 2	冬期剪定		男 1.50	1.850
2. 26	老皮剥皮		男 .51	.459
3. 8	剪枝片付		男 .65	.585
3. 24	施肥中耕		男 1.80	1.620
			女 .50	.325
3. 31	硫酸ニコチン及カゼイン石灰加用 ボーマー五度石灰硫黄合劑撒布	原 液 9升 1.450 硫酸ニコチン 6勺 .828 カゼイン石灰 37勺 .067	男 .32	.288
4. 20	除 草		女 .90	.585
4. 27	硫酸鉛及カゼイン石灰加用 ボーマー〇、五度石灰硫黄合劑撒布	原 液 8合5勺 .186 硫 酸 鉛 120勺 .379 カゼイン石灰 36勺 .065	男 .40	.360
5. 4	摘 花		男 .60	.540
5. 9	除 草		女 .51	.332
5. 10	硫酸鉛及カゼイン石灰加用 ボーマー〇、五度石灰硫黄合劑撒布	原 液 9合 .145 硫 酸 鉛 130勺 .411 カゼイン石灰 39勺 .071	男 .40	.360
5. 18	肥料用石灰施肥中耕		男 1.20	1.080
			女 .30	.195
5. 23	徒長枝除去		男 .35	.315
5. 24	摘 果		男 3.00	2.700
5. 25	天中驅除	ラツトリン 2瓦 .028	男 .80	.720
5. 25	ウドン粉病枝剪除		男 .51	.459
5. 26	硫酸ニコチン及カゼイン石灰加用 ボーマー〇、五度石灰硫黄合劑撒布	原 液 1升 .161 硫酸ニコチン 1合 1.380 カゼイン石灰 48勺 .087	男 .38	.342
6. 2	袋 掛	11.820枚 4.964 (千枚ニツキ42錢)	千枚ニツキ .55	6.501
6. 26	見殘袋掛	280枚 .096	男 .40	.360
6. 28	除 草		女 1.00	.650
7. 7	支柱立		男 .80	.720
7. 12	硫酸鉛及カゼイン加用三斗 式石灰ボルドウ液撒布	硫 酸 銅 360勺 .585 生 石 灰 360勺 .072 硫 酸 鉛 180勺 .569 カゼイン石灰 54勺 .089	男 .40	.360

(85)

月日	作	業	藥	劑	價	格	人	夫	賃	金
7.14	除	草					女	.77		.500
7.19	中	耕					男	1.00		.900
7.24	除	袋					女	.20		.130
7.28	收	穫					男	.71		.639
7.28	收	穫					男	1.00		.900
7.29	除	袋(第二回目)					男	.80		.720
7.29	天	牛驅除	ラットリン	1瓦	.014		男	.25		.225
8.5	收	穫以後數回					男	1.93		1.737
8.22	カ	ゼイン石灰加用三斗式石灰ボルドー液撒布	硫酸銅	480匁	.780		男	.40		.360
			生石灰	480	.096					
			カゼイン石灰	72	.131					
8.25	除	草					女	.90		.585
9.6	天	牛驅除	ラットリン	1瓦	.014		男	.25		.225
9.18	除	草					女	1.00		.650
12.9	落	葉集					女	.50		.325
12.10	施	肥中耕					男	3.50		3.150
	選	果及販賣人夫					男	4.00		3.600
							男	27.86		25.074
							女	6.58		4.277
	計				7.568	(袋代ヲ含マズ)	(袋掛人夫ヲ含マズ)			
					袋代	9.060	袋掛賃	6.501		
					總計					85.852

肥料代

肥料名	本			當		
	用	量	價	用	量	價
大豆粕	800	4.08	12.2	5.400	2.20	
蛹粕	800	4.40	13.2	5.400	2.37	
硫酸アンモニア	100	3.95	3.9	1.800	.71	
過磷酸石灰	370	1.60	5.9	6.660	1.06	
硫酸加里	140	6.57	9.2	2.520	1.65	
堆肥	10.000	.20	20.0	180.000	3.60	
肥料用石灰	2.777	.40	11.1	50.000	2.00	
計			75.5		13.59	

支出一覽

藥劑費	7.56
袋代	9.06
肥料代	13.59
支柱代	.50
入夫賃	35.85
計	66.56

收入一覽

等	級	收	量	單	價	金	額
一	等	212.700	80			170.16	
二	等	106.400	60			63.84	
三	等	35.400	40			14.16	
四	等	25.100	20			5.02	
計		379.600	—			253.18	

差引 186.62

3. 苹果デリシヤス系品種試験 第二年目

目的 本試験ハデリシヤス系ノ品種ニツキ收量、品質、栽培上ノ難易等ニツキ比較研究シ以テ何レガ最モ可ナルカラ知ラントス

供試品種 デリシヤス
スターキング
リッチヤードデリシヤス
シヨットウエルデリシヤス

供試樹數及栽培距離 各種共四本宛トス
四間半平方植トス

4. 苹果々實發育調査

目的 苹果ノ主要ナル品種ニツキ果實ノ發育状態ヲ調査シ以テ施肥上ノ参考ニ供シ合セテ採收時期ニヨル收量關係ヲ知ラントス

供用品種 國光、紅玉、旭、祝ノ四種トス

調査個數及調査方法 各品種共30個宛トシ、6月5日ヨリ採收期ニ至ル迄10日隔ニ縦經及横經ヲ調査ス

本年度ノ調査及三ヶ年平均表ノ如シ

本年度調査

品種名調査 月日	國		紅		玉		旭		祝	
	縱	横	縱	横	縱	横	縱	横	縱	横
6.5	8.79	8.27	8.86	9.02	10.88	11.04	11.63	11.32		
差	2.09	2.84	2.19	2.49	2.40	3.49	2.53	3.50		
6.15	10.88	11.11	11.05	11.51	13.28	14.53	14.16	14.82		
差	1.65	2.36	1.32	2.23	2.01	2.83	2.30	3.04		

品種名	國	光		紅		玉		旭		祝	
		縦	横	縦	横	縦	横	縦	横	縦	横
調査月日	月	日	分	分	分	分	分	分	分	分	分
6.	25	12.53	13.47	12.37	13.74	15.29	17.46	16.46	17.86		
	差	2.00	2.54	2.07	2.91	2.15	3.24	2.47	3.28		
7.	5	14.53	16.01	14.44	16.65	17.44	20.70	18.93	21.14		
	差	1.58	2.09	1.67	2.16	1.55	2.82	2.24	2.46		
7.	15	16.11	18.10	16.11	18.81	18.99	23.02	21.17	23.60		
	差	0.71	1.24	0.95	1.20	1.09	1.50	1.22	1.72		
7.	25	16.82	19.34	17.06	20.01	20.08	24.52	22.39	25.32		
	差	1.36	1.74	1.36	1.65	1.08	1.54	1.44	1.62		
8.	4	18.18	21.08	18.42	21.66	21.16	26.06	23.83	26.94		
	差	1.17	1.51	1.39	1.59	1.09	1.44	1.77	1.91		
8.	14	19.35	22.59	19.81	23.25	22.25	27.50	25.60	28.85		
	差	.90	1.41	.68	1.06	.86	1.06	—	—		
8.	24	20.25	24.00	20.49	24.81	23.11	28.56	—	—		
	差	.53	.60	.84	.74	.62	.11	—	—		
9.	3	20.78	24.60	21.33	25.05	23.73	29.67	—	—		
	差	.70	.70	.72	.56	—	—	—	—		
9.	13	21.48	25.30	22.05	25.61	—	—	—	—		
	差	.89	.86	.63	.99	—	—	—	—		
9.	23	22.37	26.16	22.68	26.60	—	—	—	—		
	差	.53	.68	1.18	1.11	—	—	—	—		
10.	3	22.90	26.84	23.86	27.71	—	—	—	—		
	差	.45	.48	—	—	—	—	—	—		
10.	13	23.35	27.32	—	—	—	—	—	—		
	差	.28	.19	—	—	—	—	—	—		
10.	23	23.63	27.51	—	—	—	—	—	—		
	差	.27	.21	—	—	—	—	—	—		
11.	2	23.90	27.72	—	—	—	—	—	—		
	差	.20	.20	—	—	—	—	—	—		
11.	12	24.10	27.92	—	—	—	—	—	—		
	差	—	—	—	—	—	—	—	—		

三ヶ年平均

品種名	國	光		紅		玉		旭		祝	
		縦	横	縦	横	縦	横	縦	横	縦	横
調査月日	月	日	分	分	分	分	分	分	分	分	分
6.	5	7.71	7.01	7.84	7.78	9.05	9.18	10.35	9.65		
	差	2.40	2.91	2.17	2.59	2.62	3.41	2.80	3.29		
6.	15	10.11	9.92	10.01	10.37	11.67	12.59	13.15	12.94		
	差	1.48	2.03	1.56	2.04	1.96	2.75	1.94	2.72		
6.	25	11.59	11.95	11.57	12.41	13.63	15.34	15.09	15.66		
	差	1.60	2.19	1.72	2.42	1.92	2.97	2.11	2.90		

品種名	國	光		紅		玉		祝		旭	
		縦	横	縦	横	縦	横	縦	横	縦	横
調査月日	月	日	分	分	分	分	分	分	分	分	分
7.	5	13.19	14.14	13.29	14.83	15.55	18.31	17.20	18.56		
	差	1.48	2.13	1.74	2.28	1.55	2.34	1.91	2.59		
7.	15	14.67	16.27	15.03	17.11	17.10	20.65	19.11	21.15		
	差	.84	1.37	1.09	1.45	1.09	1.65	1.49	1.86		
7.	25	15.51	17.64	16.12	18.56	18.19	22.30	20.60	23.01		
	差	1.13	1.61	1.31	1.57	1.11	1.61	1.39	1.70		
8.	4	16.64	19.25	17.43	20.13	19.30	23.91	21.99	24.71		
	差	1.13	1.53	1.34	1.61	1.15	1.58	1.65	1.61		
8.	14	17.77	20.78	18.77	21.74	20.45	25.49	23.64	26.32		
	差	.97	1.33	.95	1.16	.70	1.35	—	—		
8.	24	18.74	22.11	19.72	22.90	21.45	26.84	—	—		
	差	.75	.97	.92	.93	.76	1.13	—	—		
9.	3	19.45	23.08	20.64	23.83	22.21	27.97	—	—		
	差	.76	.88	.75	.69	—	—	—	—		
9.	13	20.25	23.96	21.39	24.52	—	—	—	—		
	差	.76	.89	.80	1.00	—	—	—	—		
9.	23	21.01	24.85	22.19	25.52	—	—	—	—		
	差	.62	.69	.89	.92	—	—	—	—		
10.	3	21.63	25.54	23.08	26.44	—	—	—	—		
	差	.44	.58	—	—	—	—	—	—		
10.	13	22.07	26.12	—	—	—	—	—	—		
	差	.34	.84	—	—	—	—	—	—		
10.	23	22.41	26.46	—	—	—	—	—	—		
	差	.30	.35	—	—	—	—	—	—		
11.	2	22.71	26.81	—	—	—	—	—	—		
	差	.18	.20	—	—	—	—	—	—		
11.	12	22.89	27.01	—	—	—	—	—	—		
	差	—	—	—	—	—	—	—	—		

5. 苹果摘果法試験

目的 本試験ハ摘果法ニヨリ、果實ノ發育、銹果ノ多少ノ色澤ノ落果歩合等ニ及ボス關係ヲ調査研究セントスルニアリ

供試品種 紅 玉

試験區別 第一區 小袋掛施行セズ周圍果ニ對シ6月10日新聞紙袋掛ヲ行フ

第二區 中心果ニ對シ同前

第三區 落果直後周圍果ニ「ロール紙」小袋掛ヲ行フ

第四區 落果直後中心果ニ對シ同前

第五區 落果10日目ニ周圍果ニ小袋掛ヲ行フ

第六區 落果10日目ニ中心果ニ對シ同前

第七區 落果10日目ニ中心及周圍果ニ對シ同前

本年度ニ於ケル成績次表ノ如シ

紅玉摘果法試験成績

區名	一區	二區	三區	四區	五區	六區	七區
供試數	845	785	831	778	676	929	1,222
落果數	131	180	170	215	100	212	245
梗鏽	大鏽	350	50	312	51	274	47
	小鏽	406	59	435	99	308	86
計	756	109	747	150	584	133	451
完全果	89	626	84	628	94	796	771

同上百分比

區名	一區	二區	三區	四區	五區	六區	七區
落果數	15.50%	24.49%	20.46%	27.63%	28.11%	22.82%	20.05%
梗鏽	大鏽	41.42%	6.80%	37.56%	6.56%	40.53%	5.06%
	小鏽	48.05%	8.03%	52.34%	12.72%	45.56%	9.26%
計	89.47%	14.83%	89.90%	19.28%	86.09%	14.32%	36.90%
完全果	10.53%	85.17%	10.10%	80.72%	18.91%	85.68%	63.10%

- 右ノ試験成績ニヨレバ大體ニ於テ中心果ハ落果歩合多キガ如シ
- 鏽ノ多少ハ、小袋掛ノ有無ヲ問ハズ、中心果ハ極メテ少キモ、周圍果ハ甚多クシテ中心及周圍果ハ兩者ノ中間ニアリ
- サカサ實ハ中心果ニ多キヲ認メタリ即チ中心果ハ果梗短太ナルモノ多キニヨル
- 故ニ鏽果ヲ少ナカラシメントスレバ中心果ヲ主トシテ結實セシメ、果梗短太ニシテ落果シ易キモノ及「サカサ」實トナリ易キ位置ニ結實セルモノニ限り周圍果ヲ結實セシムルガ有利ナルガ如シ
- 本年度ニ於テハ小袋ノ效果ガ鏽ニ對シテハ比較的認メラズ
- 小袋掛ノ10日位ノ差ハ鏽ニ餘リ差ヲ認メズ
- 小袋掛ヲ施行シタルモノハ然ラザルモノニ比シ色澤可ナルヲ認メタリ

6. 苹果熟期ニ於ケル糖分及酸ノ變化

目的 本試験ハ苹果ノ主要ナル品種ニツキ成熟期ニ於ケル糖分及酸ノ變化ヲ調査シ以テ眞ノ成熟期ヲ知り採收上ノ參考ニ供セントス

供試品種 紅玉

調査方法 供試樹ヲ定メ、中位ニ結實セル而モ成熟進メルモノト認メタルモノヲ採收調査ス

月日	調査項目	糖	分	酸 (リンゴ酸)
9. 5		11.8		0.73
9. 15		11.8		0.77

月日	調査項目	糖	分	酸 (リンゴ酸)
9. 25		11.5		0.70
9. 30		11.5		0.64
10. 5		11.8		0.68
10. 10		11.8		0.72
10. 15		12.2		0.74

右ノ成績ニ依レバ糖分ハ次第ニ幾分増加セルモ酸ニ於テハ、10月5日以降寧ロ増加セリ、故ニ本年度ニ於ケル完全熟期ハ9月30日ナルガ如シ

7. 苹果新梢伸長調査

目的 主要品種ニツキ新梢ノ伸長状態ヲ調査シ以テ施肥ノ參考ニ供セントス

供試品種 祝、國光

調査方法 發育中位ト認ムルモノ20枝ヲ選ビ發芽初期ヨリ9月ニ至ル間調査ス

本年度ノ調査次表ノ如シ (cm)

區別	調査月日	祝										
		4.30	5.10	5.20	5.31	6.10	6.20	6.30	7.10	7.20	7.31	8.10
1	號	2.5	9.2	16.5	24.5	30.5	33.0	34.0	34.5	止	—	—
2	號	1.8	7.3	16.5	26.0	31.5	34.0	35.0	35.5	再伸	36.5	止
3	號	3.1	9.0	17.0	27.5	34.0	37.5	39.0	40.0	40.5	止	—
4	號	2.0	6.2	12.5	22.0	30.0	34.5	止	—	—	—	—
5	號	2.6	8.3	18.0	31.0	37.5	38.5	39.0	再伸	40.5	42.0	止
6	號	2.7	8.0	15.0	24.0	29.5	31.0	再伸	32.0	32.5	止	—
7	號	.5	5.0	11.5	21.5	30.0	32.5	34.0	34.5	35.5	止	—
8	號	3.5	12.2	18.5	24.5	26.0	27.0	止	—	—	—	—
9	號	.5	9.0	11.5	21.0	26.5	29.0	止	—	—	—	—
10	號	3.1	10.0	17.5	25.0	30.5	32.5	33.0	33.5	止	—	—
11	號	2.5	5.5	10.0	14.5	止	—	—	—	—	—	—
12	號	—	11.2	20.5	29.5	32.5	33.5	止	—	—	—	—
13	號	4.4	10.0	18.5	25.0	26.5	28.0	止	—	—	—	—
14	號	3.2	9.0	16.5	20.5	21.0	止	—	—	—	—	—
15	號	.8	6.0	15.0	28.0	35.0	37.0	止	—	—	—	—
16	號	3.6	13.0	20.5	29.5	34.5	36.0	止	—	—	—	—
17	號	3.8	14.5	23.5	35.5	43.0	46.0	47.0	48.0	止	—	—
18	號	5.0	15.0	22.5	29.0	30.0	止	—	—	—	—	—
19	號	—	16.2	26.0	36.0	41.5	43.0	再伸	—	45.0	47.0	止
20	號	3.6	13.5	24.0	36.0	40.5	42.0	止	—	—	—	—
21	號	—	12.5	20.0	28.0	31.0	32.0	止	—	—	—	—
22	號	3.6	9.5	16.5	24.5	28.0	29.0	止	—	—	—	—
23	號	2.9	9.5	18.5	29.0	35.0	37.5	38.0	39.5	30.5	42.0	止
24	號	3.8	14.0	25.4	35.0	43.0	47.5	50.0	53.0	53.5	止	—
25	號	4.3	11.5	19.5	25.5	26.5	27.0	止	—	—	—	—
26	號	4.2	14.0	26.7	33.5	36.5	37.5	止	—	—	—	—

區別	調査月日	調査月日										
		4.30	5.10	5.20	5.31	6.10	6.20	6.30	7.10	7.20	7.31	8.10
27	號	5.5	16.5	32.4	36.0	56.0	63.0	69.0	73.5	74.0	止	—
28	號	—	12.0	23.5	32.0	39.0	43.0	48.0	51.0	51.5	止	—
29	號	1.9	7.0	17.5	28.0	37.5	45.0	48.0	48.5	止	—	—
30	號	4.9	18.3	26.5	33.0	40.0	43.5	44.5	45.0	止	—	—
平	均	3.1	10.8	19.9	27.5	33.2	35.2	36.4	36.7	37.3	42.2	—

國 光 (cm)

區別	調査月日	調査月日							
		5.10	5.20	5.30	6.10	6.20	6.30	7.10	7.20
1	號	4.0	10.5	16.0	19.0	止	—	—	—
2	號	3.8	11.0	17.0	18.0	止	—	—	—
3	號	3.0	9.5	17.0	18.5	止	—	—	—
4	號	4.5	12.5	21.0	24.5	26.5	止	—	—
5	號	5.0	8.5	ウドン粉病被害	—	—	—	—	—
6	號	4.5	11.5	17.5	20.0	止	—	—	—
7	號	5.0	11.8	18.5	19.5	20.0	止	—	—
8	號	4.5	11.5	下枝	—	—	—	—	—
9	號	4.5	11.5	18.0	19.5	止	—	—	—
10	號	5.0	11.0	16.0	16.5	止	—	—	—
11	號	5.5	11.3	16.5	17.0	止	—	—	—
12	號	4.0	9.5	12.5	止	—	—	—	—
13	號	8.0	14.8	19.5	20.0	止	—	—	—
14	號	8.0	15.0	22.0	23.0	止	—	—	—
15	號	7.5	14.0	18.5	止	—	—	—	—
16	號	5.0	18.0	19.0	19.5	止	—	—	—
17	號	8.5	15.5	21.0	21.5	止	—	—	—
18	號	8.0	15.5	20.0	止	—	—	—	—
19	號	6.2	12.0	14.0	止	—	—	—	—
20	號	7.0	12.5	止	—	—	—	—	—
21	號	8.0	14.0	17.0	止	—	—	—	—
22	號	6.3	12.8	17.0	17.5	止	—	—	—
23	號	8.0	13.0	17.5	18.0	止	—	—	—
24	號	8.5	16.5	25.0	27.5	止	—	—	—
25	號	8.0	14.5	18.0	止	—	—	—	—
26	號	6.3	13.5	20.0	21.0	止	—	—	—
27	號	8.0	16.0	20.5	21.0	止	—	—	—
28	號	4.0	11.0	20.0	24.0	25.0	止	—	—
29	號	6.5	14.0	19.5	20.5	止	—	—	—
30	號	6.5	10.0	13.5	14.0	止	—	—	—
平	均	6.0	12.6	18.2	26.0	—	—	—	—

8. 葡萄品種試験 (第二次試験)

供試品種次ノ如シ

ゼツシカ ハーパート キヤストベーター ナイヤガラ
 サンライス エキセルシヨアー 紅河内 筑摩
 ゴールデンチャンピオン マラガマスカタラ パープルダマスカス シヤスラークロカン
 ダマスチエネルシユワルツ マスカットハンブルグ ホワイトマラガ
 マドレスフキルドコード 甲州白鷄心 善光寺

9. 李品種試験 (八年目)

目的 本縣ニ適スル李ノ良種ヲ選定セントスルニアリ

供試品種次ノ如シ

フォーモサー トラゲデー ロベデーサーゼント ケルシー
 ビューディー ドワード ローズ ソルダム
 バーバンク サンタローザ 寺田

10. 硝子室葡萄品種試験 (十六年目)

目的 本試験ハ收量及市場價格ヲ調査シ以テ硝子室栽培ニ適スル優良品種ヲ知ラントスルニアリ

供試品種次ノ如シ

ブラックハンブルグ マドレスフキルドコード マスカットハンブルグ
 グローコールマン ゴールデンクキン マスカットアレキサンドリヤ

11. 硝子室葡萄肥料試験 (十六年目)

目的 肥料三要素ノ三割増減ニヨリ、收量、品質等ニ及ボス關係ヲ知ラントス

供試品種及試験區別

一、三要素中庸區
 二、窒素多量區
 三、窒素少量區
 四、磷酸多量區
 五、磷酸少量區
 六、加里多量區
 七、加里少量區

ブラックハンブルグ、マスカットアレキサンドリヤ
 施用肥料ハ乾血、過磷酸石灰、硫酸加里トス

12. 苹果品種見本園 (十八年生)

栽培品種次ノ如シ

エーケン、クライマックス、テーリー、キングダビット、セネター、ホワイツウィンターペア

メン、クライムスゴールド、アルカンサスブラック、イソツブススピッチエンブルグ、ホイットナー、トウバキ、ジャイアントゼニトン、ステーマンワインサツブ、ワインサツブ、アーリーレッドバード、スターキング、ステーマレット、リツチャードデリシヤス、シヨツトウエルデリシヤス、コートランド、ドイル、甘紅玉、早生旭、花魁、黄魁、紅國光、印度、旭、緋之衣、鶴ノ卵、柳玉、ウイリヤムフェボリツト、ゴールドンデリシヤス

13. 桃 品 種 見 本 園

栽培品種次ノ如シ

田中早生、日月桃、小林水蜜、大統領、白桃、大久保、エルパータ、タスカン、ミユアー、オレンヂ、クエーター、フレーミングゴールド、ジユンエルパーター、興津

14. 梨 品 種 見 本 園

栽培品種次ノ如シ

八雲、相模、菊水、久保

15. 西洋梨整枝法試験

目的 整枝法ノ如何ニヨリ收量及品質ニ及ボス關係ヲ知ラントス

試験區別

第一區 柵作り

第二區 自然形

供試品種

バートレット、アレキサンドリンドウキアール

16. 雜 果 類 試 作

イ、杏 清水號、平和號、ローヤル

ロ、榴梿 スミルナ、バインアツブル

ハ、扁桃 ノンベレール、ネーブルス

ニ、胡桃 手打胡桃、信濃胡桃、フランクエツト、サンノーゼマエツト、ユーリカ

15. 苹果黒點病防除試験

目的 苹果黒點病ノ適當ナル防除法ヲ知ラントス

試験區別 次ノ13試験區ヲ設ク

試験區番號	小 袋 掛	最初ノボルドー液撒布期	最初ノボルドー液撒布後袋掛マデノ日數
一	小袋掛セズ	6月上旬	直 後
二	同	同	10日後
三	同	6月中旬	直 後
四	同	同	10日後
五	同	6月下旬	直 後
六	同	同	10日後
七	5月中、下旬小袋掛ヲ行フ	6月上旬	直 後
八	同	同	10日後
九	同	6月中旬	直 後
一〇	同	同	10日後
一一	同	6月下旬	直 後
一二	同	同	10日後
一三	同	6月下旬	直 後

供試品種、紅玉

本年度ノ試験次ノ如シ

	小袋掛	ボルドー撒布月日	袋掛月日	調査總果數	無銹	銹				星		
						少	中	多	計	無	有	
1	區	ナシ	6.7	6.7	399	103	122	85	39	296	309	90
2	區	ナシ	6.7	6.17	560	141	251	104	64	419	499	61
3	區	ナシ	6.17	6.17	462	192	152	85	33	270	171	286
4	區	ナシ	6.17	6.27	486	223	144	68	51	263	277	209
5	區	ナシ	6.27	6.27	438	251	120	51	16	187	170	268
6	區	ナシ	6.27	7.7	475	285	94	65	31	190	277	198
7	區	5.18	6.7	6.7	348	209	74	52	13	139	291	57
8	區	同	6.7	6.17	638	385	166	68	19	253	563	75
9	區	同	6.17	6.17	573	254	182	105	32	319	499	74
10	區	同	6.17	6.27	424	210	85	78	51	214	367	57
11	區	同	6.27	6.27	499	315	88	83	13	184	399	100
12	區	同	6.27	7.7	783	527	121	84	51	256	683	100
13	區	同	6.26	6.26	902	487	214	155	46	415	769	133

同 上 百 分 比

					% 同 上 百 分 比						
1	區				25.8	43.1	21.3	9.8	74.2	77.5	22.5
2	區				25.2	44.8	18.5	11.5	74.8	89.2	10.8
3	區				41.6	32.9	18.4	7.1	58.4	38.1	61.9
4	區				45.9	29.6	14.0	10.5	54.1	57.0	43.0
5	區				57.2	27.4	11.7	3.7	42.8	38.8	61.2
6	區				60.0	19.8	13.7	6.5	40.0	58.2	41.8
7	區				60.1	21.3	14.9	3.7	39.9	33.6	16.4
8	區				60.3	25.0	10.7	3.0	39.7	88.2	11.8
9	區				44.3	31.8	18.3	5.6	55.7	87.0	13.0
10	區				49.5	20.1	18.4	12.0	50.5	86.6	13.4
11	區				63.2	17.6	16.6	2.6	36.8	79.9	20.1
12	區				67.3	15.4	10.8	6.5	32.7	87.2	12.8
13	區				54.0	23.7	17.2	5.1	46.0	85.3	14.7

右ノ試験成績ニ依レバ

1. ボルドウ液撒布6月7日ハ黒點病ノ被害甚ダ少キモ6月17日以後撒布ハ發病多シ
2. 之レニ返シ6月7日ボルドウ液撒布ハ果實ニ銷多キモ6月17日撒布以後ノモノハ少シ
3. ボルドウ液撒布後袋掛ノ早晚ハ、黒點病及銷ニ餘リ關係ナキモノノ如シ
4. 小袋掛ヲ施行シタルモノハ、銷、黒點病共ニ少ク其ノ效果大ナリ

16. 胡桃品種試験 (委託) 五年目

試験地 小縣郡和村 塚田茂

目的 本試験ハ米國ニ於ケル優良品種及本縣内優良品種ヲ栽培シ以テ本縣ニ最モ適スル品種ヲ選定セントスルニアリ

供試品種次ノ如シ

手打胡桃 信濃胡桃 手打信濃雜種 フランクエツト ユーレカ マエツト サンノー
ゼマエツト パーエンスシードリグ

供試面積 一樹三十六坪 一種三本宛

17. 杏品種試験 (委託) 五年目

試験地 埴科郡森村 宮島文雄

目的 本試験ハ本邦優良品種及滿洲、支那ニ於ケル優良品種ヲ栽培シ以テ本縣ニ最モ適スル品種ヲ選定セントスルニアリ

供試品種次ノ如シ

秋田大實杏 (興津園試)	廣島大杏 (廣島縣沼隈郡田尻村)
廣島小杏 (廣島縣沼隈郡田尻村)	箱清水二號 (當場産)
山口杏 (山口農試)	平和號 (埴科郡森村)
鏡鑿丸 (埴科郡森村)	清水號 (同上)
置賜地方在來 (山形農試)	大杏 (埼玉農試)
大酸紅杏 (關東農試)	大杏梅 (關東農試)
大杏梅 (熊岳城分場)	李二杏 (熊岳城分場)
李子杏 (同上)	麥黃杏 (衆芝)
麥黃準杏 (衆芝)	胭脂亦準杏 (同上)
山桃種 (浙江省杭州)	不明 (奉天省錦州)
大杏 (江西省九江)	小杏 (江西省九江)
二杏 (同上)	不明 (上山田)
新潟大杏 (新潟縣)	

18. 支那梨整枝法試験 (委託) 三年目

試験地 更級郡篠ノ井町 古川猪之助

目的 整枝法ノ如何ニヨリ收量品質ニ及ボス關係ヲ調査シ以テ最モ有利ナル整枝法ヲ知ラントス

供試品種 慈梨

試験區別次ノ如シ

1. 幹ノ高サ 三尺
 2. 同 三尺五寸
 3. 同 四尺
 4. 同 四尺五寸
 5. 幹ノ高サ三尺五寸トシ主枝三本ヲ發生セシメ之ヲ各二本宛分岐シテ六本トナシ、結果枝ノ更新ヲ行フ
 6. 幹ノ高サ三尺五寸トナシ四本ヲ發生セシメ之ヲ各二本ニ分チ八本トシ更ニ二本宛分チテ十六本主枝トシテ結果枝ノ更新ヲ行フ
- 主枝四本ヲ發生セシメ更ニ各二本宛ヲ分岐シテ八本主枝トナシ
結果枝ノ更新ヲ行フ

19. 葡萄強耐砒木品種見本園

リバリアルベストリス3309、リバリアルベストリス3306、ハイブリットフラン、ソロニスオセロ1613、ガンザン、朝鮮山葡萄

リバリアルベストリス101ノ14、ルベストリスセントジョジ、モンチコラリバリア18808、リバリアグロアールドモンベリー、ムールベードルルベストリス、ソロニス、ルベストリスメタリカ、ボールスキュルベストリス、モンチコラリバリア、パーランデリーリバリア420、リバリアグロングラフ、ルベストリスマータン、ムールベートルルベストリス120ノ2、グーデル704、パーランデリーリバリア33、リバリアパーランデリーテレキ、ソロニスリバリア、パーランデリー1號、アラモンルベストリスガンザン

20. 果樹接穂配付

本年度接穂配付セシモノ次ノ如シ
更級郡篠ノ井町農會外42ヶ所トス

21. 果樹苗木配付 (八年目)

本年度ニ於テ配付セシモノ次ノ如シ

洋梨	パートレット	2.725本
同上	アレキサンドリンドウキアール	1.258本
小計		3.983本
苹果國光		5.869本
	デリシキス	1.988
	紅玉	4.373
小計		12.180本
合計		16.163本

蔬 菜

1. 胡瓜品種比較試験 (第六年目)

目的 本縣ニ適スル胡瓜ノ良種ヲ知ラントスルニアリ

試験成績 本年度ニ於ケル試験成績次ノ如シ

胡瓜品種比較試験成績 (昭和十三年度) 反當收量

品 種 名	上 物		下 物		計		收 穫 期	
	個 數	重 量	個 數	重 量	個 數	重 量	始	終
一、仁 保	5.904	317.9	3.312	110.4	9.216	428.3	6.10	8.2
二、平 安	10.080	445.7	5.112	186.1	15.192	631.8	6.22	8.2
三、相 模 半	15.522	651.7	6.192	186.9	21.714	838.6	6.18	8.2
四、加 賀 節	18.936	816.0	16.560	467.1	35.496	1,283.1	6.10	8.2
五、聖 護 院	21.528	914.2	16.488	462.2	38.016	1,376.4	6.10	8.2
六、馬 込 半 白	28.566	1,301.4	13.752	420.4	42.318	1,721.8	6.10	8.2
七、刈 羽	17.568	785.7	12.096	344.6	29.664	1,130.3	6.10	8.2
八、青 長 節	21.888	1,038.3	11.808	397.0	33.696	1,435.3	6.14	8.2
九、横 田	26.280	1,245.4	15.624	473.3	41.904	1,718.7	6.16	8.2
〇、横 田 × 聖 護 院 F7	13.680	596.0	7.920	232.4	21.600	828.4	6.14	8.2

2. 胡瓜新品種育成試験 (第七年目)

目的 人工交配ニヨリ優良ナル胡瓜ノ新品種ヲ育成セントスルニアリ

育成成績 本年度ニ於ケル成績次ノ如シ

胡瓜新品種育成試験成績 (昭和十三年度) 雜種五代目 反當收量

品 種 名	系統 番號	上 物		下 物		計		收 穫 期	
		個 數	重 量	個 數	重 量	個 數	重 量	始	終
一、馬込半白×針ヶ谷	3	14.256	714.5	6.768	213.6	21.024	928.1	6.24	8.2
二、大布施×ミカド	20	16.416	742.7	6.480	203.3	22.896	946.0	6.18	8.2
三、ミカド×大布施	5	21.456	1,009.2	6.768	228.9	28.224	1,238.1	6.18	8.2
四、ミカド×刈羽	13	16.272	827.8	9.216	293.9	25.488	1,121.7	6.24	8.2
五、馬込半白×針ヶ谷	39	12.384	641.3	5.328	189.6	17.712	831.0	6.22	8.2
六、馬込半白×品治	2	12.960	578.5	8.928	259.6	21.888	838.1	6.20	8.2
七、ミカド×刈羽	13	14.112	661.2	4.032	128.4	18.144	789.6	6.22	7.29
八、横 田 × 白 荆	17	10.224	510.4	4.608	130.7	14.832	641.1	6.18	7.29
九、大 布 施 × ミカド	36	14.256	709.3	7.632	233.8	21.888	943.2	6.20	7.29
〇、横 田 × 白 荆	15	20.160	925.9	6.768	213.8	26.928	1,139.7	6.18	7.29
一、馬込半白×品治	5	18.000	915.8	7.344	218.3	25.344	1,134.1	6.18	7.29
二、馬込半白×品治	8	14.976	711.3	10.080	285.5	25.056	996.8	6.24	7.29
三、馬込半白×針ヶ谷	3	25.632	1,174.7	10.368	290.8	36.000	1,465.5	6.20	7.29
四、ミカド×大布施	4	27.504	1,225.4	12.096	366.3	39.600	1,591.7	6.22	7.29
五、馬込半白×品治	16	27.216	1,369.8	11.808	353.9	39.024	1,723.8	6.20	7.29
六、馬込半白×品治	7	25.056	1,159.4	7.632	255.4	32.688	1,414.8	6.20	7.29
七、馬込半白×品治	3	17.424	707.0	10.512	325.8	27.936	1,032.8	6.22	7.29

胡瓜新品種育成試験成績 (昭和十三年度) 雜種 四代目 反當收量

品 種 名	系統 番號	上 物		下 物		計		收 穫 期	
		個 數	重 量	個 數	重 量	個 數	重 量	始	終
一、ミカド×刈羽	13	33.696	1,474.0	13.680	403.9	47.376	1,878.0	6.20	8.2
二、横 田 × 品 治	2	19.728	806.4	8.784	261.7	28.512	1,068.1	6.16	8.2
三、横 田 × 品 治	12	17.762	736.7	10.080	302.4	27.792	1,039.1	6.16	8.2
四、馬込半白×横田	15	25.488	1,166.9	10.368	301.3	35.856	1,468.2	6.18	8.2
五、ミカド×刈羽	18	18.432	700.9	12.672	374.2	31.104	1,075.1	6.16	8.2
六、横 田 × 針ヶ谷	3	23.904	1,139.6	12.816	391.9	36.720	1,531.5	6.18	8.2
七、		24.192	1,135.0	8.640	282.2	32.832	1,417.2	6.16	8.2

3. 茄子栽培法試験 (第二年目)

目的 茄子ノ最モ適當ナル栽培法ヲ知ラントス

供試品種 1. 長野交配第二號

2. 小布施

試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

茄子栽培法試験成績 供試品種 長野交配第二號

試 験 區 名	反 當 收 量		收 穫 期	
	個 數	重 量	始	終
一、冷床苗自然放任	48.600	1,327.7	7.17	10.5
二、温床苗自然放任	72.900	2,077.8	7.8	10.5
三、冷床苗三又法	55.860	1,454.4	7.19	10.5
四、温床苗三又法	69.720	1,889.5	7.8	10.5
五、温床苗八月上旬更新	55.200	1,567.2	7.8	10.5
六、温床苗密植八月上旬更新	62.100	1,693.6	7.8	10.5
七、温床苗密植八月上旬除去	59.520	1,708.3	7.8	10.5

茄子栽培法試験成績 供試品種 小布施

試 験 區 名	反 當 收 量		收 穫 期	
	個 數	重 量	始	終
一、冷床苗自然放任	35.640	0,996.5	7.8	10.5
二、温床苗自然放任	60.660	1,868.5	7.8	10.5
三、冷床苗三又法	44.280	1,289.4	7.21	10.5
四、温床苗三又法	59.640	1,817.5	7.8	10.5
五、温床苗八月上旬更新	48.960	1,510.9	7.10	10.5
六、温床苗密植八月上旬更新	47.700	1,502.4	7.8	10.5
七、温床苗密植八月上旬除去	51.720	1,645.6	7.8	10.5

4. トマト新品種育成試験 (第七年目)

目的 人工交配ニヨリ優良ナル新品種ヲ育成セントス

育成成績 本年度ニ於ケル育成成績次ノ如シ

トマト新品種育成試験成績 (昭和十三年) 雑種(第七代目) 反當收量

品 種 名	系統 番號	上 物		下 物		計		收穫期	
		個數	重量	個數	重量	個數	重量	始	終
一、ボンネーベスト×マツチレス	4	19.560	804.5	1.080	31.0	20.640	835.5	7.15	8.30
二、マツチレス×ウィンタービューター	12	18.360	833.3	2.460	62.1	20.820	895.4	7.15	8.30
三、マツチレス×ウィンタービューター	20	22.740	909.1	1.860	52.5	24.600	961.6	7.15	8.30
四、ジョンペーア×マツチレス	10	24.180	925.5	3.240	80.5	27.420	1,006.0	7.15	8.30
五、ジョンペーア×マツチレス	8	19.860	792.6	2.940	58.8	22.800	851.4	7.15	8.30
六、ボンネーベスト×ジョンペーア	3	24.900	864.3	1.980	43.0	26.880	907.3	7.15	8.30
七、ボンネーベスト×ジョンペーア	20	23.120	673.0	1.020	17.0	24.140	690.0	7.17	8.30
八、ボンネーベスト×ジョンペーア	24	20.940	755.8	2.580	45.2	23.520	801.0	7.17	8.30
九、ボンネーベスト×マツチレス	9	25.440	967.7	1.620	31.2	27.060	998.7	7.17	8.30
〇、ボンネーベスト×マツチレス	16	25.860	1,063.5	2.160	64.0	28.020	1,127.5	7.17	8.30

トマト新品種育成試験成績 (昭和十三年) 雑種 (第五代目) 反當收量

品 種 名	系統 番號	上 物		下 物		計		收穫期	
		個數	重量	個數	重量	個數	重量	始	終
一、マツチレス×スペシャルグローブ	13	16.980	693.3	2.280	51.3	19.260	744.6	7.17	8.30
二、マツチレス×スペシャルグローブ	3	11.820	684.7	2.280	67.9	14.100	752.6	7.17	8.30
三、マツチレス×スペシャルグローブ	7	16.020	624.1	1.980	42.6	18.000	666.7	7.17	8.30
四、スペシャルグローブ×ジョンペーア	10	13.020	893.5	1.620	39.7	14.640	933.2	7.19	8.30
五、スペシャルグローブ×ジョンペーア	23	13.560	705.7	2.100	71.1	15.660	776.8	7.18	8.30
六、ボンネーベスト×マーグローブ	16	13.060	612.4	1.740	33.7	14.800	646.1	7.19	8.30
七、ボンネーベスト×マーグローブ	17	17.880	720.9	1.080	33.9	18.960	754.8	7.19	8.30
八、ボンネーベスト×マーグローブ	10	24.900	715.6	2.700	46.5	27.600	762.1	7.17	8.30
九、ボンネーベスト×マーグローブ	18	16.620	593.7	0.840	12.7	17.460	606.4	7.17	8.30
〇、ボンネーベスト×マーグローブ	23	16.320	524.6	2.220	50.2	18.540	574.8	7.15	8.29

トマト新品種育成試験成績 (昭和十三年) 雑種 第四代目 反當收量

品 種 名	系統 番號	上 物		下 物		計		收穫期	
		個數	重量	個數	重量	個數	重量	始	終
一、ジョンペーア×ブリツチャード	13	12.600	653.4	1.140	20.1	13.74	673.5	7.15	8.30
二、マーグローブ×フルーツ	16	12.720	634.3	0.360	8.5	13.080	642.8	7.17	8.30
三、マーグローブ×フルーツ	10	11.340	540.2	0.840	22.4	12.180	562.6	7.15	8.30
四、マーグローブ×ジョンペーア	14	20.220	756.5	1.740	33.7	21.960	790.2	7.17	8.30
五、マーグローブ×ウィンゾール	17	14.460	898.8	0.840	34.8	15.300	933.6	7.17	8.30
六、マーグローブ×ウィンゾール	2	15.180	744.6	1.740	69.4	16.920	814.0	7.19	8.30
七、ファストアンドベスト×桃色	23	22.740	645.7	2.040	42.0	24.780	687.7	7.15	8.29
八、ファストアンドベスト×桃色	27	30.660	817.2	2.040	39.4	32.700	856.6	7.15	8.29
九、ファストアンドベスト×桃色	36	30.360	865.6	3.480	57.3	33.840	923.0	7.15	8.29
〇、ファストアンドベスト×ブリツチャード	25	19.140	959.1	1.140	33.1	20.280	992.2	7.15	8.30
一、ファストアンドベスト×ブリツチャード	32	19.800	908.4	780	17.8	20.580	926.2	7.15	8.30
二、マーグローブ×ウィンゾール	18	18.000	868.7	540	16.6	18.540	885.3	7.17	8.30
三、マーグローブ×ウィンゾール	30	16.800	800.4	20	16.0	17.220	816.4	7.15	8.30

5. 草莓新品種育成試験 (第六年目)

目的 人工交配ニヨリ本縣ニ適スル良種ヲ育成セントス

試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

草莓新品種育成試験成績 (昭和十三年)

育成番號	反當收量		收穫期		熟期	顆型	顆色	肉色	甘味	酸味	肉質	着花性	品質
	個數	重量	始	終									
一、113號	35.496	65.3	5.25	6.15	中生	圓錐形	濃紅色	鮮紅色	中	多	稍密	中	中ノ上
二、131號	36.720	96.4	5.25	6.15	中生	長楔形	同	同	中	中	中	中	上
三、147號	35.136	75.8	5.25	6.10	中生	圓錐形	同	同	中	中	中	中	中ノ上
四、233號	68.832	187.2	5.25	6.15	中生	圓楔形	鮮紅色	淡紅色	多	稍少	中	中	中
五、379號	46.944	128.0	5.25	6.15	中生	圓形	濃紅色	鮮紅色	多	少	中	中	上
六、425號	60.624	140.1	5.25	6.15	中生	楔形	同	紅色	多	中	稍密	多	中ノ上
七、427號	97.488	229.9	5.25	6.15	中晩	楔形	鮮紅色	鮮紅色	稍多	中	中	中	中ノ上
八、435號	75.672	151.5	5.30	6.15	中生	圓形	濃紅色	紅色	多	中	中	中	中ノ上
九、456號	60.768	218.9	5.25	6.15	中生	圓楔形	同	鮮紅色	中	中	中	中	中
〇、441號	47.664	117.2	5.25	6.15	中生	圓錐形	同	同	中	多	中	中	中
二、475號	70.416	79.9	5.25	6.15	中生	同	同	同	中	少	稍密	中	中ノ上
三、659號	63.042	93.1	5.25	6.10	中生	圓錐形	濃紅色	鮮紅色	中	多	中	中	中ノ上
三、663號	61.200	132.3	5.25	6.10	中生	圓錐形	同	紅色	多	少	中	中	中ノ上
三、696號	46.944	146.1	5.25	6.15	中生	圓錐形	同	鮮紅色	多	中	稍密	中	中ノ上
三、751號	81.648	201.4	5.25	6.15	中生	圓錐形	同	紅色	多	中	中	中	中ノ上

10. 秋播葱苗選別試験 (第五年目)

目的 秋播葱栽培上苗ノ良否ガ収量品質ニ及ス影響ヲ知ラントスルニアリ
 試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

秋播葱苗選別試験成績 (昭和十三年度) 供試品種 千住太葱

區名	反當收量	分 葉 數	全 長			軟白部直徑
			尺	尺	寸	
一、健全葉 2 葉	321.0	1.6	3.09	1.05	0.94	
二、健全葉 3 葉	345.6	1.6	3.04	0.97	1.08	
三、健全葉 4 葉	361.8	2.2	3.04	1.06	1.14	
四、健全葉 3 葉扇狀	298.2	1.9	2.96	0.97	1.07	

11. 秋播葱植方試験 (第四年目)

目的 秋播葱栽培上最モ適當ナル植方及之ガ収量品質ニ及ボス影響ヲ知ラントスルニアリ
 試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

秋播葱植方試験成績 (昭和十三年度) 供試品種 千住太葱

區名	反當收量	分 葉 數	全 長			軟白部直徑
			尺	尺	寸	
一、西 側 植	687.6	1.5	2.86	0.99	0.94	
二、中 央 植	663.6	2.2	2.95	1.01	1.07	
三、東 側 植	594.0	2.0	2.81	0.97	1.05	

12. 秋播葱苗大小試験 (第五年目)

目的 秋播葱栽培上苗ノ大小ガ収量品質ニ及ボス影響ヲ知ラントスルニアリ
 試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

秋播葱苗大小試験成績 (昭和十三年度) 供試品種 東京根深太葱

區名	反當收量	分 葉 數	全 長			軟白部直徑
			尺	尺	寸	
一、普 通 苗	286.2	1.7	2.82	1.04	0.93	
二、扇 苗	306.0	1.8	2.93	1.00	1.01	

13. 大根品種比較試験 (第六年目)

目的 本縣ニ適スル大根ノ良種ヲ知ラントスルニアリ
 試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

大根品種比較試験成績 (昭和十三年度) 反當收量

品 種 名	上 物		中 物		下 物		計	
	個 數	重 量	個 數	重 量	個 數	重 量	個 數	重 量
一、聖 護 院	2.250	588.0	2.475	379.5	1.500	148.2	6.225	1,060.7
二、練 馬 尻 丸	3.150	526.5	1.800	249.0	1.500	213.0	6.450	988.5
三、美 濃 早 生	2.600	692.0	1.600	233.0	2.200	218.0	6.400	1,143.0
四、練 馬 尻 細	1.050	187.5	2.100	208.5	2.400	180.5	5.550	556.5
五、三ツ谷地大根	1.620	256.8	1.800	171.8	1.980	124.8	5.400	553.4
六、御 齒	1.200	211.0	2.200	215.0	1.600	96.0	5.000	522.0
七、方 領	1.400	292.0	2.500	282.0	1.600	99.0	5.500	673.0
八、白上リ尻丸	1.800	298.6	2.500	300.0	2.200	150.0	6.500	748.6
九、上 野	1.400	199.4	1.400	120.0	2.800	137.2	5.600	456.6

14. 葱頭三要素施用量試験

目的 葱頭栽培上最モ適當ナル三要素量ヲ知ラントスルニアリ
 試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

葱頭三要素施用量試験成績 (昭和十三年度) 反當收量

區 名	三 要 素 量			上 物		下 物		計	
	窒 素	燒 酸	加 里	個 數	重 量	個 數	重 量	個 數	重 量
一、	5.000	5.000	5.000	14.580	186.0	16.080	141.0	30.660	327.0
二、	6.500	5.000	5.000	12.480	354.6	16.200	294.6	28.680	649.2
三、	8.000	5.000	5.000	17.820	479.4	11.700	231.0	29.520	710.4
四、	5.000	6.500	5.000	21.420	497.4	12.480	169.2	33.900	666.6
五、	5.000	8.000	5.000	18.720	471.6	8.640	204.6	27.360	676.2
六、	5.000	5.000	6.500	15.780	488.6	11.880	142.2	27.666	580.8
七、	5.000	5.000	8.000	20.040	390.6	9.840	558.6	29.880	949.2
八、	6.500	6.500	6.500	22.620	570.6	8.220	111.6	30.840	682.2
九、	8.000	8.000	8.000	14.940	360.6	13.260	207.0	28.200	567.6

15. 甘藷品種比較試験 (第二年目)

目的 本縣ニ適スル甘藷ノ良種ヲ知ラントス
 試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

甘藷品種比較試験成績 (昭和十三年度) 反當收量

品 種 名	上 物		下 物		計		莖葉重量
	個 數	重 量	個 數	重 量	個 數	重 量	
一、紅 手 赤	6.300	467.2	9.000	105.7	15.300	572.9	855.0
二、岩 手 二 號	4.500	792.0	5.820	141.7	10.320	933.7	1,149.0
三、石 川 一 號	5.850	819.0	3.600	93.3	9.450	912.3	1,188.0
四、石 川 二 號	5.610	924.7	1.560	45.0	7.170	969.7	1,230.0

五、石川三號	3.810	623.2	4.260	88.5	8.070	711.7	1.859.0
六、石川四號	5.400	1,048.5	2.910	113.8	8.310	1,162.1	1,221.0
七、石川五號	4.710	405.0	20.910	409.5	25.620	814.5	1,330.0
八、石川六號	5.688	567.0	5.112	75.6	10.800	642.6	1,275.0

16. 甘藷植付時期試験 (第二年目)

目的 甘藷栽培上最モ適當ナル植付時期ヲ知ラントス

試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

甘藷植付時期試験成績 (昭和十三年度) 反當收量

試験區名	上 物		中 物		下 物		計		莖葉重量
	個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量	
一、五月二十九日	4.500	419.4	2.160	160.2	3.780	45.0	10.440	624.6	792.0
二、六月三日	3.780	374.4	1.800	59.4	1.980	27.0	7.560	460.8	630.0
三、六月八日	4.140	291.6	2.880	194.4	6.120	153.0	13.140	639.0	606.6
四、六月十三日	3.600	244.8	4.680	136.8	8.240	45.0	11.520	426.6	738.0

17. 甘藷蔓返試験 (第二年目)

目的 甘藷栽培上蔓返ノ適否ヲ知ラントス

試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

甘藷蔓返試験成績 (昭和十三年度) 反當收量

試験區名	上 諸		中 諸		下 諸		計		莖葉重量
	個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量	
一、自然放任	5.940	514.8	2.520	158.4	5.760	57.6	14.220	730.8	672.0
二、蔓返區	5.580	414.0	2.340	63.0	5.580	54.0	13.500	531.0	726.0
三、蔓卷區	3.600	316.8	2.340	63.0	5.760	48.6	11.700	426.0	642.0

18. 甘藷栽培密度試験 (第二年目)

目的 甘藷栽培上最モ適當ナル栽植距離ヲ知ラントス

試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

甘藷栽植密度試験成績 (昭和十三年度) 反當收量

試験名	上 諸		中 諸		下 諸		計		莖葉重量
	個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量	
一、畦巾 株間 2.0尺×1.5尺	7.920	554.4	5.040	136.8	8.280	79.2	21.240	770.4	738.0
二、2.0 × 2.0	7.020	483.8	4.860	129.6	8.100	67.5	19.980	680.4	888.0
三、2.5 × 1.0	9.060	397.4	7.320	164.1	14.220	129.6	30.600	691.2	822.0
四、2.5 × 1.5	6.060	478.0	4.860	270.2	6.300	67.4	17.220	748.0	846.0
五、2.5 × 2.0	6.480	444.9	3.660	203.0	5.680	47.5	15.820	695.5	834.0
六、3.0 × 1.0	7.800	534.0	5.700	300.6	10.800	81.0	24.300	915.6	630.0
七、3.0 × 1.5	7.500	630.0	2.100	69.0	5.100	45.0	14.700	744.0	678.0
八、3.0 × 2.0	7.200	600.0	2.100	63.0	3.600	45.0	12.900	708.0	810.0

19. 甘藷肥施量試験 (第二年目)

目的 甘藷栽培上最モ適當ナル施肥量ヲ知ラントスニアリ

試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

甘藷施肥量試験成績 (第二年目) 反當收量

區名	施 肥 量					上 物		中 物		下 物		計		莖葉量
	油粕	過磷酸石灰	木灰	硫酸アモニヤ	硫酸加里	個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量	
一、	30.0	2.2	14.2			6.840	532.8	2.700	167.4	6.480	151.2	1.602	851.4	880.0
二、	30.0	2.2	14.2	2.5		4.680	476.4	3.420	127.8	6.660	77.4	1.476	681.6	1,058.0
三、	30.0	4.8	14.2			6.480	624.6	4.140	156.6	4.140	73.8	1.476	855.0	798.0
四、	30.0	2.2	14.2		1.1	6.300	568.8	2.520	95.4	4.320	70.2	1.314	734.4	858.0
五、	30.0	4.8	14.2		1.1	4.680	522.0	3.780	149.4	5.580	70.2	1.404	741.6	780.0

20. 早出結球白菜試験 (第二年目) 委託

試験地 小縣郡長村菅平

1. 品種比較試験

供試品種次ノ如シ

- | | |
|-----------|---------|
| 1. 松島一號 | 2. 松島二號 |
| 3. 松島(神坂) | 4. 早生茨城 |
| 5. 包頭蓮 | 6. 芝 果 |
| 7. 大 島 | 8. 茨 城 |
| 9. 星 田 | |

2. 播種期試験

試験區名次ノ如シ

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 6月 10日 播 | 2. 6月 17日 播 |
| 3. 6月 14日 播 | 4. 7月 1日 播 |
| 5. 7月 8日 播 | |

3. 栽培距離試験

試験區名次ノ如シ

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 畦幅2尺株間1尺2寸 | 2. 畦幅2尺株間1尺5寸 |
| 3. 畦幅2尺株間1尺8寸 | 4. 畦幅2尺5寸株間1尺2寸 |
| 5. 畦幅2尺5寸株間1尺5寸 | 6. 畦幅2尺5寸株間1尺8寸 |
| 7. 畦幅2尺5寸株間2尺 | |

21. 温室作物適否試験 (第三年目)

目的 本縣ニ適スル温室作物ヲ見出サントス

供試作物次ノ如シ

メロン、トマト、フリージア、シネラリヤ、パンジー、スウキートビー、シクラメン、牡丹、
金武扇百合、大正紅透百合、黄透百合

22. 種 苗 配 付

本年度ニ於ケル種苗配付次ノ如シ

甘 藷 種 藷 (紅赤)	2616貫
茄子、トマト、胡瓜苗	600本
草莓新品種信濃丸	3,000本
茄子(長野交配第2號)	100袋

花 卉 採 種

1. 花卉採種適否試験 (第四年目)

目 的 本縣ニ適スル採種花卉ノ種類ヲ知ラントス
試験成績 本年度ニ於ケル試験成績次ノ如シ

花卉採種適否試験成績 (昭和十三年度)

種 類 名	反 當 收 量			收 穫 期	
	重 量	容 量	斤 數	始	終
	貫	升		月 日	月 日
1. アスター八重混合	11.9	61.8	99	7.27	10.24
2. バルサム混合	30.9	90.9	257	8.17	8.19
3. 早咲コスモス	11.5	65.8	96	8.21	11.12
4. ダイアンサス	15.9	78.9	133	8.11	9.25
5. ポーチユラカ	5.9	30.3	49	9.25	10.7
6. サルビヤ	2.0	10.8	17	8.24	11.18
7. ジニヤ混合	9.7	98.6	81	9.30	11.5
8. ポツビーシャーレー	7.0	20.9	59	8.4	8.13
9. バールンバイン	19.7	66.2	164	8.16	11.15
10. アマランサス、コードタス	68.9	171.2	574	8.21	8.21
11. アマランサス、クルエンタス	42.0	108.0	350	8.21	8.21
12. キャンデタフト	34.8	104.1	290	8.10	8.24
13. セントウレア	32.6	182.7	271	8.14	8.24
14. ダーリヤ	13.8	114.0	115	8.27	11.19
15. ユーホルビヤ	21.9	101.2	182	9.21	10.8
16. ルビナス	17.3	48.6	144	8.15	10.9
17. ミラビリス	32.6	109.3	271	8.10	10.9
18. ヘリクササム	20.3	106.6	169	8.15	11.19
19. フロックス	3.6	14.6	30	8.19	9.25

2. アスター品種比較試験 (第四年目)

目 的 アスター採種上最モ適當ナル品種ヲ知ラントス
試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

アスター品種比較試験 (昭和十三年度)

品 種 名	反 當 收 量			收 穫 期	
	重 量	容 量	斤 數	始	終
	貫	升		月 日	月 日
1. ロイヤル	15.3	81.0	127	10.5	10.24
2. 赤八重咲	0.5	3.6	4	9.22	10.7
3. グキンオブマーケツト	0.4	3.4	3	9.12	10.5
4. ボンボン咲	1.3	6.7	11	9.25	10.24
5. オーストリッチフェーザー	7.3	45.0	61	9.12	10.9

品 種 名	反 當 收 量			收 穫 期	
	重 量	容 量	斤 数	始	終
6. アメリカンランチング	4.9	29.7	41	10.5	10.27
7. 浦 田 箒 立	4.1	27.0	34	10.10	11.6
8. ジャイアントコメット	12.7	72.0	105	10.5	11.6
9. ジャイアントピクトリヤ	3.1	17.0	26	9.12	10.9
10. クレゴージャイアント	6.5	36.0	54	10.7	10.24
11. ドワーフクリサンセマム	2.5	12.0	21	9.25	10.10
12. キングアスター	6.3	36.0	52	10.7	10.23
13. シャンシャイン	7.8	43.2	65	9.13	10.27

3. アスター栽植密度試験 (第四年目)

目 的 アスター採種上最も適當ナル栽培距離ヲ知ラントス

供試品種 八重咲混合

試験成績 本年度ニ於ケル試験成績次ノ如シ

アスター栽植密度試験成績 (昭和十三年度)

試 験 區 名	反 當 收 量			收 穫 期	
	重 量	容 量	斤 数	始	終
1. 畦幅2尺株間4寸	13.9	73.8	116	10.5	10.25
2. 畦幅2尺株間7寸	10.8	61.2	86	10.5	10.26
3. 畦幅2尺株間1尺	11.5	63.0	96	10.5	10.26
4. 畦幅2尺株間1尺3寸	18.0	59.4	150	10.5	10.26
5. 4尺床4列角	8.2	42.3	68	9.30	10.26
6. 4尺床5列角	10.5	55.8	87	9.30	10.26
7. 4尺床6列角	15.7	90.0	131	10.5	10.26
8. 4尺床7列角	7.8	45.0	65	10.5	10.26

4. ジニア品種比較試験 (第四年目)

目 的 ジニア採種上最も適當ナル品種ヲ知ラントス

試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

ジニア品種比較試験成績 (昭和十三年度)

品 種 名	反 當 收 量			收 穫 期	
	重 量	容 量	斤 数	始	終
1. イルミネーション	10.8	50.4	90	9.27	11.6
2. ゴールデンオレンヂ	7.5	72.0	63	9.27	11.6
3. ゴールデンダウソウ	5.9	68.4	49	9.27	11.6
4. エツクスキョウシツド	6.4	72.0	54	9.27	11.6
5. パープルプリンズ	2.5	35.2	21	9.27	11.6
6. エレガンススカーレット	4.6	52.5	38	9.27	11.6
7. ポラールベア	3.7	7.2	31	9.27	11.6
8. ベビーフラワードリフト	4.3	39.6	36	10.7	11.6

品 種 名	反 當 收 量			收 穫 期	
	重 量	容 量	斤 数	始	終
9. カナリーバード	3.8	46.8	31	9.27	11.6
10. サカタ巨大輪	3.3	43.2	28	10.7	11.6
11. スカビオサ咲	4.8	41.0	40	10.7	11.6
12. ダーリヤフラワーオールドローズ	8.2	115.2	69	10.7	11.6
13. ポンポン咲スカーレット	7.2	72.0	60	10.7	11.6
14. マンモスタイプアチーブメント	4.8	42.4	40	10.7	11.6
15. ロベスタ	3.8	42.4	28	10.7	11.6
16. ドリム	2.2	21.6	18	9.27	11.6
17. ベビーフラワードリフト	1.7	36.0	14	10.7	11.6

5. ジニア摘花試験 (第四年目)

目 的 ジニア採種上最も適當ナル摘花法ヲ知ラントス

試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

ジニア摘花試験成績 (昭和十三年度)

試 験 區 名	反 當 收 量		
	重 量	容 量	斤 数
1. 自然放任	2.7	22.0	22
2. 子枝以下摘花	0.1	2.0	1
3. 子枝2分ノ1以下摘花	0.3	3.0	2
4. 子枝3分ノ2以下摘花	4.1	26.0	30
5. 孫枝以下摘花	1.5	13.0	12
6. 孫枝3分ノ1以下摘花	2.3	17.4	19
7. 孫枝3分ノ2以下摘花	2.1	20.0	18

6. 春蒔花卉播種期試験 (第四年目)

目 的 春蒔花卉採種上最も適當ナル播種期ヲ知ラントス

試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

採種花卉播種期試験成績 (昭和十三年度)

試 験 區 名	反 當 收 量		
	重 量	容 量	斤 数
1. アスター			
1. 3月26日温床下種	18.0	36.0	150
2. 4月2日温床下種	3.5	18.0	29
3. 4月9日温床下種	5.6	29.7	46
4. 4月9日冷床播	13.0	27.3	108
2. サルビヤ			
1. 3月26日温床播	4.5	19.8	38
2. 4月2日温床播	3.1	18.9	26
3. 4月9日温床播	4.1	17.1	34
4. 4月9日冷床播	3.9	16.2	33

試 験 區 名	反 當 收 量			斤 數
	重 量	容 量	量	
3. ベチユニア				
1. 3月26日 温床播	7.2	升	27.0	60
2. 4月2日 温床播	3.5		18.0	29
3. 4月9日 温床播	5.5		29.7	46
4. 4月9日 冷床播	2.4		13.5	20

7. 採種花卉施肥用量試験 (第四年目)

目 的 花卉採種上最も適當ナル施肥量ヲ知ラントス

供試種類 1. アスター 2. ジニア 3. サルビヤ

試験區名

肥料名	第1區	第2區	第3區
堆肥	200貫	300貫	400貫
大豆粕	10	15	20
過磷酸石灰	7	10.5	14
木灰	15	22.5	30
硫酸アンモニア	2	3	4

8. 花卉採種試作

本年度ニ於ケル花卉採種用試作種類次ノ如シ

種 類 名	種 類 名
サイプレスバイアイン	バーベナハイブリダ
マローブ	ユーホルビヤベテロ
チエランサスアリオニー	コレオブンス
ゴーラ	デルヒニウムハイブリダ
フロックススター	ニゲラ
ルドベキヤ	ナスターチューム
デモルフオセカハイブリダ	ゲラデラ
シレネアルメリヤ	マリゴールドアメリカントール
セントレアインベリス	アンテナムマキシマム
バルサム	クレビス
ラークスバア	カレンヂュラ

9. 花卉採種適否試験(委託) (第四年目)

目 的 本縣ニ適スル採種花卉ノ種類ヲ知ラントス

供試種類次ノ如シ

種 類 名	種 類 名
1. アスター	2. バルサム
3. 早咲コスモズ	4. ダイアンサス
5. ポーチュラカ	6. サルビヤ
7. ジニア	8. ポツビーシャレー
9. パールンバイン	10. アマランサスコーダタス
11. アマランサスクルエンタス	12. キヤンデタフト
13. セントラレア	14. ダーリヤー重咲
15. ユーホルビヤ	16. ルビナスハートウエギー
17. ミラビリス	18. ヘリクリサム
19. フロックス	

試験地及擔當者

植科郡植生村	植生花卉採種組合
南安農郡有明村	有明花卉採種組合

農産加工

1. アスパラガス罐詰湯通試験 (第一年目)

目的 アスパラガス罐詰製造上最も適当ナル湯通ノ温度並ニ時間ヲ知ラントス

試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

アスパラガス湯通試験成績 (昭和十三年度)

區名	湯通		製造個數	開罐成績					内容個數	固形物	品質
	温度	時間		總重量	眞空度	上部空隙	固形量	液ノ重量			
1	85	2	3	132	15.5	13.0	78	31	19	乳白色	最上
2	85	3	3	130	14.0	13.0	84	23	23	〃	上
3	85	4	3	132	14.0	15.0	80	27	23	〃	上
4	85	5	3	135	14.5	9.0	83	31	19	〃	上
5	90	2	3	175	14.5	6.0	87	29	24	〃	上
6	90	3	3	136	14.5	7.0	84	28	22	〃	上
7	90	4	3	138	13.5	5.0	85	30	19	〃	上
8	90	5	3	134	14.0	10.0	80	28	24	〃	上
9	95	2	3	138	14.5	4.0	80	35	20	〃	中
10	95	3	3	137	15.0	4.0	84	32	23	〃	中
11	95	4	3	136	15.0	7.0	87	25	22	〃	中

アスパラガスノ湯通シ試験ハ1ヶ年ノ成績ナルモ大體次ノ如シ

- 湯通シノ温度ハ85°ニテ2分間ヲ最も可トス
- 湯通ノ温度高クナルニ從ヒ香氣薄ク肉質軟シ
- 湯通ノ時間モ長キニ從ヒ香氣薄シ

2. アスパラガス注入液試験 (第一年目)

目的 アスパラガス罐詰製造上最も適当ナル注入液ヲ知ラントス

試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

アスパラガス注入液試験成績 (昭和十三年度)

區名	注入液				製造個數	開罐成績					液ノ色	
	水	食鹽	枸橼酸	砂糖		總重量	眞空度	上部空隙	液ノ糖分	固形量		液重量
1	1.0	6.0	—	—	3	125	20.0	13.0	4.0	76	26	スミ
2	1.0	8.0	—	—	3	129	18.0	17.0	4.5	90	14	スミ淡色
3	1.0	10.0	—	—	3	129	20.0	10.0	4.5	77	28	稍黄
4	1.0	12.0	—	—	3	129	19.0	16.0	4.8	87	18	スミ淡色
5	1.0	8.0	0.5	—	3	130	21.0	13.0	4.0	80	25	スミ
6	1.0	8.0	1.0	—	3	128	20.0	15.0	4.8	80	25	スミ
7	1.0	8.0	1.5	—	3	125	22.0	15.0	3.8	74	27	スミ

區名	注入液				製造個數	開罐成績					液ノ色	
	水	食鹽	枸橼酸	砂糖		總重量	眞空度	上部空隙	液ノ糖分	固形量		液重量
8	1.0	8.0	0.5	10.0	3	128	20.5	15.0	4.0	83	25	稍淡
9	1.0	8.0	1.0	15.0	3	127	19.5	13.0	4.8	80	24	〃
10	1.0	12.0	0.5	10.0	3	126	20.0	15.0	5.2	72	29	〃
11	1.0	12.0	1.0	15.0	3	129	20.0	13.0	5.2	60	46	黄色
12	1.0	12.0	1.0	20.0	3	129	21.0	15.0	5.2	80	25	スミ

備考 脱氣 96度 10分 殺菌 1封度 50分

以上ノ成績ヲ綜合スルニ

- アスパラガスノ注入液ハ食鹽ヲ使用スル時ハ水1升=10匁ヲ可トス、6匁ハ味薄ク12匁ハ味強過ク
- 枸橼酸ヲ加用スル場合ハ水1升ニ對シテ0.5匁ヲ可トシ夫以上ハ酸強シ
- 砂糖ヲ加用スル場合ハ水1升ニ對シテ10匁ヲ可トスルモノノ如ク夫以上ハ甘過グル傾向アリ

3. アスパラガス罐詰殺菌試験 (第一年目)

目的 アスパラガス罐詰製造上最も適当ナル殺菌ノ温度並ニ時間ヲ知ラントス

試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

アスパラガス罐詰殺菌試験成績 (昭和十三年度)

區名	殺菌		製造個數	開罐成績					内容個數	液ノ色	固形物	品質
	温度	時間		總重量	眞空度	上部空隙	固形量	液ノ重量				
1	6	30	3	133	14.0	14.0	83	23	23	無色	稍青白色	中
2	6	40	3	134	16.0	9.0	81	30	23	〃	〃	中
3	6	50	3	131	15.5	13.0	81	28	22	〃	〃	中
4	6	60	3	134	14.0	9.0	88	23	22	〃	〃	中
5	9	30	3	138	13.0	5.0	80	35	20	〃	白色	上
6	9	40	3	139	12.5	2.0	82	34	18	〃	〃	上
7	9	50	3	139	11.0	3.0	79	36	17	〃	稍黄色	上
8	9	60	3	135	11.0	7.0	77	35	16	〃	〃	中
9	12	30	3	135	11.0	6.0	80	32	17	〃	黄色	中
10	12	40	3	141	10.0	2.0	83	34	19	〃	〃	中
11	12	50	3	136	11.5	8.0	81	31	19	〃	稍黄褐色	中
12	12	60	3	138	11.0	6.0	83	31	17	黄褐色	黄褐色	下
13	15	30	3	140	11.0	2.0	85	33	22	無色	黄褐色	上
14	15	40	3	139	11.0	4.0	89	26	17	〃	稍黄褐色	中
15	15	50	3	138	10.5	8.0	77	36	16	黄褐色	黄褐色	下
16	15	60	3	140	11.0	3.0	90	27	19	〃	〃	下

以上ハ一ヶ年ノ成績ナルモアスパラガス罐詰製造ノ場合四號罐ノ殺菌温度及時間ハ大體次ノ如シ

- 最も適当ナルハ9封度ニ於テ30分-40分トス
- 6封度ヨリ15封度ノ間ニ於テハ30分-40分間ノ殺菌ハ大ナル差ナキモ高熱ハ反ツテ品質ヲ損ス

1. 6封度ヨリ15封度ノ間ニ於テハ50分-60分殺菌スル時ハアスバラガスノ色澤不良トナリ變色ス殊ニ温度高キ時ニ一層甚ダシ

4. 杏シラップ漬罐詰砂糖用量試験

(第三年目)

目的 杏シラップ漬罐詰製造上最モ適當ナル砂糖ノ用量ヲ知ラントス
供試品種 平和

杏シラップ漬罐詰砂糖用量試験成績 (昭和十三年度)

區名	注入液		製造砂糖液 數量ノ濃度 四號罐 C 23°	開 罐 成 績							液ノ糖 分 %	液ノ色	食味
	水	砂糖 A 雙		一罐ノ 總重量	バアキ ウム	上部 空隙	固形量	内容 個數	液ノ量				
1	1.0	200	3	38	147	5.0	3.0	86	30	36	14.0	澄	5
2	1.0	250	3	42	148	4.0	3.0	86	32	36	15.0	〃	4
3	1.0	300	3	46	147	6.0	5.0	88	32	34	16.2	〃	3
4	1.0	350	3	50	151	7.0	2.0	87	26	39	19.0	〃	2
5	1.0	400	3	56	152	7.0	2.0	88	28	39	20.0	〃	1

本試験ノ結果ハ杏平和ヲ罐詰ニ使用スル場合ハ注入液ハ水1升ニ砂糖400匁又ハ夫以上ヲ可トスルモノノ如シ

5. 杏シラップ漬罐詰殺菌試験 (第三年目)

目的 杏シラップ漬罐詰製造上最モ適當ナル殺菌温度並ニ殺菌時間ヲ知ラントス
供試品種 清水
試験成績次ノ如シ

杏シラップ漬罐詰殺菌試験成績 (昭和十三年度)

區名	殺 菌		製造 個 數 四號罐	開 罐 成 績						
	温 度 C	時 間		一 罐 總重量	眞空度	液 ノ 重 量	固形物	液ノ色	肉 質	
1	85	6	3	145	8.0	50	70	澄	可	
2	85	8	3	147	8.0	49	73	〃	〃	
3	85	10	3	146	9.0	51	70	〃	〃	
4	90	6	3	146	9.0	46	74	〃	〃	
5	90	8	3	148	8.5	51	72	〃	〃	
6	90	10	3	146	8.0	45	76	〃	〃	
7	95	6	3	148	8.5	52	70	〃	〃	
8	95	8	3	150	8.5	48	78	〃	〃	
9	95	10	3	151	9.0	51	76	〃	〃	

6. 桃シラップ漬罐詰砂糖用量試験

(第三年目)

目的 桃シラップ漬罐詰製造上最モ適當ナル砂糖ノ用量ヲ知ラントスルニアリ
供試品種 離核水蜜桃
試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

桃シラップ漬罐詰砂糖用量試験成績 (昭和十三年度)

區名	注入液		製造 個 數 二號罐	開 罐 成 績							肉質	食味	
	水	砂糖		一罐 重量	バアキ ウム	上部 空隙	固形量	内容 個數	液ノ 重量	液ノ 色			液ノ糖 分 C 15度
1	1.0	200	3	262	5.0	10.0	129	12	95	スミ	17.0	可	4
2	1.0	250	3	259	8.0	11.0	132	12	90	〃	19.0	〃	2
3	1.0	300	3	265	6.0	10.0	131	12	97	〃	22.0	〃	2
4	1.0	350	3	265	11.0	9.5	132	14	98	〃	22.5	〃	1
5	1.0	400	3	270	8.5	10.0	134	14	99	〃	24.0	〃	3

本試験ノ結果ヲ綜合スルニ桃シラップ漬罐詰製造ノ場合ノ注入液ノ砂糖用量ハ前年同様水1升ニ對シテA雙糖350匁區最モ可良ニシテ400匁區ハ稍々甘味強キニ過ギ之ニ反シテ300匁以下ノモノハ甘味不足セリ

7. 桃シラップ漬罐詰脱氣試験 (第一年目)

目的 桃シラップ漬罐詰製造上最モ適當ナル脱氣ノ時間及温度ヲ知ラントス
供試品種 離核水蜜桃
試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

桃シラップ漬罐詰脱氣試験成績 (昭和十三年度)

區名	脱 氣		製造 個 數 二號罐	開 罐 成 績							
	温 度	時 間		總重量	眞空度	上部空隙	固形量	内容 個數	液ノ 重量	液ノ 色	品 質
1	85	7	3	270	3.0	7.0	134	16	98	スミ	上
2	85	10	3	268	5.0	9.0	126	15	102	〃	上
3	85	13	3	270	7.0	6.0	132	15	102	〃	上
4	85	16	3	264	11.0	7.0	132	15	97	〃	上
5	85	19	3	268	13.5	8.0	127	15	102	〃	上

本試験ノ結果ハ脱氣ノ温度及時間ハ85°ニ於テ16分-19分ヲ可トス

8. 桃シラップ漬罐詰殺菌試験 (第三年目)

目的 桃シラップ漬罐詰製造上最モ適當ナル殺菌時間ヲ知ラントスルニアリ
供試品種 離核水蜜桃
試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

桃シラップ漬罐詰殺菌試験 (昭和十三年度)

區名	殺 菌		注入液 ノ糖 分	製造 個 數 二號罐	開 罐 成 績									
	温 度 C	時 間			一 罐 重量	バアキ ウム	上部 空隙	固形量	内容 個數	液ノ 重量	液ノ 色	液ノ糖 分 C 15度	肉質	品 質
1	90	15	46	3	269	9.0	9.0	132	15	99	スミ	20.0	可	中
2	90	20	46	3	267	4.0	10.0	133	14	93	〃	19.5	可	中
3	90	25	46	3	263	9.0	10.0	139	16	88	〃	19.8	可	中
4	90	30	46	3	268	10.0	9.0	138	14	93	〃	20.0	稍軟	中
5	95	15	46	3	268	3.0	9.0	140	14	91	〃	19.0	可	中
6	95	20	46	3	269	8.0	8.0	135	14	97	〃	20.0	可	中
7	95	25	46	3	271	3.0	8.0	135	14	98	〃	20.0	可	中
8	95	30	46	3	271	2.0	7.0	130	16	103	〃	20.0	稍軟	中

以上ノ試験成績ヲ綜合スルニ桃シラップ漬罐詰ノ殺菌温度並ニ時間ハC95度ニ於テ20分又ハC90度ニテ25分ヲ適當トスルモノノ如シ

9. 洋梨シラップ漬罐詰砂糖用量試験 (第三年目)

目的 洋梨罐詰製造上最モ適當ナル砂糖ノ用量ヲ知ラントスルニアリ
 供試品種 バートレット
 製造月日 昭和13年9月13日

洋梨シラップ漬罐詰砂糖用量試験成績 (昭和十三年度)

區名	注 入 液			製造數 2號罐	開 罐 成 績								
	水	砂糖	濃 度 C17度		總重量	眞空度	上部 空隙	固形數	液ノ 重量	固形 物量	液ノ糖分 C14度	液ノ 色	食味
1	1.0	140	28	3	268	6.0	7.0	7	78	154	16.5	可	4
2	1.0	160	30	3	267	6.5	8.0	7	77	154	17.5	可	3
3	1.0	180	32	3	272	7.5	5.0	7	83	153	18.3	可	2
4	1.0	200	34	3	268	6.5	6.0	7	80	152	19.5	可	1
5	1.0	220	36	3	271	7.0	6.0	7	79	156	20.2	可	2

洋梨シラップ漬罐詰ノ際ノ注入液ハ水一升ニ對シA双砂糖200匁ヲ適當トスルモノノ如ク200匁以上ハ甘過ぎ200匁以下ハ甘味不足ス

10. 洋梨シラップ漬罐詰殺菌試験 (第二年目)

目的 洋梨シラップ漬罐詰製造上最モ適當ナル殺菌温度並ニ時間ヲ知ラントス
 供試品種 バートレット
 試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

洋梨シラップ漬罐詰殺菌試験成績 (昭和十三年度)

區名	殺 菌		製造數 2號罐	開 罐 成 績							
	温度F	時間		膨張罐	1 罐 總重量	眞空度	上 部 空 隙	固形量	液量	肉 色	肉質
1	212	15	3	0	260	10.0	10.0	182	78	可	可
2	212	20	3	0	258	13.0	13.0	187	71	可	可
3	212	25	3	0	255	12.0	12.0	178	77	可	可
4	212	30	3	0	262	9.0	9.0	183	79	可	可
5	212	35	3	0	261	10.0	11.0	182	79	可	同

本試験ノ結果梨罐詰ノ殺菌時間ハF 212度ニテ20-25分ヲ適當トスルモノノ如シ

11. 洋梨罐詰剥皮後處理試験 (第一年目)

目的 洋梨シラップ漬罐詰製造上剥皮後ノ最モ適當ナル處理法ヲ知ラントス
 試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

洋梨罐詰剥皮後處理試験成績 (昭和十三年度)

區名	處 理 法	製造數	開 罐 成 績								
			1 罐 總重量	眞空度	上部 空隙	固形重	液重	糖分	液ノ色	固形 物重	肉質
1	2%食鹽水漬 1時間	3	265	18.0	8.5	190	75	18.5	澄	白色	可
2	同	3	245	14.0	16.0	175	70	18.5	〃	〃	可

區名	處 理 法	製造數	開 罐 成 績								
			1 罐 總重量	眞空度	上部 空隙	固形重	液重	糖分	液ノ色	固形 物重	肉質
3	2%食鹽水漬 3時間	3	258	16.0	11.0	195	63	18.5	稍濁	淡黄	稍可
4	同	3	265	14.0	11.0	183	82	19.0	〃	〃	軟
5	同	3	262	15.0	11.0	190	72	18.0	濁	淡赤	軟
6	剥皮后1時間放 置	3	268	15.0	12.0	190	78	19.5	濁	〃	中

1. 洋梨シラップ漬罐詰製造上原料梨剥皮後ノ處理ハ2%食鹽水ニ1時間浸漬最モ可ニシテ少クトモ2時間以内ニ罐詰トスベキナリ

- 剥皮後食鹽水ニ浸漬時間長キニ從ヒ果肉軟カトナリ且ツ製品モ軟カク液濁リ易シ
- 剥皮後食鹽水ニ浸漬スルコトナク放置セルモノハ製品ハ淡赤色ヲ呈シ液亦濁リ易ク品質不良ナリ

12. 兎肉罐詰脱氣試験 (第一年目)

目的 兎肉罐詰製造上最モ適當ナル脱氣ノ温度並ニ時間ヲ知ラントスルニアリ
 兎肉罐詰脱氣試験成績 (昭和十三年度)

區 名	脱 氣		製 造 個 數 四號罐	開 罐 成 績					
	温 度 C	時 間		膨張罐	1 罐 重 量	眞空度	固形量	液 量	品 質
1	96	20	3	0	150	10.0	97	30	可
2	96	25	3	0	153	11.0	98	32	可
3	96	30	3	0	149	10.0	92	33	可
4	96	35	3	0	146	12.0	97	26	可
5	96	40	3	0	149	12.0	97	29	可

備考 製造後1ケ年ヲ經テ開罐ス

兎肉罐詰製造ノ場合ハ四號罐ニアリテハ脱氣ハ96度ニテ20分ニテ可ナルモ特ニ眞空度高キヲ要スル場合ハ35分間ヲ要ス

13. 兎肉罐詰殺菌試験 (第一年目)

目的 兎肉罐詰製造上最モ適當ナル殺菌温度並ニ時間ヲ知ラントス
 試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

兎肉罐詰殺菌試験成績 (昭和十三年度)

區名	殺 菌		製造數 四號罐	開 罐 成 績						
	封度	時 間		膨張罐	1 罐 總重量	眞空度	固形量	液ノ量	色 澤	品 質
1	6	40	3	0	148	17.5	100	48	鮮褐色	1
2	6	60	3	0	148	15.0	118	30	〃	2
3	6	80	3	0	144	14.0	115	29	〃	3
4	6	100	3	0	145	13.0	108	29	〃	4
5	8	40	3	0	150	13.0	121	37	稍濃褐色	5
6	8	60	3	0	152	11.0	125	25	〃	6
7	8	80	3	0	152	11.5	127	35	濃褐色	7
8	8	100	3	0	150	12.0	125	25	〃	8

備考 製造1ヶ年後開罐

成績 兎肉罐詰ノ殺菌ハ6封度ニテ40分ヲ以テ充分ナルモノノ如ク是ヨリ温度高ク且ツ時間ヲ長クカクルニ從ヒ色澤ヲ損ス

14. 兎肉罐詰製造法試験 (第二年目)

目的 最も適當ナル兎肉罐詰製造法ヲ知ラントス

兎肉罐詰製造法試験 (昭和十三年度)

區名	精肉	調味料								製造法				製品四號	
		醬油	砂糖A双	水	味の素	薑	水飴	角寒天	鶏脂	水煮時間	味付時間	脱氣C100度	殺菌封度		
1	2.000	1.0	240	1.0	1.0	60	20	半本	5	勺	20	20	30	80	12
2	2.000	0.5	120	0.5	1.0	60	20	半本	5	勺	20	20	30	80	21
3	4.000	2.0	500	2.0	2.0	200	—	—	—	—	20	20	30	80	29
4	5.400	3.0	900	3.0	3.0	200	—	—	—	—	20	20	30	80	36

備考 第2區 筍270匁 牛蒡380匁 蓮根400匁 白瀧200匁加用

第3區及第4區 胡椒及唐辛子極少量加用

15. 新漬澤庵食鹽對米糠用量試験 (第一年目)

目的 新漬澤庵製造上最も適當ナル食鹽對米糠ノ用量ヲ知ラントス

供試品種 美濃早大根

製造月日 昭和13年10月1日

試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

新漬澤庵食鹽對米糠用量試験成績

區名	原料 (1斗樽)						4斗樽換算						食用期間	食味
	荒漬大根	米糠	食鹽	黄粉	甘	オーラミン	荒漬大根	米糠	食鹽	黄粉	甘	オーラミン		
1	3.000	0.6	32	9	3.2	1.0	21.000	4.2	0.50	63	22.4	7.0	7	下
2	3.000	0.6	47	9	3.2	1.0	21.000	4.2	0.75	63	22.4	7.0	13	中
3	3.000	0.6	63	9	3.2	1.0	21.000	4.2	1.00	63	22.4	7.0	13	中
4	3.000	0.9	42	9	3.2	1.0	21.000	6.3	0.50	63	22.4	7.0	11	下
5	3.000	0.9	47	9	3.2	1.0	21.000	6.3	0.75	63	22.4	7.0	11	中
6	3.000	0.9	63	9	3.2	1.0	21.000	6.3	1.00	63	22.4	7.0	20	可
7	3.000	1.2	32	9	3.2	1.0	21.000	8.4	0.50	63	22.4	7.0	13	下
8	3.000	1.2	47	9	3.2	1.0	21.000	8.4	0.75	63	22.4	7.0	13	中
9	3.000	1.2	63	9	3.2	1.0	21.000	8.4	1.00	63	22.4	7.0	13	中
10	3.000	0.9	95	9	3.2	1.0	21.000	6.3	1.50	63	22.4	7.0	25	中
11	3.000	0.9	126	9	3.2	1.0	21.000	6.3	2.00	63	22.4	7.0	30	中
12	3.000	1.2	95	9	3.2	1.0	21.000	8.4	1.50	63	22.4	7.0	13	中
13	3.000	1.2	126	9	3.2	1.0	21.000	8.4	2.00	63	22.4	7.0	13	下
14	3.000	1.5	63	9	3.2	1.0	21.000	10.5	1.00	63	22.4	7.0	7	下
15	3.000	1.5	95	9	3.2	1.0	21.000	10.5	1.50	63	22.4	7.0	7	下
16	3.000	1.5	126	9	3.2	1.0	21.000	10.5	2.00	63	22.4	7.0	7	下

備考 食鹽内地二等鹽、1升441匁使用

本試験ノ結果ヲ綜合スルニ新漬澤庵製造上米糠對食鹽ノ用量ハ大體次ノ如シ

1. 第6區風味最も良ク且ツ食用期間モ相當長シ

1. 第14區、15區、16區共、米糠ノ量多ク食味不良ニシテ早ク酸敗シ易シ

1. 食鹽ノ用量ハ4斗樽換算ニシテ5合使用ハ用量不足シ風味甚好ナラズ且ツ食味期間短カシ

16. 新漬澤庵荒漬食鹽用量試験 (第三年目)

目的 早漬トシテ製造セラル、新漬澤庵製造上最も適當ナル荒漬ノ食鹽ノ用量ヲ知ラントス

供試品種 美濃早生大根

荒漬漬込 昭和13年9月28日

荒漬終了 昭和13年10月1日

試験成績 本年度ノ試験成績次ノ如シ

新漬澤庵荒漬食鹽用量試験成績 (昭和十三年度)

區名	原料大根		食鹽用量		オーラミン	押石	漬上成績				
	重量	本数	臺灣	内地2等			大根重量	液ノ重量	液容量	液比重	歩減
1	10	65	4.0	—	2.5	15	7.230	2.910	5.90	4.8	27.7
2	10	67	4.5	—	2.5	15	7.340	3.460	7.10	5.0	28.6
3	10	63	5.0	—	2.5	15	6.940	3.580	7.20	5.2	30.6
4	10	63	5.5	—	2.5	15	7.130	3.650	7.50	6.0	28.7
5	10	61	6.0	—	2.5	15	7.200	3.560	7.15	6.0	28.0
6	10	64	—	4.0	2.5	15	7.250	3.200	6.40	5.0	27.5
7	10	65	—	4.5	2.5	15	7.180	3.190	6.45	5.0	28.2
8	10	64	—	5.0	2.5	15	7.110	3.260	6.80	5.0	28.9
9	10	63	—	5.5	2.5	15	7.090	3.400	6.95	5.2	29.1
10	10	64	—	6.0	2.5	15	7.050	3.800	7.50	6.0	29.5

菌 蟲 部

1. 稻熱病防除應用試験

目的 本試験ハ農林省指定試験ニシテ、本年度ハ水稻品種ノ耐病性並其特性ニ關スル試験、肥料ノ施用法ト發病トノ關係試験、藥劑撒布ニ關スル試験、綜合試験及稻熱病菌ノ空氣中ニ於ケル浮游状態ニ關スル調査等ヲ行ヒ、以テ本病豫防上有效ナル方法ヲ知ラントス

本年ノ天候ハ6月上旬迄ノ苗代期ハ平年ヨリ高温寡雨ニテ順調ナリシガ、6月中旬ヨリ7月中旬ニ涉リ降雨日數實ニ40日ニ達シ、陰濕不順ナル天候持續シ、次デ8月上旬ヨリ9月上旬ニ至ル間モ亦降雨頻繁ニシテ、本年ノ稲作期間ノ大部分ハ多雨寡照ノ天候ニ終止セリ

稻熱病ハ6月中旬以降ノ陰濕ナル天候ノ影響ニヨリ6月中下旬ニ苗稻熱病ガ發生シ、續テ本田移植直後ノ稻ニ葉稻熱病ガ發生シ縣下全般ニ被害アリシガ、特ニ下伊那郡地方ニ激發シ、一部ニハ苗不足ヲ招來セシノミナラズ、本田ノ改植ヲ行ヒシモノモ相當アリタリ。頸稻熱病モ縣下全般ニ發生多ク、特ニ南佐久郡ニテハ9月上旬ノ暴風雨ノ後ニ激發シ、諏訪郡、下伊那郡等ニ於テモ近年稀ナル大發生ヲ見タリ

本年ハ農林省及縣ノ助成金交附ニヨリ縣下1500町歩ノ本病頻發地ノ水田ニ對シテ綜合防除ヲ施行セシメタル爲、防除地域ニ指定サレタル町村ニ於テハボルドウ液撒布ヲ勵行シ、慘害ヲ未然ニ防止セシ地方尠カラズ。特ニ中信地方ノ紫雲英ニ毛作地帯ニ於テハ、藥劑撒布ノ勵行ニヨリテ顯著ナル效果ヲ擧ゲタリ

當試驗地ニ於テハ7月中下旬ヨリ葉稻熱病ノ發生多ク、續テ頸稻熱病モ亦激シク發生セリ。各試驗成績ノ詳細ハ昭和14年3月發行ノ昭和13年度稻熱病防除應用試驗成績報告ニ記載セルヲ以テ省略ス

2. 薯蕷種薯腐敗病防除試験

目的 薯蕷種薯腐敗病ノ適當ナル防除法ヲ得ントス

試驗地並擔當者 更級郡東福寺村中澤 中澤幸男

試驗區

(1) 植付時期試験

試驗區番號	試 驗 區 名
1	4月25日植付(早植)
2	5月5日植付(普通植)
3	5月15日植付(晚植)

(2) 植方試験

試驗區番號	試 驗 區	
	種 薯 ノ 植 方	覆 土 ノ 厚 サ
1	縱 植	1 寸 5 分
2	〃	〃
3	〃	〃
4	横 植	1 寸 5 分
5	〃	〃
6	〃	〃

(3) 種薯ノ消毒試験

試驗區番號	試 驗 區
1	種薯ノ切口ヘ木灰塗抹
2	種薯ノ切口ヘ石灰塗抹
3	種薯切斷後6斗式ボルドウ液ニ浸漬
4	無 處 理
5	種薯切斷後石灰硫黃合劑100倍液ニ浸漬
6	種薯切斷後ウスブルン1000倍液ニ浸漬

(4) 催芽試験

試驗區番號	試 驗 區
1	種薯ヲ植付當日切斷シ植付ク(標準)
2	種薯ヲ植付20日前切斷シ乾燥後5月5日植付ク
3	種薯ヲ4月25日ニ切斷シ温床ニ入レ催芽シ5月5日植付ク
4	種薯ヲ4月15日ニ切斷シ温床ニ入レ催芽シ5月5日植付ク
5	種薯ヲ植付前日切斷シ「エチレンクロールヒドリン」ニ浸漬シ5月5日植付ク

供試薯蕷ノ標準耕種法

植付期ハ5月5日、種薯ハ植付當日1個平均25匁ノ大キサニ切斷シ切口ニ木灰ヲ塗抹ス、植付ハ畦巾8尺、株間1尺2寸(坪10株宛)ノ横植トシ1寸5分ノ厚サニ覆土ス肥料ハ反當人糞尿300貫ヲ基肥トシ6月18日みづほ化成肥料30貫、7月11日魚肥32貫、過磷酸石灰20貫、硫酸加里3貫、8月20日ニ硫酸アンモニア20貫ヲ施セリ。莖葉ニハ7月22日、7月31日、8月8日ノ3回硫酸鉛加用4斗式ボルドウ液ヲ撒布シ病害蟲ノ發生ヲ防ギタリ。尙6月15日ニ支柱立ヲ行ヒタリ

供試面積 一試驗區ニ付5坪ヲ用ヒタリ

成績調査 6月8日以後5日毎ニ發芽數ヲ調べ發芽ノ遲速及發芽歩合ヲ知り又常ニ生育ノ良否ヲ觀察シ更ニ收穫物ノ本數並ニ重量ヲ測リタリ

成 績

(1) 植付時期試験

試 驗 區 名	發 芽 歩 合 (6月27日當時)	收 穫 (5坪當)			1 本 當 平均重量 匁
		本 數	重 量	價 格	
1 4月25日植	78	52	17.890	7.78	384
2 5月5日植	64	52	17.270	7.56	332
3 5月15日植	28	37	7.780	3.26	210

(2) 植方試験

試験區名	發芽歩合 (6月27日當時)	收 穫 (5坪當)			1 本 當 平均重量
		本 數	重 量	價 格	
1 縦、淺 植	78	56	18.930	8.88	338
2 縦、普 通 植	86	57	19.670	8.48	345
3 縦、深 植	48	62	17.060	7.52	275
4 横、淺 植	78	54	18.520	7.97	343
5 横、普 通 植	94	55	18.580	8.22	338
6 横、深 植	62	50	17.270	7.79	345

(3) 種薯ノ消毒試験

試験區名	發芽歩合 (6月27日當時)	收 穫 (5坪當)			1 本 當 平均重量
		本 數	重 量	價 格	
1 木 灰 塗 抹	92	51	18.800	8.47	369
2 石 灰 塗 抹	90	53	17.450	7.85	329
3 ボルドウ液浸漬	76	58	16.900	7.81	319
4 無 處 理	40	50	12.040	5.20	241
5 石灰硫黄合劑浸漬	90	51	17.290	7.83	339
6 ウスブルン浸漬	84	50	16.820	8.04	336

(4) 催芽試験

試験區名	發芽歩合 (6月27日當時)	收 穫 (5坪當)			1 本 當 平均重量
		本 數	重 量	價 格	
1 植付當日切斷	84	55	17.110	7.81	311
2 植付20日前切斷	73	48	13.270	6.14	276
3 4月25日温床入レ	90	58	16.530	7.79	285
4 4月15日温床入レ	100	56	16.900	7.84	302
5 エチレンクロール ヒドリン浸漬	44	51	11.250	5.03	221

摘 要

- (1) 早植ハ晩植ヨリ發芽良好ニシテ收量多シ
- (2) 縦植、横植共ニ普通植發芽良ク收量最モ多シ、淺植之ニ亞ギ深植最モ不良ナリ
- (3) 種薯ノ切口消毒ニハ木灰塗抹最モ良好ナリ
- (4) 植付ノ10日乃至20日前温床ニ入レ發根ヲ促進セシメタルモノハ發芽歩合、發芽速度共ニ良好ナリ

3. 紫雲英萎縮病豫防試験

目 的 紫雲英ノ品種及栽培法ト萎縮病發生トノ關係ニ就キテ試験シ、以テ本病ノ適當ナル豫防法ヲ知ラントス

試 験 地 上伊那郡宮田村駒ヶ原

試験方法 一般試験ノ供試品種ハ岐阜中晩生種ニシテ、一區15坪トシ、昭和12年9月5日反當
3升播トシ、13年5月16日收穫ス
試験成績

(1) 品種ト發病トノ關係試験

品 種 名	取 寄 先	草 丈		開花程度 5月16日	發病歩合	反當收量
		3月29日	5月16日			
1 富農選7號	長野縣	0.16	0.88	8分咲	31	345
2 富農選24號	長野縣	0.15	0.94	8分咲	43	333
3 富農選32號	富山縣	0.20	1.09	8分咲	39	321
4 富農選82號	富山縣	0.19	1.04	8分咲	38	480
5 岐阜中晩生(關谷)	岐阜縣	0.16	0.81	8分咲	45	273
6 岐阜大晩生(關谷)	岐阜縣	0.15	0.98	6分咲	50	159
7 岐阜大晩生	長野縣	0.18	1.07	5分咲	41	215
8 ヘヤリーベツチ	長野縣	0.32	1.44	—	0	279

(2) 播種期及播種量ト發病トノ關係試験

播 種 期	播 種 量	草 丈		發病歩合	反當收量
		3月29日	5月16日		
1 8月下旬	3	0.19	1.08	56	360
2 同	5	0.19	1.00	39	255
3 同	7	0.16	1.00	49	255
4 9月上旬	3	0.17	0.84	52	159
5 同	5	0.20	0.91	58	174
6 同	7	0.16	0.94	60	210
7 9月中旬	3	0.18	0.99	57	189
8 同	5	0.13	0.95	55	201
9 同	7	0.13	0.88	53	219

(3) 大麥輪作ト發病トノ關係試験

試 験 區	草 丈		發 病 歩 合	反 當 收 量
	3月29日	5月16日		
1 連 作 區	0.14	0.72	66	114
2 1年輪作區	休閑	—	—	—
3 2年輪作區	0.20	0.93	25	510
4 3年輪作區	大麥	—	—	—

(4) 根瘤菌ノ接種ト發病トノ關係試験

試 験 區	草 丈		發 病 歩 合	反 當 收 量
	3月29日	5月16日		
1 接 種 區	0.09	0.69	65	126
2 不 接 種 區	0.08	0.66	65	120

(5) 秋季灌水ト發病トノ關係試驗

試 驗 區	草 丈		發 病 歩 合	反 當 收 量
	3 月 29 日	5 月 16 日		
1 早期1回灌水區	0.12	0.77	54	156
2 早期2回灌水區	0.09	0.82	61	195
3 晩期1回灌水區	0.08	0.83	56	189
4 晩期2回灌水區	0.09	0.67	65	99
5 無 灌 水 區	0.08	0.75	80	81

備考 早期1回灌水區 稻刈取直後ヨリ7日連續灌水ス
 早期2回灌水區 稻刈取直後3日灌水シ其後5日ヲ經テ3日灌水ス
 晩期灌水區 稻刈取後半日ヲ經テ灌水スルモノニシテ1回2回ハ早期灌水ノ場合ニ準ズ

摘 要

- (1) 紫雲英ノ品種中中生種ガ晩生種ヨリ發病稍々少ク、收量多キハ前年來ノ成績ト一致ス
- (2) 播種期ハ8月下旬ノ早播ガ有效ナリ
- (3) 大麥ヲ2年裏作セシ區ハ發病著減シ收量多シ
- (4) 根瘤菌接種トノ關係ハ明瞭ナラズ
- (5) 本年ハ早期2回灌水區收量稍々多シ

4. 山葵墨入病防除試驗

目 的 南安曇郡穂高町ヲ中心トスル1町3ヶ村ニ渉リ山葵田約80町歩ニハ、昭和10年頃ヨリ山葵墨入病ノ發生激甚トナリ、品質著シク低下セシノミナラズ收量激減スルニ至リシヲ以テ、昭和11年春季以來之レガ對策ヲ要望スルニ至リ、本試驗ヲ開始セシモノナリ

試 驗 地 南安曇郡穂高村重柳(石作地)

供試面積 一試驗區1畦約5坪

供試品種及苗 品種信洲青莖、苗ハ發病少キ圃場ヨリ採リシ外履健全ナル上苗

植付期 昭和11年12月23日ヨリ25日迄

植付方法 畦幅2尺3寸、株間6寸

管 理 アホミドロ、蘚苔類、雜草、蚜虫等ハ隨時驅除ス

日 覆 幅5尺長サ2間位ノ葎簾ヲ地上5尺ノ高サニ6月中旬ヨリ9月下旬迄張ル

收 穫 期 昭和13年1月12日ヨリ15日迄

成績調査 發病調査ハ植付株100株當リノ殘存株ヲ拔取り主莖ノ發病狀況ヲ無、少、中、多、甚ノ5階級ニ分チテ本數及重量ヲ調査セリ、收量調査ハ主莖ヲ販賣品ニ適スル様手入シ上モノ、中モノ、下モノ、切芋ニ分チテ重量ヲ調べ、苗ハ1等苗、2等苗、3等苗ノ本數及層苗ノ重量ヲ調査セリ

試驗成績

- (1) 種苗消毒試驗
- (4) 發病調査

試驗區別	消毒時間	本 數					重 量						
		無病	少	中	多	甚	計	無病	少	中	多	甚	計
1 4斗式過石灰ボルドウ液	30	0	4	19	26	21	70	0	18	82	105	40	245
2 4斗式等量ボルドウ液	30	0	9	10	33	38	90	0	54	54	174	34	316
3 6斗式等量ボルドウ液	30	0	2	15	27	12	56	0	12	80	112	31	235
4 昇汞 1.000 倍液	15	0	6	19	37	28	85	0	48	186	196	66	446
5 昇汞 2.000 倍液	15	0	7	17	35	22	81	0	62	125	189	56	432
6 フォルマリン 200 倍液	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7 フォルマリン 400 倍液	15	0	13	22	37	9	81	0	111	165	211	21	508
8 硫酸銅 400 倍液	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9 王銅 400 倍液	30	0	6	21	30	10	67	0	41	133	162	24	360
10 ソイド1號 400 倍液	30	0	14	17	44	16	91	0	124	153	266	50	593
11 石灰硫黃合劑3度液	30	0	20	23	31	5	79	0	193	180	221	12	606
12 木 灰 10 倍液	30	0	15	23	34	17	89	0	126	175	183	55	539
13 石 灰 10 倍液	30	0	4	21	44	13	82	0	36	159	262	36	493
14 標 準	—	0	0	9	25	28	62	0	0	56	137	70	263

(2) 收 量 調 査

試驗區別	消毒時間	販 賣 品					生 産 苗 數				
		上モノ	中モノ	下モノ	合計	切芋	1等苗	2等苗	3等苗	合計	層苗
1 4斗式過石灰ボルドウ液	分	0	0	100	100	123	13	12	42	67	86
2 4斗式等量ボルドウ液	30	0	0	74	74	159	23	22	41	86	177
3 6斗式等量ボルドウ液	30	0	0	38	38	126	11	7	37	55	136
4 昇汞 1.000 倍液	15	0	0	227	227	146	37	43	90	170	367
5 昇汞 2.000 倍液	15	0	0	198	198	137	62	34	41	137	324
6 フォルマリン 200 倍液	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7 フォルマリン 400 倍液	15	0	206	76	282	133	67	45	107	219	375
8 硫酸銅 400 倍液	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9 王銅 400 倍液	30	0	0	59	59	203	25	28	50	103	239
10 ソイド1號 400 倍液	30	0	211	79	290	172	40	38	78	156	427
11 石灰硫黃合劑3度液	30	0	300	135	435	76	63	69	117	149	367
12 木 灰 10 倍液	30	0	237	87	324	119	47	27	77	151	233
13 石 灰 10 倍液	30	0	173	93	271	138	40	24	112	176	167
14 標 準	—	0	31	70	101	101	19	24	50	93	231

(2) 藥劑撒布試驗

(4) 發 病 調 査

試驗區別	消毒時間	本 數					重 量					
		無病	少	中	多	甚	計	無病	少	中	多	甚
1 4斗式少石灰ボルドウ液	0	0	10	29	28	67	0	0	42	95	55	192
2 6斗式少石灰ボルドウ液	0	0	8	36	13	57	0	0	40	132	26	198
3 4斗式等量ボルドウ液	0	3	9	42	13	67	0	16	40	149	20	225
4 6斗式等量ボルドウ液	0	6	6	45	22	79	0	28	27	170	36	261
5 4斗式過石灰ボルドウ液	0	6	13	26	17	62	0	25	49	85	26	185
6 6斗式過石灰ボルドウ液	0	9	9	40	21	79	0	53	45	168	40	306
7 10匁式銅石鹼液	0	12	14	43	19	88	0	79	67	200	40	386
8 10匁式王銅液	0	8	18	44	18	88	0	57	111	184	34	384
9 10匁式ソイド1號液	0	12	12	42	14	80	0	103	83	215	26	427
10 10匁式クボイド液	0	5	11	43	17	76	0	47	76	225	54	402
11 10匁式サルボイド液	0	5	14	49	13	81	0	32	109	271	36	448
12 10匁式コロチノイド液	0	6	10	49	18	83	0	59	58	244	45	406
13 石灰硫黃合劑0.5度液	0	7	12	57	21	97	0	48	68	261	40	417
14 標 準	0	12	18	58	8	96	0	117	135	367	25	644

(a) 収量調査

調査事項 試験區別	販賣品				生産苗					
	上モ ノ	中モ ノ	下モ ノ	合計	切芋	1等苗	2等苗	3等苗	合計	屑苗
1 4斗式少石灰ボルドウ液	0	15	23	38	100	3	0	36	39	275
2 6斗式少石灰ボルドウ液	0	41	35	76	77	3	8	39	50	165
3 4斗式等量ボルドウ液	0	25	54	79	97	1	1	27	29	160
4 6斗式等量ボルドウ液	0	36	60	96	92	3	0	39	42	207
5 4斗式過石灰ボルドウ液	0	16	49	65	72	2	10	10	22	107
6 6斗式過石灰ボルドウ液	0	58	69	127	103	6	11	28	45	197
7 10斗式銅石鹼液	0	95	113	208	100	28	40	57	125	350
8 10斗式玉銅液	0	73	148	221	84	16	34	39	89	244
9 10斗式ソイド1號液	0	86	210	296	52	37	41	83	161	315
10 10斗式クボイド液	0	90	143	233	76	20	20	86	126	255
11 10斗式サルボイド液	0	113	174	287	76	10	24	65	99	258
12 10斗式コロヂノイド液	0	96	173	269	62	25	47	57	129	340
13 石灰硫黄合劑0.5度液	0	41	161	202	98	16	17	60	93	342
14 標準	0	162	310	472	57	42	52	87	181	390

備考 薬剤撒布ハ移植後1ヶ月日=第1回ヲ行ヒ再後約1日毎=8月中旬迄=8回撒布セリ

(3) 日覆ニ關スル試験

(4) 發病調査

調査項目 試験區別	本數					重量						
	無病	少	中	多	甚	合計	無病	少	中	多	甚	合計
1 日覆	0	19	23	46	7	95	0	187	195	158	32	572
2 日覆種苗消毒	0	36	24	27	2	89	0	330	171	157	5	663
3 日覆薬剤撒布	0	15	17	56	10	98	0	150	155	360	35	700
4 標準	0	12	18	58	8	96	0	117	135	367	25	644
5 標準種苗消毒	0	6	19	37	23	85	0	48	136	196	66	446
6 標準薬剤撒布	0	3	9	42	13	67	0	16	40	149	20	225

(a) 収量調査

調査項目 試験區別	販賣品				生産苗數					
	上モ ノ	中モ ノ	下モ ノ	合計	切芋	1等苗	2等苗	3等苗	合計	屑苗
1 日覆	297	120	188	605	56	78	95	130	303	510
2 日覆種苗消毒	213	174	130	517	60	45	47	100	192	580
3 日覆薬剤撒布	177	157	144	478	102	42	63	101	205	640
4 標準	0	162	310	472	57	42	52	87	181	390
5 標準種苗消毒	0	0	227	227	146	37	43	90	170	367
6 標準薬剤撒布	0	25	54	79	97	1	1	27	29	160

備考 種苗消毒ハ昇永1.000倍液15分間浸漬シ、薬剤撒布ハ4斗式等量ボルドウ液ヲ用ヒタリ

摘要

- (1) 種苗消毒劑トシテ硫酸銅液及フォルマリン200倍液ハ藥害著シク苗ハ殆ド全部枯死シ、ボルドウ液及昇永水ハ之ニ亞テ藥害アリシモ、ソイド1號、石灰硫黄合劑等ノ硫黄劑並ニ木灰、石灰等ハ藥害少ク消毒ノ效果ヲ示シタリ
- (2) 莖葉ニ對スル藥劑撒布ハ各藥劑共ニ藥害多カリシ爲、標準區ヨリ發病多ク収量劣レリ、

特ニ生育初期ニ於ケル銅劑ノ撒布ハ藥害ヲ惹起シ易キ傾向アリ

- (3) 葭簾ノ日覆ヲナシ夏季直射日光ヲ遮斷セバ、水温ノ上昇ヲ防ギ、山葵ノ生育良好トナリ墨入病ノ發生モ亦少ク、最モ效果アルコトヲ認メタリ

5. 二化螟蟲ノ發生豫察ニ關スル調査

(1) 螟蛾ノ發生調査

螟蛾ノ發生狀況ヲ調査シ以テ二化螟蟲ノ發生ノ多少並ニ加害時期ヲ豫察スル目的ニテ場内ニ誘殺電燈ヲ設置シ毎夜ノ誘殺蛾數ヲ調査セリ

成績

時期	平均日ノ誘殺蛾數									
	昭和6年	昭和7年	昭和8年	昭和9年	昭和10年	昭和11年	昭和12年	昭和13年	平均	
5月	第4半旬	—	0.8	—	—	—	—	—	1.2	1.0
	第5半旬	—	0.2	12.0	—	—	—	—	4.4	5.5
	第6半旬	—	0.4	7.8	—	—	—	—	44.8	17.7
6月	第1半旬	—	14.0	16.5	6.0	2.8	5.8	9.2	103.2	22.5
	第2半旬	0.3	6.2	10.4	8.8	13.6	13.2	3.0	134.6	24.4
	第3半旬	19.6	34.2	116.8	22.4	31.4	69.2	3.8	76.0	46.7
	第4半旬	42.0	82.0	301.0	36.0	75.4	126.2	43.4	120.4	103.3
	第5半旬	138.6	133.4	168.4	53.0	99.6	201.8	113.2	365.0	159.1
	第6半旬	185.6	293.2	243.8	79.6	148.2	59.0	93.2	165.4	158.5
7月	第1半旬	288.8	157.4	59.8	95.0	99.4	22.6	64.8	102.8	111.3
	第2半旬	107.6	103.6	—	35.0	16.4	15.6	53.6	48.6	54.1
	第3半旬	33.2	31.0	—	9.0	13.2	18.0	8.8	19.0	18.9
	第4半旬	61.0	14.0	—	7.3	7.0	12.6	10.4	10.6	17.6
	第5半旬	27.0	13.2	—	6.8	3.0	6.8	4.2	6.2	9.6
	第6半旬	7.8	4.2	—	2.8	1.2	7.2	4.5	0.3	4.0
8月	第1半旬	7.2	1.2	—	0.4	0	3.2	2.2	0.2	2.1
	第2半旬	0.5	0.2	—	0.4	0	0.6	2.8	—	0.8
	第3半旬	1.2	0	—	0	0	2.0	2.8	—	1.0
	第4半旬	4.0	0.6	—	0.6	2.0	3.4	7.2	—	3.0
	第5半旬	8.0	5.4	—	2.2	17.0	2.0	13.4	—	6.0
	第6半旬	6.8	16.2	—	2.8	2.3	1.3	8.6	8.5	6.6
9月	第1半旬	11.0	6.8	—	0.6	3.4	13.6	2.8	9.8	6.9
	第2半旬	7.2	0.2	—	6.4	2.8	8.2	6.0	2.2	4.7
	第3半旬	9.0	0.4	—	3.4	0.2	4.6	1.0	—	3.1
	第4半旬	1.0	0	—	1.4	0	0.2	0	0	0.4
	第5半旬	0	0	—	0	0	0	0.4	1.2	0.2
	第6半旬	0.2	0	—	0	0	0	0	0	0

摘要

上ノ成績ニ據リ第1化期ノ發生ハ例年ニ比シ甚ダ多カリシモ、發生期早カリシタメ被害ハ左程大ナラザルヲ豫察セリ

(2) 越冬前後ニ於ケル螟蟲

個體數ノ消長調査

20坪ヨリ刈取レル稻稈ヲ2等分シ、螟蟲ノ越冬前=1半ノ稻稈ハ付螟蟲ノ存在莖數、螟蟲ノ生死數等ヲ調査シ他ノ1半ノ稻稈ハ野外ニ堆積シ翌春幼蟲ノ移動前=同様ノ調査ヲナシ以テ越冬前後ニ於ケル螟蟲個體數ノ消長ヲ調査セリソノ成績次ノ如シ

其ノ一

調査場所 長野縣立農事試験場

供試稻栽培地 同上

稻品種 信濃糯2號

栽植密度 1坪90株、1本植

刈取月日 昭和13年11月4日

調査月日 { 越冬前 自昭和12年12月2日 至12月4日
越冬後 自昭和13年4月2日 至4月11日

調査成績

調査時期	調査稻莖數 (10坪分)	螟蟲存 在莖數	螟蟲存在數			生死蟲歩合		螟蟲存在 莖數歩合
			生 蟲	死 蟲	計	生 蟲 %	死 蟲 %	
越冬前	7257	301	288	38	326	88.3	11.7	4.1
越冬後	7184	389	355	56	411	86.4	13.6	5.4

其ノ二

調査場所 長野縣立農事試験場

供試稻栽培地 下水内野柳原村

稻品種 幾内早生22號

栽植密度 1坪72株3本植

刈取月日 昭和12年10月23日

調査月日 { 越冬前 自昭和12年11月2日 至11月18日
越冬後 自昭和13年4月11日 至4月17日

調査時期	調査稻莖數	螟蟲存 在莖數	螟蟲存在數			生死蟲歩合		螟蟲存在 莖數歩合
			生 蟲	死 蟲	計	生 蟲 %	死 蟲 %	
越冬前	12195	97	96	1	97	99.0	1.0	0.8
越冬後	10691	99	75	25	100	75.0	25.0	0.9

6. 稻泥負蟲防除試験

目的 稻泥負蟲ノ毒劑ニヨル防除法ヲ試験シ更ニ展着劑ノ適當ナルモノヲ知ラントス
試験地並擔當者 下水内郡永田村字湧井 水野辰男
試験區並供試劑ノ處方

試験區名	撒 布 藥 劑	供 試 劑 處 方
1	無 撒 布	—
2	砒 酸 鉛	水1斗、生石灰30匁、カゼイン石灰6匁、砒酸鉛15匁
3	砒 酸 石 灰	水1斗、生石灰30匁、カゼイン石灰6匁、砒酸石灰15匁
4	カゼイン石灰、砒酸鉛加用ボルドウ液	4斗式ボルドウ液1斗、カゼイン石灰6匁、砒酸鉛15匁
5	カゼイン石灰、砒酸石灰加用ボルドウ液	4斗式ボルドウ液1斗、カゼイン石灰6匁、砒酸石灰15匁
6	無 撒 布	—
7	ロジンソープ、砒酸鉛加用ボルドウ液	4斗式ボルドウ液1斗、ロジンソープ5匁、砒酸鉛15匁
8	ロジンソープ、砒酸石灰加用ボルドウ液	4斗式ボルドウ液1斗、ロジンソープ5匁、砒酸石灰15匁
9	ボルドソープ、砒酸鉛加用ボルドウ液	4斗式ボルドウ液1斗、ボルドソープ5匁、砒酸鉛15匁
10	ボルドソープ、砒酸石灰加用ボルドウ液	4斗式ボルドウ液1斗、ボルドソープ5匁、砒酸石灰15匁
11	無 撒 布	—

備考 砒酸石灰ハ「=ホナート」ヲ用ヒタリ

供試劑撒布月日及量 6月28日ノ孵化最盛期=反當6斗ノ割合=撒布セリ

供試面積 一試験區=付10坪

供試品種 陸羽132號

供試稻耕種概要 4月27日、坪2合ノ割合ニ播種(苗代坪當施肥量ハ硫酸アンモニア52匁、過磷酸石灰52匁、鹽化加里16匁ヲ基肥トセリ) 6月13日=坪當80株(畦巾9寸、株間5寸)一株3本宛挿秧(本田反當施肥量ハ堆肥300匁、硫酸アンモニア7匁、過磷酸石灰5匁、鹽化加里1匁ヲ基肥トセリ) 10月13日=刈取り、10月29日扱落シ行ヒタリ

成績調査 6月28日、7月8日、7月18日ノ三回各試験區ノ中央部一坪ノ稻ニ付産卵數及化蛹蟲數ヲ調べ後之ヲ合計シテ産卵數ニ對スル化蛹率ヲ計算セリ、更ニ寄生幼蟲數、食害ノ程度、出穂期、反當收量等ヲ調査セリ

成 績

試 験 區	一坪當 産卵數	一坪當 化蛹數	化蛹率 %	寄生幼蟲數 (3回調査計)(7月18日)	食害程度	出穂期 月日	玄米反當收量	
							重 量	容 量
1 無 撒 布	770	206	26.8	500	多	8.19	109.9	2.74
2 砒 酸 鉛	958	60	6.3	388	中	8.14	116.4	2.91
3 砒 酸 石 灰	1056	70	6.6	294	中	8.17	112.5	2.80
4 カゼイン石灰、砒酸鉛加用ボルドウ液	892	60	6.7	272	中	8.15	121.6	3.01
5 カゼイン石灰、砒酸石灰加用ボルドウ液	982	86	8.8	288	中	8.16	121.9	3.04
6 無 撒 布	1320	290	22.0	590	多	8.19	110.5	2.72
7 ロジンソープ、砒酸鉛加用ボルドウ液	902	56	6.2	230	少	8.15	119.7	2.97
8 ロジンソープ、砒酸石灰加用ボルドウ液	978	62	6.3	218	少	8.15	114.0	2.84
9 ボルドソープ、砒酸鉛加用ボルドウ液	944	70	7.4	292	少	8.16	117.7	2.92
10 ボルドソープ、砒酸石灰加用ボルドウ液	1066	86	7.1	320	中	8.16	112.3	2.78
11 無 撒 布	1041	299	28.7	688	多	8.16	104.4	2.59

摘 要

前年と同様、砒酸鉛又ハ砒酸石灰加用ボルドウ液ヲ撒布セルモノハ化蛹率少ナク防除ノ效果多キコト明カナリ

7. 稻苞蟲防除試験

目的 毒劑ニヨル稻苞蟲ノ防除法ヲ試験セントス

試験地並擔當者 下水内郡柳原村宇南條北川三代藏

試験區並供試劑ノ處方

試験區名	撒 布 藥 劑	供 試 劑 處 方
1	無 撒 布	—
2	砒 酸 鉛	水1斗、生石灰80匁、カゼイン石灰6匁、砒酸鉛15匁
3	砒 酸 石 灰	水1斗、生石灰80匁、カゼイン石灰6匁、砒酸石灰15匁
4	無 撒 布	—
5	カゼイン石灰、砒酸鉛加用ボルドウ液	4斗式ボルドウ液1斗、カゼイン石灰6匁、砒酸鉛15匁
6	カゼイン石灰、砒酸石灰加用ボルドウ液	4斗式ボルドウ液1斗、カゼイン石灰6匁、砒酸石灰15匁
7	無 撒 布	—
8	ロジンソープ、砒酸鉛加用ボルドウ液	4斗式ボルドウ液1斗、ロジンソープ5匁、砒酸鉛15匁
9	ロジンソープ、砒酸石灰加用ボルドウ液	4斗式ボルドウ液1斗、ロジンソープ5匁、砒酸石灰15匁
10	無 撒 布	—
11	ボルドソープ、砒酸鉛加用ボルドウ液	4斗式ボルドウ液1斗、ボルドソープ5匁、砒酸鉛15匁
12	ボルドソープ、砒酸石灰加用ボルドウ液	4斗式ボルドウ液1斗、ボルドソープ5匁、砒酸石灰15匁

備考 砒酸石灰ハ「ニホナート」ヲ用ヒタリ

供試劑撒布月日及量 8月1日ニ反當9斗ノ割合ニ撒布セリ

供試面積 一試験區ニ付10坪

供試稻耕種概要 幾内早生22號ヲ用ヒ、5月2日坪當2合宛播種(苗代坪當施肥量ハ硫酸アンモニア52匁、過磷酸石灰52匁、鹽化加里16匁ヲ基肥トセリ) 6月18日、坪當80株(畦巾9寸株間5寸)一株8本ニ挿秧、(本田反當施肥量ハ堆肥400匁、硫酸アンモニア7匁、過磷酸石灰5匁、鹽化加里1匁ヲ基肥トセリ) 10月20日刈取り、10月30日撥落シヲ行ヒタリ

成績調査 常ニ藥害ノ有無ヲ觀察シ、8月29日即チ苞蟲ノ化蛹期ニ各試験區ノ中央部ニ於テ3坪ニ付稻葉ノ捲葉數ヲ調べテ發生ノ多少ヲ知り更ニ出穂期、收量等ヲ調査セリ

成 績

試験區	撒布藥 附着良否	3坪當 發生蟲數	出穂期 月日	食害ノ 多 少	反當收穫重量		反當收穫容量		藥 害
					粃	玄米	粃	玄米	
1	—	59	8.27	多	112	88	4.15	2.35	—
2	不 良	28	8.26	中	115	93	4.16	2.32	ナ シ
3	不 良	57	8.27	多	113	88	4.17	2.20	ナ シ
4	—	57	8.27	多	107	86	3.92	2.16	—

試験區	撒布藥 附着良否	3坪當 發生蟲數	出穂期 月日	食害ノ 多 少	反當收穫重量		反當收穫容量		藥 害
					粃	玄米	粃	玄米	
5	中	5	8.25	少	115	91	4.23	2.28	僅 少
6	中	9	8.25	少	115	90	4.20	2.25	僅 少
7	—	73	8.27	多	110	85	4.07	2.15	—
8	良	3	8.24	稀	124	97	4.58	2.47	少
9	良	6	8.24	稀	118	93	4.38	2.34	少
10	—	61	8.26	多	110	87	4.06	2.18	—
11	良	0	8.24	稀	117	91	4.30	2.45	少
12	良	6	8.24	稀	121	94	4.41	2.38	少

摘 要

(1) 砒酸鉛ト砒酸石灰トノ效果ハ大差ナク何レモ有效ナリ、特ニ「ボルドウ」液ニ入レ更ニ展着劑ヲ加ヘタル場合效多ク、砒酸鉛又ハ砒酸石灰ヲ單用シタル場合ハ附着不良ナリシタメ效果少ナカリキ

(2) 展着劑ノ種類デハ「カゼイン石灰」稀效果劣リタルモ「ロジンソープ」ト「ボルドソープ」トノ差ハ認メラレザリキ

8. 白菜病害蟲綜合防除試験

目的 白菜ニ適スル殺菌劑ノ種類及濃度ヲ明カニシ併セテ腐敗病、黒斑病、蚜蟲、黃筋蚤蟲、夜盜蟲等種々ノ病害蟲ノ綜合防除法ヲ得ントス

試験地 小縣郡長村菅平

試験區

(1) 藥劑撒布試験

試 驗 區 名	供試劑處方(水1斗ニ對スル調合量)
1 1石2斗式硫酸亞鉛ボルドウ液撒布	硫酸亞鉛、生石灰各10匁、カゼイン石灰6匁
2 1石式 同	硫酸亞鉛、生石灰各12匁、カゼイン石灰6匁
3 8斗式 同	硫酸亞鉛、生石灰各15匁、カゼイン石灰6匁
4 無 撒 布	—
5 1石2斗式ボルドウ液撒布	硫酸銅、生石灰各10匁、カゼイン石灰6匁
6 1石式 同	硫酸銅、生石灰各12匁、 同
7 8斗式 同	硫酸銅、生石灰各15匁、 同
8 無 撒 布	—
9 セミ印ボルドウ300倍液撒布	セミ印ボルドウ3匁
10 同 500倍液撒布	セミ印ボルドウ2匁
11 同 1,000倍液撒布	セミ印ボルドウ1匁
12 無 撒 布	—
13 サルボイド16匁液撒布	サルボイド16匁、魚油石鹼5匁

試 験 區 名	供試劑處分(水1斗=對スル割合)
14 サルボイド12匁液撒布	サルボイド12匁、魚油石鹼5匁
15 同 8匁液撒布	サルボイド8匁、同
16 無 撒 布	—
17 ソイド12匁液撒布	ソイド12匁、魚油石鹼5匁
18 同 9匁液撒布	ソイド9匁、同
19 同 6匁液撒布	ソイド6匁、同
20 無 撒 布	—
21 石灰硫黄合劑0.4度液撒布	石灰硫黄合劑1合、カゼイン石灰6匁
22 同 0.3度液撒布	石灰硫黄合劑7.5匁、同
23 同 0.2度液撒布	石灰硫黄合劑5匁、同
24 無 撒 布	—
25 ウスブルン8匁液撒布	ウスブルン 8匁
29 同 6匁液撒布	ウスブルン 6匁
27 同 4匁液撒布	ウスブルン 4匁
28 1石2斗式硫酸ニツケルボルドウ液撒布	硫酸ニツケル、生石灰各10匁、カゼイン石灰6匁
29 1石式 同	硫酸ニツケル、生石灰各12匁、同
30 8斗式 同	硫酸ニツケル、生石灰各15匁、同

藥劑撒布ハ8月5日、8月15日、8月23日ノ3回行ヒタリ

(2) 土壤處理試驗

試 験 區 名	反 當 使 用 量	使 用 期
1 石灰 70 貫 撒 粉	70貫	6月5日
2 石灰 50 貫 撒 粉	50貫	同
3 石灰 30 貫 撒 粉	30貫	同
4 無 處 理	—	—
5 硫黄華 15 貫 撒 粉	15貫	6月5日
6 硫黄華 12 貫 撒 粉	12貫	同
7 硫黄華 8 貫 撒 粉	8貫	同
8 處 處 理	—	—
9 石灰硫黄合劑1回撒布	1度液2石	7月23日
10 石灰硫黄合劑2回撒布	同	7月23日、8月5日
11 石灰硫黄合劑3回撒布	同	7月23日、8月5日、8月15日
12 無 處 理	—	—
13 石灰窒素 15 貫 撒 粉	15貫	6月1日
14 石灰窒素 12 貫 撒 粉	12貫	同
15 石灰窒素 8 貫 撒 粉	8貫	同

(3) 敷 藥 試 験

試 験 區 名	敷 藥 施 行 期
1 敷 藥 區	8 月 5 日
2 標 準 區	—

供試面積 1試驗區ノ供試面積ハ藥劑撒布試驗5坪、土壤處理試驗及敷藥試驗ハ10坪トセリ
 供試白菜ノ品種及耕種概要 品種ハ松島2號ヲ用ヒ6月25日ニ畦巾2尺5寸、株間1尺5寸ニ
 播種セリ、肥料ハ反當堆肥300貫、石灰30貫、長野縣獎勵白菜肥料7匁、大豆粕8貫400匁
 鱈粕7貫、硫酸アンモニア26.600貫、過磷酸石灰18.900貫、硫酸加里9.100貫、ヲ3回ニ分
 施シ、4回間引ヲ行ヒタリ

成績調査 8月15日、8月23日、8月31日ノ3回藥害ノ狀況、病害蟲ノ發生狀況ヲ調査セリ
 成 績

(1) 藥劑撒布試驗 (1區5坪、50株宛)

試 験 區 名	腐敗病被害株數			黒斑病發病狀況		藥 害	其ノ他
	8月15日	8月23日	8月31日	8月23日	8月31日		
1 1石2斗式硫酸亞鉛ボルドウ	1	7	9	ナシ	輕微	ナシ	收穫期ニ未ダ藥劑附着ス
2 1石式 同	0	4	6	ナシ	輕微	ナシ	同
3 8斗式 同	0	5	7	ナシ	輕微	ナシ	同
4 無 撒 布	0	5	6	中	中	—	—
5 1石2斗式ボルドウ	0	1	1	ナシ	輕微	外葉ノ枯死相當大	結球進ミ少
6 1石式 同	0	0	0	ナシ	ナシ	外葉ノ枯死甚シ	同
7 8斗式 同	0	2	2	ナシ	ナシ	同	同
8 無 撒 布	0	4	5	中	中	—	—
9 セミ印ボルドウ300倍	0	2	4	輕微	輕微	ナシ	着色セズ
10 同 500倍	1	3	5	輕微	輕微	ナシ	同
11 同 1000倍	1	4	6	輕微	少	ナシ	同
12 無 撒 布	3	6	8	中	中	—	—
13 サルボイド16匁	1	1	1	ナシ	ナシ	外葉ノ枯死相當大	着色セズ
14 同 12匁	0	0	0	ナシ	ナシ	同	同
15 同 8匁	0	2	3	ナシ	ナシ	外葉ノ枯死中	同
16 無 撒 布	4	6	7	少	少	—	—
17 ソイド12匁	5	7	8	少	少	ナシ	着色セズ
18 同 9匁	2	5	5	少	少	ナシ	同
19 同 6匁	1	3	5	少	少	ナシ	同
20 無 撒 布	1	1	4	中	中	—	—
21 石灰硫黄合劑0.4度液	1	6	11	少	少	ナシ	撒布當時淡ク着色ス
22 同 0.3度液	4	7	10	少	少	ナシ	同
23 同 0.2度液	3	3	9	少	少	ナシ	同

試験区名	腐敗病被害株数			黒斑病発病状況		薬害	其ノ他
	8月15日	8月23日	8月31日	8月23日	8月31日		
24 無撒布	1	1	5	少	少	—	—
25 ウスブルン8匁	1	3	5	少	少	ナシ	着色セズ
26 同 6匁	2	3	3	少	少	ナシ	同
27 同 4匁	3	3	3	少	少	ナシ	同
28 1石2斗式硫酸ニツケルボルドウ	2	2	4	少	少	全葉黄斑ヲ生ジ被害甚シ	白色ニ良ク附着ス
29 1石式 同	0	0	0	少	少	同	同
30 8斗式 同	2	4	6	少	少	同	同

(2) 土壤處理試験 (1區10坪、100株宛)

試験区名	腐敗病被害株数			黒斑病発病状況		薬害	其ノ他
	8月15日	8月23日	8月31日	8月23日	8月31日		
1 石灰 70貫	2	7	17	少	中	ナシ	早期ノ生育良ク結球速ム
2 同 50貫	2	9	20	中	中	〃	同
3 同 30貫	2	13	17	中	中	〃	同
4 無處理	2	4	8	少	少	—	—
5 硫酸華 15貫	3	3	6	輕微	少	ナシ	生育遅レ終リマデ難クシ
6 同 12貫	2	3	5	輕微	少	〃	同
7 同 8貫	0	4	5	輕微	少	〃	同
8 無處理	4	7	11	少	少	—	—
9 石灰硫酸合劑 1回	1	8	15	少	少	ナシ	撒布直後ハ生育良好ナルモ後差ナシ
10 同 2回	0	3	6	少	少	〃	同
11 同 3回	1	3	4	少	少	〃	同
12 無處理	0	0	5	少	少	—	—
13 石灰窒素 15貫	1	3	4	少	中	ナシ	普通
14 同 12貫	1	2	2	少	少	〃	同
15 同 8貫	0	2	6	少	少	〃	同

(3) 敷薬試験 (1區10坪、100株宛)

試験区名	腐敗病被害株数			黒斑病発病状況		薬害	其ノ他
	8月15日	8月23日	8月31日	8月23日	8月31日		
1 敷薬区	—	—	11	—	輕微	—	—
2 標準区	—	—	5	—	多	—	—

摘要

- (1) 硫酸亜鉛「ボルドウ」液ヲ撒布セルモノハ薬害ナキモ腐敗病ノ發生多シ
- (2) 「ボルドウ」液、「サルボイド」ヲ撒布セルモノハ撒布3日目位ヨリ外面ノ葉ニ薬害ヲ生ジ黄變枯死シ株ノ大キサ稍々小ナリシモノ内葉ニハ薬害ヲ認メラズ生育稍々進ミ腐敗病及黒斑病ノ發生極少ナカリキ
- (3) 硫酸ニツケルボルドウ液ヲ撒布セルモノハ撒布當時ハ異状ナキモ撒布15日目位ヨリ全葉ノ綠色淡クナリ黄斑ヲ交ヘ生育ヲ害シ甚ダシキ被害ヲ生ジタリ

(4) 播種前土中ニ石灰ヲ加ヘタルモノハ初期ノ生育良好ニシテ結球促進セルモ腐敗病、黒斑病等多シ

(5) 敷薬ヲ行ヒタルモノハ黒斑病ノ發生輕微ナリシモ腐敗病ノ發生多カリキ

9. 蘭ノ病害蟲綜合防除試験

目的 蘭ニ被害多キ葉蜂、蝗等種々ノ病害蟲ヲ綜合防除シ得ル薬劑撒布法ヲ明ニセントス

試験方法

試験地並擔當者 下水内郡常盤村 高橋浦治

試験区 次ノ5試験区ヲ設ケタリ

試験区	供試劑處方
1 砒酸鉛加用硫酸亜鉛ボルドウ液撒布	6斗式硫酸亜鉛ボルドウ液1斗、砒酸鉛15匁、カゼイン石灰6匁
2 砒酸鉛加用石灰ボルドウ液撒布	6斗式石灰ボルドウ液1斗、砒酸鉛15匁、カゼイン石灰6匁
3 無撒布	—
4 砒酸鉛撒布	水1斗、砒酸鉛15匁、カゼイン石灰6匁
5 ネオトン石鹼液撒布	水1斗、石鹼20匁、ネオトン2.5匁

備考 (1) 薬劑撒布ハ6月11日、6月30日、7月15日ノ3回行ヒタリ

(2) 薬劑ノ反當撒布量ハ1石5斗トセリ

供試面積 1試験区ニ付10坪

成績調査ノ方法 7月23日各試験区ノ中央部10株ニ付被害莖歩合ニ薬害ノ程度ヲ調査シ、更ニ收量並ニ收穫物ニ付被害莖歩合ヲ調査セリ

成績

試験区	7月23日調査(10株當)		收量(10坪當)				收穫物ノ被害状況		
	調査數	葉蜂被害莖數	2-3尺モノ	3-4尺モノ	4尺以上モノ	計	調査數	被害數	被害歩合%
1 砒酸鉛加用硫酸亜鉛ボルドウ液	1510	0	2.44	3.57	0.12	6.13	7284	816	11.2
2 砒酸鉛加用石灰ボルドウ液	1434	0	2.98	2.60	0.07	5.60	7360	1492	20.3
3 無撒布	1345	165	2.76	3.00	0.03	5.79	7020	2234	31.8
4 砒酸鉛	1220	20	3.10	3.80	0.10	7.00	8219	1691	20.6
5 ネオトン石鹼液	1256	55	2.24	3.95	0.26	6.45	7959	1610	20.2

摘要

- (1) 本年ノ成績ニヨレバ砒酸鉛加用石灰ボルドウ液ヲ撒布シタモノハ薬害多ク收量少ナカリキ
- (2) 砒酸鉛ノミ撒布シタモノハ附着不良ニテ效果少ナク砒酸鉛加用硫酸亜鉛ボルドウ液ヲ撒布セルモノハ薬害ナク效果アリ稍良好ナル結果ヲ得タリ

10. 忽布病害蟲綜合防除試験

目的 忽布ノ病害蟲特ニ露菌病、葉蟬等ノ綜合防除法ヲ得ントス

試験地並擔當者 下高井郡科野村字越 有限責任高水忽布販賣利用組合

試験區

試験區名	撒布薬劑			
	第1回(6月10日)	第2回(6月20日)	第3回(7月1日)	第4回(7月7日)
1 無撒布區	—	—	—	—
2 ボルドウ液撒布區	少石灰ボルドウ液	少石灰ボルドウ液	少石灰ボルドウ液	少石灰ボルドウ液
3 石灰硫黄合劑撒布區	石灰硫黄合劑	石灰硫黄合劑	石灰硫黄合劑	石灰硫黄合劑
4 サルポイド撒布區	サルポイド	サルポイド	サルポイド	サルポイド
5 ボルドウ液及石灰硫黄合劑撒布區	少石灰ボルドウ液	少石灰ボルドウ液	石灰硫黄合劑	石灰硫黄合劑
6 石灰硫黄合劑及ボルドウ液撒布區	石灰硫黄合劑	石灰硫黄合劑	少石灰ボルドウ液	少石灰ボルドウ液
7 ボルドウ液及石灰硫黄合劑交互撒布區	少石灰ボルドウ液	石灰硫黄合劑	少石灰ボルドウ液	石灰硫黄合劑
8 石灰硫黄合劑及ボルドウ液交互撒布區	石灰硫黄合劑	少石灰ボルドウ液	石灰硫黄合劑	少石灰ボルドウ液

供試劑ノ處方

少石灰ボルドウ液ハ5斗式石灰半量ボルドウ液1斗、ロジンソープ2勺。

石灰硫黄合劑ハ水1斗、市販石灰硫黄合劑(ボウメ比重32度)1合、カゼイン石灰6匁。

「サルポイド」ハ水1斗、「サルポイド」12匁、三共魚油石鹼2勺

備考 5月9日全區ニ「クワハムシ」「ノミハムシ」「キスシノミハムシ」等發生セルタメ「ネオトン」石鹼液(水1斗、石鹼20匁、ネオトン3勺)ヲ撒布セリ

供試劑ノ撒布量 藥劑ノ反當ノ撒布量ハ時期ニヨリ次ノ割合ニ撒布セリ

第1回(6月10日)一石5斗 第2回(6月20日)一石 第3回(7月1日)一石

第4回(7月7日)一石7斗

供試面積 1試験區ニ付 39坪 (39株)

成績調査 主要病害蟲ノ發生狀況ヲ觀察調査シ又收量ヲ品質別ニ調査セリ

成績

試験區	露菌病發病狀況(10株調査合計)						8月11日 一葉上ノ 「ダニ」 寄生數	反當收量	
	7月7日調査			8月11日調査				實品	等外品
	發病 芽數	調査 芽數	被害 芽歩合	發病 芽數	調査 芽數	被害 芽歩合			
1 無撒布	656	660	99.4%	369	369	100.0%	165	0	1.80
2 ボルドウ液撒布	166	386	43.0%	182	519	35.1%	142	31.80	4.05
3 石灰硫黄合劑撒布	402	459	87.6%	421	569	74.0%	22	3.00	2.70
4 サルポイド撒布	414	634	65.3%	403	738	54.6%	62	35.70	5.70
5 ボルドウ液及石灰硫黄合劑撒布	281	413	68.0%	301	546	55.1%	38	8.25	3.60
6 石灰硫黄合劑及ボルドウ液撒布	451	564	80.0%	424	669	63.4%	91	29.10	3.60
7 ボルドウ液及石灰硫黄合劑交互撒布	569	626	90.9%	587	748	78.5%	68	14.80	4.50
8 石灰硫黄合劑及ボルドウ液交互撒布	414	528	78.4%	459	704	65.2%	78	19.38	5.25

摘要

上ノ成績ニ據レバ藥劑ヲ撒布セザルモノハ露菌病、葉蟬等ノ被害甚シク良品ノ收穫皆無ナリ露菌病ニ對シテハ「ボルドウ」液撒布區最モ效果多ク、次デ「サルポイド」撒布區ナリ。石灰硫黄合劑撒布區ハ葉蟬ノ發生特ニ少ナカリシモ露菌病ヲ防除シ得ザリキ。本年ハ一般ニ葉蟬ノ發生少ナク、露菌病ノ發生甚ダシカリシヲ以テ「ボルドウ」液又ハ「サルポイド」ヲ回数多ク撒布シタルモノハ、コレヲ防除シ得テ收量多ク良結果ヲ得タリ。尙6月10日ノ第一回撒布以前ヨリ露菌病發生セルヲ以テ尙早クヨリ撒布スル必要ヲ認メラレタリ

11. 果樹類椿象防除試験

目的 果樹特ニ苹果ニ被害多キ「ヨツボシカメムシ」「クサギカメムシ」ノ防除法ヲ得ントス

試験地 上水内郡神郷村南郷 内山良三栽培ノ苹果園

試験區

試験區名	藥劑ノ處方	撒布月日	
1 除蟲菊石鹼合劑撒布區	水1斗、石鹼15匁、除蟲菊粉20匁	6.29	7.11
2 標準區	—	7.19	7.27
3 ネオトン石鹼液撒布區	水1斗、石鹼15匁、液狀ネオトン3勺	6.29	7.11
		7.19	7.27

供試品種及樹數 紅玉ヲ用ヒ、一區ニ付10樹

供試樹ノ管理 各區トモ昭和13年度當場獎勵ノ第2號藥劑撒布曆ニヨリ供試外ノ一般病害蟲ノ防除ヲナシ、尙5月28日ニ小袋ヲ、6月10日一19日ニ大袋ヲ掛ケタリ、除袋ハ9月13日ニ行ヒ又收穫ハ9月22日一10月7日ニ行ヒタリ

成績調査ノ方法 供試樹ノ中央ノ二樹ニ付除袋時ト收穫期トノ二回、全果(落果ヲ含ム)ニ付被害果ノ歩合ヲ調査セリ

成績

除袋ノ際ノ調査成績

試験區	甲 樹			乙 樹			平均被害 果歩合
	調査 果數	椿象被 害果數	被害果 歩合	調査 果數	椿象被 害果數	被害果 歩合	
1 除蟲菊石鹼合劑撒布區	906	33	3.6%	952	51	5.4%	4.5%
2 標準區	498	64	12.9%	484	54	11.2%	12.1%
3 ネオトン石鹼液撒布區	907	72	7.9%	765	50	6.5%	7.2%

收穫ノ際ノ調査成績

試験區	供試樹	調査 果數	無被害 果數	蟲害果數				
				椿象	心喰蟲	葉捲蟲	蟬	
1 除蟲菊石鹼合劑撒布	甲	886	680	92	45	0	69	206
	乙	952	748	119	44	0	41	204
2 無撒布	甲	498	295	99	39	0	65	203
	乙	484	263	103	41	0	77	221
3 ネオトン石鹼液撒布	甲	878	637	132	55	0	54	241
	乙	765	571	101	43	0	50	194

前表ヲ百分比ニテ表セバ次ノ如シ

試 験 區	供試樹	無 被 害 果 歩 合	蟲 害 果 歩 合				計
			椿 象	心 喰 蟲	葉 捲 蟲	蟬	
1 除蟲菊石鹼合劑撒布	甲	76.7	10.4	5.1	0	7.8	23.3
	乙	78.6	12.5	4.6	0	4.9	21.4
	平均	77.7	11.5	4.8	0	6.0	22.3
2 無 撒 布	甲	59.2	19.9	7.8	0	13.1	40.8
	乙	54.3	21.3	8.5	0	15.9	45.7
	平均	56.8	20.6	8.1	0	14.5	43.2
3 ネオトン石鹼液撒布	甲	72.6	15.0	6.8	0	6.1	27.4
	乙	74.7	18.2	5.6	0	6.5	25.3
	平均	73.7	14.1	5.9	0	6.3	26.3

更ニ前2ケ年トノ平均成績ヲ示セバ次ノ如シ

試 験 區	年 度	無 被 害 果	蟲 害 果				計
			椿 象	心 喰 蟲	葉 捲 蟲	蟬	
1 除蟲菊石鹼合劑撒布	昭和11年	75.9	5.9	5.0	0.6	12.6	24.1
	昭和12年	87.2	7.0	3.0	2.3	0.5	12.8
	昭和13年	77.7	11.5	4.8	0	6.0	22.3
	平均	80.3	8.1	4.3	1.0	6.8	19.7
2 無 撒 布	昭和11年	66.4	21.0	3.0	0.7	8.9	33.6
	昭和12年	67.3	27.1	3.1	1.2	1.3	32.7
	昭和13年	56.8	20.6	8.1	0	14.5	43.2
	平均	63.5	22.9	4.7	0.6	8.2	36.5
3 ネオトン石鹼液撒布	昭和11年	70.0	15.5	2.8	0.9	11.3	30.0
	昭和12年	80.7	11.5	3.7	2.6	1.5	19.3
	昭和13年	73.7	14.1	5.9	0	6.3	26.3
	平均	47.8	13.7	4.0	1.2	6.3	25.2

摘 要 除蟲菊石鹼合劑ハ椿象ノ防除ニ極メテ效多キコト明カナリ

12. 苹果綿蟲寄生蜂ノ配付成績

昭和10年以降ノ放飼個所數並ニ其ノ町村數次ノ如シ

郡 市 名	放 飼 個 所 數				計	放 飼 町 村 數
	昭和10年	昭和11年	昭和12年	昭和13年		
南 佐 久 郡	0	0	3	4	7	4
北 佐 久 郡	1	12	11	14	38	10
小 縣 郡	1	7	18	15	41	6
諏 訪 郡	4	11	17	10	42	17
上 伊 那 郡	0	1	3	0	4	2
下 伊 那 郡	1	0	1	7	9	4
西 筑 摩 郡	0	0	0	0	0	0
東 筑 摩 郡	2	6	12	14	34	14
南 安 曇 郡	0	0	9	12	21	3

郡 市 名	放 飼 個 所 數				計	放 飼 町 村 數
	昭和10年	昭和11年	昭和12年	昭和13年		
北 安 曇 郡	1	0	8	3	12	4
更 級 郡	10	37	12	16	75	16
埴 科 郡	0	16	13	11	40	7
上 高 井 郡	0	12	13	10	35	13
下 高 井 郡	1	8	10	8	27	10
上 水 内 郡	11	10	45	30	96	10
下 水 内 郡	5	0	3	11	19	4
長 野 市	2	7	4	5	18	—
松 本 市	1	0	3	2	6	—
上 田 市	0	1	2	3	6	—
岡 谷 市	—	5	2	0	7	—
飯 田 市	—	—	1	0	1	—
計	40	133	190	175	538	124

摘 要 4ケ年ニ亙リ縣下各地ノ苹果栽培地ニ送付放飼セルニ何レノ地方ニ於テモ大ナル効果ヲ擧ゲツアリ

13. 販賣藥劑效力査定試験

甲、砒酸石灰ノ效力査定試験

目 的 苹果ヲ加害スル諸種ノ咀嚼性害蟲特ニ心喰蟲類並ニ葉捲蟲類ニ對シ砒酸石灰ガ幾干ノ程度ニ砒酸鉛ノ代用ニナルヤヲ明カニセントス

試験地並擔當者 上水内郡長沼村大字赤沼、古岩井初市

試験區、次ノ6試験區ヲ設ケタリ

(1) 砒 酸 鉛 區

次ノ撒布曆ニヨリ藥劑撒布ヲ行ヒタリ

撒 布 時 期	撒 布 藥 劑 名	供 試 劑 ノ 處 方
4月12日(發芽直前)	石灰硫黃合劑	販賣品ノ7倍液1斗、カゼイン石灰6匁
4月26日(開花直前)	砒酸鉛加用石灰硫黃合劑	販賣品ノ80倍液1斗、砒酸鉛15匁、カゼイン石灰6匁
5月12日(落花直後)	同	同
5月31日	硫酸ニコチン加用石灰硫黃合劑	石灰硫黃合劑80倍液1斗、硫酸ニコチン1匁、カゼイン石灰6匁
6月24日	砒酸鉛加用ボルドウ液	3斗式ボルドウ液1斗、砒酸鉛15匁、カゼイン石灰6匁
8月8日	同	同
8月24日	砒 酸 鉛	水1斗、生石灰80匁、砒酸鉛15匁、カゼイン石灰6匁

國光ニ對スル試験ニ於テハ*印ハ4月30日、.印ハ6月14日トセリ

(2) 硫酸石灰2回代用區 其ノ一

前區ノ撒布層ノ中ノ4月26日及5月12日ノ硫酸鉛加用石灰硫黃合劑中ノ硫酸鉛ヲ硫酸石灰ニ代ヘタリ

(3) 硫酸石灰2回代用區 其ノ二

4月26日及8月24日ノ硫酸鉛加用石灰硫黃合劑中ノ硫酸鉛ヲ硫酸石灰ニ代ヘタリ

(4) 硫酸石灰3回代用區

4月26日、5月12日及8月24日ニ使用セル硫酸鉛ヲ硫酸石灰ニ代ヘタリ

(5) 硫酸石灰4回代用區

4月26日、5月12日、8月8日及8月24日ニ使用セル硫酸鉛ヲ硫酸石灰ニ代ヘタリ

(6) 硫酸石灰區

硫酸鉛ヲ悉ク硫酸石灰ニ代ヘタリ

供試品種 紅玉、國光

供試樹數 紅玉ニ於テハ一試驗區ニ3樹、國光ニ於テハ2樹ヲ供用

一般管理 紅玉ニ對シテハ5月15日-16日ニ小袋ヲ掛ケ、6月17日-18日ニ袋掛ヲ行ヒタリ又國光ニ於テハ6月8日ニ袋掛セリ

收穫ハ紅玉ニ於テハ9月13日-10月18日ニ又國光ハ11月12日ニ行ヘリ

成績調査 落果及收穫果ノ悉クニ付調査シ心喰蟲及葉捲蟲類ニヨル被害果ノ歩合ヲ計算シ又他ノ咀嚼性害蟲ノ繁殖狀況並ニ藥害ノ有無ヲ觀察セリ

成績

(4) 國光ニ對スル試驗

試驗區	供試樹記號	調査總果數	無被害果數	被害果數			無被害果歩合	被害果歩合		
				心喰蟲	葉捲蟲	計		心喰蟲	葉捲蟲	計
(1) 硫酸鉛區	甲	297	246	44	7	51	82.8	14.8	2.4	17.2
	乙	191	162	25	4	29	84.8	13.1	2.1	15.2
	平均	—	—	—	—	—	83.8	14.0	2.2	16.2
(2) 硫酸石灰2回代用區其ノ一	甲	431	307	113	11	124	71.2	26.2	2.6	28.8
	乙	238	183	44	11	155	76.9	18.5	4.6	23.1
	平均	—	—	—	—	—	74.1	22.3	3.6	25.9
(3) 硫酸石灰2回代用區其ノ二	甲	483	333	121	29	150	69.0	25.0	6.0	31.0
	乙	154	108	38	8	46	70.1	24.7	5.2	29.9
	平均	—	—	—	—	—	69.6	24.8	5.6	30.4
(4) 硫酸石灰3回代用區	甲	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	乙	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(5) 硫酸石灰4回代用區	甲	138	89	40	9	49	64.5	29.0	6.5	35.5
	乙	103	65	32	6	38	63.1	31.1	5.8	36.9
	平均	—	—	—	—	—	63.8	30.0	6.2	36.2
(6) 硫酸石灰全用區	甲	229	157	60	12	72	68.6	26.2	5.2	31.4
	乙	139	85	39	15	54	61.1	28.1	10.8	38.9
	平均	—	—	—	—	—	64.9	27.1	8.0	35.1

(5) 紅玉ニ對スル試驗

試驗區	供試樹記號	調査總果數	無被害果數	被害果數			無被害果歩合	被害果歩合		
				心喰蟲	葉捲蟲	計		心喰蟲	葉捲蟲	計
(1) 硫酸鉛區	甲	1116	926	130	60	190	83.0	11.6	5.4	17.0
	乙	538	475	32	26	58	89.1	6.0	4.9	10.9
	丙	474	428	30	16	46	90.3	6.3	3.4	9.7
	平均	—	—	—	—	—	87.5	8.0	4.5	12.5
(2) 硫酸石灰2回代用區其ノ一	甲	814	631	136	47	183	77.5	16.7	5.8	22.5
	乙	510	431	44	35	79	84.5	8.6	6.9	15.5
	丙	525	447	58	20	78	85.1	11.1	3.8	14.9
	平均	—	—	—	—	—	82.3	12.2	5.5	17.7
(3) 硫酸石灰2回代用區其ノ二	甲	865	687	123	55	178	79.4	14.2	6.4	20.6
	乙	441	360	65	16	81	81.6	14.8	3.6	18.4
	丙	532	436	73	23	96	81.9	13.8	4.3	18.1
	平均	—	—	—	—	—	81.0	14.3	4.7	19.0
(4) 硫酸石灰3回代用區	甲	1047	855	153	39	192	81.7	14.6	3.7	18.3
	乙	563	421	111	31	142	74.8	19.7	5.5	25.2
	丙	661	555	69	37	106	84.0	10.4	5.6	16.0
	平均	—	—	—	—	—	80.2	14.9	4.9	19.8
(5) 硫酸石灰4回代用區	甲	1046	796	200	50	250	76.1	19.1	4.8	23.9
	乙	549	446	67	36	103	81.2	12.2	6.6	18.8
	丙	790	619	115	56	171	78.4	14.5	7.1	21.6
	平均	—	—	—	—	—	78.6	15.2	6.2	21.4
(6) 硫酸石灰全用區	甲	452	321	116	15	131	71.0	25.7	3.3	29.0
	乙	405	303	84	18	102	74.8	20.7	4.5	25.2
	丙	417	323	69	25	94	77.5	16.5	6.0	22.5
	平均	—	—	—	—	—	74.4	21.0	4.6	25.6

(備考) 一果ニテ心喰蟲ト葉捲蟲トノ二種ノ被害アル場合ニハ便宜心喰果トシテ取扱ヒタリ

次ニ前表ヨリ硫酸鉛區ノ被害果歩合ヲ100トシテ硫酸石灰代用區ノ被害果歩合ノ百分比ヲ求ムレバ次ノ如シ(紅玉)

試驗區	第1區ノ被害果歩合ヲ100トシタ場合ノ百分比	硫酸鉛ノ使用減少割合
(1) 硫酸鉛區	100	—
(2) 硫酸石灰代用2回區 其ノ一	141	22.2
(3) 硫酸石灰代用2回區 其ノ二	152	36.1
(4) 硫酸石灰代用3回區	158	50.0
(5) 硫酸石灰代用4回區	171	72.2
(6) 硫酸石灰全用區	204	100.0

(備考) 硫酸鉛ノ使用量ハ次ノ如ク見積レリ

撒布時期	一樹當ノ硫酸鉛消費量(藥液量)	反當硫酸鉛消費量(藥液量)	百分比
4.26	4.5 (0.3)	81 (5.4)	8.3
5.12	7.5 (0.5)	135 (9.0)	18.9
6.24	12.0 (0.8)	216 (14.4)	22.2
8.8	15.0 (1.0)	270 (18.0)	27.8
8.24	15.0 (1.0)	270 (18.0)	27.8
計	54.0 (3.6)	972 (64.8)	100.0

摘要 砒酸石灰撒布區ハ砒酸鉛撒布區ニ比シ葉捲蟲、心喰蟲等ノ被害多ク效果劣ルコトヲ認メラル、又ソノ代用回数多キ程被害大ナリ

乙、「クボイト」ノ效力査定試験

目的 苹果ノ各種病害防除ニ撒布スル「ボルドウ」液ト「クボイト」トノ效果ヲ比較シ更ニ「ボルドウ」液ノ適當ナル濃度ヲ知ラントス
 試験地並擔當者、上水内郡長沼村大字赤沼、古岩井初市
 試験區 次ノ5試験區ヲ設ケタリ

(1) 3斗式ボルドウ液撒布區

時 期	撒 布 藥 劑
4 月 12 日 (發芽前)	石灰硫黄合劑
4 月 26 日 (開花前)	砒酸鉛加用石灰硫黄合劑
5 月 12 日 (落花後)	同 劑
5 月 31 日	硫酸ニコチン加用石灰硫黄合劑
6 月 24 日	砒酸鉛加用3斗式ボルドウ液
8 月 8 日	同 劑
8 月 24 日	砒 酸 鉛

標準區トナルモノニシテ當場獎勵ノ防除層ニ同ジ

(2) 4斗式ボルドウ液撒布區

第1區ノ藥劑撒布層中ノ3斗式ボルドウ液ヲ總ベテ4斗式ボルドウ液ニ代ニ

(3) 5斗式ボルドウ液撒布區

第1區ノ藥劑撒布層中ノ3斗式ボルドウ液ヲ總ベテ5斗式ボルドウ液ニ代ニ

(4) クボイト15匁液撒布區

第1區ノ藥劑撒布層中ノ3斗式ボルドウ液ヲ總ベテ「クボイト」15匁、水1斗液ニ代ニ

(5) クボイト12匁液撒布區

第1區ノ藥劑撒布層中ノ3斗式ボルドウ液ヲ總ベテ「クボイト」12匁、水1斗液ニ代ニ

供試品種 紅玉

供試樹數 一試験區ニ付2樹宛

一般管理 5月15日—16日ニ小袋ヲ掛ケ、6月17日—18日ニ袋掛ヲ行ヒ、收穫ハ9月13日ヨリ10月18日ニ行ヘリ

成績調査 落果及收穫果ノ悉クニ付黒點病果ト銹果及無被害果ニ分チ各々ノ個數ヲ數ヘソノ歩合ヲ計算セリ又心喰蟲、葉捲蟲等ノ被害狀況、落葉狀況並ニ藥害ノ有無ヲ觀察セリ

成 績

試 驗 區	供試樹 記 號	調 査 總果數	無被害 果 數	被 害 果 數			無被害 果歩合	被 害 果 歩 合		
				黒點病	銹	黒點並銹		黒點病	銹	黒點並銹
(1) 3斗式ボルドウ液撒布區	甲 乙 平均	407	108	71	141	87	26.5	17.5	34.6	21.4
		591	184	138	130	139	31.1	23.4	22.0	23.5
(2) 4斗式ボルドウ液撒布區	甲 乙 平均	391	111	92	116	72	28.4	23.5	23.7	18.4
		283	85	64	98	36	30.1	22.6	34.6	12.7
(3) 5斗式ボルドウ液撒布區	甲 乙 平均	522	137	153	126	106	26.3	29.3	24.1	20.3
		352	97	85	85	85	27.6	24.1	24.1	24.1
(4) クボイト15匁液撒布區	甲 乙 平均	357	59	109	77	112	16.5	30.5	21.6	31.4
		529	120	182	86	141	22.7	34.5	16.2	26.6
(5) クボイト12匁液撒布區	甲 乙 平均	580	147	198	91	144	25.4	34.1	15.7	24.8
		389	107	149	43	90	27.5	38.3	11.1	23.1
						26.5	36.2	13.4	23.9	

摘要 「ボルドウ」液ハ供試濃度内ニ於テハ效果ニ差ヲ認メラレザリキ「クボイト」ハ「ボルドウ」液撒布區ヨリ黒點病ノ發生多ク効果稍劣リタリ。

14. 水田ニ於ケル噴霧器ノ利用ニ關スル試験

目的 本試験ハ農林省指定試験ニシテ、市販ノ代表的噴霧器ヲ供用シ、水田用トシテノ使用ノ便否及能率ヲ試験シ、以テ將來改良ヲ要スベキ點ヲ明カナラシメントス。

供試噴霧器及附屬器具

(1) 噴霧器

甲 携帶用型

個人使用スルモノニシテ、藥液槽ヲ肩ニ掛ケ又ハ背ニ負ヒテ使用ス。

イ 肩掛型半自働噴霧器

ロ 背囊型半自働噴霧器

ハ 脊負型自働噴霧器

乙 移動用型

2人以上ニテ共同利用スルモノニシテ、藥液ヲ桶又ハ樽ニ入レ、噴霧器ヲ自由ニ移動シテ使用ス。

イ 半自働噴霧器

ロ 槓杆樽附半自働噴霧器(強力噴霧器)

(2) 噴霧頭

イ 噴霧頭ノ數 單頭、2頭、3頭、4頭、5頭、7頭、10頭

ロ 噴霧頭ノ排列 普通型、直線型、環狀型

- (3) ゴムホース
 イ 携帯用型噴霧器 3尺乃至8尺
 ロ 移動用型噴霧器 5間乃至25間
- (4) 握手管及灌注竿ノ長サ
 イ 携帯用型噴霧器ノ握手管ノ長サ 3尺
 ロ 移動用型噴霧器ノ灌注竿ノ長サ 6尺及10尺

試験方法

- (1) 試験地
 イ 平坦地水田 豊科町稻熟病試験地及附近
 ロ 傾斜地水田 上田市須川
- (2) 供試薬劑
 第1回試験 (7月下旬) 4斗式展着劑加用過石灰ボルドウ液 反當6斗撒布
 第2回試験 (8月中旬) 6斗式展着劑加用過石灰ボルドウ液 反當6斗撒布
 第3回試験 (8月下旬) 6斗式展着劑加用過石灰ボルドウ液 反當1石撒布
- (3) 撒布者
 20歳ヨリ30歳迄ノ男子ニテ、移動用型噴霧器ノ場合ニハ撒布者ハ1部女子ヲ使用セリ。
- (4) 實施方法
 各噴霧器ニ對シ、各種噴霧頭及噴孔ヲ取付ケテ排液量(排液量トハ使用壓力下ニ於テ1分間ニ噴霧頭ヨリ排出スル薬液ノ量ニシテ、排液量ノ多少ハ噴霧器ノ大小、噴霧頭ノ數及噴孔ノ大小等ニヨツテ異ル)ヲ調査シ、其調子ニテ既定水田面積(2)ニ定ムル割合ヲ以テ薬劑ヲ撒布シ、使用ノ難易並ニ能率等調査セリ。

成績摘要

- (一) 水田用噴霧器トシテハ、次ノ條件ヲ具備セルコトヲ肝要トス。
- (1) 使用壓力ハ每平方吋60封度以上デアルコト必要ニシテ、50封度以下ニシハ極小ノ噴孔ヲ用フルモ霧ガ大トナリ薬劑ノ展着不良ナリ。
- (2) 噴霧頭ハ直線型多頭式最モ適シ、環状型多頭式ハ霧ガ集合シテ不適當ニシテ、普通型單頭又ハ2頭噴霧頭ニテハ能率が擧ラズ。
- (3) 噴孔ハ市販品中極小ノモノ霧ガ細クシテ適當ナレド、壓力ノ強大ナル噴霧器ヲ使用スル場合ニハ中又ハ大ノ噴孔ヲ使用スルモ差支ナシ。
- (二) 肩掛型半自働及背負自働型噴霧器ハ使用壓力低キヲ以テ水田用トシテハ不適當ナレド、既ニ購入シ使用シツツアルモノニテハ、成ルベク能率的ニ活用スル必要ガアリ。
- (1) 肩掛型半自働噴霧器ノ場合
 噴霧頭ヲ直線型2頭噴霧頭トナシ、極小ノ噴孔ヲ使用スルヲ可トス。
- (2) 背負型自働噴霧器ノ場合
 1斗型ニ液ヲ6升位入レ衝程數ヲ110回位トセバ、最初ノ使用壓力ハ每平方吋75封度位、最終ノ使用壓力ハ25封度位トナルヲ以テ、中途ニテ更ニ1回加壓シ使用ス。又「ホース」ハ1本トシ、噴霧頭ハ直線型5頭噴霧頭ヲ附シ、極小ノ噴孔ヲ用フレバ能率高マルモノナリ。
- (三) 背囊型半自働噴霧器ノ場合
 (1) 平坦地傾斜地ヲ通ジテ個人使用ニ適ス。

- (2) 大ナル空氣室ヲ有シ多量ノ排液量ニテ使用シ得ル器械ヲ可トス。
- (3) 直線型5頭噴霧頭ヲ附シ、使用壓力每平方吋80封度ニテ毎分ノ排液量ガ1升位トナルヲ以テ、1反歩ハ1時間20分位ヲ撒布シ得ベシ。(反當6斗撒布)
- (4) 「ホース」ハ1人使用ノ場合ハ4尺、2人使用ノ場合ハ8尺位トスルヲ可トス。
- (5) 直線型噴霧頭ハ先端重キヲ以テ、握手管ヲ少シ太目トナシ、鈎合ヲ良好ナラシムルヲ要ス。

(四) 半自働噴霧器ノ場合

- (1) 平坦地傾斜地ヲ通ジ共同利用ニ適ス。
- (2) 使用壓力ハ每平方吋100封度ニテ、噴霧頭ハ直線型5頭乃至10頭噴霧頭トナシ、極小ノ噴孔ヲ用フレバ、毎分ノ排液量ハ1升乃至2升トナルヲ以テ、1反歩ハ1時間乃至40分ニテ撒布シ得ベシ。(反當6斗撒布)
- (3) 「ホース」ハ1本ニシテ最長25間位迄ノモノヲ用ヒ、6尺乃至10尺ノ灌注竿ヲ附シ、使用人員ハ押手、「ホース」持、撒布者ノ3人ヲ要ス。尙水田ニ水ヲ張り「ホース」ヲ浮游サセルヲ必要トス。

(五) 槓杆樽附半自働噴霧器ノ場合

- (1) 平坦地ノ大形水田ニ於ケル共同利用ニ適ス。
- (2) 使用壓力ヲ每平方吋120封度乃至150封度トナシ、左記ノ噴霧頭ヲ附セバ毎分ノ排液量ハ1升2合乃至3升トナルヲ以テ
- (イ) 1本「ホース」ノ場合直線型7頭乃至10頭噴霧頭ヲ附シ、使用人員ハ押手、ホース持、撒布者計3人ニテ、1反歩ヲ50分乃至36分ニテ撒布シ得ベシ。(反當6斗撒布)
- (ロ) 2本「ホース」ノ場合ハ直線型5頭乃至7頭噴霧頭ヲ附シ、押手、「ホース」持、撒布者各2人計6人ニテ、1反歩ヲ40分乃至20分ニテ撒布シ得ベシ。(反當6斗撒布)
- (3) 1本「ホース」ノ場合ハ噴孔ハ中又ハ大ニテモ可ナルモ、2本「ホース」ノ場合ハ極小ナルヲ可トス。
- (4) 「ホース」ノ長サハ最長25間位迄トナシ、2本「ホース」ノ場合ハ、「ホース」ノ先端ニ分合金具ヲ附シ、15尺位ノ「ホース」ヲ2本附シ、其先端ニ灌注竿ヲ取付ケ使用ス。
- (5) 灌注竿ハ10尺位トナシ、成ルベク輕キヲ可トス。

農藝化學部

1. 水 稻

圃場試験

1. 堆肥ト硫酸トノ合理的施用法試験 (第8年目)

目的 堆肥ガ土壤中ニ於テ分解スルニ際シ土壤中ノ速効性窒素ヲ一時保留スル性質アルヲ以テ此ノ利用ニヨリ硫酸ノ肥效ヲ増進スル方法ニ就キ試験セントス

方法 圃場試験 1區劃面積8坪 品種陸羽愛國20號 2區制
試験設計 (反當貫)

區名	肥料	堆肥及糞	硫酸アンモニア	過磷酸石灰	硫酸加里
1. 無窒素區	—	—	—	15.0	5.0
2. 堆肥區	—	150(原料糞)	—	15.0	5.0
3. 硫酸少量區	—	—	6.0	15.0	5.0
4. 硫酸多量區	—	—	12.0	15.0	5.0
5. 水積堆肥、硫酸少量區	—	150(原料糞)	6.0	15.0	5.0
6. 水積堆肥、硫酸多量區	—	150(同)	12.0	15.0	5.0
7. 石灰窒素堆肥、硫酸少量區	—	800	6.0	15.0	5.0
8. 石灰窒素堆肥、硫酸多量區	—	800	12.0	15.0	5.0
9. 糞硫酸區	—	150	9.0	15.0	5.0

播秧期 6月30日 畦幅1尺 株間5寸 1株2本植 其他ハ本場耕種梗概ニヨル
收穫期 10月21日
成績 昭和13年度ノ生育並ニ收量ニ關スル調査成績ハ次ノ如シ

生育調査 (種、本)

試驗名區	7月14日		7月23日		8月2日		8月11日		9月1日		10月17日	
	種	本	種	本	種	本	種	本	種	本	種	本
1. 無窒素區 A	31.0	2.0	38.1	2.6	46.9	4.8	55.7	4.7	8.94	4.8	70.5	4.7
同 B	32.7	2.0	40.7	3.5	49.1	5.1	57.7	5.3	95.9	7.0	69.8	5.3
2. 堆肥區 A	31.4	2.1	42.2	3.1	48.8	6.7	58.9	6.4	94.8	6.3	73.8	6.8
同 B	33.0	2.0	41.1	3.9	49.0	6.8	58.3	6.5	102.0	7.7	74.9	6.5
3. 硫酸少量區 A	39.6	3.4	46.3	6.3	53.8	8.9	62.3	7.6	95.3	6.9	74.5	7.0
同 B	39.3	2.7	45.5	5.7	57.5	8.1	67.8	8.0	101.8	10.2	79.1	7.6
4. 硫酸多量區 A	41.4	3.5	48.7	7.4	57.8	10.9	68.2	9.8	101.8	9.4	81.7	10.1
同 B	44.1	3.6	49.4	7.7	62.6	11.2	73.4	11.0	103.4	9.3	85.4	10.1
5. 水積堆肥區 A	38.2	3.0	45.2	6.1	52.3	9.2	62.5	8.8	98.7	8.6	77.1	8.2

試驗區名	7月14日		7月23日		8月2日		8月11日		9月1日		10月17日	
	種	本	種	本	種	本	種	本	種	本	種	本
同 B	36.4	2.7	45.4	6.1	56.6	8.8	67.1	8.8	107.8	12.0	80.6	8.9
6. 水積堆肥區 A	36.1	3.1	43.6	7.1	54.8	10.9	67.4	10.4	96.8	9.5	82.9	10.4
同 B	34.1	3.6	47.7	8.2	61.0	12.1	71.5	11.9	104.5	10.6	84.7	11.3
7. 石灰窒素堆肥區 A	41.5	4.2	48.3	8.7	60.3	12.1	69.6	11.3	105.7	10.9	83.8	9.9
同 B	39.2	3.8	47.5	7.3	57.4	10.8	68.7	10.4	111.7	11.4	83.5	10.4
8. 石灰窒素堆肥區 A	42.6	4.3	49.8	8.4	62.5	11.9	73.6	11.8	102.1	11.8	86.4	10.7
同 B	38.8	3.5	50.4	7.9	62.1	12.2	75.6	12.3	103.4	12.4	90.1	12.3
9. 糞硫酸區 A	38.8	3.8	47.3	7.9	59.6	11.3	70.0	11.0	106.8	10.8	72.5	10.6
同 B	41.3	3.5	48.9	7.1	60.1	10.7	90.8	10.0	99.0	10.7	83.4	10.5

收量調査 (反當貫石)

試驗區名	糞重量	糶重量	糶重	玄米容量	玄米1升重	無窒素區ヲ百トシタル	
						玄米收量比	糶收量比
1. 無窒素區 A	59.000	58.500	1.100	1.222	400	100	100
同 B	56.300	64.400	1.200	1.336	401		
2. 堆肥區 A	81.000	94.900	2.300	2.000	396	158	134
同 B	78.000	97.700	1.700	2.032	401		
3. 硫酸少量區 A	82.000	97.600	0.900	2.374	401	186	142
同 B	—	—	—	—	—		
4. 硫酸多量區 A	150.000	130.500	3.400	2.741	400	218	295
同 B	190.000	134.800	2.600	2.848	397		
5. 水積堆肥區 A	92.000	117.900	2.200	2.458	400	189	156
同 B	88.000	115.200	1.800	2.389	402		
6. 水積堆肥區 A	108.000	136.000	4.300	2.857	399	218	191
同 B	112.000	141.700	3.600	2.716	392		
7. 石灰窒素堆肥區 A	106.000	135.700	3.100	2.852	399	226	189
同 B	112.000	139.800	3.800	2.914	392		
8. 石灰窒素堆肥區 A	127.000	159.900	4.600	3.352	399	259	214
同 B	120.000	149.000	3.600	3.110	400		
9. 糞硫酸區 A	115.000	152.000	5.100	3.203	399	243	197
同 B	112.000	144.200	5.100	3.014	401		

上記成績ニヨレバ堆肥加用ノ效果ハ相當認メラレ特ニ石灰窒素堆肥ヲ加用セルモノニ顯著ナリ(無窒素ヲ百トシタル收量比ハ二區平均成績ヲ以テ示セリ)

2. 磷酸加里施用法試験 (第1年目)

目的 水田ニ毛作ニ對スル磷酸、加里ノ效果ヲ檢知スルト共ニ最合理的施用法ヲ知ラントス

方法 圃場試験 1區15坪 品種畿内早生22號 2區制

試驗設計 (反當貫)

區名	肥料					
	堆肥	窒素	磷酸	加里	加	里
1.各作無磷酸區	—	—	2.0	—	—	1.5
2.各作磷酸區	—	—	2.0	—	—	1.5
3.各作磷酸區	—	—	2.0	1.5	—	1.5
4.堆肥各作磷酸區	200	—	2.0	—	—	1.5
5.堆肥各作磷酸區	200	—	2.0	1.5	—	1.5
6.各作無加里區	—	—	2.0	1.5	—	—
7.夏作加里區	—	—	2.0	1.5	—	1.5
8.冬作加里區	—	—	2.0	1.5	—	—
9.各作加里區	第3區=同ジ	—	—	—	—	—
10.堆肥夏作加里區	200	—	2.0	1.5	—	1.5
11.堆肥冬作加里區	200	—	2.0	1.5	—	—
12.堆肥各作加里區	第5區=同ジ	—	—	—	—	—

窒素ハ硫酸アンモニア、磷酸ハ過磷酸石灰、加里ハ硫酸加里ヲ施用ス
 挿秧期 7月1日 畦幅1尺 株間5寸1株3本植 其他ハ本場耕種梗概ニヨル
 收穫期 10月22日
 成績 昭和13年度ノ生育並ニ收量ニ關スル調査成績ハ次ノ如シ

生育調査 (種、本)

試驗區名	7月23日		8月10日		10月18日	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數
1.各作無磷酸區	49.6	15.7	10.46	14.5	90.9	14.2
2.各作磷酸區 A	50.6	15.7	106.6	15.1	93.1	14.1
同 B	48.9	13.0	109.2	14.7	93.7	14.6
3.三要素區 A	50.4	16.3	109.4	16.3	91.0	15.4
同 B	47.7	15.6	109.1	15.7	94.6	15.8
4.堆肥各作磷酸區 A	50.8	16.9	109.3	16.7	95.2	16.3
同 B	48.3	15.3	111.7	17.6	95.4	17.4
5.堆肥三要素區 A	49.3	16.2	108.6	15.6	94.1	15.4
同 B	46.2	13.3	104.6	13.6	90.4	12.2
6.各作無加里區 A	48.4	12.9	113.1	14.9	96.7	13.7
同 B	47.4	14.7	109.4	15.4	96.8	14.8
7.夏作加里區 A	46.8	14.2	106.1	16.1	93.6	14.9
同 B	46.1	14.6	108.8	16.9	94.9	16.4
8.冬作加里區 A	48.3	13.2	105.9	15.1	93.4	14.5
同 B	47.6	14.9	105.6	16.3	89.0	14.2
9.堆肥夏作加里區 A	48.5	15.5	111.4	15.7	99.0	17.1
同 B	49.1	12.8	111.0	14.1	94.1	12.8
10.堆肥冬作加里區 A	48.4	15.3	111.0	18.1	97.1	17.3
同 B	50.4	15.8	114.0	15.9	95.4	14.0

收量調査 (反當貫、石)

試驗區名	藁重量	穀重量	糶重	玄米容量	玄米 1升重	三要素區ヲ百トシタル	
						玄米收量比	藁收量比
1.各作無磷酸區	186.000	175.200	7.200	3.471	398	99	100
2.各作磷酸區 A	193.000	174.800	12.100	3.558	392	101	102
同 B	186.000	174.500	10.200	3.533	398		
3.三要素區 A	186.000	174.800	9.900	3.503	396	100	100
同 B	—	—	—	—	—		
4.堆肥各作磷酸區 A	186.000	177.200	8.100	3.504	398	102	103
同 B	197.000	181.200	8.100	3.659	397		
5.堆肥三要素區 A	202.000	172.500	18.500	3.623	392	97	98
同 B	161.000	165.200	7.500	3.204	390		
6.各作無加里區 A	193.000	184.100	11.200	3.495	395	99	98
同 B	172.000	179.000	9.700	3.409	398		
7.夏作加里區 A	178.000	169.100	9.500	3.231	395	96	97
同 B	181.000	181.000	9.600	3.504	392		
8.冬作加里區 A	174.000	178.300	10.700	3.482	390	96	90
同 B	159.000	165.600	8.400	3.237	389		
9.堆肥夏作加里區 A	176.000	178.000	7.300	3.307	398	101	98
同 B	187.000	191.800	9.200	3.756	398		
10.堆肥冬作加里區 A	186.000	183.200	10.000	3.452	395	97	95
同 B	165.000	168.900	10.700	3.311	398		

上ノ成績ニヨレバ本試驗ハ試驗開始1ヶ年目ナルヲ以テ各區間ニ差異ヲ認メズ

3.縣獎勵配合肥料試驗 (第1年目)

目的 縣獎勵配合肥料ニヨリ標準栽培ヲ行ハントス

方法 圃場試驗 1區面積10—20坪 單聯

品種 畿内早生22號

試驗設計 (反當貫)

試驗區名	堆肥		大豆粕	過磷酸	鹽化加里	數量
	貫	貫				
水稻肥料第1號	200	5.200	—	4.000	0.800	2.5
水稻肥料第4號	200	6.000	—	3.300	0.700	2.0
水稻肥料第2號	200	4.200	1.500	3.600	0.700	2.5
水稻肥料第5號	200	5.000	1.600	2.800	0.600	2.5

挿秧期 7月1日 畦幅1尺 株間5寸 1株3本植 其他ハ本場耕種梗概ニヨル

收穫期 10月22日

成績 昭和13年度ノ生育並ニ收量調査成績ハ次ノ如シ

生育調査(種、本)

試験區名	7月28日		8月10日		10月18日	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數
水稻肥料第1號	47.6	14.3	101.7	13.6	87.3	13.6
水稻肥料第4號	49.5	14.1	107.9	15.1	90.2	14.2
水稻肥料第2號	51.5	14.1	106.8	13.3	90.2	13.3
水稻肥料第5號	49.6	16.1	118.9	18.1	102.0	17.6

收量調査(反當貫、石)

試験區名	藁重量	根重量	糞量	玄米容量	玄米1升重
水稻肥料第1號	164.000	170.300	4.900	3.475	395
水稻肥料第2號	194.000	173.300	9.100	3.542	398
水稻肥料第4號	171.000	199.000	10.500	3.606	399
水稻肥料第5號	199.000	172.900	15.300	3.504	400

上記成績ニヨレバ縣獎勵配合肥料ハ何レモ良好ナル成績ヲ收メタリ

4.石灰窒素施用試験(第一年月)

目的 石灰窒素ノ肥效ヲ檢知セントス

方法 圃場試験 1區面積15-30坪 單聯

品種 畿内早生22號

試験設計(反當貫)

試験區名	堆肥	石灰窒素	硫安	過磷酸	硫酸加里
堆肥、無窒素區	200	—	—	7.817	4.167
堆肥、硫安區	200	—	9.510	7.817	4.167
堆肥、石灰窒素區	200	10	—	7.817	4.167
堆肥、硫安區	200	—	5	4.755	7.817
堆肥、石灰窒素區	200	5	—	4.755	7.817

金肥ハ窒素2.0貫、磷酸1.5貫、加里2.0貫ヲ施用ス

押秧期 7月1日 畦幅1尺 株間5寸 1株3本植 其他ハ本場耕種梗概ニヨル

收穫期 10月22日

成績 生育並ニ收量調査成績ハ次ノ如シ

生育調査(種、本)

試験區名	7月28日		8月10日		10月18日	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數
堆肥、無窒素區	42.0	6.4	94.5	10.9	80.1	10.5
堆肥、硫安區	49.3	16.2	108.6	15.6	94.1	15.4
堆肥、石灰窒素區	37.1	11.3	106.6	15.8	92.2	15.1
堆肥、硫安區	40.2	9.5	103.6	15.3	93.6	15.5

收量調査(反當貫、石)

試験區名	藁重量	根重量	糞重	玄米容量	玄米1升重	無窒素區ヲ百トシタル	
						玄米收量比	藁收量比
堆肥、無窒素區	115.000	128.500	6.100	2.615	398	100	100
堆肥、硫安區	202.000	172.500	18.500	3.623	392	138	176
堆肥、石灰窒素區	187.000	177.700	14.600	3.611	400	138	163
堆肥、硫安區	142.000	145.400	9.100	2.907	400	111	123

上ノ成績ニヨレバ石灰窒素ノ肥效ハ硫安ニ劣ラザルモノノ如シ

框試験

1.三要素試験(第十七年月)

目的 水稻ニ對スル三要素ノ天然供給量ヲ知ラントス

方法 面積 1200分1反無底コンクリート框ヲ圃場ニ埋設シ反當窒素4貫、磷酸3貫、加里

2.5貫ヲ硫酸アンモニア、過磷酸石灰及硫酸加里ヲ以テ施シ他ニ炭酸石灰ヲ24貫用フ。有機質區ヲ堆肥300貫ヲ加用セリ

品種 關取 1區12株3本植 6月30日插秧 2區制

成績(2區平均)框當

生育調査(種、本)

試験區名	7月28日		9月1日		10月10日	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數
無肥料區	39.0	4.6	72.6	8.6	62.9	8.4
無窒素區	42.3	5.8	75.6	9.0	63.6	8.9
無磷酸區	43.5	5.2	91.0	18.7	76.8	18.0
無加里區	50.8	13.5	94.4	25.3	83.2	23.5
三要素區	50.2	12.3	98.7	24.7	86.9	24.2
三要素、石灰區	53.7	16.8	101.3	25.9	87.2	25.9
三要素、石灰區	48.0	17.1	101.0	28.7	84.3	28.0
有機質						

收量調査

試験區名	總重量	根重量	藁重量	三要素區ヲ百トシタル	
				根重量比	藁重量比
無肥料區	81.7	38.0	42.0	26.2	22.7
無窒素區	90.5	43.0	46.0	29.7	24.9
無磷酸區	208.5	101.0	99.0	69.7	53.5
無加里區	321.0	142.0	172.0	98.0	98.0
三要素區	345.5	145.0	185.0	100.0	100.0
三要素、石灰區	347.5	164.5	172.0	113.5	93.0
三要素、石灰區	406.5	193.0	199.0	133.1	107.6
有機質					

2.窒素適量試験(第十七年月)

目的 水稻ニ對スル窒素ノ適量ヲ知ラントス

方法 三要素試験ニ同ジ 但シ窒素ハ各試験區ノ量ヲ硫酸アンモニアニテ施シ磷酸及加里

モ窒素ト同量ヲ過磷酸石灰及硫酸加里ニテ施用セリ
成績 (2區平均1區當)

生育調査 (種、本)

試験區名	7月23日		9月1日		10月10日	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數
無窒素區	42.3	5.8	75.6	9.0	63.6	8.9
窒素1貫區	46.5	8.9	80.1	13.2	69.1	15.1
窒素2貫區	50.3	11.6	86.0	16.7	74.5	16.9
窒素3貫區	52.3	13.4	91.8	18.2	75.5	21.4
窒素4貫區	52.2	13.5	92.8	20.5	77.0	19.5
窒素5貫區	53.0	14.3	102.6	28.5	88.9	21.7
窒素6貫區	49.9	12.3	102.4	28.0	90.4	26.8

收量調査

試験區名	總重量	粗重量	藁重量	無窒素區ヲ百トシタル	
				粗重量比	藁重量比
無窒素區	90.5	43.0	46.0	100	100
窒素1貫區	140.0	68.0	72.0	158	157
窒素2貫區	200.0	96.5	99.0	224	215
窒素3貫區	259.5	122.5	129.0	285	280
窒素4貫區	292.5	136.5	150.0	317	326
窒素5貫區	367.5	177.0	181.5	412	395
窒素6貫區	392.0	179.5	197.0	417	428

3. 磷酸適量試験 (第十七年目)

目的 水稻ニ對スル磷酸ノ適量ヲ知ラントス
方法 磷酸ハ試験區ノ如ク窒素及加里ハ各區共反當4貫トス 其他三要素試験ニ準ズ
成績 (2區平均1區當)

生育調査 (種、本)

試験區名	7月23日		9月1日		10月10日	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數
無磷酸區	43.5	5.2	91.0	18.7	76.8	18.0
磷酸0.5貫區	47.3	11.9	90.2	23.1	82.8	22.1
磷酸1貫區	49.4	13.1	96.6	26.6	85.8	26.7
磷酸2貫區	56.4	14.8	101.5	26.1	86.0	23.0
磷酸3貫區	64.8	16.9	100.2	25.8	87.8	26.4
磷酸4貫區	54.6	15.0	98.8	26.7	85.2	25.1

收量調査

試験區名	總重量	粗重量	藁重量	無磷酸區ヲ百トシタル	
				粗重量比	藁重量比
無磷酸區	203.5	101.0	99.0	100	100
磷酸0.5貫區	263.0	130.5	126.0	129	127
磷酸1貫區	340.0	162.0	163.0	160	165
磷酸2貫區	343.0	146.0	182.5	145	184
磷酸3貫區	357.0	167.0	178.5	165	180
磷酸4貫區	347.5	168.0	170.5	166	172

4. 加里適量試験 (第十七年目)

目的 水稻ニ對スル加里適量ヲ檢知セントス
方法 加里ハ各試験區名ノ量ヲ窒素及磷酸ハ各4貫ヲ施ス、其他三要素試験ニ準ズ
成績 (2區平均1區當)

生育調査 (種、本)

試験區名	7月23日		9月1日		10月10日	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數
無加里區	50.8	13.5	94.4	25.3	83.2	23.5
加里0.5貫區	48.0	14.5	95.6	27.2	82.2	26.4
加里1貫區	48.8	12.9	96.0	23.8	82.9	23.5
加里2貫區	51.2	12.6	91.7	22.3	78.8	21.3
加里3貫區	51.2	12.2	100.2	24.0	84.8	24.2
加里4貫區	55.5	13.3	92.9	25.8	81.5	23.8

收量調査

試験區名	總重量	粗重量	藁重量	無加里區ヲ百トシタル	
				粗重量比	藁重量比
無加里區	321.0	142.0	172.0	100	100
加里0.5貫區	333.0	160.5	158.5	113	92
加里1貫區	314.0	153.0	149.5	108	87
加里2貫區	271.5	124.0	135.5	87	79
加里3貫區	312.5	146.0	156.0	103	91
加里4貫區	309.0	137.5	160.5	96	93

5. 石灰窒素施用期試験

目的 石灰窒素ノ施用適期ヲ知ルニアリ

方法 三要素試験ニ同ジ

試験設計

各區共堆肥300貫及ビ磷酸3貫、加里2.5貫ヲ過磷酸石灰及ビ鹽化加里ニテ施用シ、窒素ハ4貫

宛石灰窒素區ハ區名通りニ硫安區ハ元肥ニ施用ス
成績 (2區平均1畝當)

生育調査 (種、本)

試験區名	7月23日		9月1日		10月10日	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數
1.無窒素區	35.5	3.7	80.2	10.7	64.1	11.2
2.石灰窒素7日前施用區	42.2	8.7	101.3	25.9	84.4	29.7
3.石灰窒素3日前施用區	40.4	7.3	105.8	28.6	88.3	28.4
4.石灰窒素1日前施用區	38.3	5.0	103.6	27.8	88.8	26.8
5.硫安區	41.8	9.5	105.8	25.6	87.5	25.2

收量調査

試験區名	總重量	籾重量	藁重量	硫安區ヲ百トシタル	
				籾重量比	藁重量比
1.無窒素區	99.5	47.0	49.0	27	27
2.石灰窒素7日前施用區	360.0	174.0	166.0	98	92
3.石灰窒素3日前施用區	357.0	173.0	169.5	98	94
4.石灰窒素1日前施用區	350.0	171.0	164.0	97	91
5.硫安區	375.0	177.0	181.0	100	100

石灰窒素1日前施用區、同3日前施用區共ニ初期ノ生育ヲ害セラレタルモ後回復シ收量ハ各區共著シキ差異ヲ認メズ
植木鉢試験

1.堆肥ノ燐酸加里肥效試験 (第3年目)

目的 堆肥中ノ燐酸及加里ノ肥效ヲ檢知セントス

方法 本場水田土壤ヲ2萬分ノ1反植木鉢ニ填充シ次記ノ試験區ヲ設ケ之ニ堆肥200瓦及窒素、燐酸、加里各1瓦ヲ硫酸アンモニア、過燐酸石灰、硫酸加里ニテ施ス

品種 畿内早生22號 1鉢2本宛3株植 6月30日挿秧 3區制

成績 (3區平均1鉢當)

試験區名	成熟期ニ於ケル		收量調査			無燐酸區及無加里區ヲ百トシタル	
	草丈	莖數	總重量	籾重量	藁重量	籾重量比	藁重量比
無燐酸區	86.3	8.7	114.8	57.2	52.5	100	100
燐酸區	83.7	11.1	147.1	71.0	70.3	124	134
燐酸堆肥區	69.6	9.9	137.3	69.7	65.3	122	124
無燐酸堆肥區	86.5	10.4	150.5	71.7	78.3	125	149
無加里區	84.6	10.5	133.5	66.8	64.0	100	100
加里區	84.0	9.8	150.2	69.0	75.3	103	118
加里堆肥區	84.8	11.5	164.8	77.0	80.5	115	126
無加里堆肥區	87.7	11.4	152.5	71.0	74.5	106	116

2.油粕類肥效試験 (第3年目)

目的 各種油粕類ノ肥效ヲ比較セントス

方法 本場土壤ヲ2萬分ノ1反植木鉢ニ填充シ下記油粕ヲ用ヒ窒素1瓦宛施用ス。燐酸及加里モ1瓦トシ過燐酸及硫酸加里ヲ以テ施ス

品種 畿内早生22號 1鉢2本宛3株植 6月30日挿秧 2區制

成績 (2區平均1鉢當)

試験區名	成熟期ニ於ケル		收量調査			硫安區收量ヲ百トシタル	
	草丈	莖數	總重量	籾重量	藁重量	籾重量比	藁重量比
無窒素區	56.2	2.6	21.7	8.5	9.5	13	14
大豆粕區	76.3	11.5	138.0	68.3	64.7	104	103
菜種粕區	75.2	10.3	120.8	61.3	58.2	94	81
荳油粕區	76.2	10.0	115.5	63.7	51.8	98	78
硫安區	77.3	11.9	135.8	65.2	66.0	100	100

上ノ成績ニヨレバ油粕類ノ肥效ハ硫安ト大差ナキモノノ如シ

3.トーマス燐肥肥效試験 (第3年目)

目的 トーマス燐肥ノ肥效ヲ檢知セントス

方法 本場土壤ヲ2萬分ノ1反植木鉢ニ填充シ之ニ窒素、燐酸、加里各1瓦宛施用ス 窒素ハ硫酸アンモニア、燐酸ハ各區名ノ肥料、加里ハ硫酸加里ヲ施ス

品種 畿内早生22號 1鉢2本宛3株植 6月30日挿秧 3區制

成績 (3區平均1鉢當)

試験區名	成熟期ニ於ケル		收量調査			無燐酸區收量ヲ百トシタル	
	草丈	莖數	總重量	籾重量	藁重量	籾重量比	藁重量比
無燐酸區	88.2	10.2	141.5	64.3	71.0	100	100
無燐酸石灰區	85.9	11.4	140.7	64.7	72.3	100	102
トーマス燐肥區	90.3	12.6	153.7	70.0	78.3	109	110
トーマス燐肥石灰區	86.3	11.0	150.0	68.0	77.7	106	109
過燐酸石灰區	91.0	13.1	169.8	81.8	82.2	127	116
過燐酸石灰石灰區	80.0	10.3	146.0	61.8	78.8	96	111

尚ホ普通火山灰土壤及味噌土土壤ニ付施行シタル試験成績ハ次記ノ如シ (第2年目)

試験區名	成熟期ニ於ケル		收量調査			無燐酸區收量ヲ百トシタル	
	草丈	莖數	總重量	籾重量	藁重量	籾重量比	藁重量比
普火	88.3	12.4	136.3	73.3	57.8	1222	615
山							
通灰							
過燐酸石灰區	88.3	12.4	136.3	73.3	57.8	1222	615
トーマス燐肥區	75.9	12.7	138.0	71.5	65.0	1191	691
無燐酸區	58.5	2.7	21.0	6.0	9.4	100	100

試験區名	成熟期=於ケル		收 量 調 査			無 磷 酸 區 收 量 ヲ 百 ト シ タ ル		
	草 丈	莖 數	總 重 量	根 重 量	葉 重 量	根 重 量 比	葉 重 量 比	
味 噌 土	過 磷 酸 石 灰 區	92.8	9.0	125.0	59.8	62.8	118	103
	トーマス 磷 肥 區	89.1	9.8	128.5	58.3	62.0	110	102
	無 磷 酸 區	84.4	6.5	123.8	53.0	60.8	100	100

4. 土性ト施肥量試験 (第二年目)

目 的 土性ノ差異ト施肥量ノ關係ヲ檢知セントス

方 法 2萬分ノ1反植木鉢=砂土、壤土、埴土、腐植土ヲ填充シ磷酸、加里ハ各1瓦宛、窒素ハ0瓦、1瓦、3瓦、5瓦ヲ硫酸、過磷酸、硫酸加里ヲ以テ施ス

品 種 畿内早生22號 1鉢2本宛3株植 6月30日挿秧 3區制

成 績 (3區平均1鉢當)

試験區名	成熟期=於ケル		收 量 調 査			窒素1瓦區ヲ百トシタル	
	草 丈	莖 數	總 重 量	根 重 量	葉 重 量	根 重 量 比	葉 重 量 比
砂 土							
窒素0瓦區	55.0	2.5	12.5	4.0	5.7	10	11
窒素1瓦區	75.8	9.6	98.5	39.2	53.2	100	100
窒素3瓦區	82.7	19.2	234.5	97.2	131.7	248	248
窒素5瓦區	88.5	18.8	243.2	88.3	149.0	225	280
壤 土							
窒素0瓦區	50.3	2.3	16.3	7.8	7.0	16	12
窒素1瓦區	74.7	11.5	112.2	49.3	58.5	100	100
窒素3瓦區	86.1	14.7	215.2	100.8	108.8	204	186
窒素5瓦區	87.5	25.2	330.5	147.7	175.5	300	300
埴 土							
窒素0瓦區	54.6	2.2	22.0	6.3	12.8	12	14
窒素1瓦區	78.7	12.7	152.3	54.2	94.0	100	100
窒素3瓦區	82.3	20.5	276.7	94.3	175.0	174	186
窒素5瓦區	88.5	20.7	274.7	105.3	138.0	194	147
腐 植 土							
窒素0瓦區	57.7	3.2	27.3	12.3	11.8	26	17
窒素1瓦區	76.7	11.0	121.7	47.0	70.3	100	100
窒素3瓦區	81.7	12.3	160.7	58.3	96.8	124	138
窒素5瓦區	81.7	10.7	125.2	33.3	86.2	71	123

5. 腐植土ノ堆肥效果試験 (第二年目)

目 的 腐植質土壤ニ對スル堆肥ノ效果ヲ檢知セントス

方 法 2萬分ノ1反植木鉢=腐植土ヲ填充シ次記ノ肥料設計ニテ試験ヲ行ヒタリ、肥料以外ハ他ノ植木鉢試験ト同ジ

試験設計

試験區名	窒 素	磷 酸	加 里	堆 肥	石 灰
1. 無 窒 素 區	—	1.0	1.0	—	—
2. 硫 安 區	1.0	1.0	1.0	—	—
3. 硫 安 倍 量 區	2.0	1.0	1.0	—	—
4. 堆 肥 少 量 區	1.0	1.0	1.0	100	—
5. 堆 肥 多 量 區	1.0	1.0	1.0	200	—
6. 堆 肥 少 量 石 灰 區	1.0	1.0	1.0	100	10
7. 堆 肥 多 量 石 灰 區	1.0	1.0	1.0	200	10
8. 水 積 堆 肥 少 量 區	1.0	1.0	1.0	100(水積)	—
9. 水 積 堆 肥 多 量 區	1.0	1.0	1.0	200(水積)	—
10. 水 積 堆 肥 少 量 石 灰 區	1.0	1.0	1.0	100(水積)	10
11. 水 積 堆 肥 多 量 石 灰 區	1.0	1.0	1.0	200(水積)	10
12. 堆 肥 無 窒 素 區	—	1.0	1.0	100	—
13. 石 灰 無 窒 素 區	—	1.0	1.0	—	10
14. 堆 肥、石 灰 無 窒 素 區	—	1.0	1.0	100	10

窒素、磷酸、加里ハ硫酸アンモニア、過磷酸石灰、硫酸加里ヲ以テ施用ス

成 績 (2區平均1鉢當)

試験區名	成熟期=於ケル		收 量 調 査			硫安區ヲ百トシタル	
	草 丈	莖 數	總 重 量	根 重 量	葉 重 量	根 重 量 比	葉 重 量 比
1. 無 窒 素 區	74.5	5.3	55.8	27.5	24.8	49	43
2. 硫 安 區	83.8	7.5	120.8	56.3	58.0	100	100
3. 硫 安 倍 量 區	82.8	7.3	103.0	45.5	49.8	81	86
4. 堆 肥 少 量 區	85.6	7.9	106.8	52.5	45.5	93	78
5. 堆 肥 多 量 區	82.5	9.7	119.0	61.5	55.0	109	95
6. 堆 肥 少 量 石 灰 區	82.7	6.5	96.3	38.0	43.5	67	75
7. 堆 肥 多 量 石 灰 區	77.0	7.0	85.5	40.3	42.3	72	73
8. 水 積 堆 肥 少 量 區	83.0	8.7	109.3	54.8	50.3	97	87
9. 水 積 堆 肥 多 量 區	71.1	8.4	98.5	44.3	47.3	79	82
10. 水 積 堆 肥 少 量 石 灰 區	76.4	7.9	84.0	41.0	41.0	73	71
11. 水 積 堆 肥 多 量 石 灰 區	77.3	7.0	68.5	29.5	34.3	52	59
12. 堆 肥 無 窒 素 區	76.4	6.5	84.5	38.5	39.5	68	68
13. 石 灰、無 窒 素 區	74.0	6.0	57.8	28.5	26.8	51	46
14. 堆 肥、石 灰 無 窒 素 區	70.8	5.7	58.5	31.3	26.8	56	46

上記成績ニヨレバ堆肥、石灰ノ效果顯著ナラズ

6. 窒素分施肥試験 (第二年目)

目 的 窒素肥料分施ノ效果ヲ檢知セントス

方法 2萬分ノ1反植木鉢ニ本場土壤ヲ填充シ次記ノ肥料設計ニテ試験ヲ行ヒタリ、施肥以外ハ他ノ植木鉢試験ト同シ
試験設計

試験區名	磷	酸	加	窒 素				
				元 肥	7月10日	7月20日	7月30日	8月10日
1. 全量元肥區	1.0	1.0	1.0	1.0	—	—	—	—
2. } 等量分施肥區	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	—	—	—
3. }	1.0	1.0	1.0	0.5	—	0.5	—	—
4. }	1.0	1.0	1.0	0.8	0.2	—	—	—
5. } ⁴ / ₅ 元肥區	1.0	1.0	1.0	0.8	—	0.2	—	—
6. } ¹ / ₅ 追肥區	1.0	1.0	1.0	0.8	—	—	0.2	—
7. }	1.0	1.0	1.0	0.8	—	—	—	0.2
8. ⁴ / ₅ 施用區	1.0	1.0	1.0	0.8	—	—	—	—
9. ¹ / ₂ 施用區	1.0	1.0	1.0	0.5	—	—	—	—
10. 無窒素區	1.0	1.0	—	—	—	—	—	—
11. 無肥料區	—	—	—	—	—	—	—	—

窒素、磷、加里ハ硫酸アンモニア、過磷酸石灰、硫酸加里ヲ以テ施用ス
成績 (2區平均鉢當)

試験區名	成熟期ニ於ケル		收 量 調 査			元肥ヲ百トシタル	
	草 丈	莖 數	總重量	根重量	莖重量	根重量比	莖重量比
1. 全量元肥區	86.7	11.3	149.2	73.2	71.3	100	100
2. } 等量分施肥區	85.8	11.4	136.8	67.7	69.3	93	97
3. }	88.7	13.3	154.5	75.3	71.7	103	101
4. }	86.4	11.4	158.3	71.2	71.5	97	100
5. } ⁴ / ₅ 元肥區	87.5	12.2	147.0	73.8	68.0	101	95
6. } ¹ / ₅ 追肥區	88.9	11.5	145.8	69.2	68.3	95	96
7. }	86.6	10.0	143.6	75.5	65.0	103	91
8. ⁴ / ₅ 施用區	84.7	9.2	134.2	65.3	63.3	89	89
9. ¹ / ₂ 施用區	78.1	7.5	89.2	42.7	42.4	58	60
10. 無窒素區	67.6	2.0	28.8	13.8	12.3	39	17
11. 無肥料區	66.3	3.0	34.0	16.2	15.5	22	22

上記成績ニヨレバ窒素分施ノ效果顯著ナラズ

2. 麥

圃場試験

1. 窒素質肥料施用試験 (第一年度)

目的 小麥ニ對シ硫酸、石灰窒素等窒素質肥料ノ最適用法ヲ知ラントスルニアリ

方法 圃場試験 1區12坪 單聯 品種伊賀筑後オレゴン (畑地、跡作ハ大豆均一栽培)

試験設計 (反當貫)

試験區名	元 肥				第1回 追肥(硫酸)	第2回 追肥(硫酸)
	窒 素	磷 酸	加 里	堆 肥		
1. 硫酸全量元肥區	2.50	1.50	1.00	300	—	—
2. 硫酸 ¹ / ₂ 分施肥區	1.25	1.50	1.00	300	1.25	—
3. 硫酸 ² / ₃ 元肥 ¹ / ₃ 追肥區	1.67	1.50	1.00	300	0.83	—
4. 硫酸 ¹ / ₃ 元肥 ² / ₃ 追肥區	0.83	1.50	1.00	300	1.67	—
5. ¹ / ₃ 元肥 ¹ / ₃ 純2回追肥區	0.83	1.50	1.00	300	0.84	0.83
6. 石灰窒素全量元肥區	2.50	1.50	1.00	300	—	—
7. ¹ / ₂ 石灰窒素元肥區	1.25	1.50	1.00	300	1.25	—
8. ² / ₃ 石灰窒素元肥區	1.67	1.50	1.00	300	0.83	—
9. ¹ / ₃ 石灰窒素元肥區	0.83	1.50	1.00	300	1.67	—
10. ¹ / ₃ 純硫酸追肥區	0.83	1.50	1.00	300	0.84	0.83

磷、加里ハ過磷酸石灰、鹽化加里ニテ全量元肥、硫酸ハ元肥ト追肥ニ施用ス。石灰窒素ハ播種1週間前ニ施用シ土壤トヨク攪拌ス。元肥ハ10月26日、第1回追肥ハ8月15日、第2回追肥ハ4月2日施用ス。

播種期 10月27日 畦幅2尺 播幅6寸 其他ハ本場耕種概ニヨル

收穫期 6月23日

成績 昭和13年度ノ生育並ニ收量ニ關スル調査成績ハ次ノ如シ

生 育 調 査 (種、本)

試験區名	4月2日		4月17日		4月27日		5月8日		5月18日		6月21日		
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	
1. 硫酸全量元肥區	13.5	58.7	31.0	94.7	48.7	75.7	79.2	60.7	76.0	16.0	57.0	101.3	14.8
2. 硫酸 ¹ / ₂ 分施肥區	13.5	51.7	30.7	97.7	42.0	66.0	74.7	64.8	78.3	15.2	61.3	99.8	15.0
3. 硫酸 ² / ₃ 元肥 ¹ / ₃ 追肥區	13.2	49.3	27.3	90.0	44.8	74.9	70.2	59.0	80.3	15.5	54.0	94.7	14.2
4. 硫酸 ¹ / ₃ 元肥 ² / ₃ 追肥區	13.0	51.3	32.2	89.7	51.2	96.3	71.0	57.7	77.0	15.5	55.3	93.8	14.8
5. ¹ / ₂ 元肥 ¹ / ₃ 純2回追肥區	12.5	35.0	26.2	67.0	41.3	73.0	69.7	44.3	73.7	16.2	42.3	88.8	14.2
6. 石灰窒素全量元肥區	12.3	60.0	27.3	91.7	46.5	74.7	72.3	62.3	74.2	14.8	65.0	90.8	13.7

試 驗 區 名	4月2日		4月17日		4月27日		5月8日		5月18日		6月21日	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數
7. 1/2 石灰窒素元肥區	11.5	43.0	28.0	86.3	44.3	52.7	72.7	58.7	72.7	15.3	58.3	94.0
7. 1/2 硫安追肥區												
8. 2/3 石灰窒素元肥區	12.2	34.3	28.8	91.3	47.3	77.8	73.2	63.7	75.0	15.7	56.3	96.0
8. 1/3 硫安追肥區												
9. 1/3 石灰窒素元肥區	10.2	35.0	22.2	75.0	44.5	64.3	69.7	50.7	60.3	16.0	47.0	88.0
9. 2/3 硫安追肥區												
10. 1/3 石灰窒素元肥區	11.2	51.0	22.8	84.3	44.3	77.3	71.8	57.3	70.8	14.3	41.0	90.2
10. 1/3 宛2回追肥區												

收 量 調 査 (反當貫、石)

試 驗 區 名	稈重量	子實重量	子實容量	1升重量	指 數
1. 硫安全量元肥區	109.500	118.750	3.528	337	100
2. 硫安 1/2 分施區	100.325	119.500	3.500	342	99
3. 硫安 2/3 元肥 1/3 追肥區	115.700	130.225	3.853	338	109
4. 硫安 1/3 元肥 2/3 追肥區	108.950	110.025	3.218	342	91
5. 硫安 1/3 元肥 1/3 2回追肥區	89.225	110.900	3.235	343	92
6. 石灰窒素全量元肥區	82.175	98.550	2.898	340	82
7. 1/2 石灰窒素元肥區	105.675	133.400	3.795	352	108
7. 1/2 硫安追肥區					
8. 2/3 石灰窒素元肥區	89.225	119.475	3.388	353	96
8. 1/3 硫安追肥區					
9. 1/3 石灰窒素元肥區	77.675	112.125	3.188	351	90
9. 2/3 硫安追肥區					
10. 1/3 石灰窒素元肥區	77.275	104.625	2.968	353	84
10. 1/3 宛2回追肥區					

上記成績ニヨレバ硫安施用ノモノ石灰窒素施用ノモノニ比シ稍々優リ且ツ施用窒素ノ 2/3 - 1/2ヲ元肥ニ施用セシモノ成績良好ナリ

2. 石灰窒素施用法試験 (第一年目)

目 的 小麦ニ對シ最適ナル石灰窒素施用法ヲ知ラントス

方 法 圃場試験 1區12坪 單聯 品種伊賀筑後オレゴン(畑地、跡作ハ大豆均一栽培)

試験設計 (反當貫)

試 驗 區 名	元 肥				追肥(硫安)
	石灰窒素	過 磷 酸	硫酸加里	堆 肥	
1. 2尺-4寸石灰窒素條播區	1.50	1.50	1.00	300	1.00
2. 2尺-4寸石灰窒素全面撒布區	1.50	1.50	1.00	300	1.00
3. 2尺-6寸石灰窒素條播區	1.50	1.50	1.00	300	1.00
4. 2尺-6寸石灰窒素全面撒布區	1.50	1.50	1.00	300	1.00
5. 2尺-8寸石灰窒素條播區	1.50	1.50	1.00	300	1.00
6. 2尺-8寸石灰窒素全面撒布區	1.50	1.50	1.00	300	1.00
7. 石灰窒素全量元肥條播區	2.50	1.50	1.00	300	—
8. 石灰窒素全量元肥全面撒布區	2.50	1.50	1.00	300	—

過磷酸石灰、硫酸加里元ハ全量肥、石灰窒素ハ播種1週間前、硫安ハ追肥ニ施用ス。元肥ハ10月26日、追肥ハ3月15日ニ施ス。

播種期 10月27日、畦幅及播幅ハ區名通り(第7區及第8區ハ2尺-6寸トス) 其他ハ本場耕種梗概ニヨル

收穫期 6月23日

成 績 昭和13年度ノ生育並ニ收量ニ關スル調査成績ハ次ノ如シ

生 育 調 査 (種、本)

試 驗 區 名	4月2日		4月17日		4月27日		5月8日		5月18日		6月21日	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數
1. 2尺-4寸石灰窒素條播區	14.3	50.3	29.5	83.0	48.0	63.3	74.7	63.7	73.7	16.3	58.3	85.0
2. 2尺-4寸石灰窒素全面撒布區	14.0	53.7	30.7	89.9	42.0	66.0	78.8	61.3	75.0	15.0	52.0	97.0
3. 2尺-6寸石灰窒素條播區	11.7	48.3	25.3	119.0	44.8	74.7	71.2	77.3	73.7	15.7	68.0	93.3
4. 2尺-6寸石灰窒素全面撒布區	13.7	59.0	30.3	158.0	51.4	66.3	83.2	91.3	84.7	14.0	80.3	93.8
5. 2尺-8寸石灰窒素條播區	12.3	52.0	24.8	120.0	41.3	73.0	75.3	78.7	78.0	14.5	55.3	94.8
6. 2尺-8寸石灰窒素全面撒布區	12.7	70.0	29.0	138.7	45.2	88.7	78.2	85.7	82.3	15.8	71.3	96.2
7. 石灰窒素全量元肥條播區	11.8	47.0	27.0	87.3	43.8	65.0	72.0	63.7	73.3	15.3	61.3	90.2
8. 石灰窒素全量元肥全面撒布區	10.7	47.0	26.5	123.3	44.3	77.3	72.5	76.0	80.5	14.0	64.3	96.0

收 量 調 査 (反當貫、石)

試 驗 區 名	稈重量	子實重量	子實容量	1升重量	指 數
1. 2尺-4寸石灰窒素條播區	103.325	132.300	3.770	351	100
2. 2尺-4寸石灰窒素全面撒布區	142.250	150.700	4.330	348	114
3. 2尺-6寸石灰窒素條播區	113.450	131.875	3.855	342	102
4. 2尺-6寸石灰窒素全面撒布區	122.125	132.950	3.888	342	103
5. 2尺-8寸石灰窒素條播區	105.050	138.550	4.038	343	107
6. 2尺-8寸石灰窒素全面撒布區	103.600	121.475	3.470	350	92
7. 石灰窒素全量元肥條播區	82.500	95.250	3.120	351	83
8. 石灰窒素全量元肥全面撒布區	92.450	108.650	3.158	344	84

上記成績ニヨレバ概シテ全面撒布ノモノ條施ヨリ良好ニシテ且ツ石灰窒素全量元肥ノモノ成績著シク劣レリ

3. 磷酸加里施用法試験 (第一年目)

目 的 水田ニ毛作ニ對スル磷後、加里ノ效果ヲ檢知スルト共ニ最合理的施用法ヲ知ラントス

方法 圃場試験 1區15坪 品種 大麥大六角 2區制 (水田裏作)
 試験設計 (反當貫)

試験區名	堆肥	窒素	磷	酸	加里
1.各作無磷區	—	2.5	—	—	1.5
2.冬作磷區	—	2.5	—	1.5	1.5
3.三要素區	—	2.5	—	1.5	1.5
4.堆肥、冬作、磷區	200	2.5	—	1.5	1.5
5.堆肥、三要素區	200	2.5	—	1.5	1.5
6.無加里區	—	2.5	—	1.5	—
7.夏作加里區	—	2.5	—	1.5	—
8.冬作加里區	—	2.5	—	1.5	1.5
9.堆肥、夏作加里區	200	2.5	—	1.5	—
10.堆肥、冬作加里區	200	2.5	—	1.5	1.5

窒素ハ硫酸アンモニア、磷酸ハ過磷酸石灰、加里ハ硫酸加里ヲ施用ス
 播種期 10月25日 畦幅2尺 播幅6寸 其他ハ本場耕種梗概ニヨル
 收穫期 6月17日
 成績 昭和13年度ノ生育並ニ收量ニ關スル調査成績ハ次ノ如シ (2區平均)

生育調査 (種、本)

試験區名	3月23日		4月5日		4月17日		4月27日		5月8日		5月18日	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	穗數
1.各作無磷區	8.3	25.7	7.5	27.3	11.2	39.7	15.7	18.7	32.0	13.7	48.5	10.0
2.冬作磷區	11.8	18.3	15.0	45.6	18.5	41.6	33.6	37.6	62.0	45.7	69.0	10.3
3.三要素區	14.5	37.6	20.5	80.6	31.6	86.3	51.0	71.6	66.8	63.6	68.5	9.3
4.堆肥、冬作磷區	14.3	26.6	22.0	63.0	34.3	61.0	47.8	54.0	70.1	43.0	73.0	10.8
5.堆肥、三要素區	11.8	24.6	17.5	75.6	30.3	80.3	46.3	68.3	73.8	42.7	80.0	9.8
6.無加里區	12.6	18.0	14.5	53.0	21.2	50.0	39.5	43.0	57.7	32.8	66.5	9.7
7.夏作加里區	11.2	34.0	14.0	62.0	27.3	61.3	43.0	46.0	66.0	37.0	68.3	11.2
8.冬作加里區	12.8	21.0	16.8	77.0	28.8	75.0	44.0	52.3	66.2	48.0	76.3	10.2
9.堆肥、夏作加里區	14.2	33.3	18.6	65.3	29.8	68.7	47.3	59.3	59.8	42.7	71.3	10.0
10.堆肥、冬作加里區	11.3	24.0	16.0	55.0	24.8	58.0	44.0	46.5	56.0	35.5	70.0	10.5

收量調査 (反當貫、石)

試験區名	稈重量	子實重量	子實容量	1升重量	指數
1.各作無磷區	10.740	14.120	0.500	282	20
2.冬作磷區	35.705	59.640	1.864	320	75
3.三要素區	57.920	79.260	2.500	317	100
4.堆肥、冬作磷區	36.920	88.120	2.720	324	109
5.堆肥、三要素區	57.740	115.260	3.502	330	140
6.無加里區	28.900	62.320	1.910	325	76

試験區名	稈重量	子實重量	子實容量	1升重量	指數
7.夏作加里區	30.000	68.580	2.148	320	86
8.冬作加里區	37.040	78.580	2.398	325	96
9.堆肥夏作加里區	41.520	78.480	2.442	320	98
10.堆肥冬作加里區	43.140	90.160	2.800	321	112

上記成績ニヨレバ麥作ニ對シテハ堆肥、磷酸、加里何レモソノ效果顯著ナリ

4. 縣獎勵配合肥料試験 (第一年度)

目的 縣獎勵配合肥料ニヨリ標準栽培ヲ行ハントス

方法 圃場試験 1區面積10—20坪 單聯 品種 大麥大六角

試験設計 (反當貫)

試験區名	元肥					追加 (硫酸)
	堆肥	磷	安	過磷酸	鹽化加里	
麥第1號區	200	3.00	—	6.00	1.00	1.5
麥第2號區	200	5.00	—	4.30	0.70	1.0

播種期 10月25日 畦幅2尺 播幅6寸 其他ハ本場耕種梗概ニヨル

收穫期 6月17日 成績次ノ如シ

生育調査 (種、本)

試験區名	3月23日		4月4日		4月17日		4月27日		5月8日		6月14日	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	穗數
麥第1號區	12.0	30.5	20.3	86.0	25.7	76.5	42.5	72.0	68.5	66.0	75.3	9.5
麥第2號區	11.8	43.6	15.5	45.6	24.5	89.3	43.0	70.0	66.5	64.3	71.8	9.8

收量調査 (反當貫、石)

試験區名	稈重量	子實重量	子實容量	1升重量	指數
麥第1號區	47.283	94.665	2.958	320	100
麥第2號區	42.310	91.972	2.874	320	97

5. 石灰窒素施用試験 (第一年度)

目的 不整地播ノ際ニ於ケル石灰窒素ノ施用法ヲ知ラントス

方法 圃場試験 1區面積15—30坪 單聯 品種 大麥大六角

試験設計 (反當貫)

試験區名	元肥				追肥(硫安)
	堆肥	窒素(石灰窒素)	磷酸	加里	
1.條播未覆土區	200	1.5	1.5	1.0	1.0
2.條播覆土區	200	1.5	1.5	1.0	1.0
3.全面撒布未覆土區	200	1.5	1.5	1.0	1.0
4.全面撒布覆土區	200	1.5	1.5	1.0	1.0

磷酸ハ過磷酸石灰、加里ハ硫酸加里ヲ施用ス覆土區ハ播溝土壤ト石灰窒素トヨク混合シ覆土ス。石灰窒素ハ播種當日施用セリ

播種期 10月25日 畦幅2尺 播幅6寸 其他ハ本場耕種梗概ニヨル。收穫期 6月17日

生育調査(糧、本)

試験區名	3月23日		4月5日		4月17日		4月27日		5月8日		6月14日	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	穂長 穂數
1.條播未覆土區	9.3	33.0	13.3	79.5	24.9	61.5	44.8	56.5	58.5	45.0	66.3	9.3 52.0
2.條播覆土區	12.0	37.3	25.0	72.0	28.8	68.3	38.1	55.6	65.0	45.6	73.7	9.7 41.3
3.全面撒布未覆土區	12.1	15.6	27.1	45.6	23.7	36.0	38.5	37.0	60.5	30.5	65.0	9.5 31.0
4.全面撒布覆土區	11.1	18.3	14.0	44.6	24.3	49.3	39.8	37.6	61.6	33.3	69.0	9.3 31.0

收量調査(反當貫、石)

試験區名	稈重量	子實重量	子實容量	1升重量	指數
1.條播未覆土區	29.384	66.320	2.040	325	100
2.條播覆土區	43.657	99.019	3.056	324	149
3.全面撒布未覆土區	35.619	79.021	2.401	329	117
4.全面撒布覆土區	32.327	71.709	2.390	300	117

上記成績ニヨレバ石灰窒素ヲ條施シ、播溝土壤トヨク混合ノ覆土セルモノ好成績ヲ示セリ
 框試験

1. 三要素試験跡地均一栽培 (第一年)

目的 15ヶ年間三要素試験ヲ施行シタル跡地ニ均一栽培ヲ行ヒ地力ノ均齊ヲ計ルト共ニ三要素ノ殘效ヲ檢知セントス

方法 面積1.200分1反無底コンクリート框 2區制 窒素2貫宛硫安ヲ以テ施用ス 供試品種 大麥大六角

成績 (2區平均1框當)

生育調査(糧、本)

試験區名	3月23日		4月5日		4月17日		4月27日		5月18日		6月14日	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	穂長 穂數
無肥料區跡地	7.8	20.3	11.0	54.8	19.7	69.5	38.6	63.5	83.9	41.8	71.7	9.2 29.8
無窒素區跡地	9.7	26.0	15.3	84.3	28.5	103.0	45.8	82.8	84.0	45.3	83.8	9.3 39.5
無磷酸區跡地	8.9	15.3	12.5	27.0	17.2	43.3	27.4	47.3	51.8	37.8	78.0	10.2 35.5
無加里區跡地	7.3	23.8	10.9	38.5	20.2	60.5	37.4	59.0	60.0	51.5	82.3	9.4 44.8
三要素區跡地	12.3	29.3	14.3	55.0	26.0	65.3	43.9	62.0	64.5	52.8	85.4	8.9 51.8
三要素、石灰區跡地	9.1	24.5	12.4	71.5	26.2	96.8	45.5	74.8	71.4	58.8	86.7	9.2 52.0
三要素石灰、有機質區跡地	9.3	15.8	10.3	60.5	29.5	60.0	46.3	60.0	66.3	38.0	70.5	9.5 40.5

收量調査

試験區名	總重量	子實重量	稈重量	一升重量	指數
無肥料區跡地	205	106	75	305	85
無窒素區跡地	225	122	75	310	98
無磷酸區跡地	166	80	65	290	64
無加里區跡地	220	120	75	305	96
三要素區跡地	226	125	78	305	100
三要素、石灰區跡地	241	137	79	310	110
三要素石灰、有機質區跡地	250	142	83	305	114

2. 窒素適量試験跡地均一栽培 (第一年)

目的 三要素試験跡地均一栽培ニ同ジ

方法 面積1.200分1反無底コンクリート框 2區制 磷酸1.5貫、加里1.25貫(反當)ヲ過磷酸石灰及ビ硫酸加里ヲ以テ施用ス。供試品種 大麥 大六角

成績 (2區平均1框當)

生育調査(糧、本)

試験區名	3月23日		4月5日		4月17日		4月27日		5月8日		6月14日	
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	穂長 穂數
無窒素區跡地	9.7	26.0	15.3	84.3	28.5	103.0	45.8	82.8	84.0	45.3	83.8	9.3 39.5
窒素0.5貫區跡地	9.4	22.3	12.2	48.5	22.3	50.3	30.6	40.0	60.9	40.7	72.2	9.0 38.7
窒素1貫區跡地	8.3	27.3	10.7	54.5	22.5	69.8	35.8	56.8	57.9	46.5	72.0	8.7 45.7
窒素1.5貫區跡地	9.2	24.0	13.5	70.3	23.7	66.8	37.8	63.3	60.8	47.5	76.2	8.9 33.5
窒素2貫區跡地	9.3	23.8	12.5	62.8	23.1	74.5	35.7	56.0	57.9	36.5	73.9	8.4 42.8
窒素2.5貫區跡地	8.8	37.0	12.8	72.0	24.5	79.0	39.3	54.3	62.8	57.8	77.8	10.3 46.5
窒素3貫區跡地	9.8	36.5	13.4	91.0	25.1	86.0	40.5	62.3	59.8	62.5	80.0	9.9 49.3

收 量 調 査

試 驗 區 名	總 重 量	子 實 重 量	稈 重 量	一 升 重 量	指 數
無 窒 素 區 跡 地	225	122	75	310	100
窒 素 0.5 貫 區 跡 地	92	52	30	305	48
窒 素 1 貫 區 跡 地	110	60	34	315	49
窒 素 1.5 貫 區 跡 地	129	73	43	315	60
窒 素 2 貫 區 跡 地	188	77	47	315	68
窒 素 2.5 貫 區 跡 地	148	79	51	315	65
窒 素 3 貫 區 跡 地	150	84	51	320	69

3. 磷 酸 適 量 試 驗 跡 地 均 一 栽 培 (第一 年)

目 的 三 要 素 試 驗 跡 地 均 一 栽 培 = 同 ジ

方 法 面 積 1.200 分 1 反 無 底 コ ン ク リ ー ト 框 2 區 制 窒 素 2 貫、加 里 1.25 貫 (反 當) ヲ 硫 安 及 ビ 過 磷 酸 ヲ 以 テ 施 用 ス。供 試 品 種 大 麥 大 六 角

成 績 (2 區 平 均 1 框 當)

生 育 調 査 (種、本)

試 驗 區 名	3 月 23 日		4 月 5 日		4 月 17 日		4 月 27 日		5 月 8 日		6 月 14 日	
	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	穗 長 穗 數
無 磷 酸 區 跡 地	8.9	15.3	12.5	27.0	17.2	43.3	27.4	47.3	51.8	37.8	78.0	10.2 35.5
磷 酸 250 匁 區 跡 地	7.6	13.5	13.8	57.0	25.3	73.3	45.6	65.5	53.9	26.3	76.9	8.5 22.3
磷 酸 0.5 貫 區 跡 地	10.9	20.3	12.9	82.8	29.4	117.0	46.5	83.5	54.9	35.0	78.8	9.1 29.8
磷 酸 1 貫 區 跡 地	8.6	22.0	15.8	45.5	19.8	52.0	27.9	55.3	77.8	61.0	84.3	9.4 46.3
磷 酸 1.5 貫 區 跡 地	9.4	25.0	12.0	61.5	22.3	103.0	44.6	79.8	74.5	61.5	85.6	8.7 50.5
磷 酸 2 貫 區 跡 地	7.6	13.5	11.4	75.0	24.2	105.5	41.0	93.3	64.0	56.5	80.4	9.8 35.5

收 量 調 査

試 驗 區 名	總 重 量	子 實 重 量	稈 重 量	一 升 重 量	指 數
無 磷 酸 區 跡 地	166	80	65	290	100
磷 酸 250 匁 區 跡 地	216	102	83	280	127
磷 酸 0.5 貫 區 跡 地	212	113	76	280	141
磷 酸 1 貫 區 跡 地	246	133	82	300	166
磷 酸 1.5 貫 區 跡 地	253	126	82	305	158
磷 酸 2 貫 區 跡 地	269	153	92	310	191

4. 加 里 適 量 試 驗 跡 地 均 一 栽 培 (第一 年)

目 的 三 要 素 試 驗 跡 地 均 一 栽 培 = 同 ジ

方 法 面 積 1.200 分 1 反 無 底 コ ン ク リ ー ト 框 2 區 制 窒 素 2 貫、磷 酸 1.5 貫 (反 當) ヲ 硫 安 及 ビ 過 磷 酸 ヲ 以 テ 施 用 ス。供 試 品 種 大 麥 大 六 角

成 績 (2 區 平 均 1 框 當)

生 育 調 査 (種、本)

試 驗 區 名	3 月 23 日		4 月 5 日		4 月 17 日		4 月 27 日		5 月 8 日		6 月 14 日	
	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	莖 數	草 丈	穗 長 穗 數
無 加 里 區 跡 地	7.3	23.8	10.9	38.5	20.2	60.5	37.4	59.0	60.0	51.5	82.3	9.4 44.8
加 里 250 匁 區 跡 地	9.8	47.5	17.7	76.3	27.5	103.0	47.3	88.3	72.7	64.5	67.3	8.5 22.3
加 里 0.5 貫 區 跡 地	11.4	31.7	17.0	57.0	27.9	96.3	47.7	82.7	72.3	60.0	70.7	8.9 27.3
加 里 1 貫 區 跡 地	12.0	27.3	13.2	97.5	24.7	87.0	44.3	66.0	71.8	50.0	82.3	9.0 56.5
加 里 1.5 貫 區 跡 地	9.4	17.3	13.8	83.0	26.0	100.7	47.9	79.7	72.2	53.5	80.8	9.0 57.5
加 里 2 貫 區 跡 地	12.0	62.7	17.2	135.0	31.7	164.0	44.8	90.0	73.0	74.5	83.2	9.2 58.0

收 量 調 査

試 驗 區 名	總 重 量	子 實 重 量	稈 重 量	一 升 重 量	指 數
無 加 里 區 跡 地	220	120	75	305	100
加 里 250 匁 區 跡 地	254	149	81	310	124
加 里 0.5 貫 區 跡 地	225	128	77	295	107
加 里 1 貫 區 跡 地	241	136	77	295	113
加 里 1.5 貫 區 跡 地	251	143	79	310	119
加 里 2 貫 區 跡 地	271	156	89	315	130

5. 石 灰 窒 素 施 用 時 期 試 驗 (第一 年 目)

目 的 麥 作 = 對 ス ル 石 灰 窒 素 施 用 適 期 ヲ 檢 知 セ ン ト ス

方 法 面 積 1.200 分 1 反 無 底 コ ン ク リ ー ト 框 2 區 制。窒 素 4 貫、磷 酸 3 貫、加 量 2.5 貫 (反 當) ヲ 石 灰 窒 素、過 磷 酸 及 ビ 硫 酸 加 里 ニ テ 元 肥 ニ 施 用 シ、他 ニ 堆 肥 300 貫 並 ニ 石 灰 10 貫 (反 當) ヲ 施 ス。

供 試 品 種 小 麥 伊 賀 筑 後 オ レ ゴ ン

成 績 (2 區 平 均 1 框 當)

生 育 調 査 (種、本)

試験區名	3月23日		4月5日		4月17日		4月27日		5月8日		6月14日		
	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	草丈	莖數	
無窒素區	9.2	28.7	13.6	58.7	22.2	70.2	36.5	59.2	63.6	38.7	84.0	8.9	23.7
石灰窒素區	9.7	28.0	13.4	27.7	27.9	68.5	40.2	67.0	69.0	63.7	81.3	9.5	23.0
石灰前日施用區	9.8	32.7	15.2	84.0	28.7	113.5	48.3	112.5	75.1	89.7	107.0	14.1	20.5
石灰前3日施用區	9.3	33.3	12.4	73.3	25.3	126.0	50.0	114.8	77.8	93.3	103.6	14.5	26.0
石灰前1週間施用區	10.2	31.7	14.1	72.7	23.8	112.5	46.1	104.0	77.8	92.5	100.4	15.7	26.8

收量調査

試験區名	總重量	子實重量	稈重量	指數
無窒素區	96	35	45	100
石灰窒素區	270	107	118	305
石灰前日施用區	294	109	121	311
石灰前3日施用區	316	112	149	320
石灰前1週間施用區	380	135	170	386

上記成績ニヨレバ石灰窒素ハ1週間前ニ施用セシモノ最良ノ成績ヲ示セリ

植木鉢試験

1. トーマス燐肥肥効試験 (第三年目)

目的 トーマス燐肥ノ肥効ヲ檢知セントス

方法 水稻ニ對シ本試験ヲ施行セシボットニ窒素、燐酸、加里各1瓦宛ヲ施用ス。窒素ハ硫酸アンモニア、燐酸ハ各區名ノ肥料、加里ハ硫酸加里ヲ施ス。

供試品種 大麥大六角。播種期 11月2日。播種量 1鉢2粒宛13所播種。間引 發芽後生育中等ナルモノ13本ヲ殘ス。

成績 (2區平均1鉢當)

試験區名	成熟期ニ於ケル		收量調査			無燐酸區收量ヲ百トシタル	
	草丈	莖數	總重量	子實重量	稈重量	子實重量比	稈重量比
無燐酸區	58.7	23.0	40.0	19.7	16.7	100	100
無燐酸石灰區	66.0	19.0	48.0	21.7	22.7	110	136
トーマス燐肥區	62.5	28.3	52.7	21.2	26.3	108	157
トーマス燐肥石灰區	59.5	24.0	46.8	19.5	23.2	99	139
過燐酸區	57.5	29.0	48.0	23.3	22.3	118	134
過燐酸石灰區	61.3	24.7	51.2	20.8	25.8	106	154

尙ホ普通火山灰土壤及味噌土土壤ニ付施行シタル試験成績ハ次記ノ如シ (第二年目)

試験區名	成熟期ニ於ケル		收量調査			過燐酸區收量ヲ百トシタル	
	草丈	莖數	總重量	子實重量	稈重量	子實重量比	稈重量比
普通火山灰	15.3	10.5	3.8	-	-	-	-
無燐酸區	57.0	21.0	45.3	20.8	21.0	107	164
トーマス燐肥區	58.8	23.0	34.8	19.0	12.8	100	100
味噌土	28.0	15.5	5.5	1.2	4.2	-	-
無燐酸區	60.0	23.5	60.3	26.8	26.0	88	84
トーマス燐肥區	71.8	31.0	63.8	30.3	31.0	100	100
過燐酸區							

2. 腐植土ノ堆肥效果試験 (第二年目)

目的 試驗設計 水稻ノ場合ニ同ジ

方法 トーマス燐肥肥効試験ニ同ジ

成績 (2區平均1鉢當)

試験區名	成熟期ニ於ケル		收量調査			硫安區ヲ百トシタル	
	草丈	莖數	總重量	子實重量	稈重量	子實重量比	稈重量比
1. 無窒素區	57.0	15.0	17.0	6.8	6.5	40	38
2. 硫安區	70.5	22.0	38.8	17.0	17.0	100	100
3. 硫安倍量區	68.0	26.0	35.3	12.3	20.0	72	118
4. 堆肥少量區	64.3	34.0	61.0	26.8	30.3	158	178
5. 堆肥多量區	69.0	33.5	63.0	28.0	29.5	165	173
6. 堆肥少量、石灰區	65.3	35.0	53.3	24.8	25.0	146	147
7. 堆肥多量、石灰區	61.3	42.0	73.5	33.3	36.8	196	216
8. 水積堆肥少量區	67.8	24.5	73.0	37.8	26.0	222	153
9. 水積堆肥多量區	64.8	21.0	39.0	14.8	20.8	87	122
10. 水積堆肥少量、石灰區	68.8	44.0	75.3	29.8	33.3	175	196
11. 水積堆肥多量、石灰區	66.3	43.5	68.5	31.5	32.3	185	190
12. 無窒素、堆肥區	60.8	16.0	18.3	10.0	8.3	59	49
13. 無窒素、石灰區	57.3	15.5	20.8	8.3	7.8	49	46
14. 無窒素、堆肥、石灰區	58.8	15.0	18.3	9.0	8.8	53	52

上記成績ニヨレバ堆肥、石灰ノ效果顯著ナルモノノ如シ

3. 窒素肥料分施試験 (第二年目)

目的 試驗設計 水稻ノ場合ニ同ジ

方法 トーマス燐肥肥効試験ニ同ジ

成績 (2區平均1鉢當)

試験區名	成熟期=於ケル		收 量 調 査			元肥區ヲ百トシタル	
	草 丈	莖 數	總 重 量	子實重量	稈 重 量	子實重量比	稈重量比
1. 全量元肥區	50.2	38.3	64.0	38.7	25.8	100	100
2. } 等量分施區	61.2	38.7	67.0	34.7	27.8	103	108
3. }	58.3	35.0	58.0	32.2	20.8	99	81
4. }	61.0	42.3	69.2	32.2	32.2	96	125
5. } $\frac{4}{5}$ 元肥區	54.8	36.0	59.0	28.5	25.5	85	99
6. } $\frac{1}{5}$ 追肥區	64.8	36.0	56.7	25.7	25.3	76	98
7. }	57.5	38.0	50.8	23.2	21.7	69	84
8. $\frac{4}{5}$ 施用區	56.3	36.0	43.8	18.8	19.0	56	74
9. $\frac{1}{5}$ 施用區	53.2	15.0	16.7	6.7	8.0	20	31
10. 無窒素區	32.8	12.0	5.5	2.2	2.7	7	10
11. 無肥料區	28.0	13.5	5.0	1.5	2.3	4	9

追肥施用時期ハ第2區、第4區ハ3月10日、第3區、第5區ハ20日、第6區ハ30日、第7區ハ4月10日トス

上記成績ニヨレバ窒素分施ノ效果顯著ナラズ。早期ニ追肥セシモノ稍々良好ナルヲ認メルノミ。

4. 麥獎勵品種ニ對スル磷酸效果試験 (第一年)

目 的 麥獎勵品種ニ對スル磷酸ノ肥效ヲ驗知シテ磷酸ノ消費調整ニ資セントス

方 法 トーマス磷酸肥效試験ニ同ジ

試験設計 各品種トモ窒素、加里ハ1.5瓦宛硫酸アンモニア、硫酸加里ヲ以テ施用シ、磷酸ハ無磷酸、磷酸少量(0.5瓦施用)、磷酸多量(1.5瓦施用)ノ3區ヲ設ケ遲磷酸石灰ヲ施用試験ヲ行ヘリ。

成績 (2區平均1鉢當)

試験區名	成熟期=於ケル		收 量 調 査			無磷酸區ヲ百トシタル	
	草 丈	基 數	總 重 量	子實重量	稈 重 量	子實重量比	稈重量比
大 六 角							
無 磷 酸 區	54.5	25.0	42.0	16.5	20.3	100	100
磷 酸 少 量 區	47.5	36.0	75.5	43.8	26.0	265	128
磷 酸 多 量 區	49.5	46.5	72.8	42.5	29.5	258	179
備 前 早 生							
無 磷 酸 區	76.0	18.5	61.8	27.8	24.3	100	100
磷 酸 少 量 區	53.5	32.0	73.5	33.0	33.8	119	139
磷 酸 多 量 區	50.0	35.0	73.0	40.3	27.5	145	113
關 取							
無 磷 酸 區	44.0	26.5	40.0	11.3	23.5	100	100
磷 酸 少 量 區	32.5	44.0	65.5	32.5	32.8	288	140
磷 酸 重 量 區	32.0	53.5	57.0	32.0	20.0	283	85

試験區名	成熟期=於ケル		收 量 調 査			無磷酸區ヲ百トシタル	
	草 丈	基 數	總 重 量	子實重量	稈 重 量	子實重量比	稈重量比
倍 取							
無 磷 酸 區	47.5	26.5	48.5	15.3	26.0	100	100
磷 酸 少 量 區	44.8	33.5	64.5	30.8	31.0	201	119
磷 酸 多 量 區	43.5	51.5	65.0	40.5	20.3	265	65
虎 ノ 尾							
無 磷 酸 區	54.0	27.5	69.0	23.5	40.5	100	100
磷 酸 少 量 區	50.5	40.0	73.8	33.3	35.5	142	88
磷 酸 多 量 區	50.8	49.5	89.8	49.0	35.3	209	87
伊賀筑後オレゴン							
無 磷 酸 區	73.0	24.0	45.0	20.0	21.3	100	100
磷 酸 少 量 區	62.0	36.0	67.8	29.0	35.3	145	166
磷 酸 多 量 區	55.0	38.5	76.5	33.3	33.8	167	156
農 林 一 號							
無 磷 酸 區	59.0	25.0	79.5	33.5	33.8	100	100
磷 酸 少 量 區	58.8	44.5	68.8	24.0	33.8	72	118
磷 酸 多 量 區	56.0	39.0	78.8	35.3	38.5	105	114
農 林 十 五 號							
無 磷 酸 區	63.5	27.0	48.3	12.3	30.8	100	100
磷 酸 少 量 區	65.0	35.5	65.0	21.8	39.0	177	127
磷 酸 多 量 區	59.5	43.0	75.0	27.5	41.3	224	134

3. 綠 肥

目 的 本場産ヘアリーベツチ、ザートウイツケン並ニ農林省ヨリ送付ヲ受ケタル綠肥用豌豆ニ付之ガ栽培ヲ行ヒ生草收量並ニ採種量等ヲ調査セントス

栽培地 本場圃場、沖積層壤土

經過概要 播種後2月迄ノ氣候ハ順調ナリシモ2月下旬ヨリ開花期迄ハ乾燥ニ過ギ積雪渺カリシモ氣温低ク例年ニ比シ生育不良ヲ思ハシメタリ、然ルニ收穫期ニ近ヅキ氣温高マリ時々降雨ヲ見タル爲メ概ネ例年通りノ收量ヲ得タリ

耕種及肥培法 (1區面積15坪)

綠 肥	播種期	播種量	播種法	根瘤菌	施肥	支柱	收穫期
豌豆	13年9月19日	6升(反當)	畦巾4尺、1尺間隔點播3月6日1株3本ニ間引	無接種	無肥料	5月10日層根形	14年6月27日
ヘアリー、ベツチ	同	4合(反當)	同	同	同	同	14年7月17日
ザート、ウイツケン	同	6合(反當)	同	同	同	同	同

調査成績 (反當)

綠 肥	收穫期=於ケル		生 草 收 量	乾 燥 收 量	採 種 量
	草 丈	分 枝 數			
碗 豆	1.85	9.7	294.500	88.938	1.385
ヘアリー、ベッチ	7尺	—	268.560	—	0.705
ザート、ウイツケン	8.5	—	246.660	—	1.180

摘 要

1. 上記綠肥ハ何レモ桑園間作用トシテ適當ト認ム
2. 採種成績モ亦良好ナリ

4. 大 豆

1. 大豆肥料試験

目 的 南佐久地方ニ於ケル大豆栽培上適當ナル施肥法ヲ知ラントス

試 験 地 南佐久郡切原村湯原

同 畑八村畑

試験方法

- イ、耕種梗概 別記ノ通り
- ロ、供試品種 赤 莢
- ハ、1區面積及區制 10坪、1區制
- ニ、標準區ノ配置 3區毎ニ配置(標準區ハ第9區トス)
- ホ、供試面積 200坪

試験設計(反當貫)

試 験 區 名	硫 酸 アンモニア	過 磷 酸 石 灰	硫 酸 加 里	石 灰	堆 肥
1. 慣 行 肥 料 區	—	—	—	—	150
2. 慣 行 肥 料 區	—	—	—	—	150
3. 無 根 瘤 菌 區	—	—	—	—	—
4. 無 根 瘤 菌 區	2.0	—	3.0	—	—
5. 無 根 瘤 菌 區	2.0	7.0	—	—	—
6. 三 要 素 區	2.0	7.0	3.0	—	—
7. 三 要 素 堆 肥 區	2.0	7.0	3.0	—	300.
8. 三 要 素 石 灰 區	2.0	7.0	3.0	20.	—
9. 三 要 素 堆 肥 石 灰 區	2.0	7.0	3.0	20.	300.

大豆耕種梗概

1. 選種及種子ノ選措 平板轉落選及手選ヲ行フ
2. 整 地 5月中旬深サ4-5寸ニ耕起シ地表ヲ均シテ2尺巾ニ作條ヲ切リ、麥ノ跡作トス
ル場合ニハ5月下旬麥ノ畦間ヲ耕シ施肥ス
3. 肥 料 試験設計第9區ヲ以テ標準肥料トシ全部元肥トシテ播溝ニ施ス
4. 播 種 期 6月1日
5. 播 種 量 反當8匁
6. 播 種 法 予メ設ケタル作條ニ株間1尺トシ2-3粒宛點播ス
7. 間引及補植 本葉1-2葉展開セル頃間引及補植ヲ行ヒ2本立トス
8. 中耕及除草 6月中旬及7月中旬12回除草ヲ兼ネテ中耕ヲ行フ
9. 收穫及調製 子實成熟スレバ採取り充分乾燥シタル後脱穀調製ス

試験成績

イ、南佐久郡切原村(1) 慣行施肥ハ15坪ニ對シ鶏糞糞混合セルモノヲ1貫施用ス

ロ、南佐久郡切原村(2) 慣行肥料ハ15坪ニ對シ木灰1貫300匁、米糠2合ヲ施用ス

1. 生 育 觀 察

區 名	發芽始	發芽揃	開花始	開花終	成熟期	草 性	倒 伏	病 害	蟲 害	發芽ノ 良 否
試驗地1										
第1區	6月8日	6月13日	8月19日	8月27日	9月25日	直立性	ナシ	ナシ	ナシ	良
第2區	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第3區	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第4區	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第5區	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第6區	〃	〃	8月17日	8月25日	9月23日	橫張性	中	少	〃	〃
第7區	〃	〃	〃	〃	〃	〃	中	中	〃	〃
第8區	〃	〃	〃	〃	〃	〃	中	中	〃	〃
第9區A	〃	〃	〃	〃	〃	〃	中	中	〃	〃
同 B	〃	〃	〃	〃	〃	〃	中	中	〃	〃
試驗地2										
第1區	〃	6月13日	8月19日	8月27日	9月26日	直立性	ナシ	ナシ	〃	〃
第2區	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第3區	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第4區	〃	〃	〃	〃	9月28日	〃	〃	〃	〃	〃
第5區	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
第6區	〃	〃	〃	〃	9月29日	橫張性	中	〃	〃	〃
第7區	〃	〃	〃	〃	〃	〃	少	〃	〃	〃
第8區	〃	〃	〃	〃	〃	〃	少	〃	〃	〃
第9區	〃	〃	〃	〃	〃	〃	少	〃	〃	〃

2. 調査成績

區名	草丈	節數	第一次分枝數	總分枝數	總莢數	子實容量	子實重量	子實重量 1升重量
	尺					石	貫	匁
試驗地1								
第1區	1.60	14.	3.	5.	38.	1.400	50.960	364.
第2區	1.70	14.	3.	5.	41.	1.780	67.996	382.
第3區	1.65	13.	2.	3.	37.	0.580	9.800	170.
第4區	1.70	16.	4.	8.	42.	1.300	46.930	361.
第5區	1.50	15.	6.	8.	43.	2.420	75.746	313.
第6區	2.20	18.	8.	10.	55.	2.380	87.584	368.
第7區	2.35	17.	5.	12.	56.	3.780	116.046	307.
第8區	2.30	18.	6.	11.	54.	1.300	39.780	303.
第9區A	2.34	17.	5.	11.	53.	3.000	92.400	308.
同 B	2.25	16.	5.	12.	56.	3.560	109.292	307.
試驗地2								
第1區	1.20	12.	2.	4.	32.	1.120	35.952	321.
第2區	1.10	11.	3.	4.	38.	1.220	44.652	366.
第3區	1.00	12.	3.	3.	37.	0.800	30.000	375.
第4區	1.50	13.	3.	6.	41.	1.000	34.000	340.
第5區	1.50	13.	4.	5.	45.	2.000	68.000	340.
第6區	2.00	14.	6.	7.	52.	2.200	78.920	336.
第7區	2.10	16.	5.	7.	50.	2.700	94.500	350.
第8區	2.30	15.	5.	6.	48.	1.180	41.300	311.
第9區	2.10	15.	6.	7.	51.	1.800	54.000	300.

ハ、南佐久郡知八村

1. 生育觀察

區名	發芽始	發芽揃	開花始	開花終	成熟期	草性	倒伏	病害	蟲害	發芽ノ良否
第1區	6月10日	6月15日	8月18日	8月25日	10月30日	直立性	ナシ	ナシ	ナシ	良
第2區	"	"	"	"	10月27日	橫張性	"	"	"	"
第3區	"	"	8月15日	8月22日	10月28日	直立性	"	"	"	"
第4區	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
第5區	"	"	8月18日	8月25日	10月30日	"	"	"	"	"
第6區	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
第7區	6月9日	6月14日	"	"	"	橫張性	"	"	"	否
第8區	6月8日	6月13日	"	8月24日	10月27日	直立性	"	"	"	良
第9區A	6月10日	6月15日	8月18日	8月25日	10月31日	橫張性	"	"	"	"
第9區B	"	"	8月22日	8月28日	10月30日	"	"	"	"	"
第9區C	"	"	8月18日	8月25日	"	"	"	"	"	"

2. 調査成績

區名	草丈	節數	第一次分枝數	總分枝數	總莢數	子實容量	子實重量	子實重量 1升重量
	尺					石	貫	匁
第1區	2.02	13.6	3.1	3.1	41.	0.633	22.200	350
第2區	1.92	14.4	3.9	3.0	37.	0.720	25.380	350
第3區	0.92	10.6	1.1	1.1	9.	0.234	8.250	350
第4區	0.79	10.1	0.6	0.6	11.	0.162	5.700	350
第5區	1.56	13.6	2.8	2.8	22.	0.387	13.140	340
第6區	1.60	13.0	3.7	3.7	52.	0.441	15.240	345
第7區	1.79	15.1	3.5	3.6	46.	0.996	33.900	340
第8區	1.43	13.0	2.9	2.9	22.	0.441	15.000	340
第9區A	1.86	14.2	4.5	4.5	41.	0.998	35.280	355
同 B	1.87	14.5	4.0	4.0	52.	0.915	32.400	357
同 C	1.81	14.6	3.8	3.8	54.	1.050	35.700	340

摘要 上記成績ニヨレバ堆肥、磷酸ノ效果著シキヲ認ム

5. 肥料適量查定試験

(施肥標準調査)

1. 目的 本試験ハ縣下各市町村ニ於ケル施肥量ノ基準ヲ查定センガ爲メ施行ス。本縣ニ於ケル施肥標準調査ハ大正10年度以降昭和10年度迄本省指定ノ方法ニ從ヒ縣下各地質系統別ニ土性調査ヲナシ更ニ該土壤ノ理化學分析並ニ栽培試験ヲ施行シ、其ノ成績ヲ綜合シテ生産力ヲ查定シタリ。ソノ結果米麥ニ對スル施肥標準量ノ決定ヲ見タルモ(長野縣獎勵肥料ノ制定)其ノ範圍廣汎ニ互リ加之農業技術ノ進歩ハ益々精細ナル試験調査ノ必要ヲ加ヘツアリ。故ニ昭和11年度ヨリ本省ノ獎勵金ノ交付ヲ受ケ更ニ縣下各町村毎ニ本試験地設置ノ上益々精密ナル試験調査ヲナシ施肥量ノ基準ヲ查定セントス

2. 試験方法 試験地ニ次記ノ如キ試験區ヲ設ケ原地三要素試験ヲ施行シタリ

番 號	區 名	番 號	區 名
1.	無 肥 料 區	7.	無 磷 酸 堆 肥 區
2.	無 磷 酸 區	8.	無 加 里 堆 肥 區
3.	無 加 里 區	9.	窒 素 少 量 堆 肥 區
4.	窒 素 少 量 區	10.	窒 素 中 量 堆 肥 區
5.	窒 素 中 量 區	11.	窒 素 多 量 堆 肥 區
6.	窒 素 多 量 區		

肥料ハ硫酸アンモニア、過磷酸石灰、硫酸加里又ハ鹽化加里ヲ施用セリ
昭和18年度創設原地試驗地設置市町村ハ次記ノ如シ

水 稻					
番 號	町	村	番 號	町	村
3	南佐久郡	中 込 町	212	東筑摩郡	麻 績 村
5		南 牧 村	217		中 川 手 村
15		青 沼 村	229		宗 賀 村
34	北佐久郡	中 津 村	240	南安曇郡	倭 村
47		本 牧 村	255	北安曇郡	松 川 村
52	小 縣 郡	丸 子 町	256		會 染 村
60		豐 里 村	268	松本市	
68		鹽 川 村	284	更 級 郡	更 府 村
80		西 鹽 田 村	275		八 幡 村
98	諏 訪 郡	原 村	291		眞 嶋 村
99		本 郷 村	302	埴 科 郡	五 加 村
111	上伊那郡	高 遊 町	307		雨 宮 縣 村
127		伊 那 村	356	上水内郡	高 岡 村
137		手 良 村	363		芋 井 村
143	下伊那郡	山 吹 村	353		古 里 村
148		罪 村	377	下水内郡	豐 井 村
154		山 本 村	318	上高井郡	高 甫 村
161		下 條 村	336	下高井郡	長 丘 村
190	西筑摩郡	新 開 村	341		往 郷 村
203	東筑摩郡	本 郷 村			

麥

番 號	町	村	番 號	町	村
5	南佐久郡	南 牧 村	80	小 縣 郡	西 鹽 田 村
25	北佐久郡	小 諸 町	85	上 田 市	
44		布 施 村	127	上伊那郡	伊 那 村
52	小 縣 郡	丸 子 町	137		手 良 村
74		和 田 村	146	下伊那郡	上 郷 村

番 號	町	村	番 號	町	村
153	下伊那郡	伊 賀 良 村	295	更 級 郡	西 寺 尾 村
174		神 稻 村	302	埴 科 郡	五 加 村
199	西筑摩郡	田 立 村	303		埴 生 村
225	東筑摩郡	神 林 村	371	上水内郡	榮 村
228		笹 賀 村	347		大 豆 島 村
210		本 城 村	358		三 水 村
243	南安曇郡	三 田 村	320	上高井郡	豐 丘 村
259	北安曇郡	廣 津 村	330	下高井郡	平 野 村
279	更 級 郡	信 田 村	343		瑞 穂 村
290		稻 里 村			

コノ原地試驗ハ3年間繼續施行スルモノニシテ3ケ年ノ成績ヲ1括取纏メタル上別冊ヲ以テ報告セントス

6. 肥料施用方法改善試験

本事業ハ農林省指定試験ニシテ本縣ニ廣ク分布スル普通火山灰土壤及ビ味噌土ニ對スル合理的施用方法ヲ研究セントス

昭和4年以降上伊那郡南箕輪村西天龍耕地整理組合地區内(普通火山灰土壤)及ビ同郡中澤村(味噌土)ノ2ヶ所ニ試験地ヲ設ケ水田並ニ畑ニ於テ水稻、陸稻及ビ大小麥ノ施肥法ニツキ試験ヲ開始セリ

之等ノ試験成績ハ取纏メノ上別冊報告書ヲ刊行(第1報及ビ第2報ハ刊行済)ノ豫定ナルヲ以テ茲ニ其ノ記載ヲ省略ス

尙昭和12年度ヨリ下高井郡平穩村ニ試験地ヲ新設シ更ニ試験ヲ繼續シツツアリ

7. 綠肥根瘤菌培養配付成績

昭和6年度以降綠肥(紫雲英、ヘアリーベッチ)根瘤菌ノ培養配付ヲ施行セルガ本年度ノ配付數量及接種面積次ノ如シ

種 類	配 付 數 量	接 種 面 積
紫 雲 英	1200 ^本	600 ^町
ヘアリーベッチ	500	250
ザート、ウキツケン	100	50
計	1800	900

8. 豆類根瘤菌培養配付成績

昭和10年度以降大豆、小豆根瘤菌ノ培養配付ヲ施行シツツアリ、本年度ニ於ケル配付數量及接種面積次ノ如シ

種	類	配付數量	接種面積
大	豆	7000 ^本	350 ^町
小	豆	1000	50
	計	8000	400

9. 分析件數

本年度施行セル場用及依頼分析件數及成分數次ノ如シ

供試品名	件數		成分數	
	依頼	場用	依頼	場用
土	8	10	26	64
肥	28	6	48	10
灌漑	1	—	8	—
農産物	1	20	3	40
其他	1	—	14	—
計	34	36	99	114

農林省指定加工蔬菜試験

第一部 品種ニ關スル試験

(1) 蕃茄品種選抜豫備試験

1. 目的

内外ノ品種ヲ蒐集シ各品種ノ特性及結實性ヲ調査シ品種選抜試験ニ編入スベキ品種ヲ選定セントス

2. 試験方法

- (イ) 1區面積及區制 1區6坪 1區制
- (ロ) 供試面積 288坪
- (ハ) 供試品種數 46品種
- (ニ) 標準品種及標準區數 「マーグローブ」 區數 2區
- (ホ) 耕種法 播種期 3月11日 移植期第1回4月2日 第2回4月24日
定植期 5月19日 藥劑撒布3斗5升式石灰ボルドウ液4回
莖葉採取期 9月13日

3. 經過概要

定植後6、7月ノ莖葉繁茂期ニ約50日間ニ互リ多雨多濕ノ異狀天候襲來セシ爲莖葉ノ繁茂充實ヲ缺キ斑點病ノ發生増加シ7月上旬ヨリ下葉ノ衰弱甚シク加フルニ7月11日強風雨襲來シ試験區ノ1部分ノ支柱ヲ倒伏セシメ其ノ被害甚大ナルモノハ1區ニ數株ノ枯死ヲ生ゼシメタリ。從ツテ本年ハ全期間ヲ通ジテ收量少ク作柄中ノ下ト認定セラレタリ。

4. 成績考察

豫備試験供試品種中草勢、果實ノ形質及收量ノ本年並前2ケ年ノ成績ニ鑑ミ品種選抜試験供試品種ニ或程度近似セル品種ハ「ボンデローザ・スカーレット」、「ブリッチヤード・スカーレット」、「スプリーム・マーグローブ」、「ビーフ・ステーキ」、「クリムソン・カツション」、「アーリー・フリーダム」、「チョコクス・アーリー・ジュエル」、「ジュンピンク」、「ボンニー・ベスト」、「サットンズ・マゼステイツク」、「アツゲラー・グローブ」ニシテ之等11品種ハ明年度品種選抜試験ノ生産力檢定試験以外ノ品種ト共ニ均一條件ノ下ニ主トシテ果實ノ特性及結實力ヲ調査シ、其ノ優劣ニ付最後ノ檢定ヲ行ハントス。右以外ノ34品種ハ本年度及既往ノ成績ニ依リ大體品種ノ得失明瞭トナリタルヲ以テ、本年度ヲ以テ試験ヲ打切り品種保存ニ編入セントス。右ノ如ク本年度豫備試験供試品種ハ明年度ニ於テハ選抜試験ト品種保存トニ區別處理シ豫備試験ニ於テハ新ニ國內主産地ノ各獎勵品種ヲ蒐集シ試験セントス。次ニ明年度ヨリ品種保存ニ編入スベキ34品種ノ得失ノ詳細ハ成績表ニ指示スレドモ今其ノ概評ヲ試ミレバ左ノ如シ。

(イ) 本年ノ豫備試験中收量ノ最上位ニ在ル「サットンズ・ラーヂ・レット・プラム」、「ワ
ンダー・オブ・イタリー」、「プリンス・ボルキユース」及「小丸種」ノ4品種ハ何レモ草勢強
健ニシテ房成型ノ豊産品種ナレドモ果形長橢圓形ノ最小果ニ屬シ子室數2乃至3ノ大室ニ分
レ果肉歩合僅少ナルノ欠點ヲ有ス。

(ロ) 前年度歐洲ヨリ新輸入ノ「ウエスト・ランディア」、「ルキユールス」、「エルザクライ
グ」、「ファースト・クローズ」、「ダニツシュ・エクスポート」ハ選抜試験ノ「ボーレリー
ダー」ト共ニ草勢、結果習性及果實ノ形質等大體類似シ小葉、細莖ニシテ葉茂少キモ草勢
概シテ強ク特ニ稔實性極メテ高キ特長ヲ有スレドモ2-30旬ノ小果ニ屬シ、子室數2-3ノ
大室ニ分レ、果肉歩合僅少ニシテ果汁色概シテ不良ナルノ欠點ヲ有シ、特ニ生食用トシテ
ハ見込無ク、加工用トシテモ從來ノ米國系品種ニ及バザル點多ク其ノ價值少キヲ認ム

(ハ) サットン商會ノ「マゼステック」、「サテイスフアクション」、「メインクローズ」ハ選抜
試験ノ「サットンズパーフェクション」ト共ニ草勢、結果習性及果實ノ形質等同類ニ屬シ、
稔實性高ク、果實正形、外觀良好ニシテ豊産ナレドモ、果實ハ中ノ小ニ屬シ、子室稍大ニ
シテ果肉概シテ少キ缺點ヲ有ス。

(ニ) 同一品種ニシテ取寄先ヲ異ニシ既存ノ品種ト比較セシ三重農試ノ「ボンデローザ」、
「マーグローブ」、「ブリツチャード」、千葉高園ノ「カータース・フルート」ハ草勢、果實
及結果力等ノ點ニ於テ既存品種ト特ニ相違ナカリキ。

(ホ) 其他ノ「ウインゾール」、「サットンズ・プリンセス・オブ・ウエールス」、「マーヴェ
ル・オブ・ザ・マーケット」、「二ノ宮フルート」、「アライアンス」、「ジエンピンク」、「ニ
ューストーン」、「フィカラジー」、「セコンド・アーリー」、「ウイルト・レジスタント・スト
ン」、「プレジデント・ガーフィールド」、「ジャク・オーハート」、「ニュー・スムース・ボ
ンデローザ」等ハ大體米國系品種ニ屬シ、既往ノ選抜品種ニ比シ、果實ノ形質或ハ草勢收
量ニ於テ遜色アリテ共ニ品種保存ニ編入セントス。

5. 試験成績表

品種 番號	品 種 名	開 花 始	草 勢 強 弱	熟 期	果 形 指 數	一 果 重 量	色 彩	反 當 數 量	
								上 物 重 量	屑 物 重 量
1	ニュー・スムース・ボンデローザ	5.18	中ノ上	晩	1.42	42.3	桃 色	846.5	270.6
2	ジャク・オーハート	5.24	中	中ノ晩	1.38	56.5	赤 色	937.2	145.6
3	ウイルト・レジスタント・ストーン	5.24	中ノ上	中ノ晩	1.23	38.5	赤 色	1,138.6	118.6
4	ブリツチャード・スカーレット	5.7	強	中	1.19	38.9	赤 色	1,639.7	114.8
5	セコンド・アーリー	5.7	中ノ下	早	1.27	38.6	赤 色	1,225.8	120.9
6	スプリム・マーグローブ	5.17	強	中	1.18	42.4	赤 色	1,591.6	62.0
7	ビーフステーク	5.17	中	中ノ早	1.12	22.9	赤 色	1,751.2	63.4
8	クリムソン・カツション	5.17	中	中	1.16	29.1	赤 色	1,746.4	64.6
9	アーリー・フリーダム	5.16	中	中ノ早	1.11	26.5	赤 色	1,671.6	12.4
10	チョータス・アーリー・ジュエル	5.17	中ノ下	中ノ早	1.27	40.1	赤 色	1,641.2	82.1
11	ジューン・ピンク	5.11	弱	中	1.17	37.1	桃 色	1,579.9	202.4

品 種 番 號	品 種 名	開 花 始	草 勢 強 弱	熟 期	果 形 指 數	一 果 重 量	色 彩	反 當 數 量	
								上 物 重 量	屑 物 重 量
12	ボンニール・ベスト	5.15	中ノ下	早	1.21	38.5	赤 色	1,595.8	60.6
13	サットンズ・メイン・クローズ	5.16	弱	中ノ早	1.17	21.8	赤 色	1,545.7	161.0
14	サットンズ・マゼステック	5.11	中	中	1.09	25.1	赤 色	2,102.4	105.7
15	サットンズ・サテイスフアクション	5.7	中ノ下	中	1.26	20.1	赤 色	1,813.0	139.0
16	サットンズ・プリンセス・オブ・ウエールス	5.15	中ノ上	中	1.24	24.8	赤 色	1,624.9	136.8
17	マーヴェル・オブ・ザ・マーケット	5.17	強	中ノ早	1.07	36.9	桃 色	1,655.7	170.2
18	ウインゾール	5.17	中	晩	1.45	71.1	桃 色	1,667.8	198.2
19	サットンズ・ラーヂ・レット・プラム	5.29	中	晩	0.68	13.5	朱赤色	2,383.7	45.1
20	小丸種	5.13	中	中	0.66	5.5	赤 色	2,110.1	130.4
21	アライヤンス	5.23	中ノ上	中ノ早	1.31	42.7	赤 色	1,592.0	148.6
22	マーヴェル・オブ・ザ・マーケット	5.18	強	中	1.29	41.1	赤 色	1,597.4	105.8
23	ウエストランディア	5.7	強	中	1.10	28.0	赤 色	2,061.1	73.3
24	ルキユールス	5.11	強	中	1.17	18.8	赤 色	2,015.6	57.6
25	ワンダー・オブ・イタリー	5.11	中ノ上	中ノ晩	0.65	5.8	赤 色	2,239.0	177.3
26	プリンス・ボルキユース	5.28	強	晩	0.71	15.0	朱赤色	2,217.8	101.2
27	フィカラデー	5.10	弱	中	1.64	44.9	赤 色	1,319.3	277.9
28	プレジデント・ガーフィールド	5.7	弱	早	0.65	49.0	赤 色	991.9	229.0
29	サンマルツァノ	5.17	中ノ上	中ノ晩	0.58	13.6	赤 色	1,651.2	48.0
30	マーグローブ	5.11	中	早	1.29	47.6	赤 色	1,638.7	83.9
31	ボンデローザ・スカーレット	5.11	中	中ノ晩	1.40	60.2	赤 色	1,964.5	206.6
32	ベールレス	5.07	中ノ下	中	1.19	23.6	赤 色	1,474.3	68.8
33	エルザクライグ	5.10	中	中	1.18	22.5	赤 色	1,740.8	100.6
34	スターリング・キヤストル	5.11	中	中	1.11	18.2	赤 色	1,234.3	18.5
35	タツク・ウッド	5.11	中	中	1.21	22.7	赤 色	1,295.4	19.6
36	ダニツシュ・エクスポート	5.11	中ノ下	中	1.21	14.0	赤 色	916.6	4.4
37	ファースト・クローズ	5.11	弱	中	1.15	14.3	赤 色	1,175.5	46.7
38	コンディネ・レッド	5.5	弱	中	1.17	17.4	赤 色	1,221.2	90.9
39	カータース・フルート	5.16	中	中	1.07	27.3	赤 色	1,323.9	51.0
40	二ノ宮フルート	5.16	強	中ノ晩	1.23	47.5	桃 色	1,904.3	86.8
41	マーグローブ(札幌市)	5.17	中ノ上	中	1.16	44.6	赤 色	1,415.1	98.0
42	ブリツチャード(ミツチエル)	5.16	弱	中ノ早	1.20	45.8	赤 色	1,231.6	57.8
43	ニュー・ストーン	5.22	中ノ上	晩	1.32	42.6	赤 色	1,451.6	50.2
44	マーグローブ(三重縣)	5.17	中ノ上	中ノ早	1.15	35.5	赤 色	1,266.7	33.7
45	ボンデローザ	5.23	中ノ上	晩	1.31	50.9	桃 色	1,988.4	79.3
標準	マーグローブ	5.27	強	早	1.19	53.0	赤 色	1,695.5	72.0